令 和 ８ 年 ６ 月 ４ 日
第７回介護保険運営協議会
参　考　資　料　２
（ 事 前 配 布 資 料 ）

東久留米市高齢者アンケート調査
結果報告書

令和８年３月

東 久 留 米 市

目　次

Ⅰ　調査の概要……1
　１　調査の目的……1
　２　調査対象……1
　３　調査期間……1
　４　調査方法……1
　５　回収状況……1
　６　調査結果の表示方法……2

Ⅱ　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果……3
　はじめに、お答えください……3
　　１　ご家族や生活状況について……5
　　２　からだを動かすことについて……10
　　３　食べることについて……19
　　４　毎日の生活について……29
　　５　地域での活動について……38
　　６　就労について……51
　　７　たすけあいについて……54
　　８　健康について……61
　　９　在宅医療・介護予防などについて……70
　　10　地域包括支援センターについて……102
　　11　デジタル機器の使用等について……103
　調査票（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）……108

Ⅲ　在宅介護実態調査結果……115
　Ａ票　封筒のあて名のご本人について……115
　Ｂ票　主な介護者の方について……153
　調査票（在宅介護実態調査）……175

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

令和９年２月に策定を予定している「第１０期東久留米市高齢者福祉計画・介護保険事業計画課（令和９年度～令和１１年度)」の基礎資料とするため、市内在住の高齢者及びその主な介護者の実態等を把握するためのアンケート調査を実施しました。

2　調査対象

①　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

対象者抽出日（令和７年 10 月１日）現在において東久留米市内に住所がある本市の介護保険第１号被保険者であり、要介護１～５の認定を受けていない者（要支援１・２、事業対象者を含む）

②　在宅介護実態調査

対象者抽出日（令和７年 10 月１日）現在において東久留米市内に住所がある本市の介護保険第１号被保険者であり、かつ要支援・要介護認定を受けている者

3　調査期間

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：令和７年 12 月１日から令和７年 12 月 22 日まで
在宅介護実態調査：令和７年 12 月１日から令和７年 12 月 22 日まで

4　調査方法

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：郵送による配布・回収及びＷＥＢによる回答
在宅介護実態調査：郵送による配布・回収及びＷＥＢによる回答

5　回収状況

調査票の種類	配布数	回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,000件	1,452件	72.6%
在宅介護実態調査	1,200件	746件	62.2%

6　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を除いているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・クロス集計において回答者数が１桁の場合は、コメントを差し控えています。

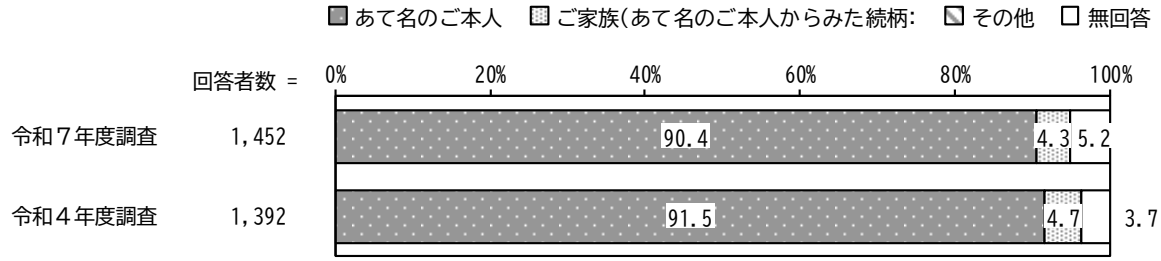
Ⅱ　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

はじめに、お答えください

問１　調査票にご記入されているのはどなたですか。（○印は１つ）

「あて名のご本人」の割合が 90.4%、「ご家族(あて名のご本人からみた続柄:」の割合が 4.3%となっています。

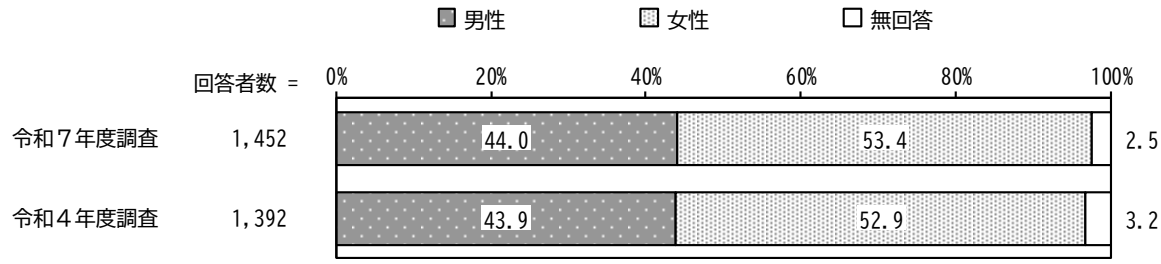
令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問２　あなた(あて名のご本人)の性別を教えてください。（○印は１つ）

「男性」の割合が 44.0%、「女性」の割合が 53.4%となっています。

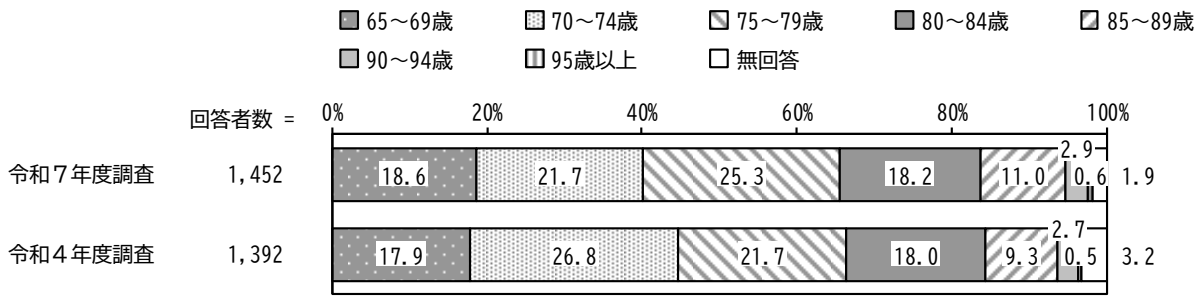
令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問３　令和７年 11 月末時点のあなたの年齢を記入してください。

「75～79 歳」の割合が 25.3%と最も高く、次いで「70～74 歳」の割合が 21.7%、「65～69 歳」の割合が 18.6%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「70～74 歳」の割合が減少し、「75～79 歳」の割合が増加しています。



問４　あなたの居住地を教えてください。（〇印は１つ）

「滝山」の割合が 11.8%と最も高くなっています。

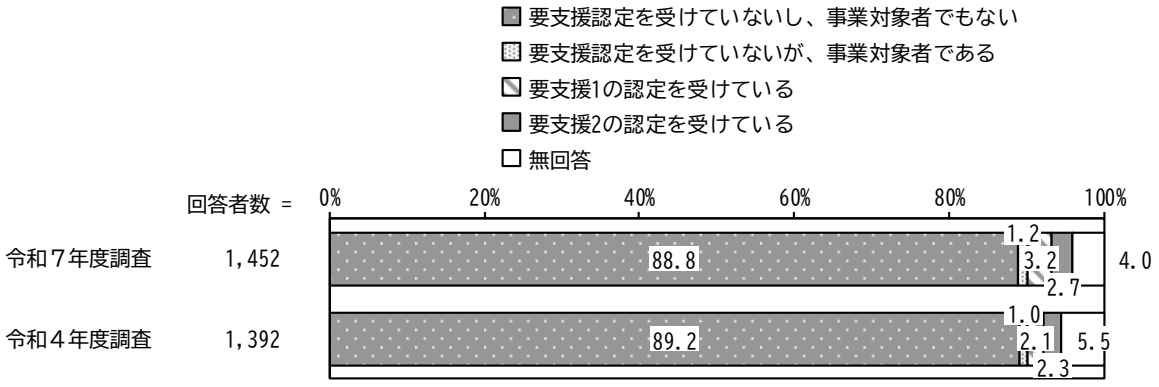
単位：%

回答者数（件）	上の原	神宝町	金山町	氷川台	大門町	東本町	新川町	浅間町	学園町	ひばりが丘団地	本町	小山	幸町
1,452	2.5	2.1	2.6	3.4	2.6	1.3	1.0	4.1	2.9	2.0	5.9	4.8	4.2

中央町	南沢	前沢1～3丁目	前沢4～5丁目	南町	滝山	下里1・7丁目	下里2～6丁目	柳窪	野火止	八幡町	弥生	無回答
6.5	6.0	3.4	3.1	4.3	11.8	4.7	5.4	4.1	2.1	5.6	1.2	2.2

問５　あなたは要支援認定を受けていますか。（〇印は１つ）

「要支援認定を受けていないし、事業対象者でもない」の割合が 88.8%と最も高くなっています。令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

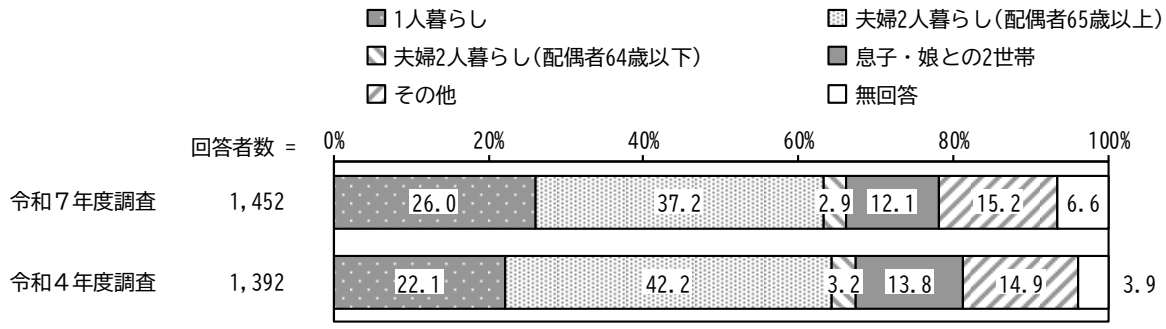


1　ご家族や生活状況について

問１　あなたの、家族構成を教えてください。（○印は１つ）

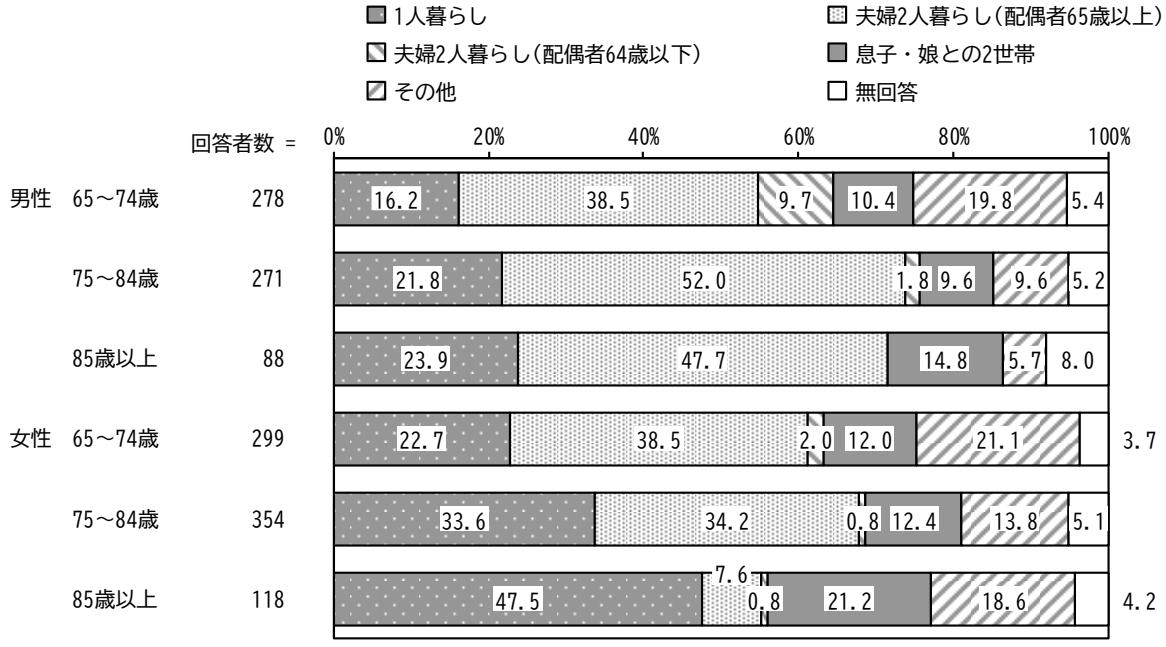
「夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上)」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「1 人暮らし」の割合が 26.0%、「息子・娘との 2 世帯」の割合が 12.1%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



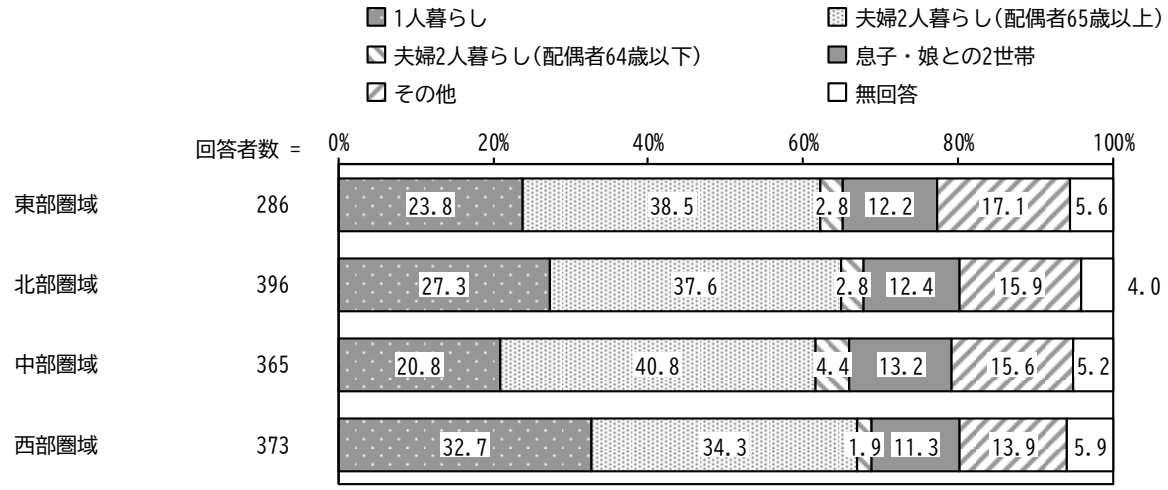
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「１人暮らし」の割合が高く、女性では「１人暮らし」「息子・娘との２世帯」の割合が高く、「夫婦２人暮らし(配偶者 65 歳以上)」の割合が低くなっています。



【圏域別】

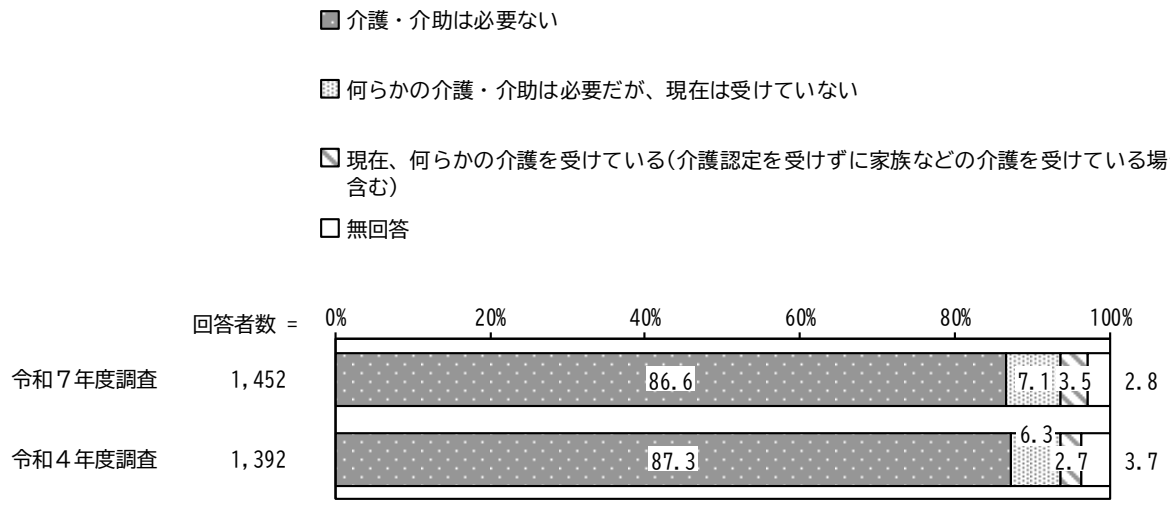
圏域別にみると、西部圏域で「１人暮らし」の割合が高くなっています。



問２　あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○印は１つ）

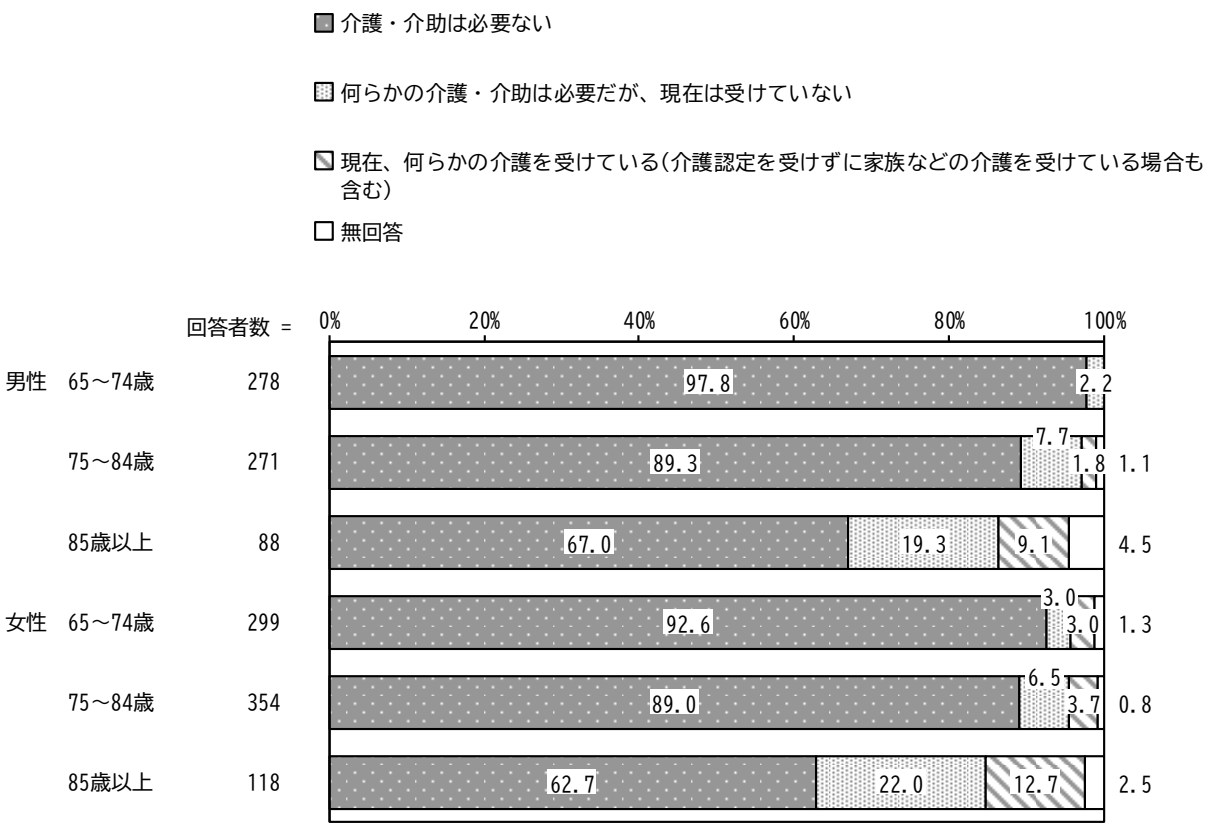
「介護・介助は必要ない」の割合が 86.6%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が 7.1%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が 3.5%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



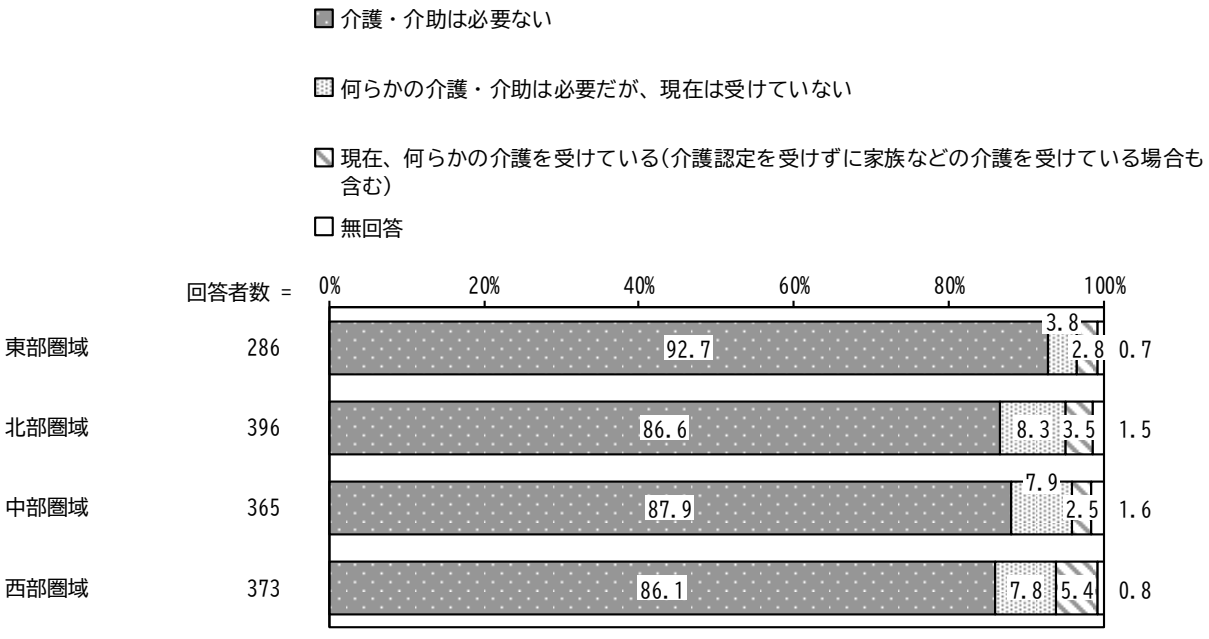
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「介護・介助は必要ない」の割合が低く、男性では「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が高く、女性では「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合が高くなっています。



【圏域別】

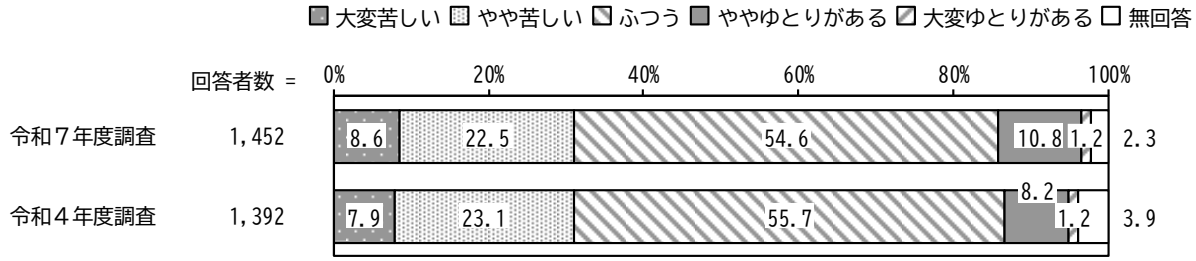
圏域別にみると、東部圏域で「介護・介助は必要ない」の割合が高くなっています。



問３　現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（〇印は１つ）

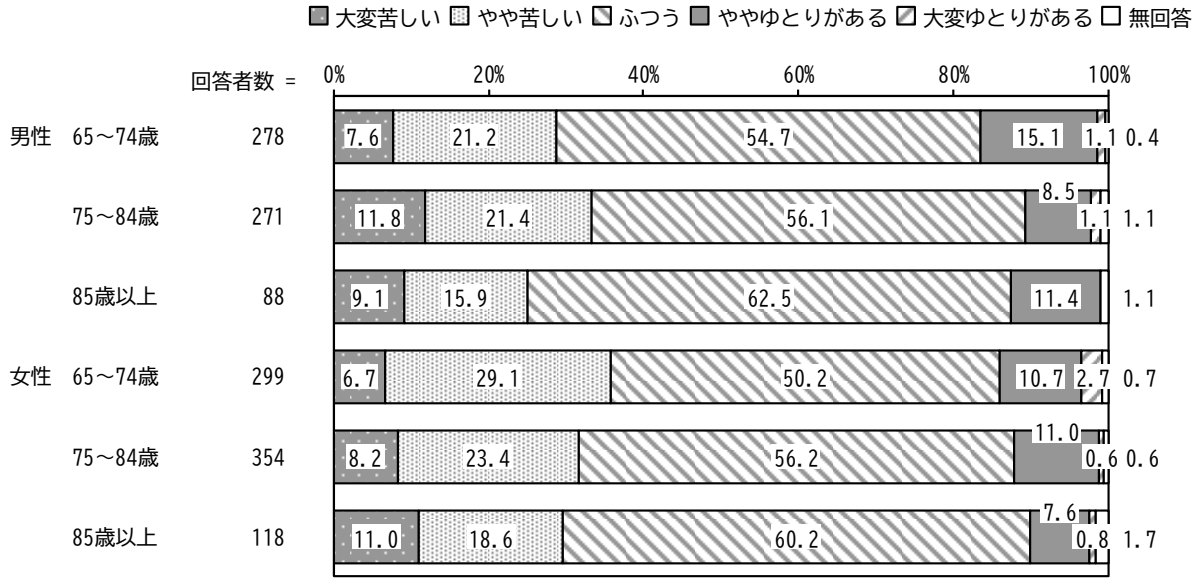
「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が 31.1%、「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が 12.0%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



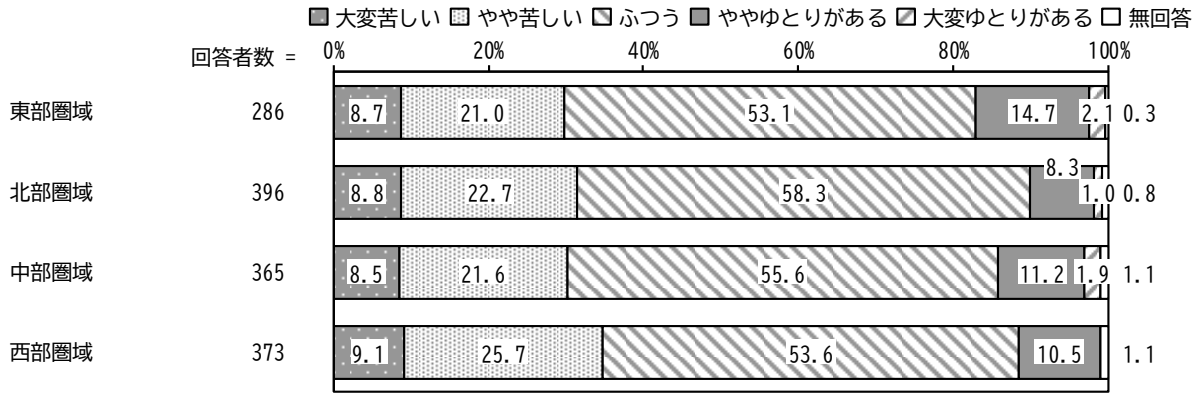
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど“苦しい”“ゆとりがある”の割合が高くなっています。



【圏域別】

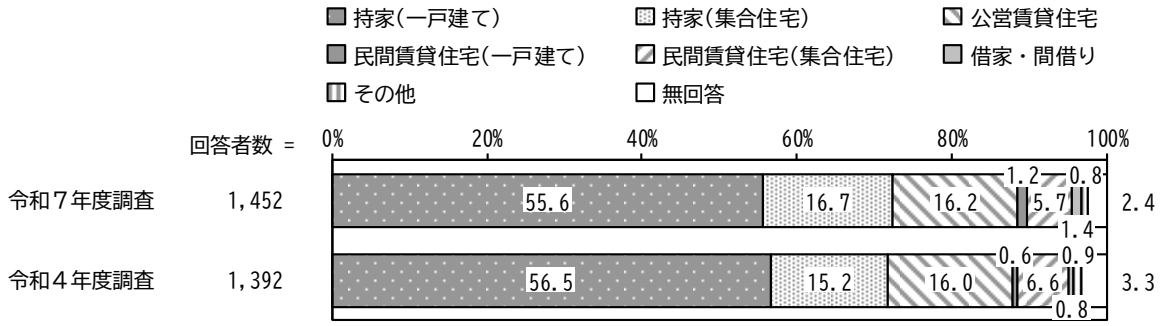
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問４　お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか。（○印は１つ）

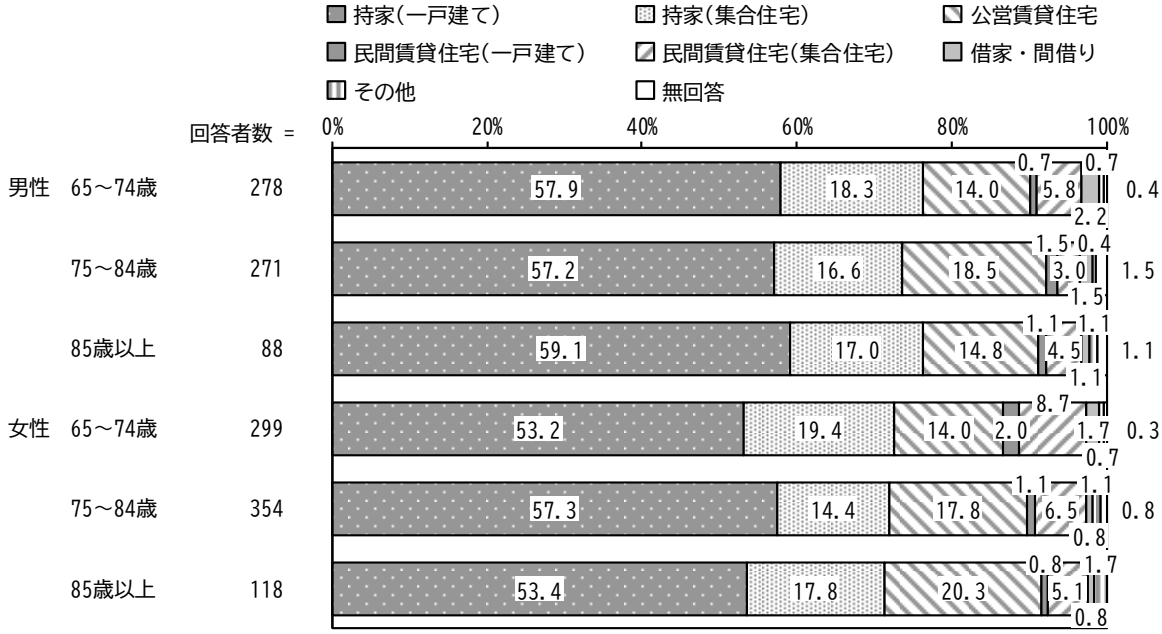
「持家(一戸建て)」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「持家(集合住宅)」の割合が 16.7%、「公営賃貸住宅」の割合が 16.2%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



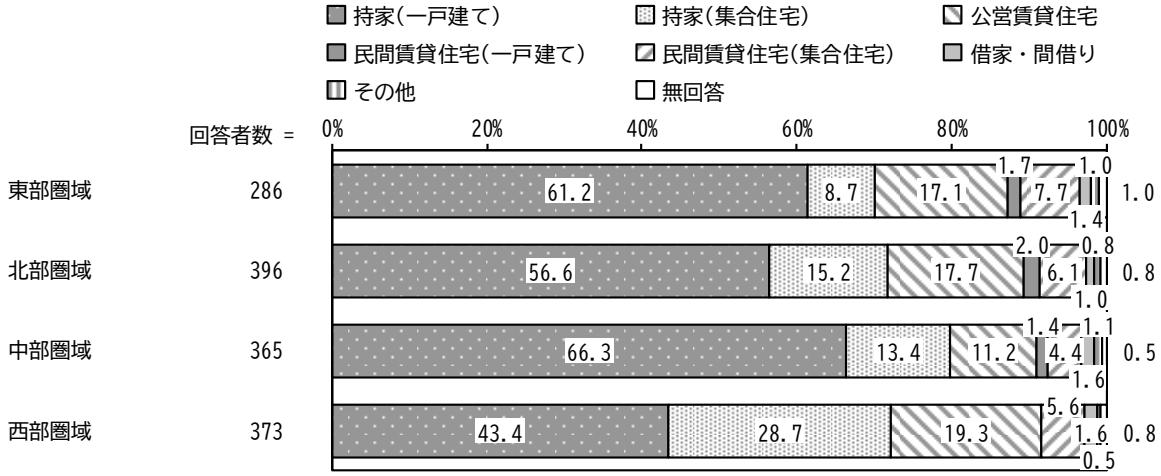
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「公営賃貸住宅」の割合が高くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、東部圏域で「持家(一戸建て)」、西部圏域で「持家(集合住宅)」「公営賃貸住宅」の割合が高くなっています。

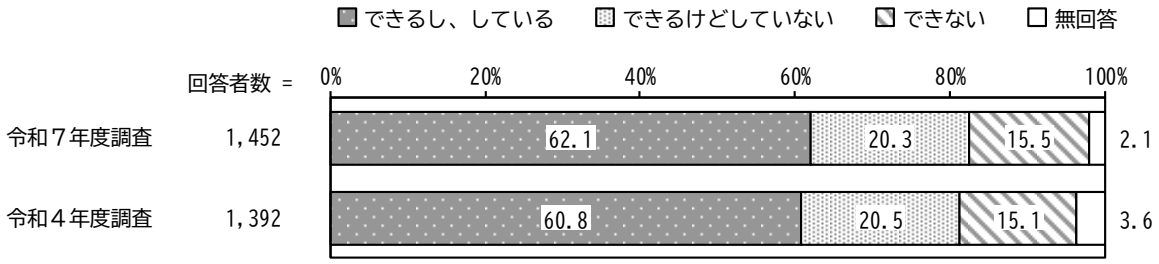


2　からだを動かすことについて

問1　あなたは、階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。（○印は１つ）

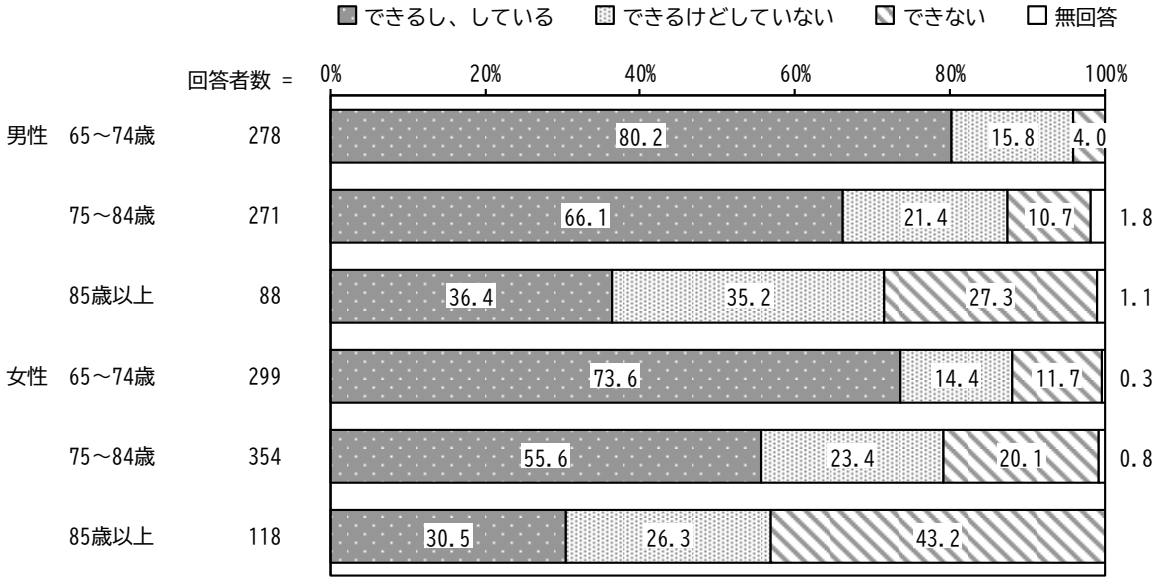
「できるし、している」の割合が 62.1%、「できるけどしていない」の割合が 20.3%、「できない」の割合が 15.5%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



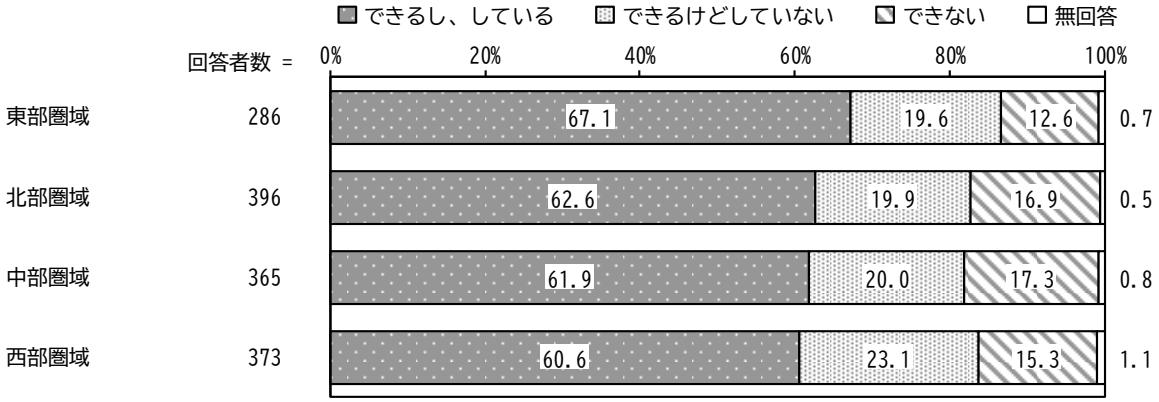
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できるけどしていない」「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



【圏域別】

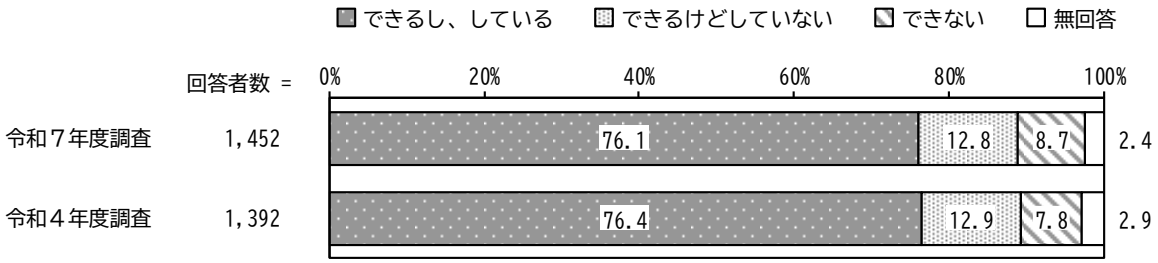
圏域別にみると、東部圏域で「できるし、している」の割合が高くなっています。



問２　いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（〇印は１つ）

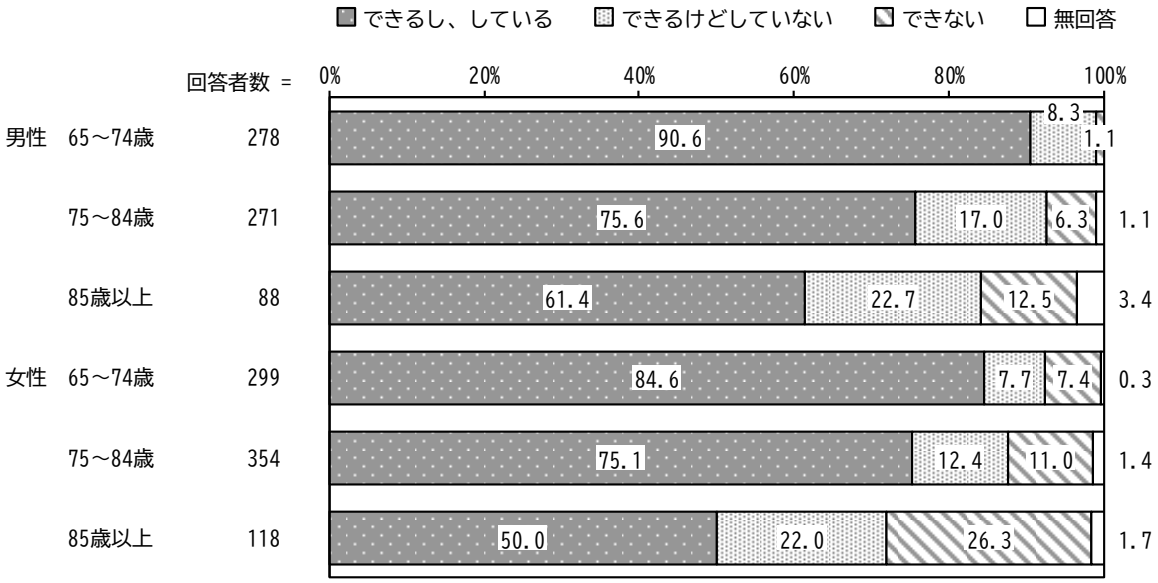
「できるし、している」の割合が 76.1%、「できるけどしていない」の割合が 12.8%、「できない」の割合が 8.7%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



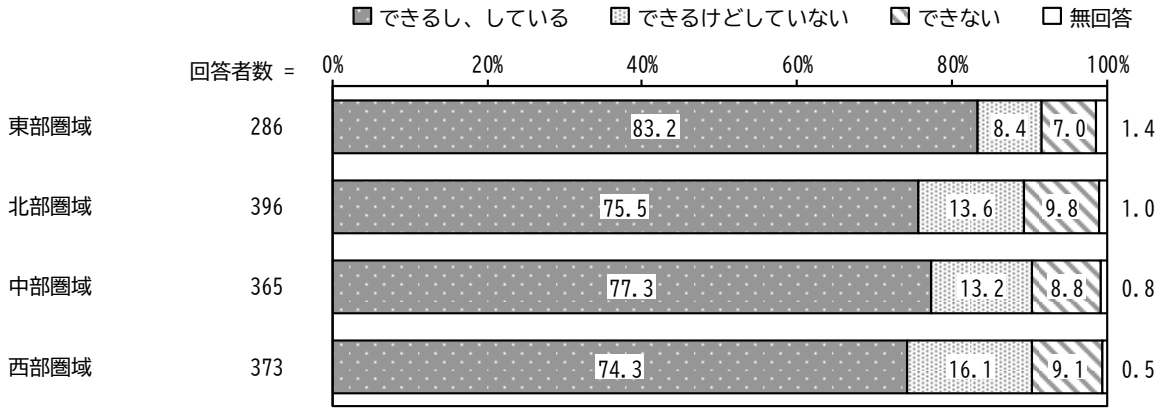
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できるけどしていない」「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



【圏域別】

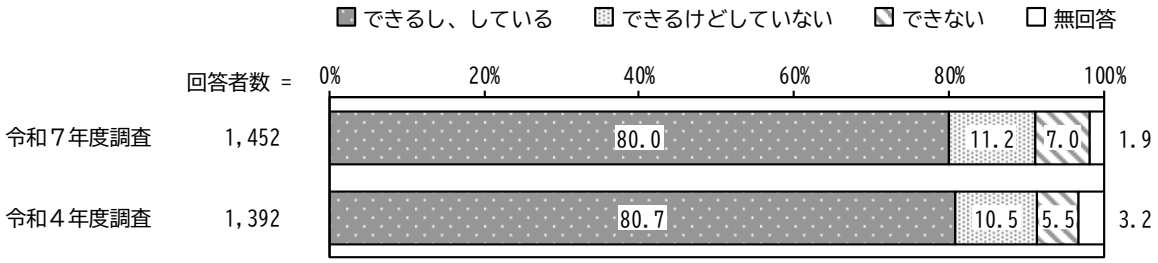
圏域別にみると、東部圏域で「できるし、している」の割合が高くなっています。



問３　15 分位続けて歩いていますか。（〇印は１つ）

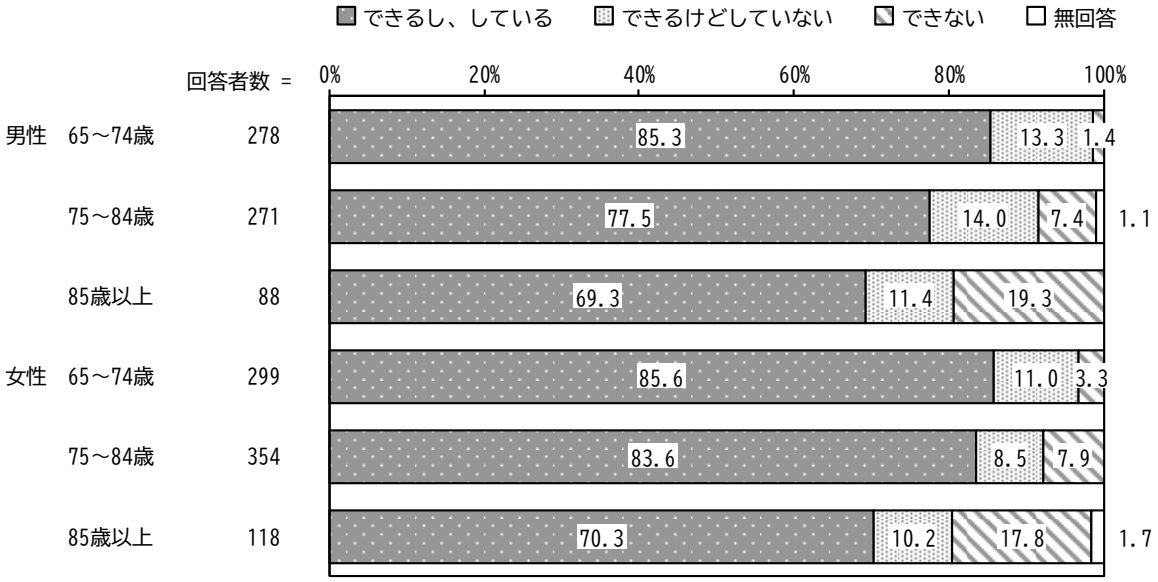
「できるし、している」の割合が 80.0%、「できるけどしていない」の割合が 11.2%、「できない」の割合が 7.0%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



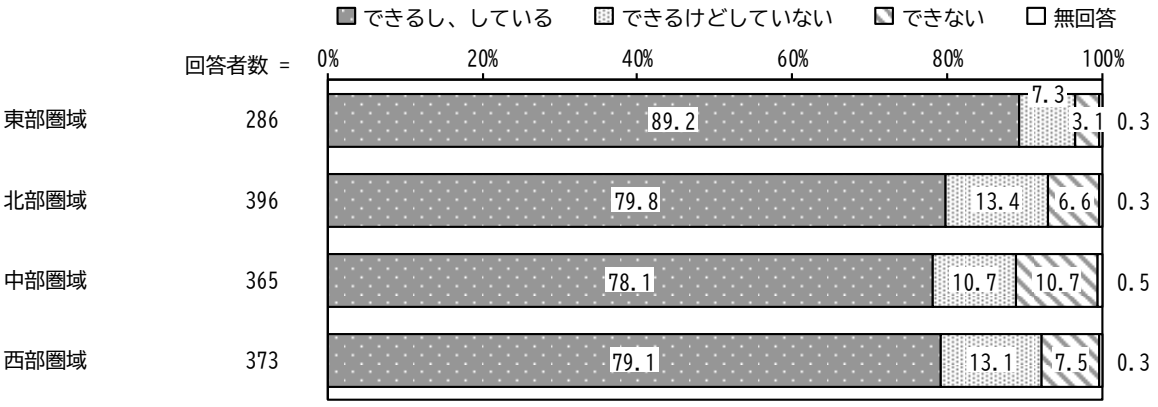
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



【圏域別】

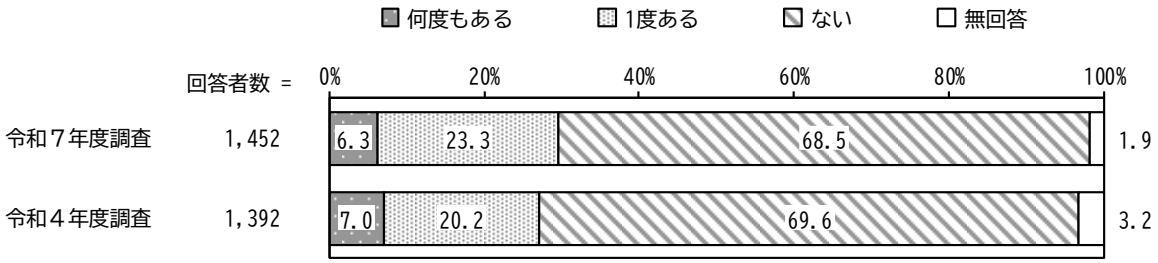
圏域別にみると、東部圏域で「できるし、している」の割合が高くなっています。



問４　過去１年間に転んだ経験がありますか。（○印は１つ）

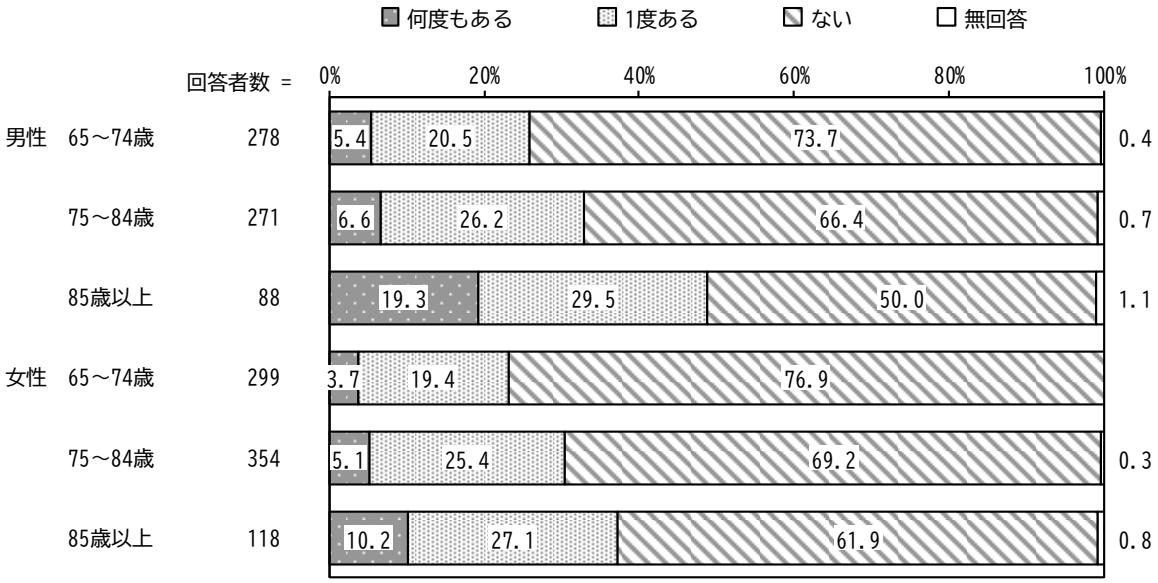
「何度もある」の割合が 6.3%、「1 度ある」の割合が 23.3%、「ない」の割合が 68.5%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



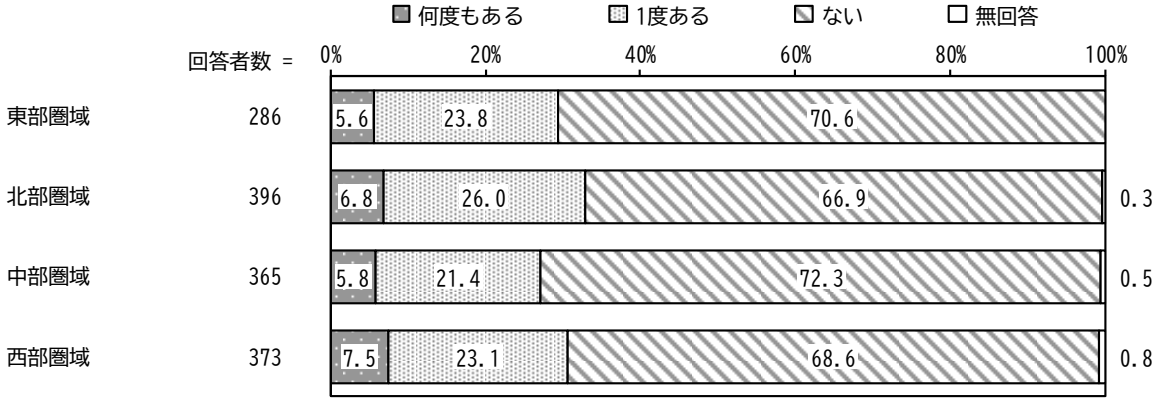
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「何度もある」「1 度ある」の割合が高く、「ない」の割合が低くなっています。



【圏域別】

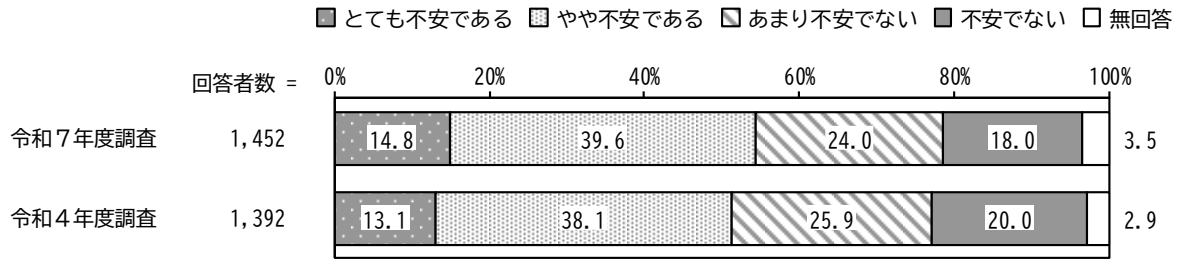
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問５　転倒に対する不安は大きいですか。（〇印は１つ）

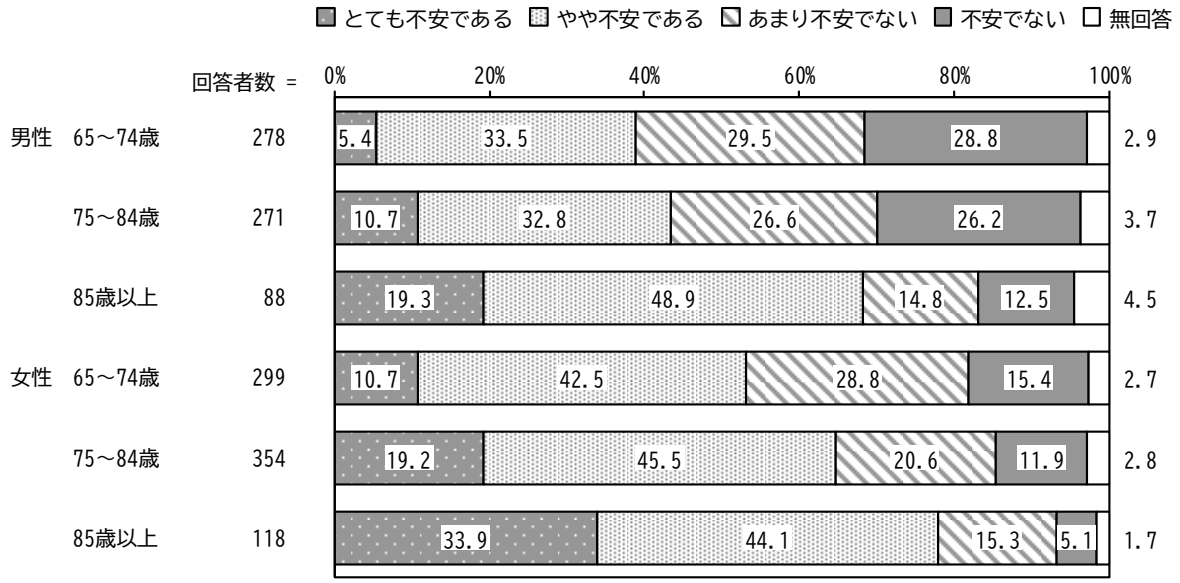
「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安である”の割合が 54.4%、「あまり不安でない」「不安でない」を合わせた“不安でない”の割合が 42.0%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



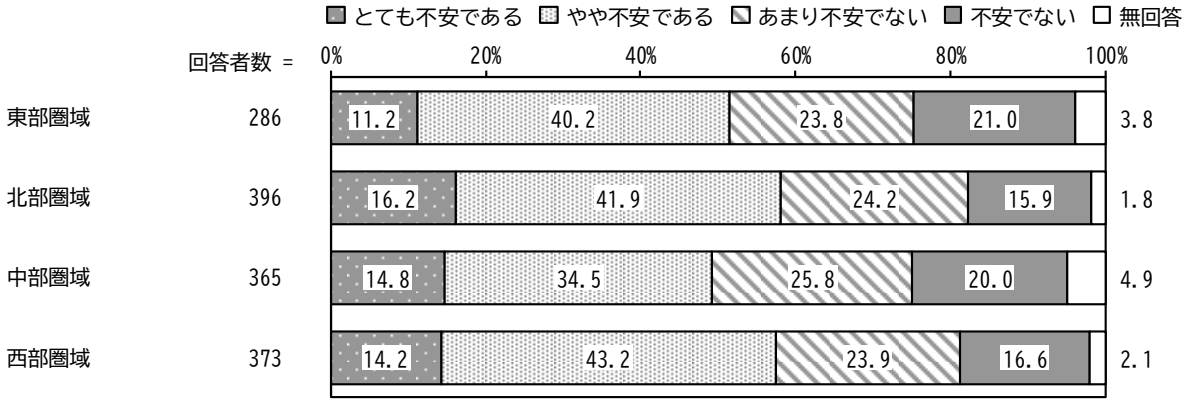
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど“不安である”の割合が高くなっています。また、女性 85 歳以上で「とても不安である」、男性 65～74 歳で「不安でない」の割合が高くなっています。



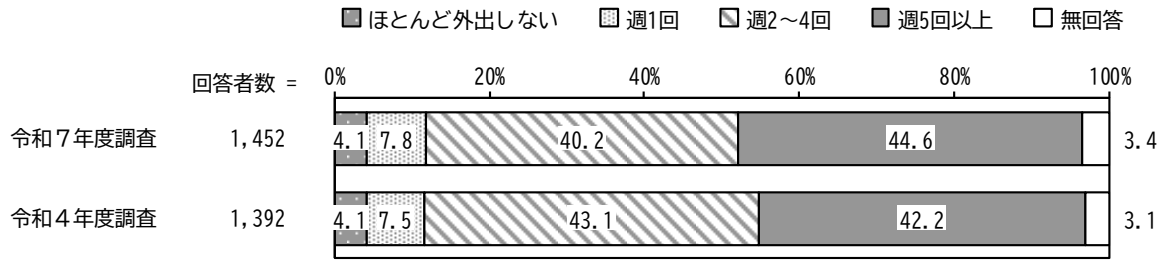
【圏域別】

圏域別にみると、中部圏域で“不安である”の割合が低くなっています。



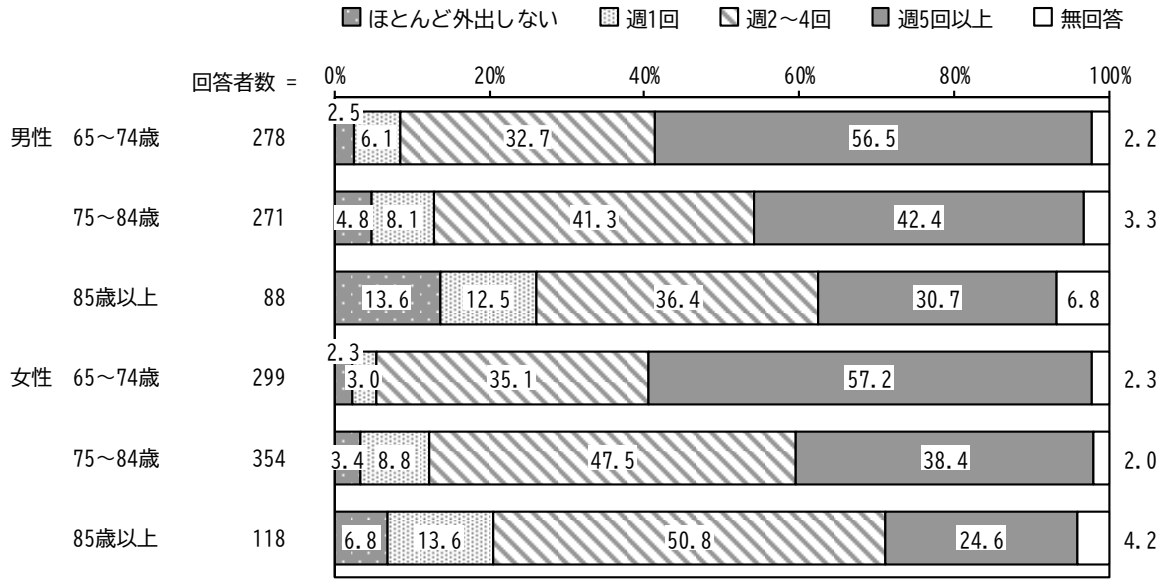
問６　週に１回以上は外出していますか。（〇印は１つ）

「週５回以上」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「週２～４回」の割合が 40.2%となっています。令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



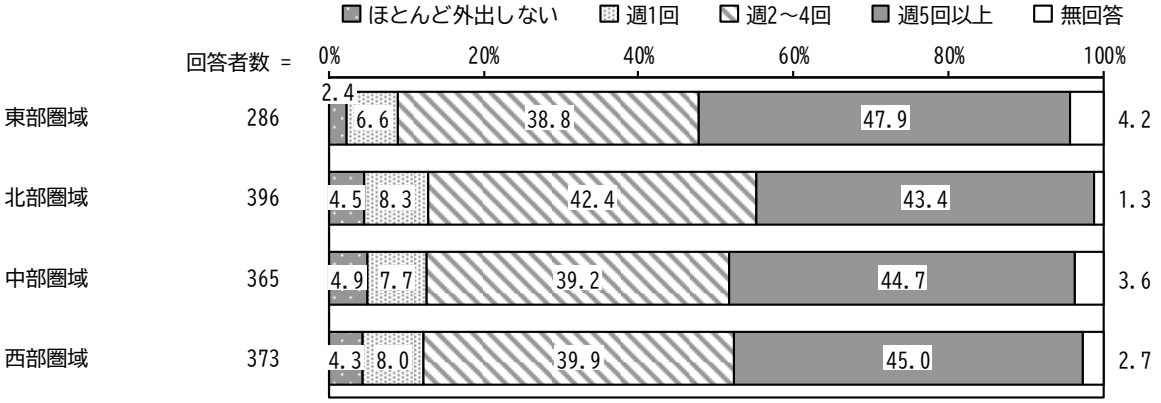
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「ほとんど外出しない」「週１回」の割合が高く、「週５回以上」の割合が低くなっています。また、女性 85 歳以上で「週２～４回」の割合が高くなっています。



【圏域別】

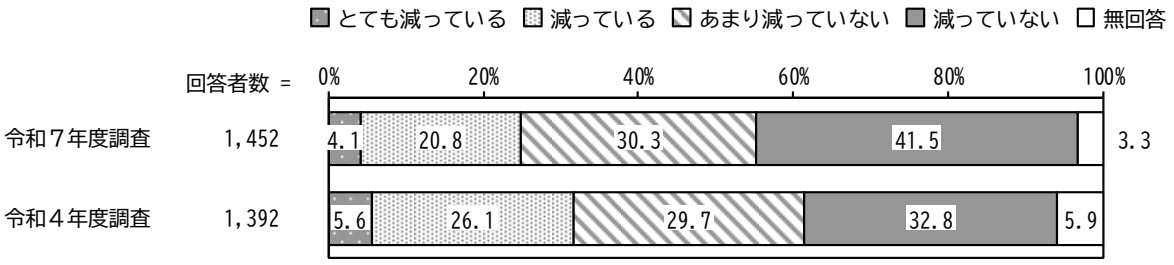
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問７　昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○印は１つ）

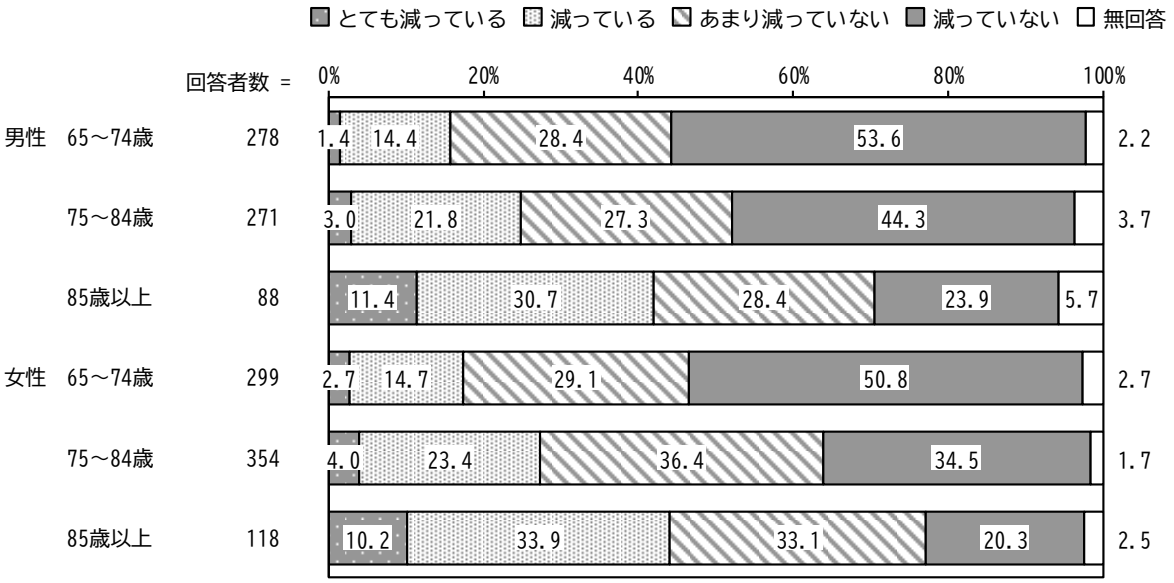
「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”の割合が 24.9%、「あまり減っていない」「減っていない」を合わせた“減っていない”の割合が 71.8%となっています。

令和４年度調査と比較すると、“減っていない”の割合が増加しています。



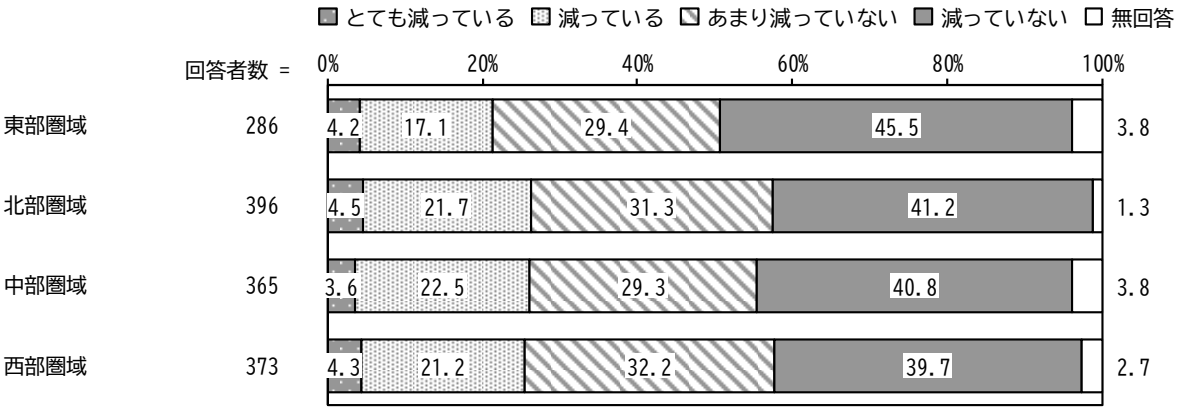
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど“減っている”の割合が高くなっています。また、女性 85 歳以上で「減っている」、男性 65～74 歳で「減っていない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

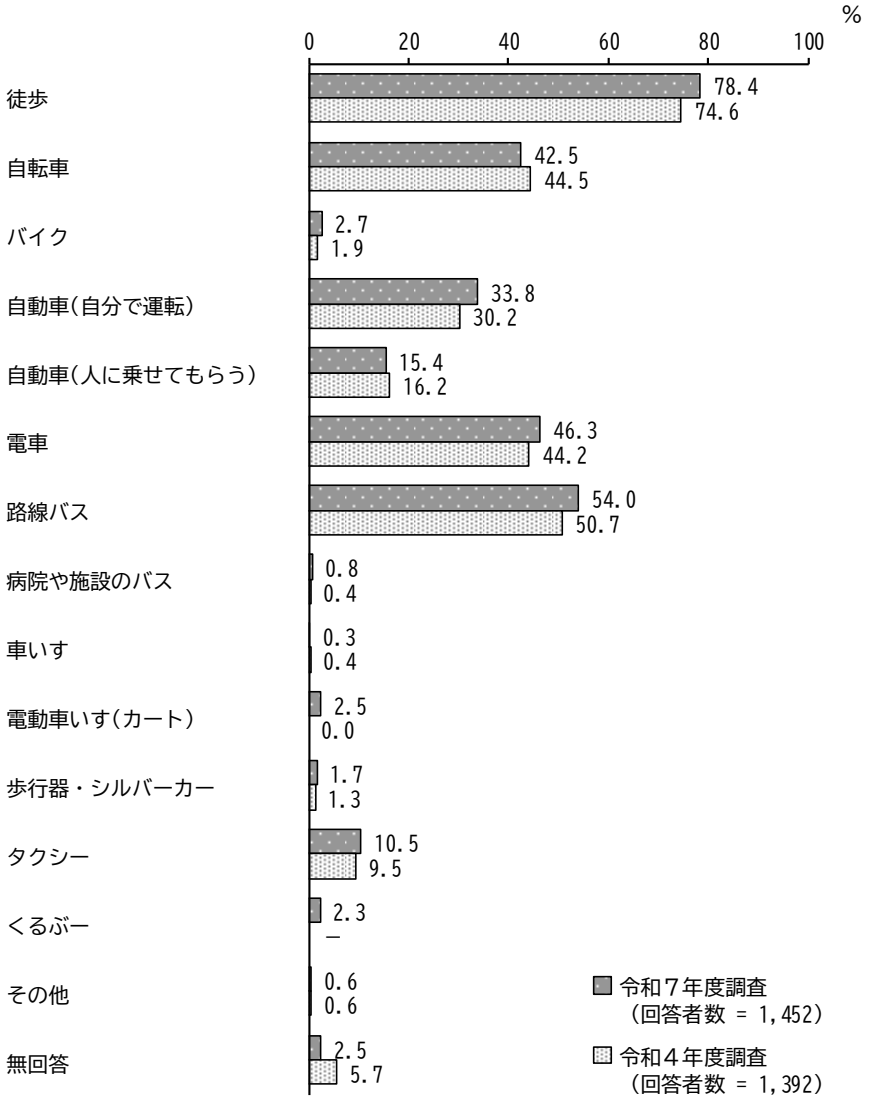
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問８　外出する際の移動手段は何ですか。（〇印はいくつでも）

「徒歩」の割合が 78.4%と最も高く、次いで「路線バス」の割合が 54.0%、「電車」の割合が 46.3%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※今回調査より、「くるぶー」を追加しています。

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「徒歩」「自転車」「自動車(自分で運転)」「電車」の割合が高く、「タクシー」の割合が低く、女性では「自転車」「自動車(自分で運転)」「自動車(人に乗せてもらう)」「電車」の割合が高くなっています。また、女性 75～84 歳で「路線バス」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス
全　体	1,452	78.4	42.5	2.7	33.8	15.4	46.3	54.0
男性　65～74歳	278	81.3	48.2	6.8	69.1	6.8	53.2	44.6
75～84歳	271	76.0	44.3	4.8	45.4	5.9	43.5	49.8
85歳以上	88	68.2	33.0	0.0	17.0	17.0	29.5	40.9
女性　65～74歳	299	78.6	57.9	1.0	30.8	23.7	55.5	54.8
75～84歳	354	81.4	37.9	0.8	15.0	21.8	48.0	66.4
85歳以上	118	77.1	12.7	0.0	2.5	16.1	29.7	61.0

区分	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	くるぶー	その他	無回答
全　体	0.8	0.3	2.5	1.7	10.5	2.3	0.6	2.5
男性　65～74歳	0.4	0.0	3.2	0.0	2.9	0.4	0.0	2.2
75～84歳	0.7	0.4	3.3	1.1	7.4	1.5	0.4	3.0
85歳以上	2.3	0.0	1.1	3.4	15.9	4.5	2.3	3.4
女性　65～74歳	0.7	0.0	1.3	0.3	7.0	0.7	1.0	1.7
75～84歳	0.8	0.8	2.3	2.3	15.5	5.1	0.6	1.4
85歳以上	1.7	0.0	3.4	7.6	26.3	2.5	0.0	0.8

【圏域別】

圏域別にみると、西部圏域で「路線バス」の割合が高くなっています。

単位：%

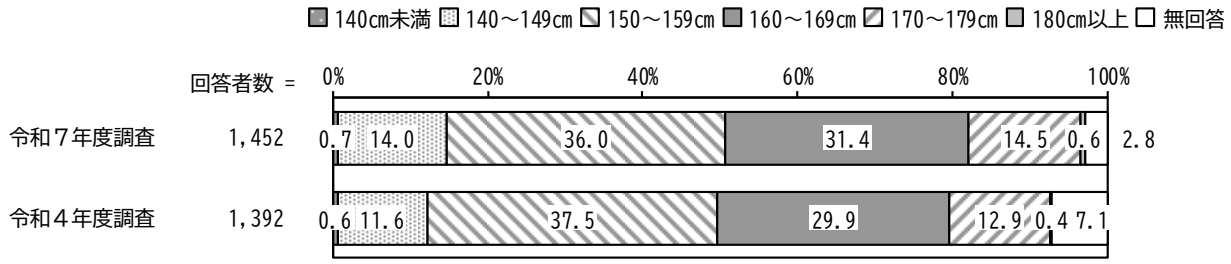
区分	回答者数（件）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	くるぶー	その他	無回答
全　体	1,452	78.4	42.5	2.7	33.8	15.4	46.3	54.0	0.8	0.3	2.5	1.7	10.5	2.3	0.6	2.5
東部圏域	286	77.3	39.2	3.8	31.1	13.6	52.1	46.2	0.7	0.3	2.4	2.1	10.8	3.1	0.7	3.5
北部圏域	396	81.3	40.7	2.3	33.8	14.9	48.2	53.8	1.3	0.3	3.5	1.3	8.3	2.5	0.8	0.5
中部圏域	365	77.0	43.6	2.5	41.1	15.6	44.9	53.2	0.8	0.3	1.9	2.2	12.3	1.6	0.3	2.7
西部圏域	373	78.3	47.5	2.4	29.8	17.2	43.2	62.5	0.5	0.3	1.9	1.3	11.3	2.1	0.5	1.9

3　食べることについて

問1　あなたの身長・体重はいくつですか。

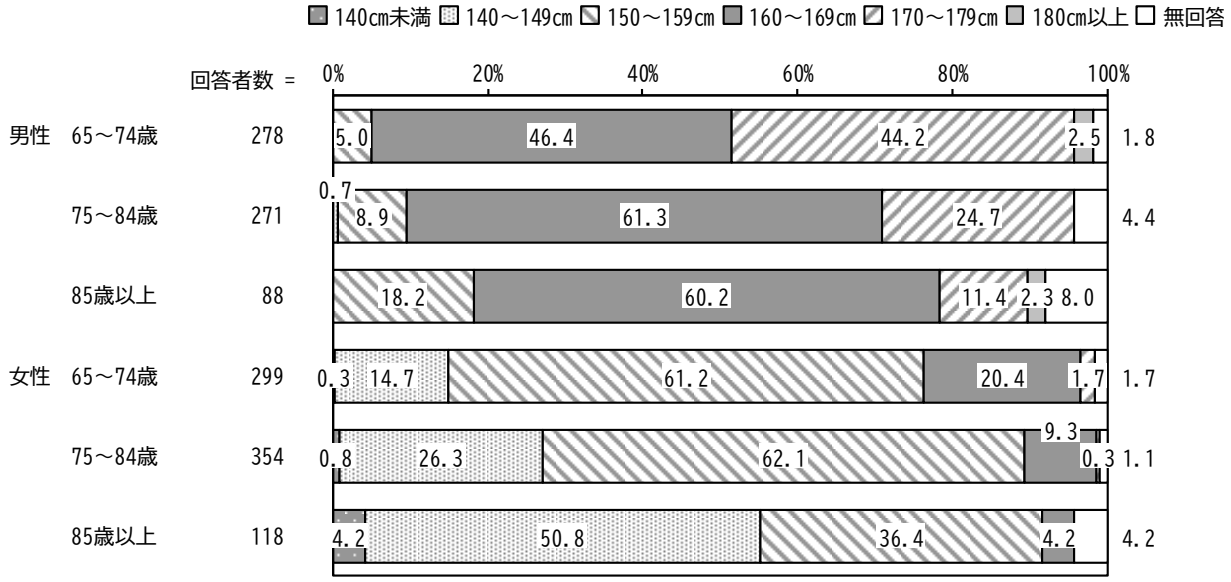
「150～159 ㎝」の割合が 36.0%と最も高く、次いで「160～169 ㎝」の割合が 31.4%、「170～179 ㎝」の割合が 14.5%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



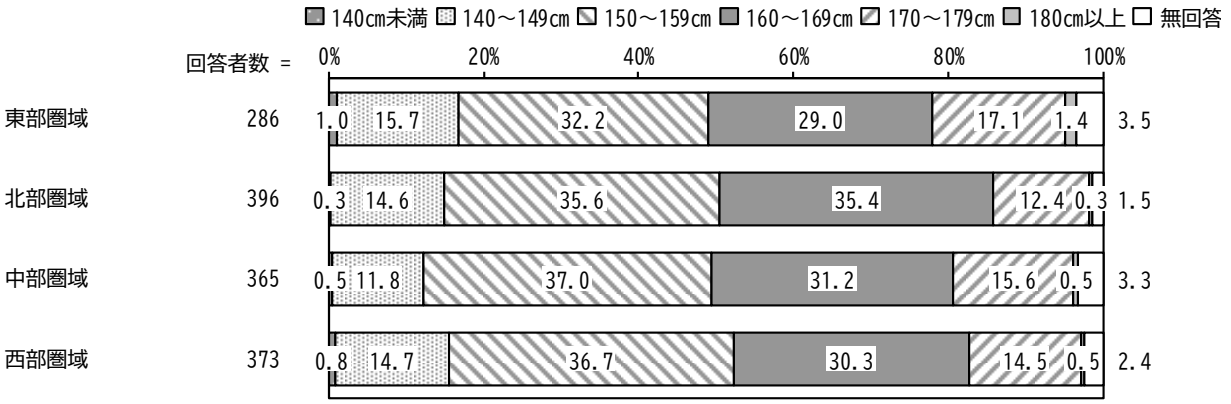
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「150～159 ㎝」の割合が高く、「170～179 ㎝」の割合が低く、女性では「140～149 ㎝」の割合が高く、「160～169 ㎝」の割合が低くなっています。



【圏域別】

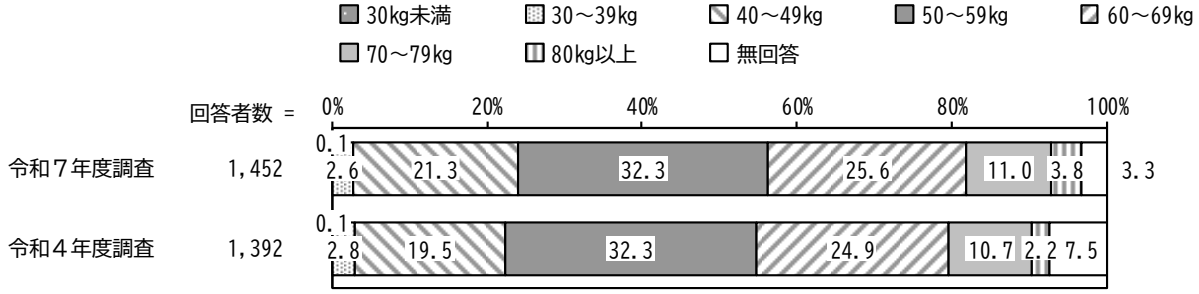
圏域別にみると、大きな差は見られません。



体重

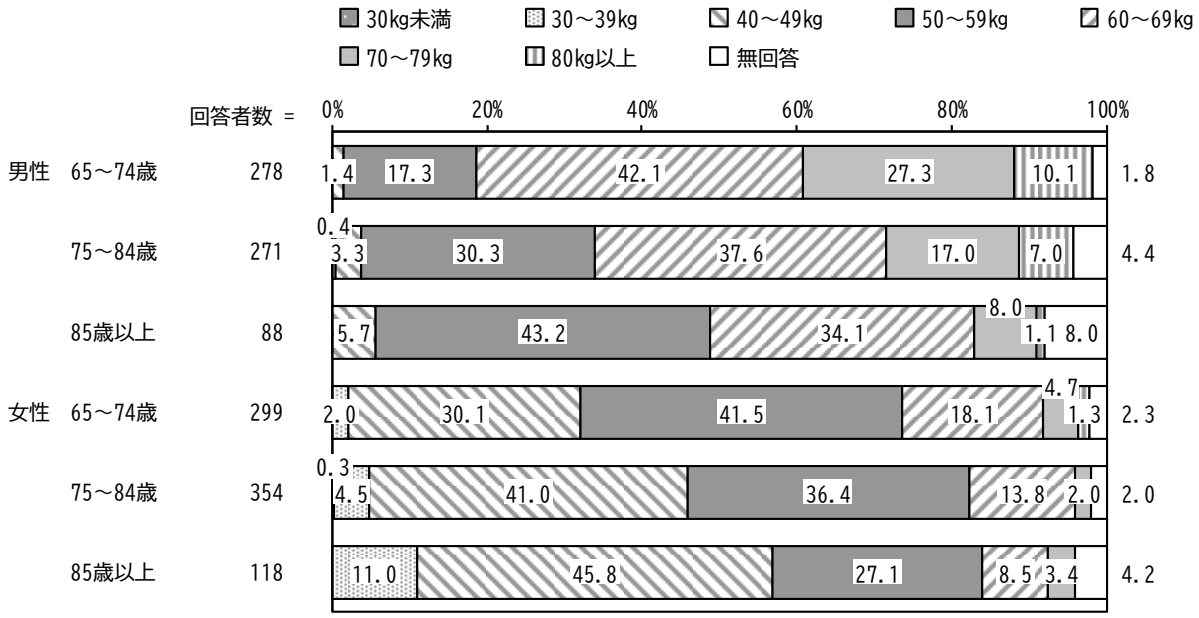
「50～59 kg」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「60～69 kg」の割合が 25.6%、「40～49 kg」の割合が 21.3%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



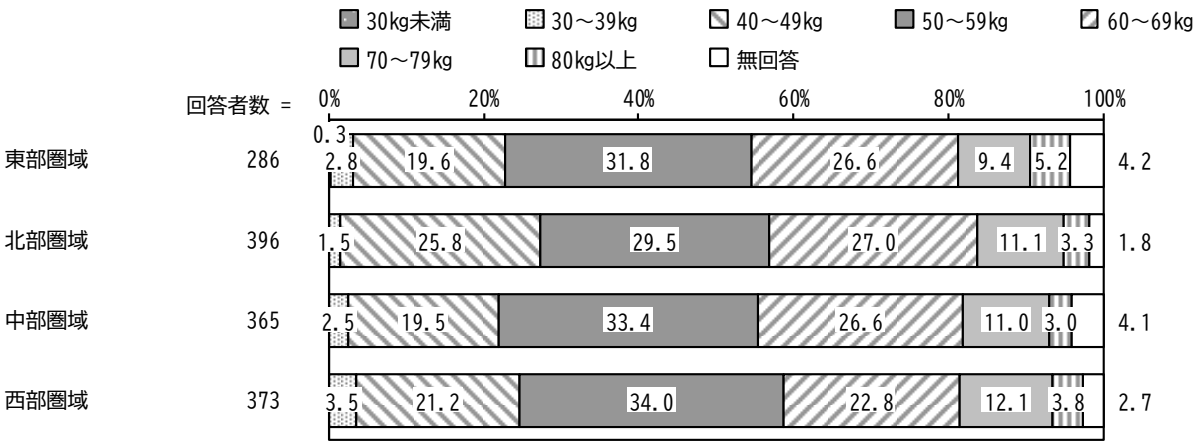
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「30～39 kg」「40～49 kg」の割合が高く、「50～59 kg」「60～69 kg」の割合が低くなっています。また、男性 65～74 歳で「70～79 kg」の割合が高くなっています。



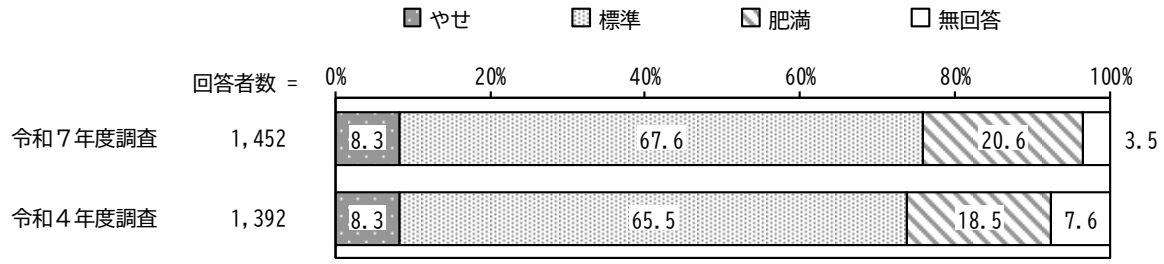
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



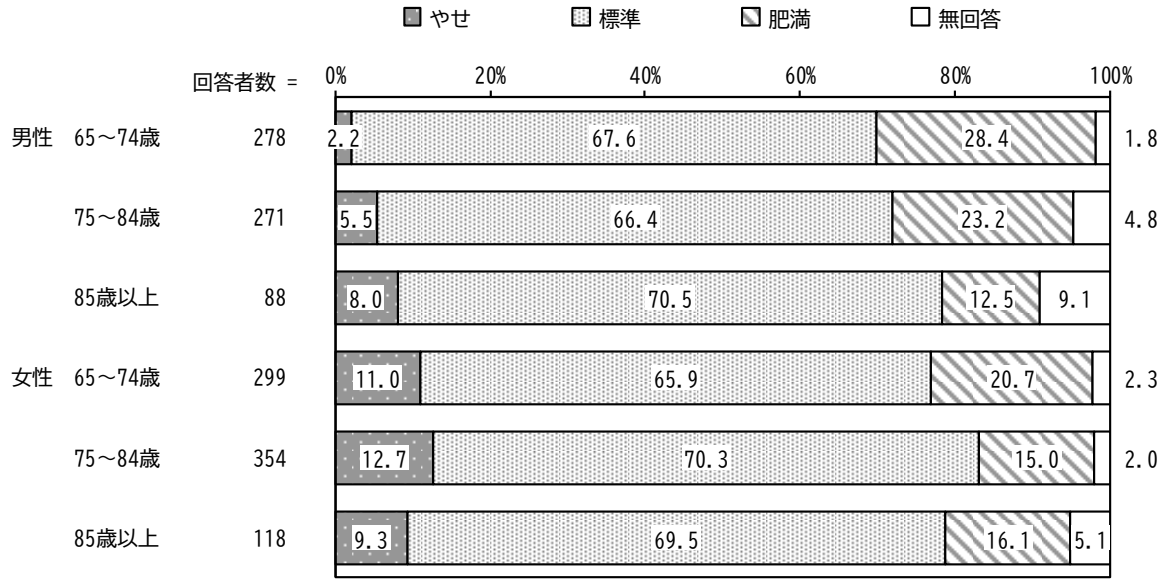
BMI

「やせ」の割合が 8.3%、「標準」の割合が 67.6%、「肥満」の割合が 20.6%となっています。
令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



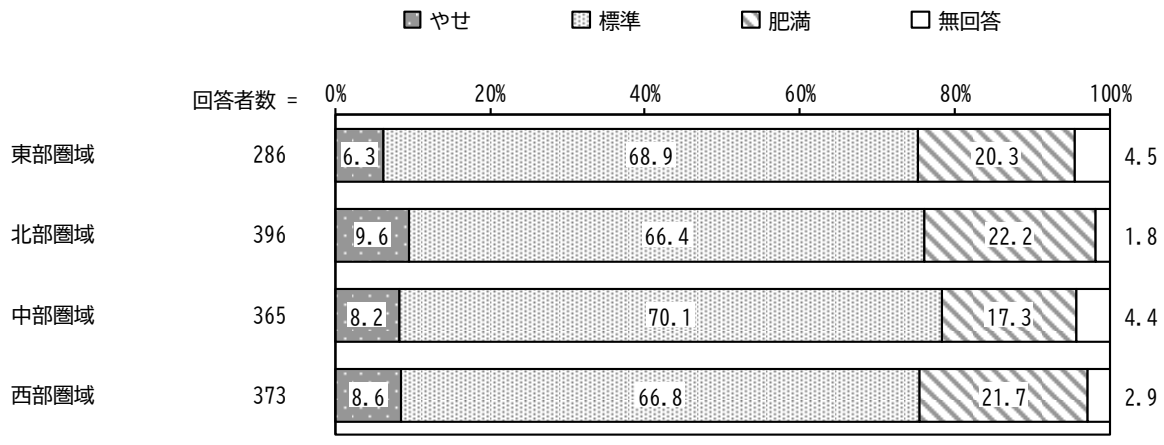
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 65～74 歳で「肥満」の割合が高く、「やせ」の割合が低くなっています。



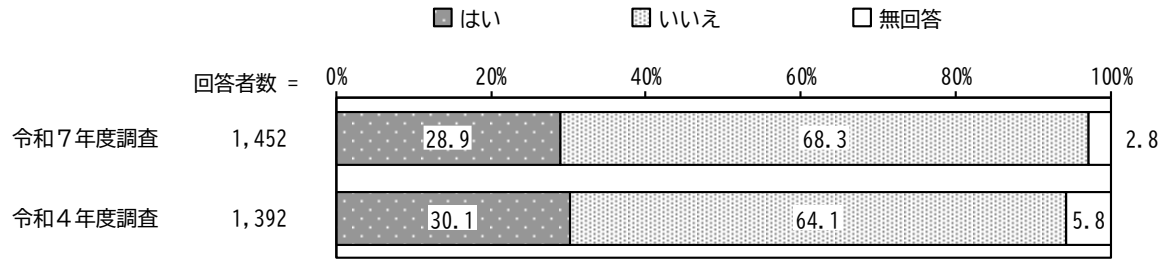
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



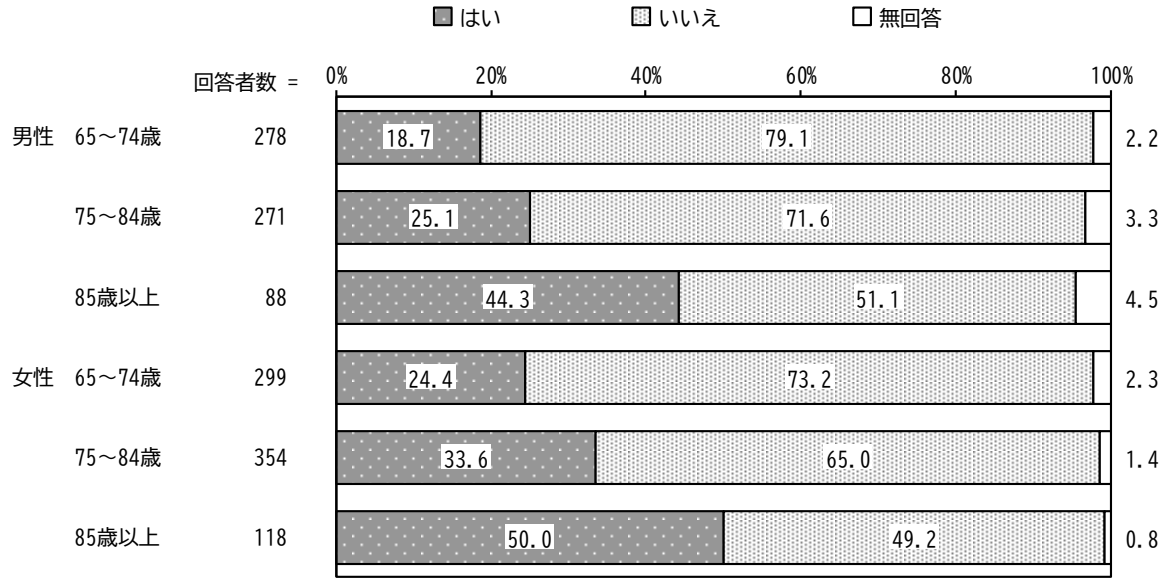
問２　半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（○印は１つ）

「はい」の割合が 28.9%、「いいえ」の割合が 68.3%となっています。
令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



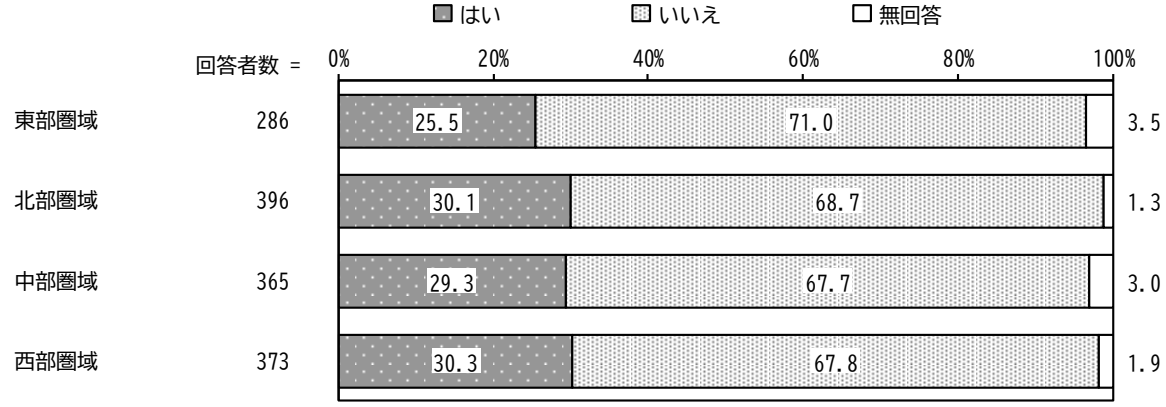
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。また、男性 65～74 歳で「いいえ」の割合が高くなっています。



【圏域別】

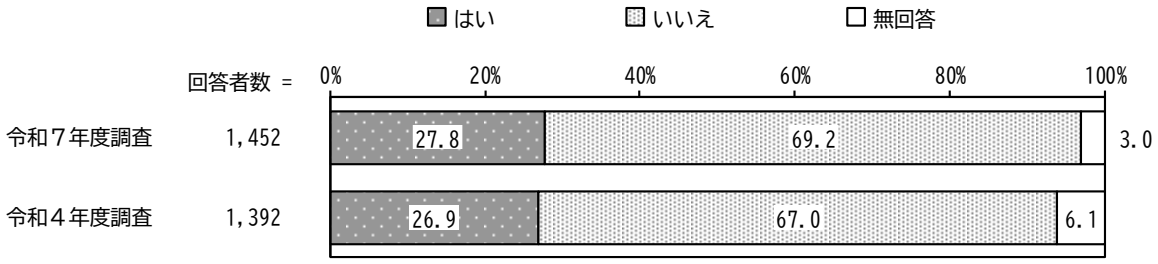
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問３　お茶や汁物等でむせることがありますか。（〇印は１つ）

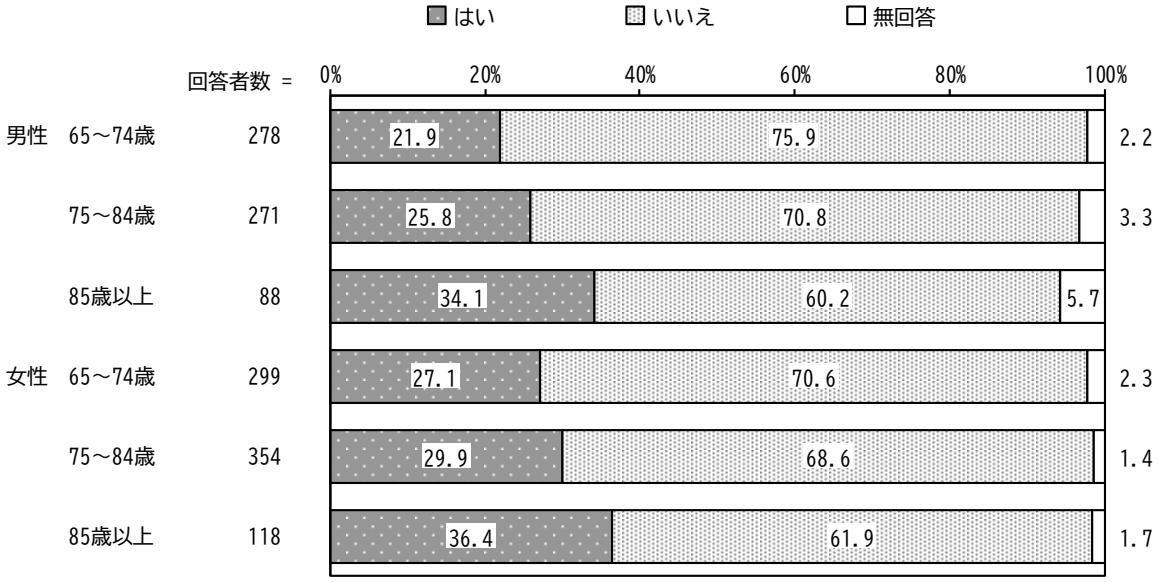
「はい」の割合が 27.8%、「いいえ」の割合が 69.2%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



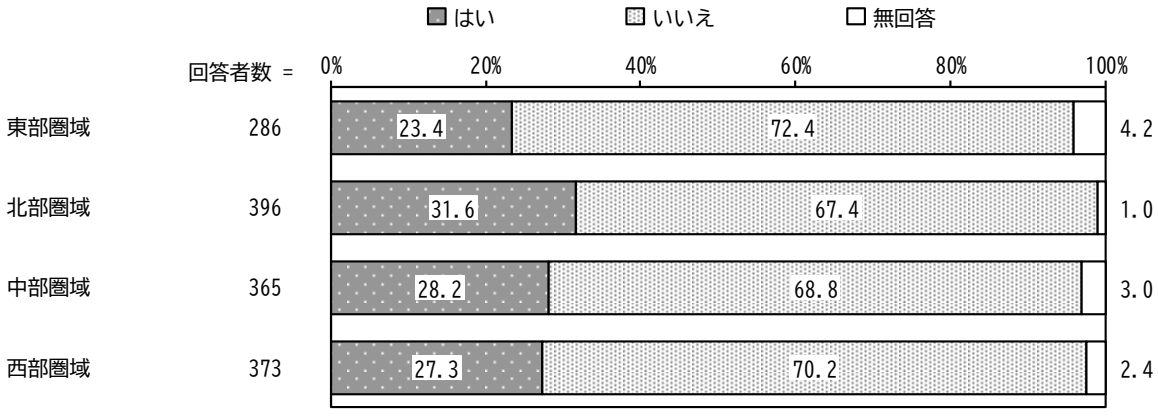
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



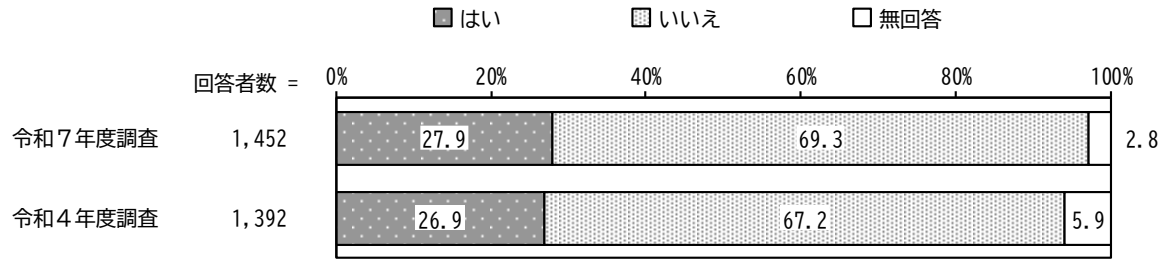
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

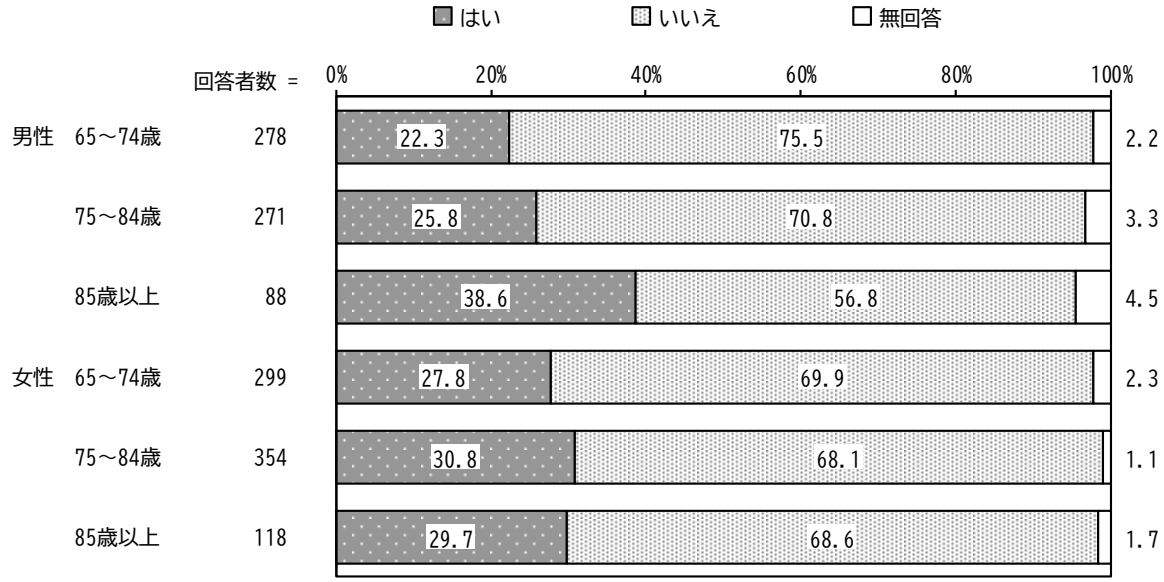


問４　口の渇きが気になりますか。（○印は１つ）

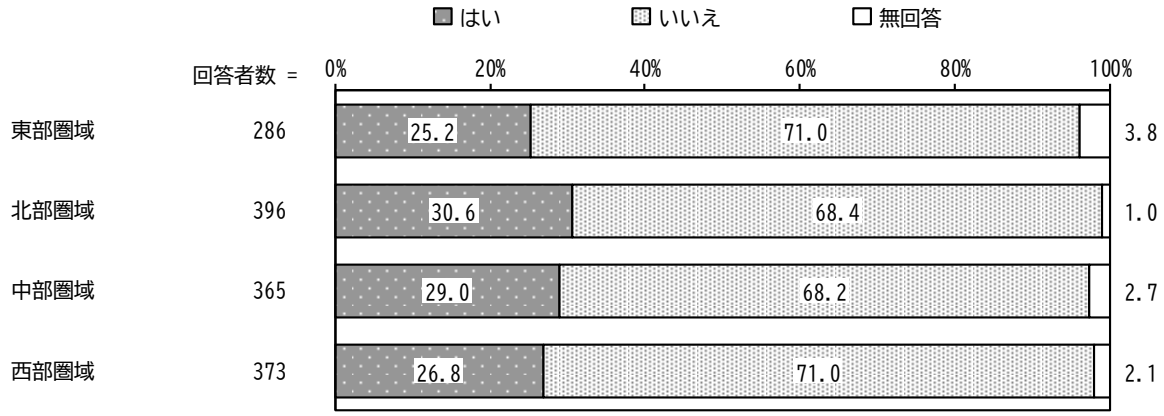
「はい」の割合が 27.9%、「いいえ」の割合が 69.3%となっています。
令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】
性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



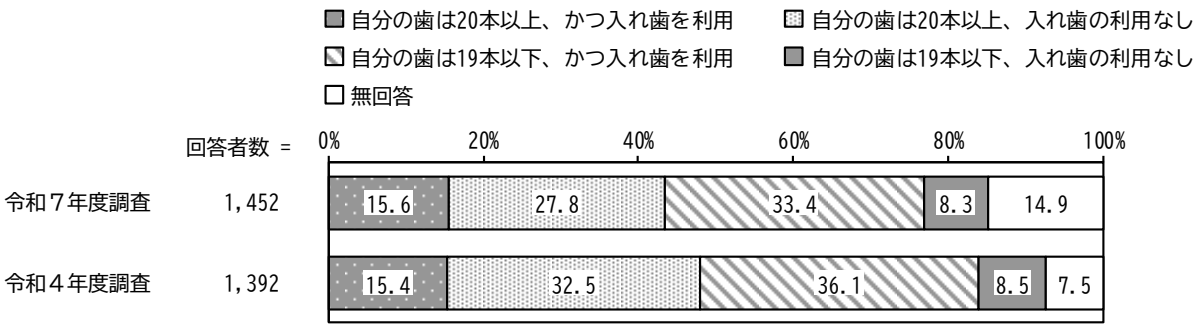
【圏域別】
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問５　歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。（○印は１つ）

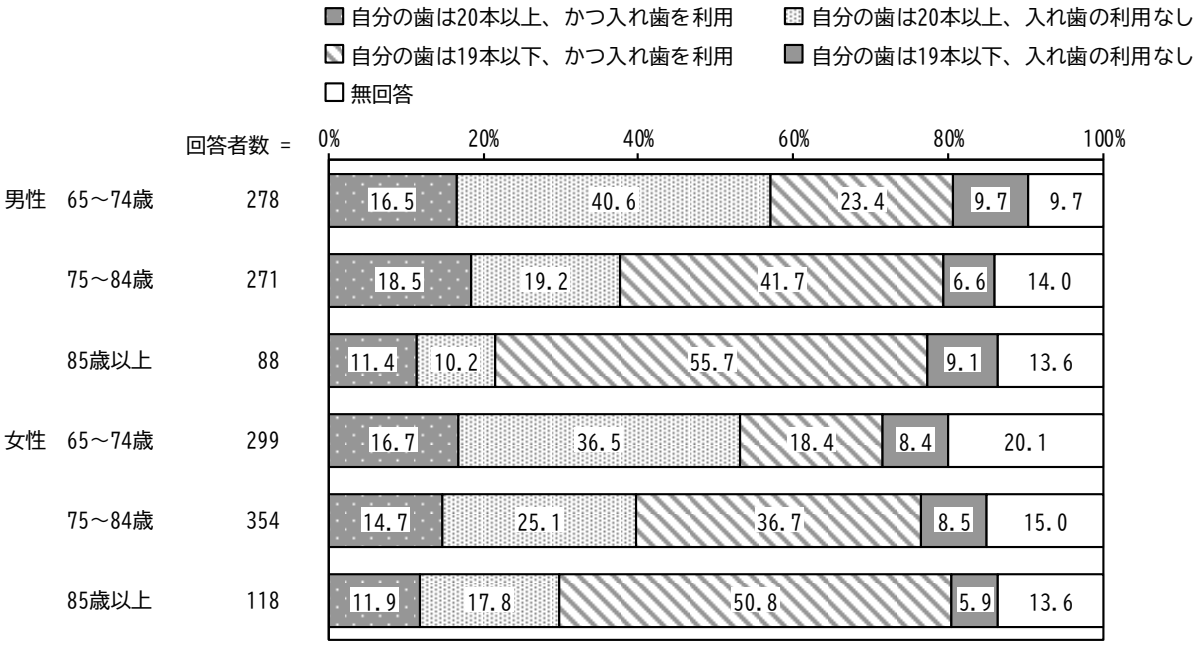
「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 33.4%と最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 27.8%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が 15.6%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



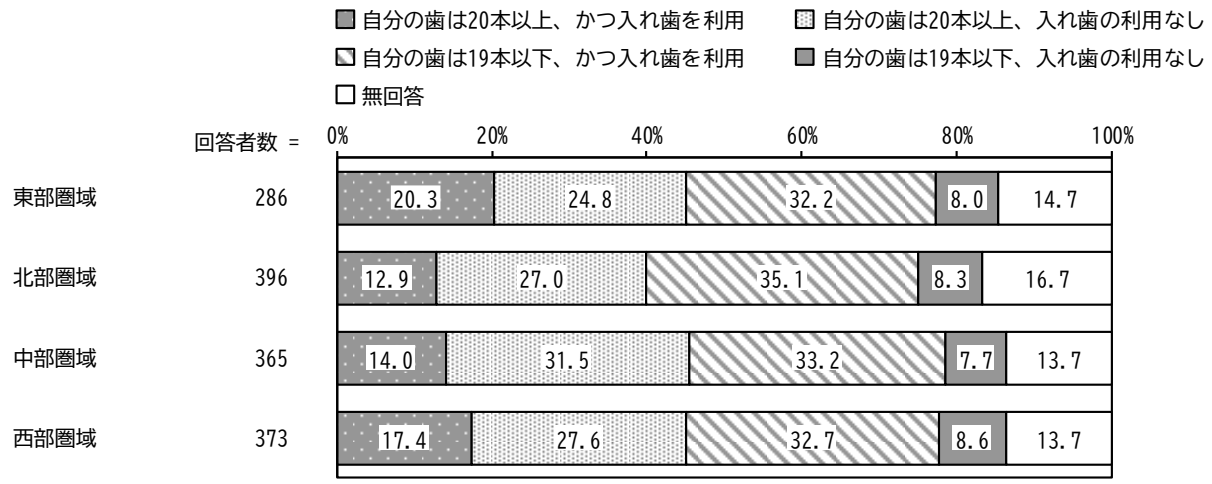
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高く、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が低く、女性では年齢が下がるほど「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が高く、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が低くなっています。



【圏域別】

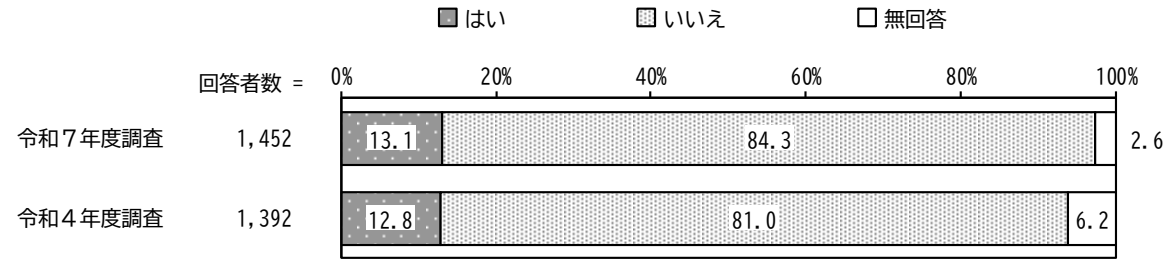
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問６　６か月間で２～３kg 以上の体重減少がありましたか。（〇印は１つ）

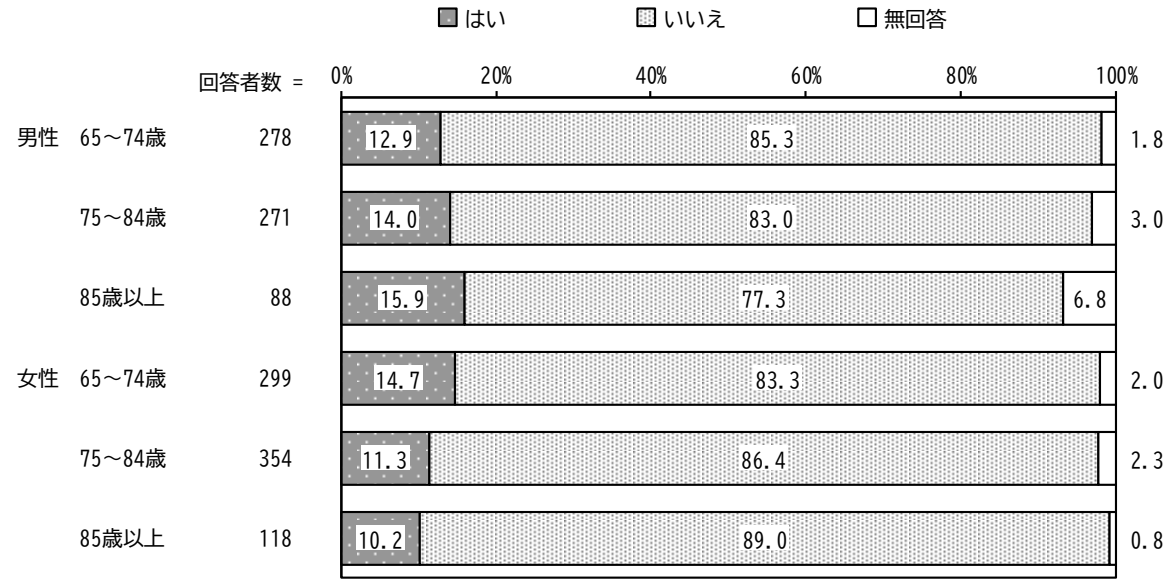
「はい」の割合が 13.1%、「いいえ」の割合が 84.3%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



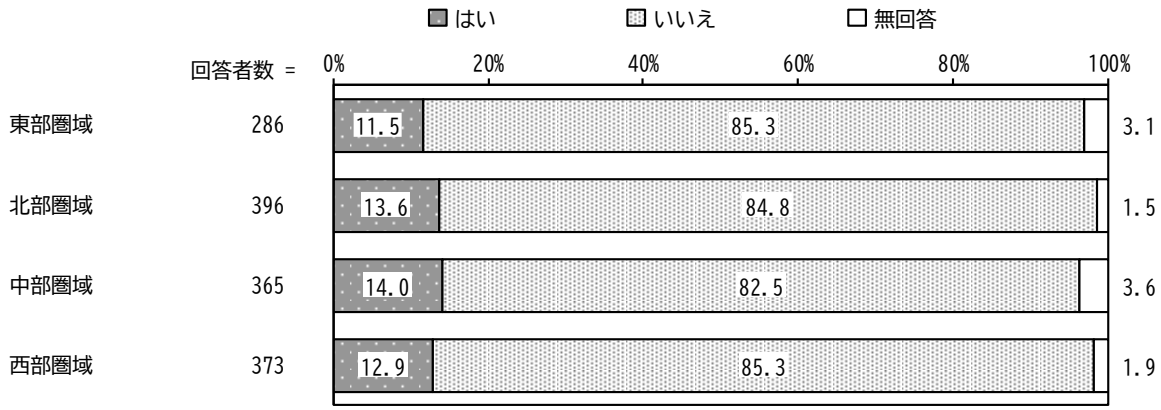
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど、女性では年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。



【圏域別】

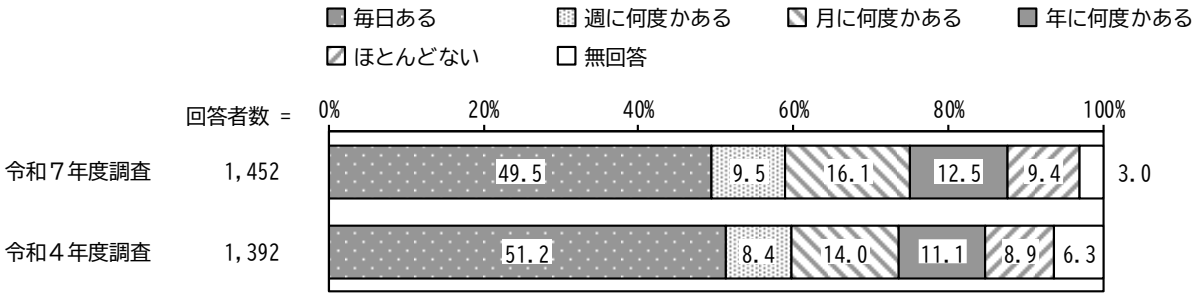
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問７　どなたかと食事をともにする機会はありますか。（〇印は１つ）

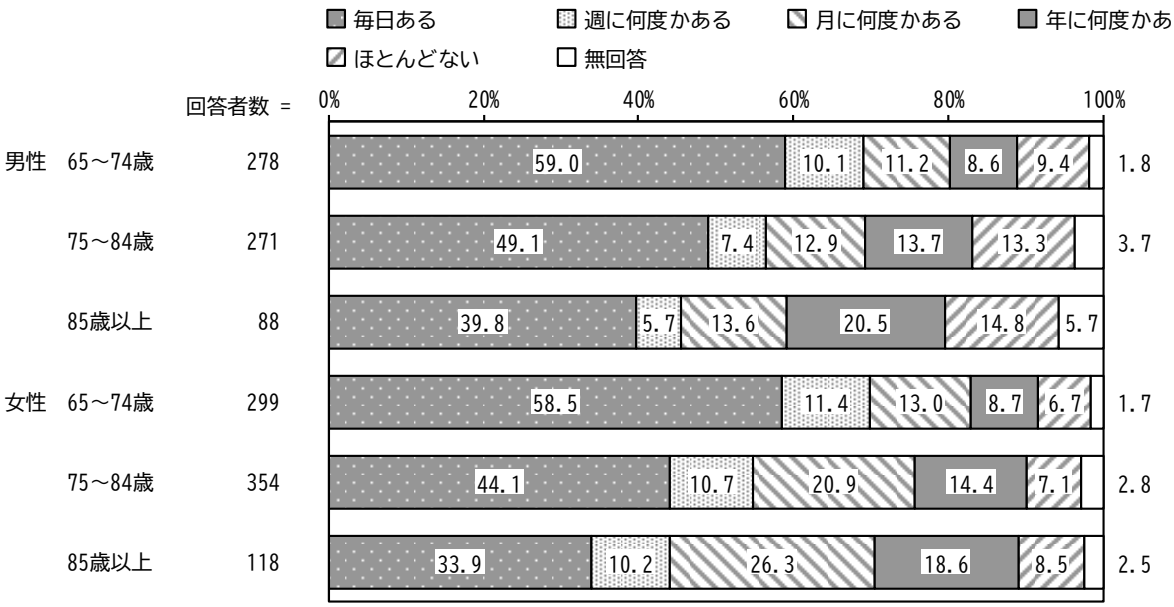
「毎日ある」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が 16.1%、「年に何度かある」の割合が 12.5%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



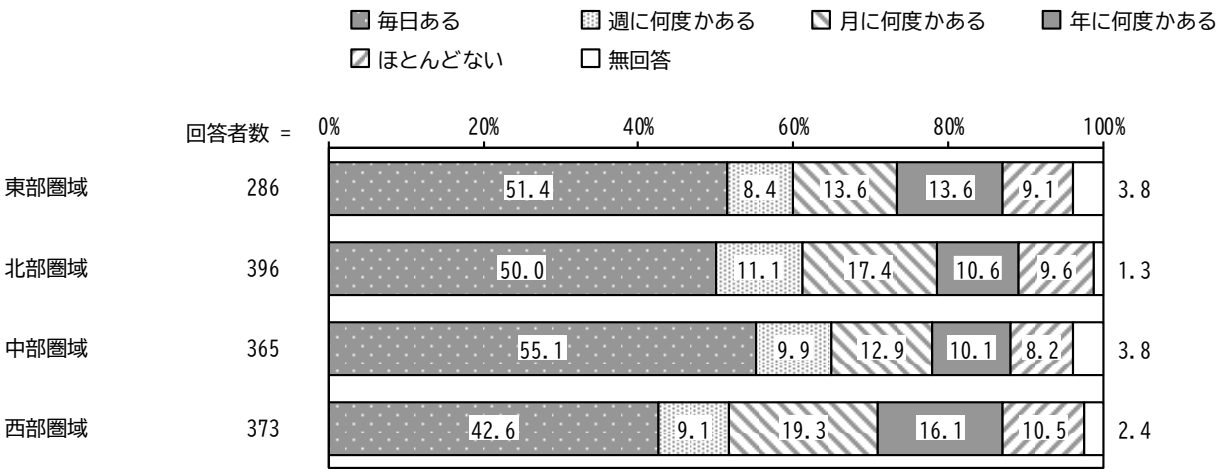
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「年に何度かある」「ほとんどない」の割合が高く、「毎日ある」「週に何度かある」の割合が低く、女性では「月に何度かある」「年に何度かある」の割合が高く、「毎日ある」の割合が低くなっています。



【圏域別】

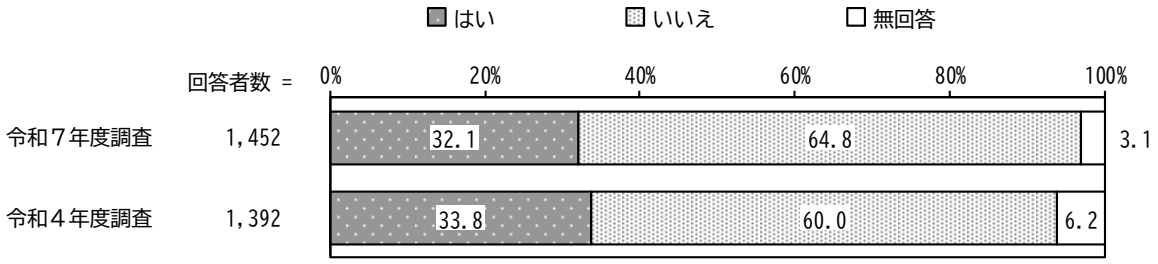
圏域別にみると、西部圏域で「毎日ある」の割合が低くなっています。



4　毎日の生活について

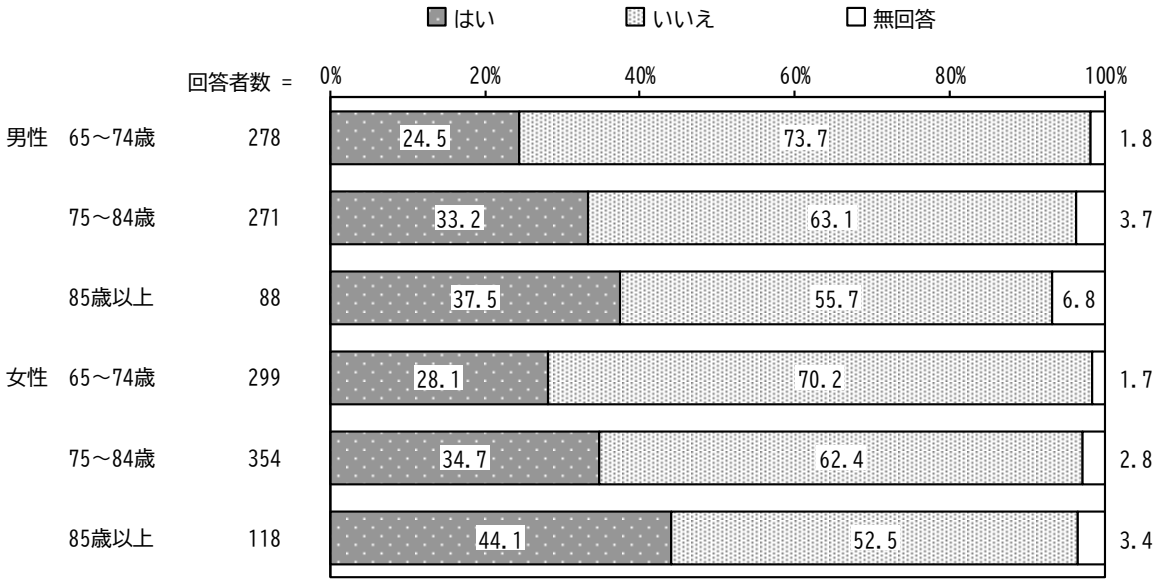
問1　あなたは、物忘れが多いと感じますか。（○印は１つ）

「はい」の割合が 32.1%、「いいえ」の割合が 64.8%となっています。
令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



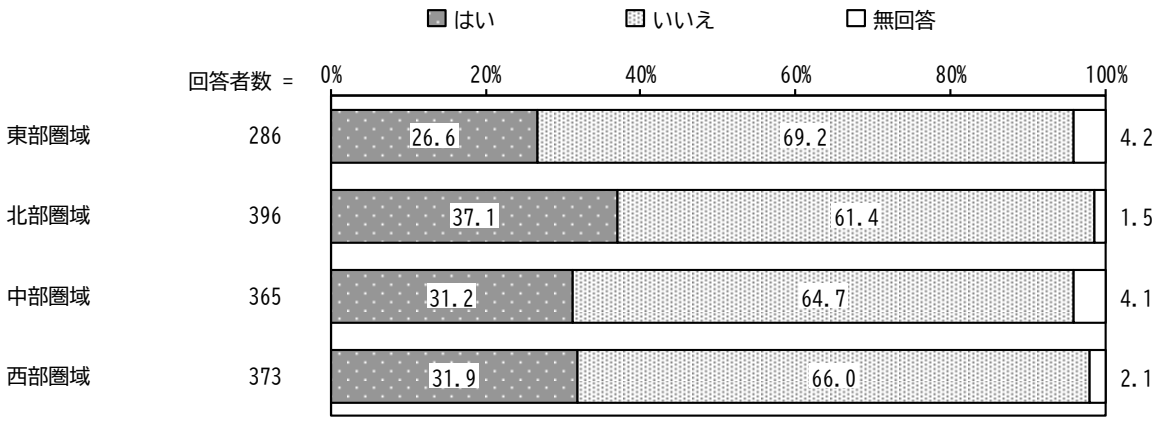
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。また、女性 85 歳以上で「いいえ」の割合が低くなっています。



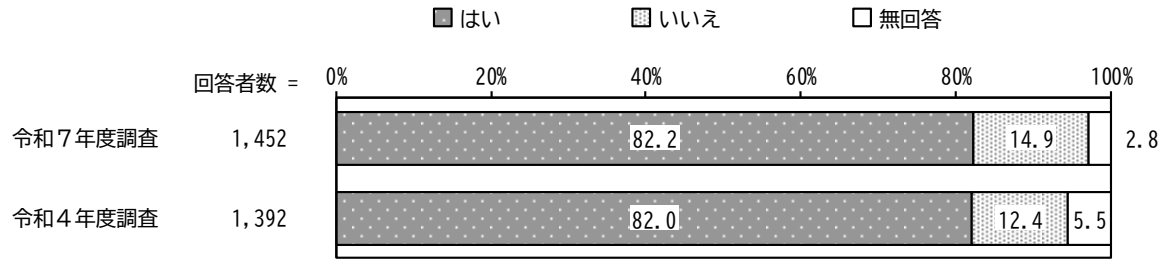
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



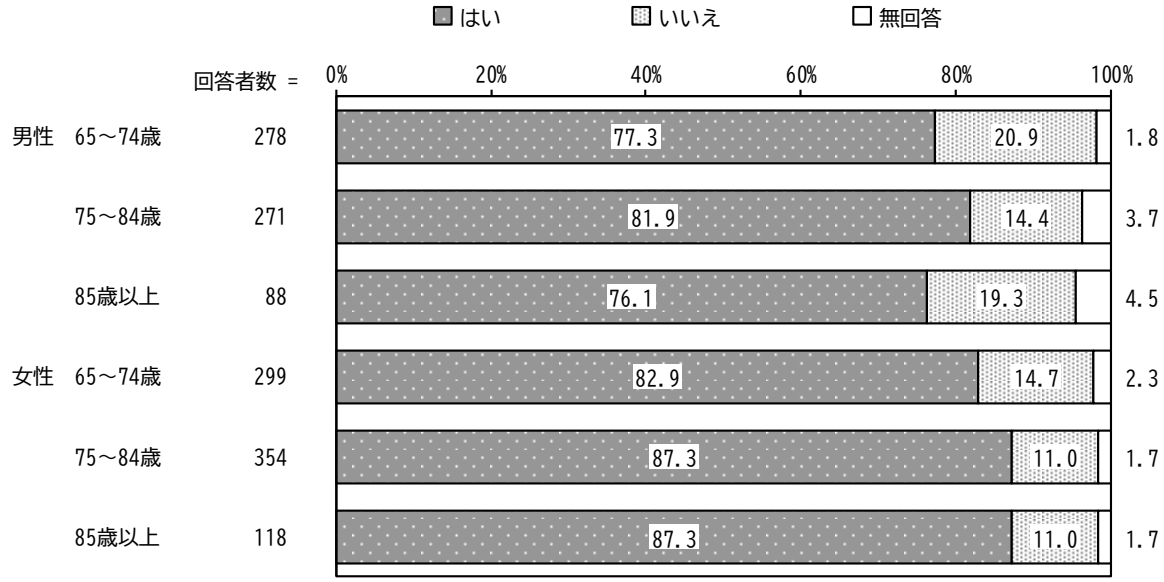
問２　自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（○印は１つ）

「はい」の割合が 82.2%、「いいえ」の割合が 14.9%となっています。
令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



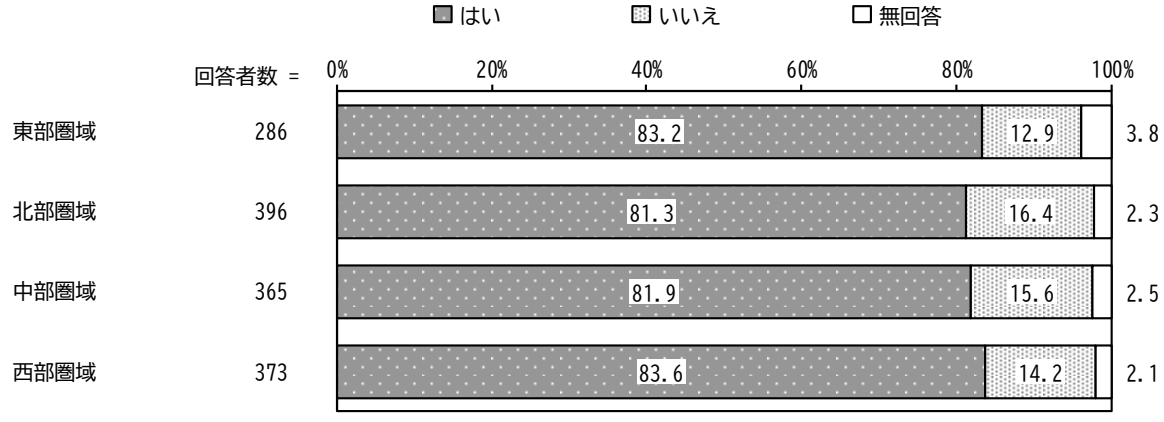
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 75～84 歳、女性 85 歳以上で「はい」、男性 65～74 歳で「いいえ」の割合が高くなっています。



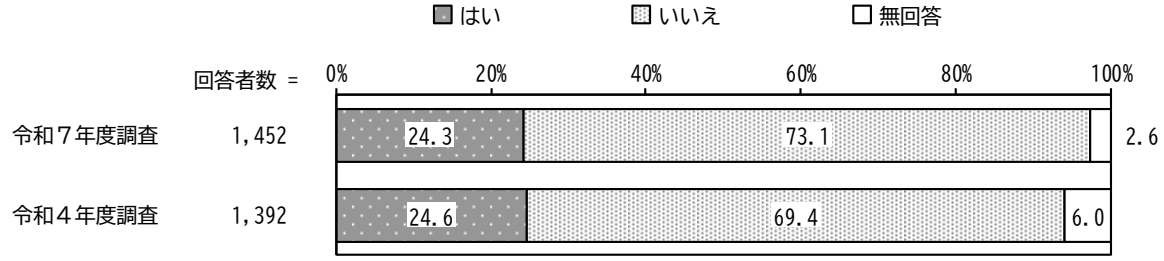
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



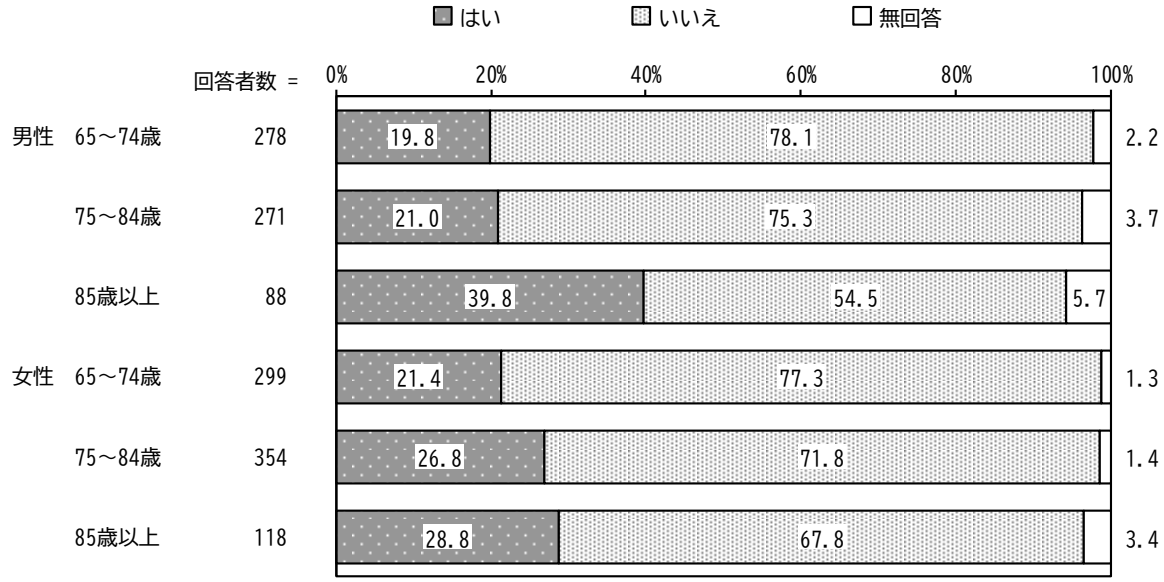
問３　今日が何月何日かわからない時がありますか。（〇印は１つ）

「はい」の割合が 24.3%、「いいえ」の割合が 73.1%となっています。
令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



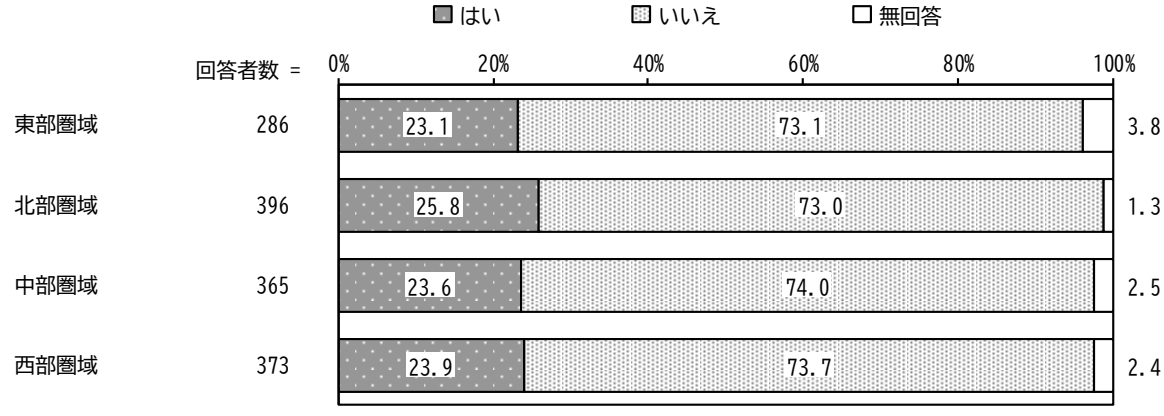
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。また、男性 85 歳以上で「いいえ」の割合が低くなっています。



【圏域別】

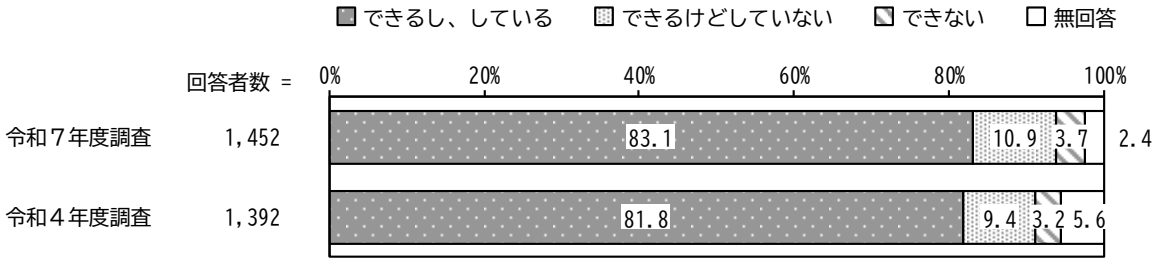
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問４　バスや電車を使って１人で外出していますか(自家用車でも可)。(○印は１つ)

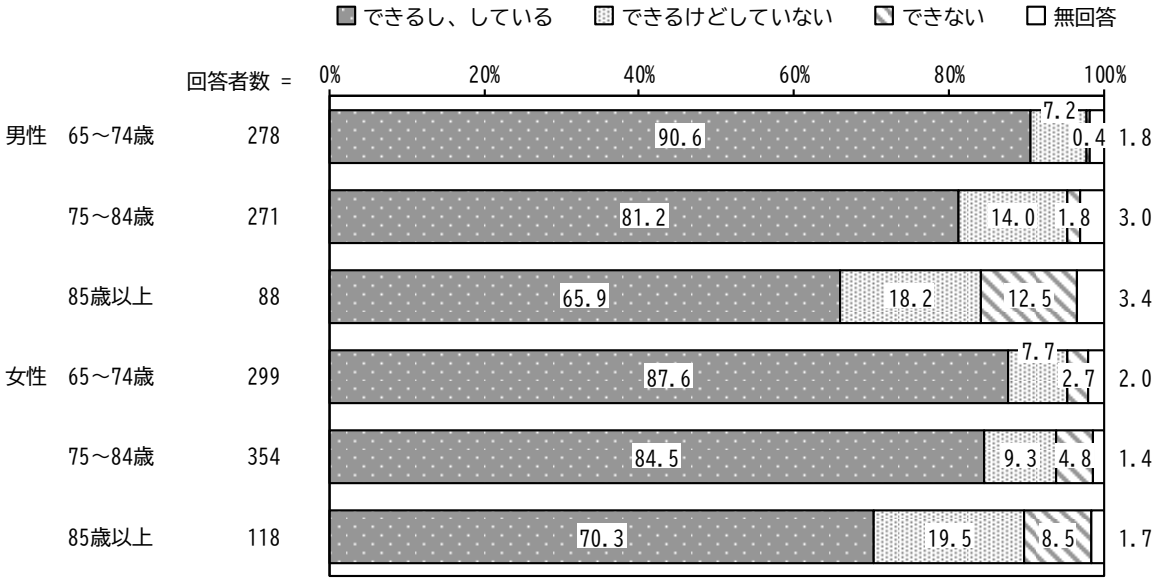
「できるし、している」の割合が 83.1%、「できるけどしていない」の割合が 10.9%、「できない」の割合が 3.7%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



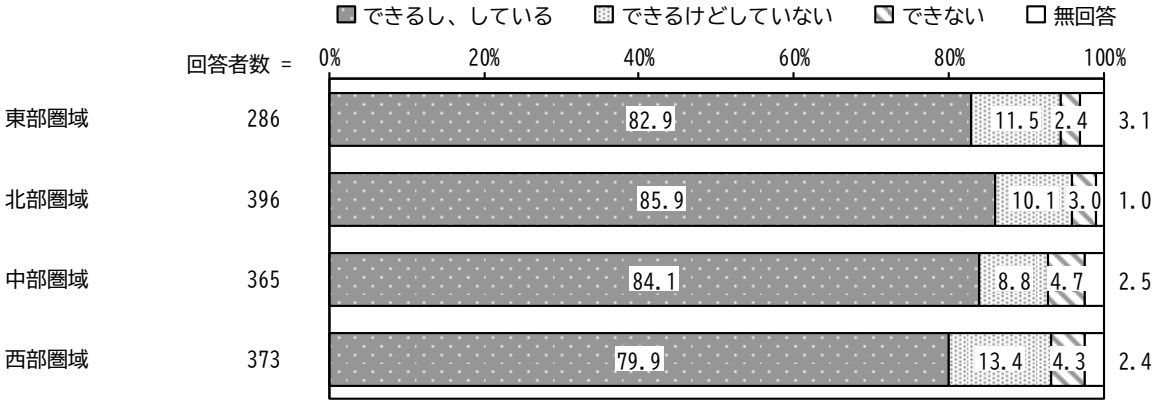
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できるし、している」の割合が低く、男性では「できるけどしていない」「できない」の割合が高く、女性では「できるけどしていない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

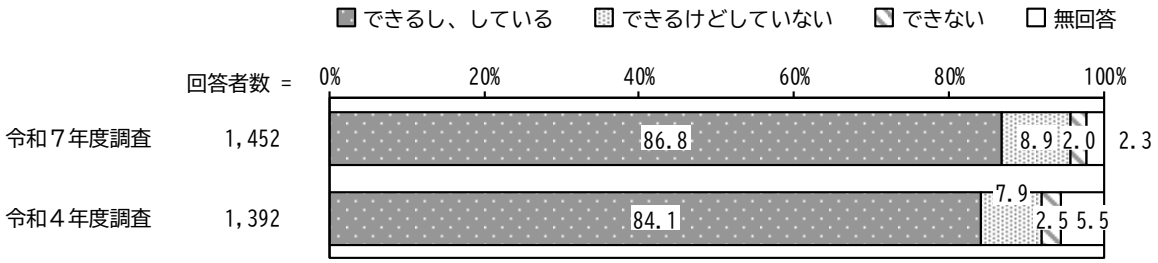
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問５　自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○印は１つ）

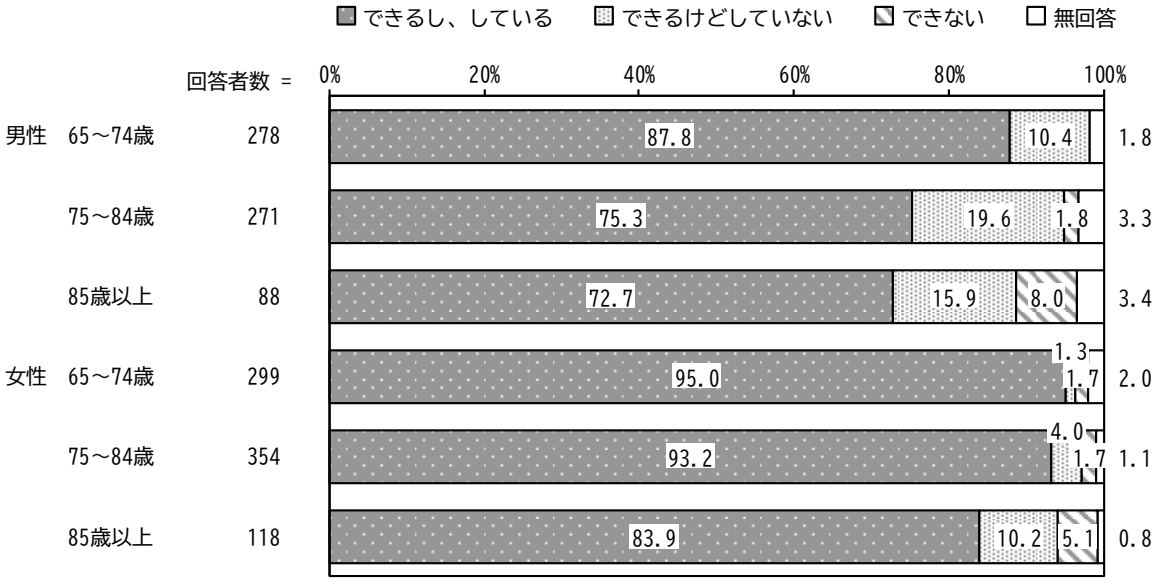
「できるし、している」の割合が 86.8%、「できるけどしていない」の割合が 8.9%、「できない」の割合が 2.0%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



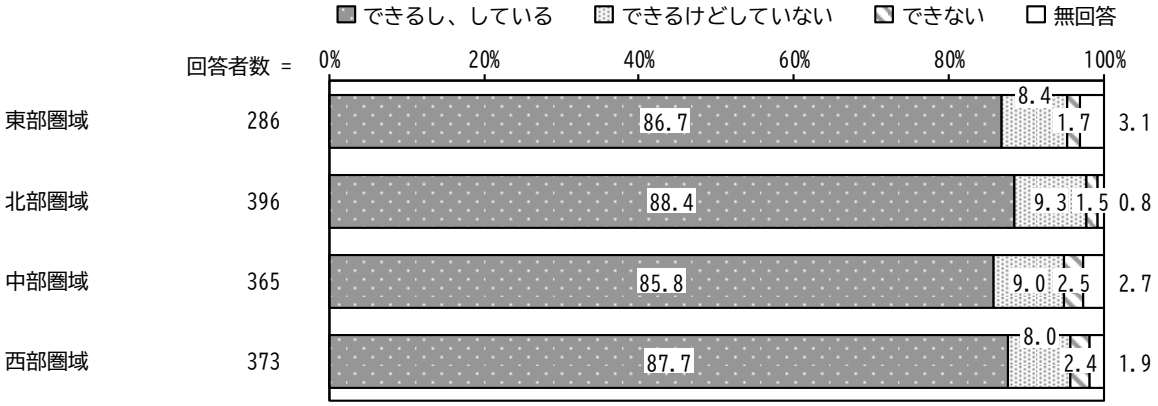
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「できるし、している」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「できるけどしていない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



【圏域別】

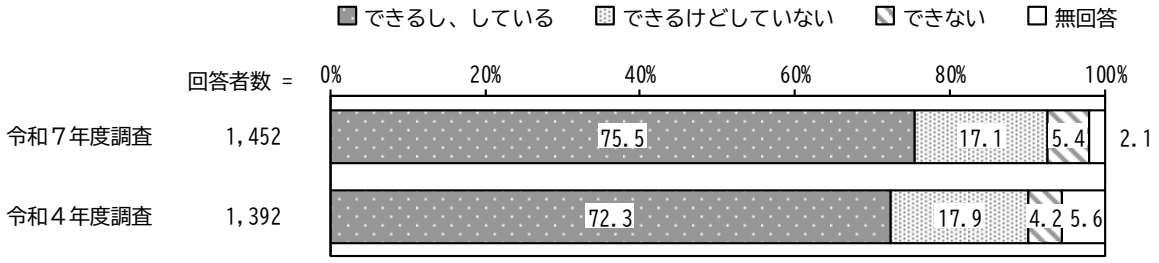
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問６　自分で食事の用意をしていますか。（〇印は１つ）

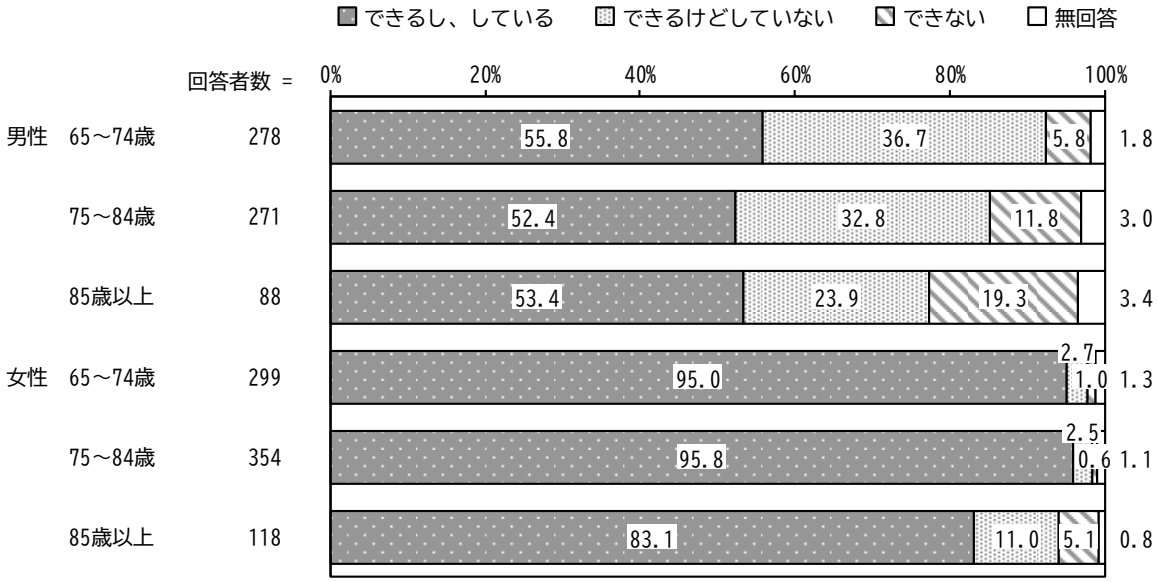
「できるし、している」の割合が 75.5%、「できるけどしていない」の割合が 17.1%、「できない」の割合が 5.4%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



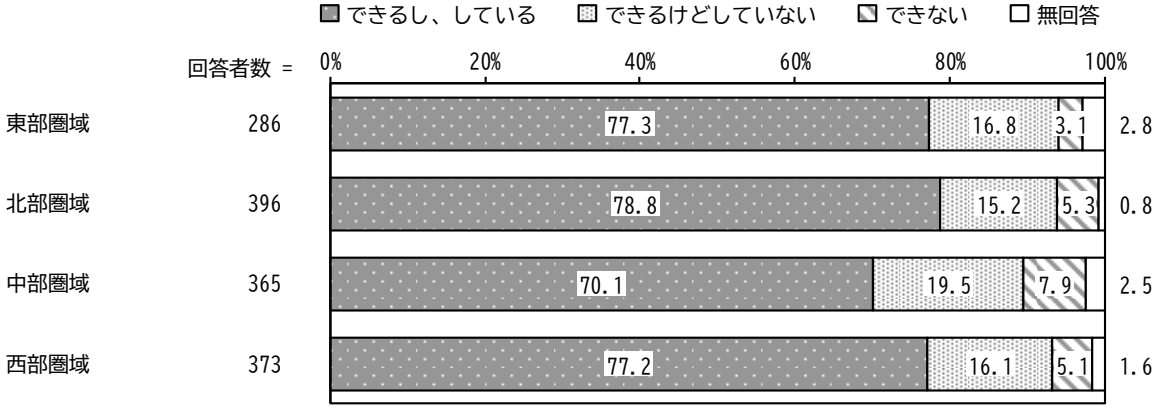
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「できない」の割合が高く、「できるけどしていない」の割合が低くなっています。また、女性 65～74 歳、女性 75～84 歳で「できるし、している」の割合が高くなっています。



【圏域別】

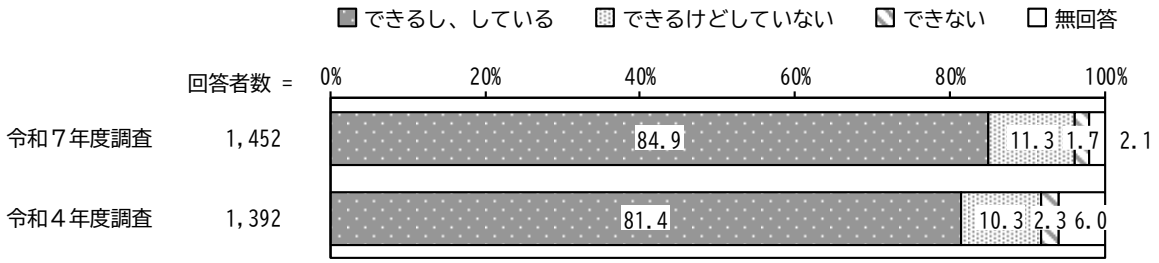
圏域別にみると、中部圏域で「できるし、している」の割合が低くなっています。



問７　自分で請求書の支払いをしていますか。（〇印は１つ）

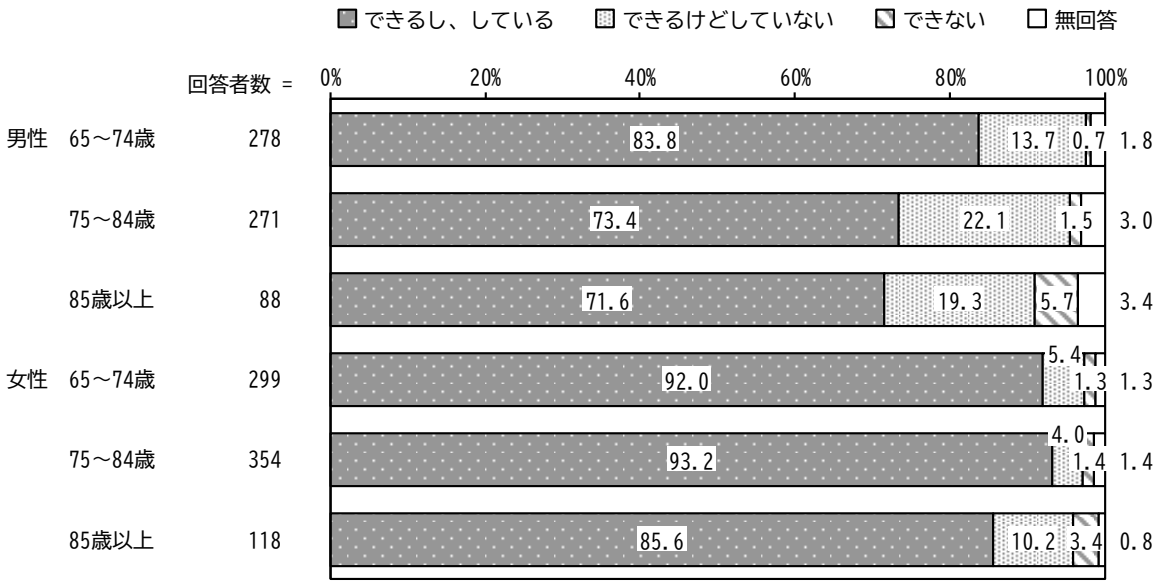
「できるし、している」の割合が 84.9%、「できるけどしていない」の割合が 11.3%、「できない」の割合が 1.7%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



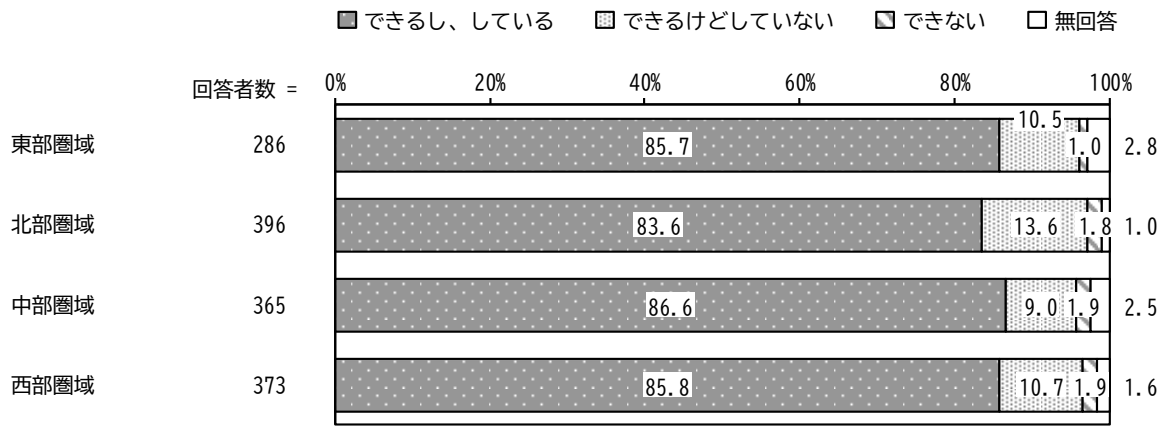
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「できるし、している」の割合が高くなっています。



【圏域別】

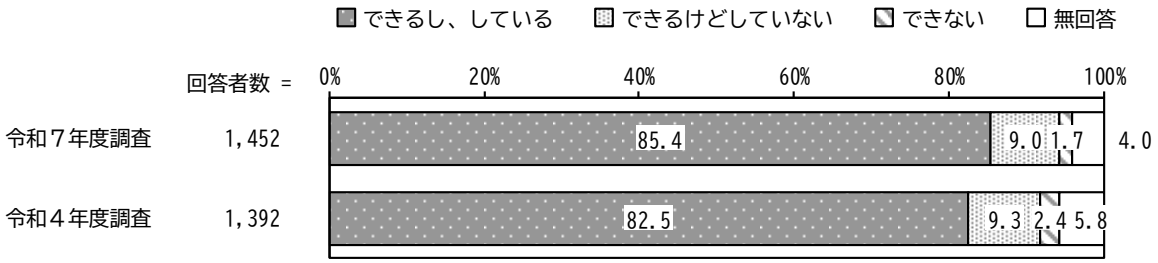
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問８　自分で預貯金の出し入れをしていますか。（〇印は１つ）

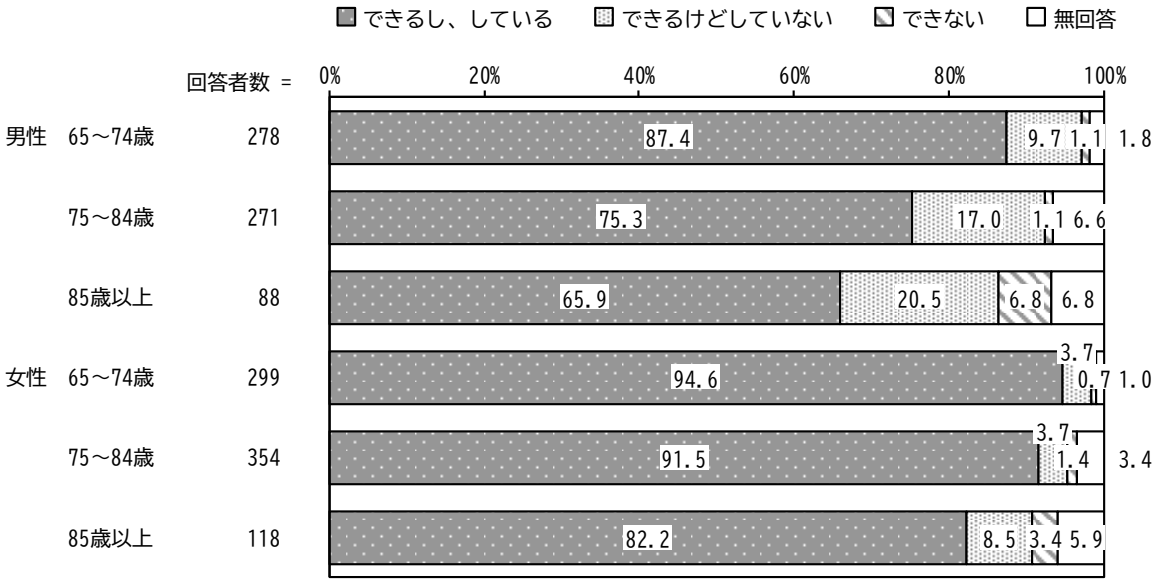
「できるし、している」の割合が 85.4%、「できるけどしていない」の割合が 9.0%、「できない」の割合が 1.7%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



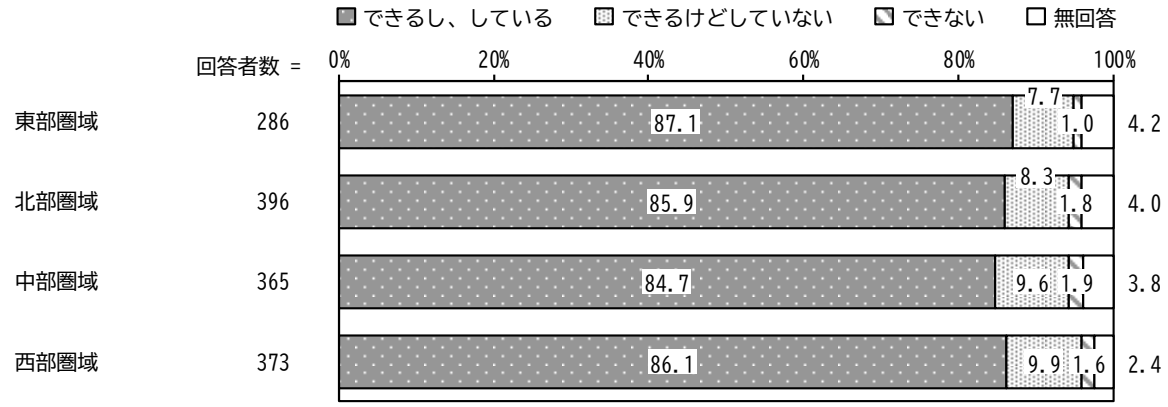
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「できるけどしていない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低く、女性では年齢が下がるほど「できるし、している」の割合が高くなっています。



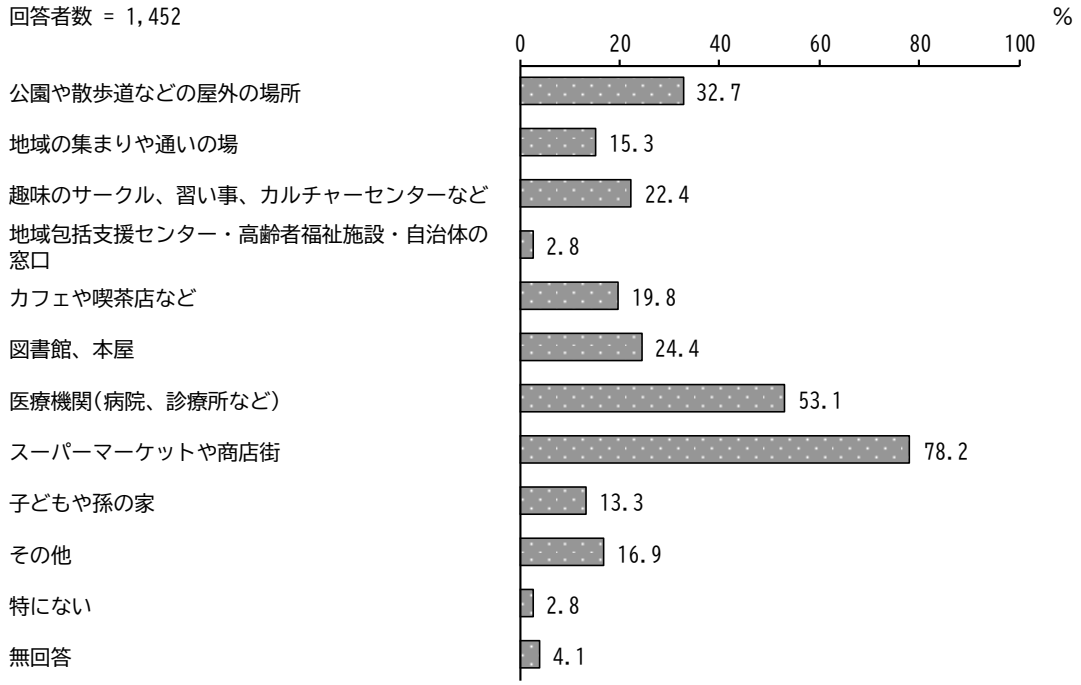
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



問９　ふだんの生活の中で、自宅以外でよく行く場所はどこですか。（○印はいくつでも）

「スーパーマーケットや商店街」の割合が 78.2%と最も高く、次いで「医療機関（病院、診療所など）」の割合が 53.1%、「公園や散歩道などの屋外の場所」の割合が 32.7%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「公園や散歩道などの屋外の場所」「カフェや喫茶店など」「図書館、本屋」「スーパーマーケットや商店街」の割合が高く、「地域の集まりや通いの場」「医療機関（病院、診療所など）」の割合が低く、女性では「趣味のサークル、習い事、カルチャーセンターなど」の割合が高くなっています。また、女性 65～74 歳で「子どもや孫の家」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	公園や散歩道などの屋外の場所	地域の集まりや通いの場	趣味のサークル、習い事、カルチャーセンターなど	地域包括支援センター・高齢者福祉施設・自治体の窓口	カフェや喫茶店など	図書館、本屋	医療機関（病院、診療所など）	スーパーマーケットや商店街	子どもや孫の家	その他	特にない	無回答
全　体	1,452	32.7	15.3	22.4	2.8	19.8	24.4	53.1	78.2	13.3	16.9	2.8	4.1
男性　65～74歳	278	41.7	6.8	14.0	2.2	17.6	26.3	42.8	77.3	9.7	24.5	3.6	2.2
75～84歳	271	37.6	8.9	17.7	1.8	12.5	22.5	52.8	69.4	10.3	15.5	2.6	5.5
85歳以上	88	34.1	13.6	15.9	5.7	11.4	19.3	59.1	65.9	11.4	10.2	6.8	4.5
女性　65～74歳	299	25.1	16.7	29.8	0.3	25.1	23.7	49.5	87.3	23.4	24.4	1.3	2.0
75～84歳	354	31.1	25.4	29.7	3.4	26.8	28.8	59.0	83.1	13.8	10.5	2.5	4.5
85歳以上	118	24.6	20.3	22.0	7.6	16.9	18.6	62.7	75.4	5.1	9.3	3.4	5.1

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	公園や散歩道などの屋外の場所	地域の集まりや通いの場	趣味のサークル、習い事、カルチャーセンターなど	地域包括支援センター・高齢者福祉施設・自治体の窓口	カフェや喫茶店など	図書館、本屋	医療機関（病院、診療所など）	スーパーマーケットや商店街	子どもや孫の家	その他	特にない	無回答
全　体	1,452	32.7	15.3	22.4	2.8	19.8	24.4	53.1	78.2	13.3	16.9	2.8	4.1
東部圏域	286	35.0	15.0	24.8	3.1	21.0	24.5	53.8	78.7	11.9	14.3	1.7	5.6
北部圏域	396	26.5	13.4	18.9	2.3	21.5	21.7	52.3	79.0	12.6	18.9	3.0	3.5
中部圏域	365	33.7	14.2	26.8	1.9	18.4	24.7	51.0	78.1	14.2	18.1	3.3	3.8
西部圏域	373	36.2	19.3	20.9	3.8	19.3	26.8	55.0	79.1	14.7	16.4	2.9	2.4

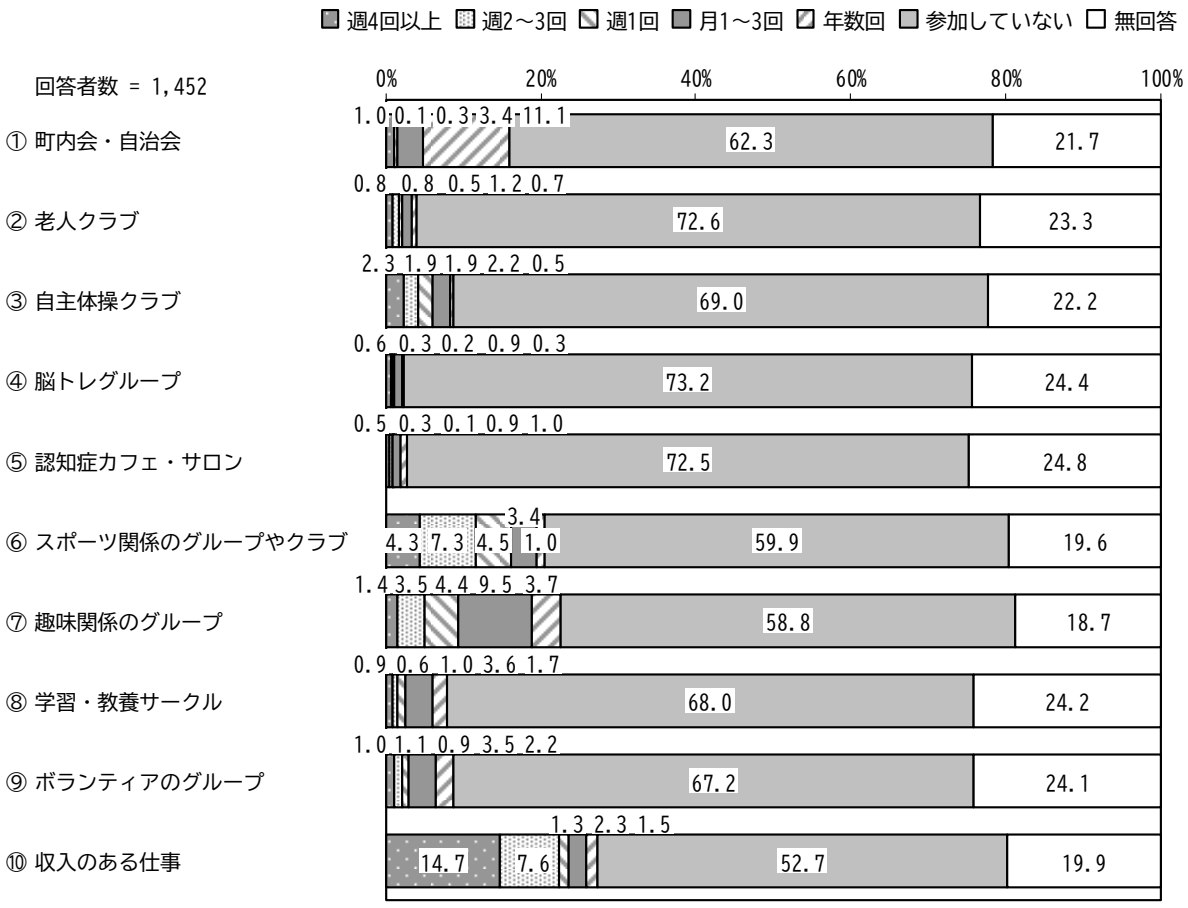
5　地域での活動について

問1　あなたは、以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※　①～⑩それぞれにご回答ください。（○印はそれぞれに１つ）

町内会・自治会

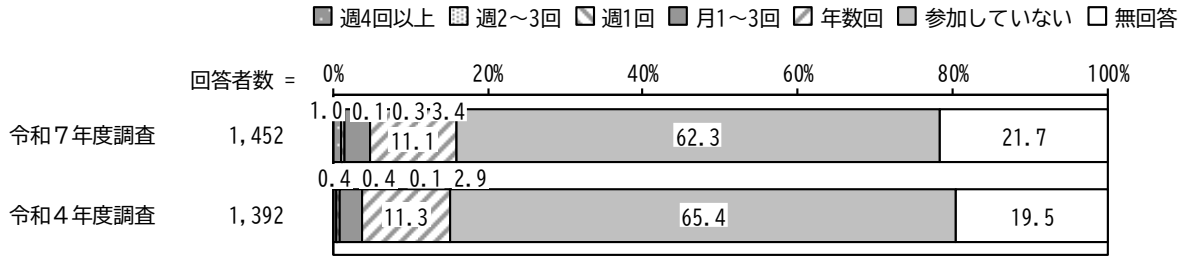
『1⑩収入のある仕事』で「週４回以上」「週２～３回」が、『⑥スポーツ関係のグループやクラブ』で「週１回」が、『⑦趣味関係のグループ』で「月１～３回」が、『① 町内会・自治会』で「年数回」が、『④脳トレグループ』で「参加していない」が高くなっています　。



① 町内会・自治会

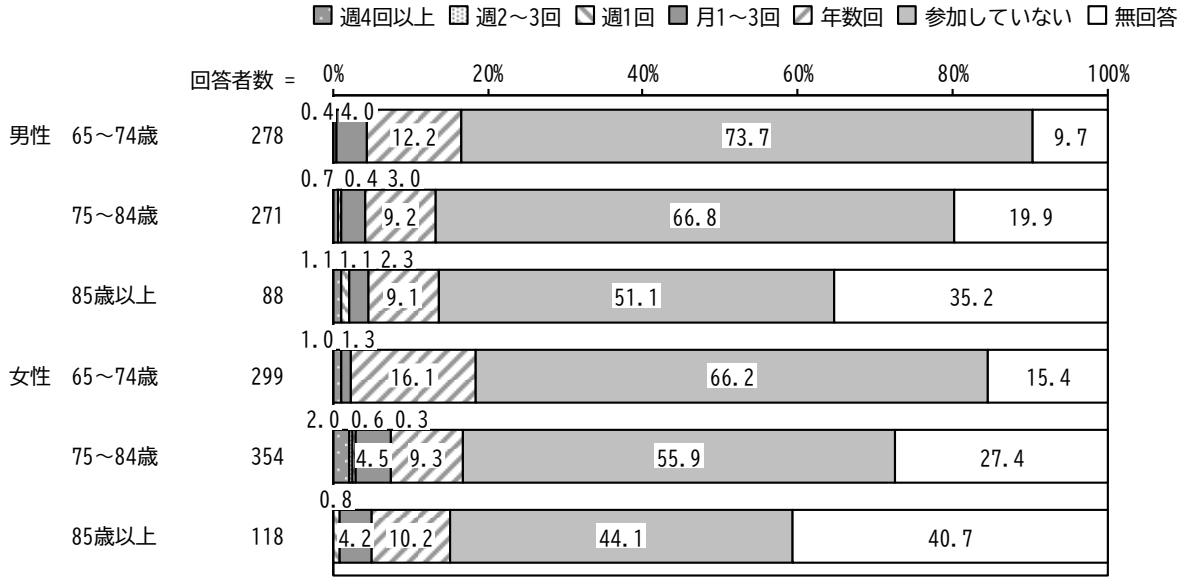
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



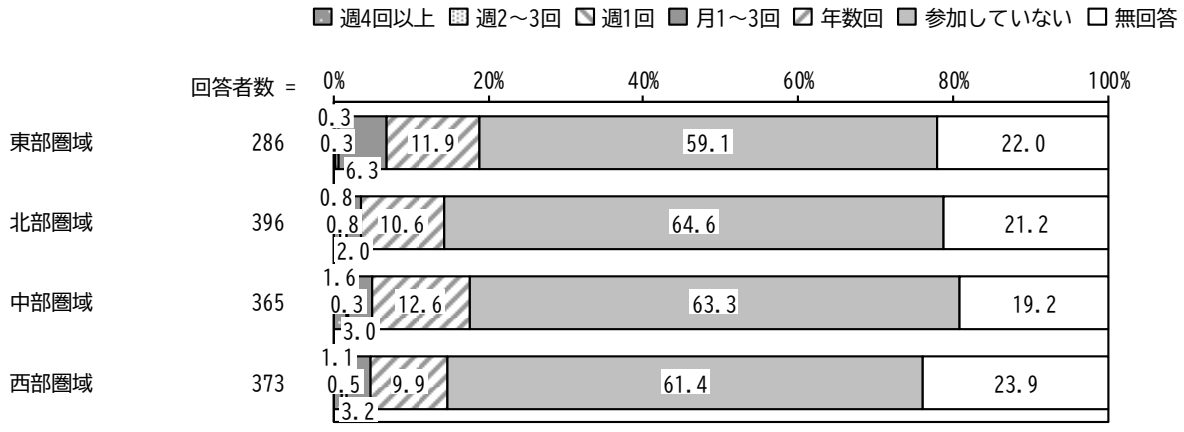
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

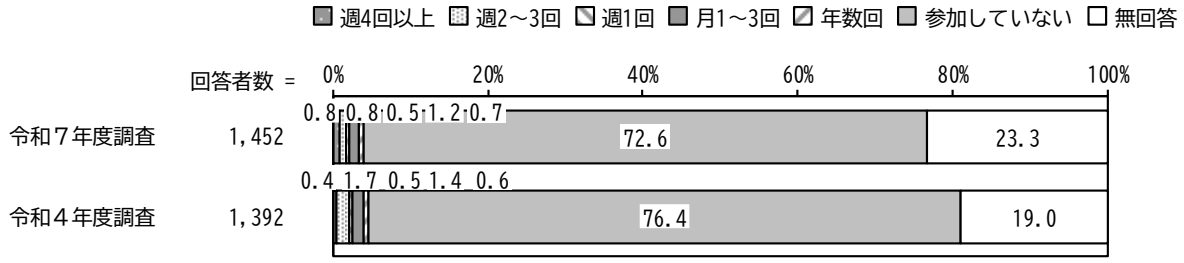
圏域別にみると、大きな差はみられません。



② 老人クラブ

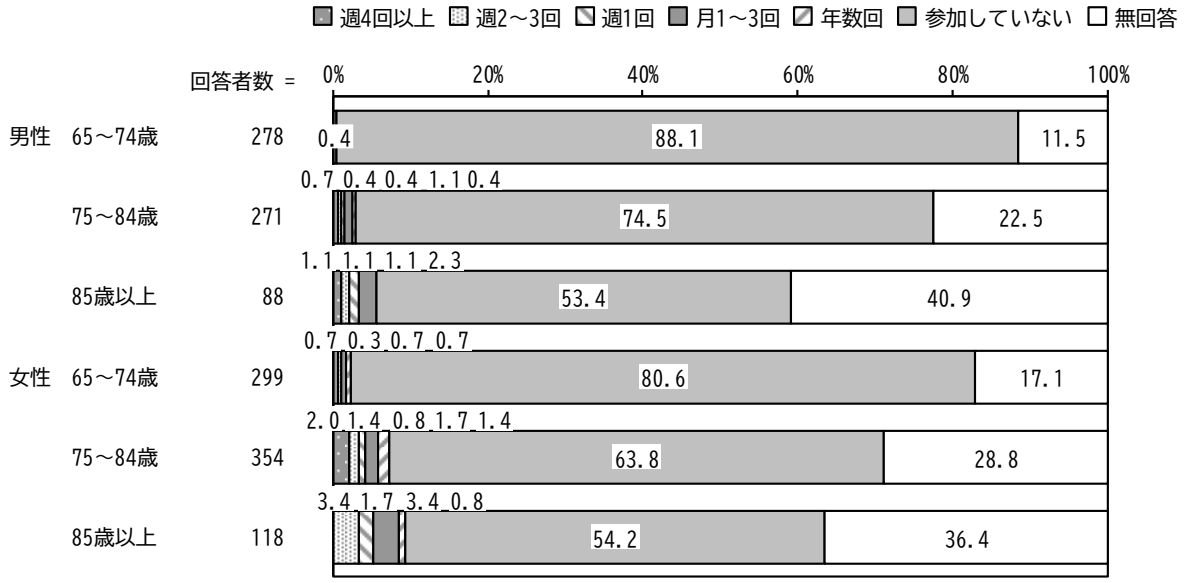
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



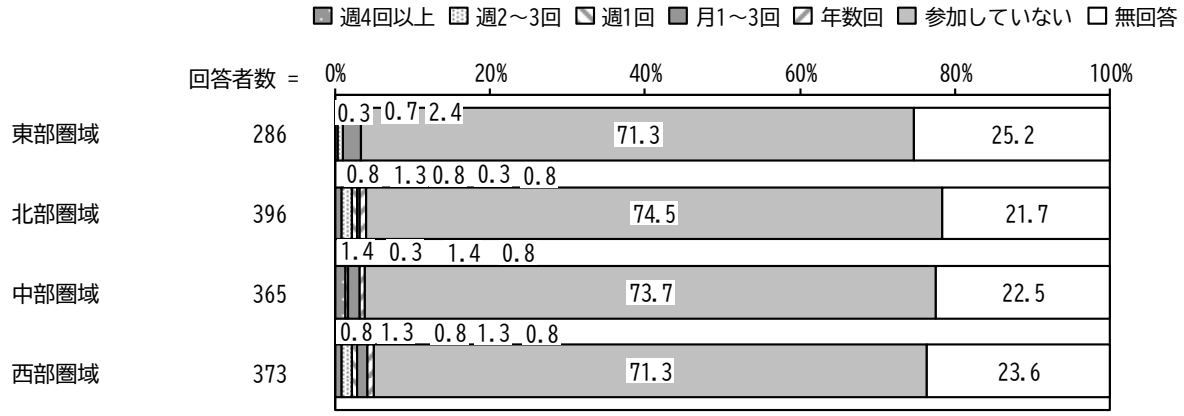
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

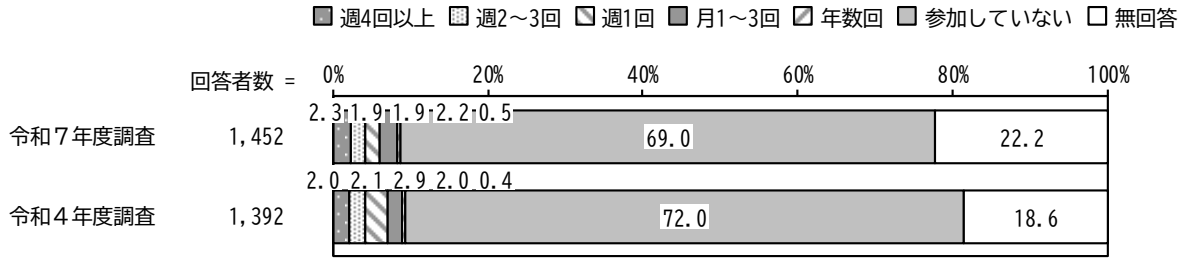
圏域別にみると、大きな差はみられません。



③自主体操グループ

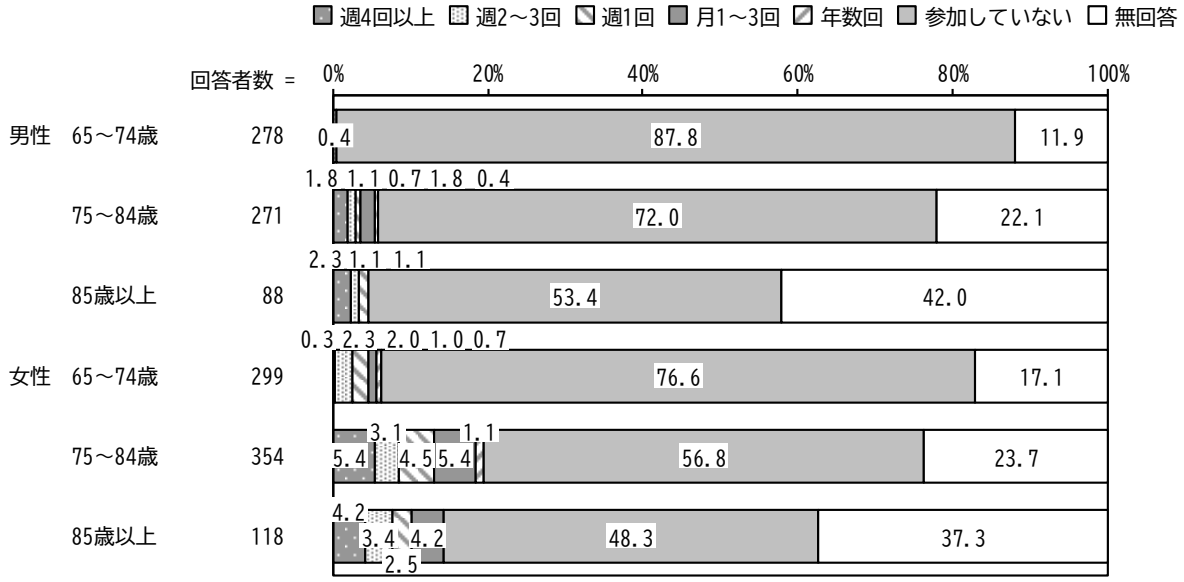
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



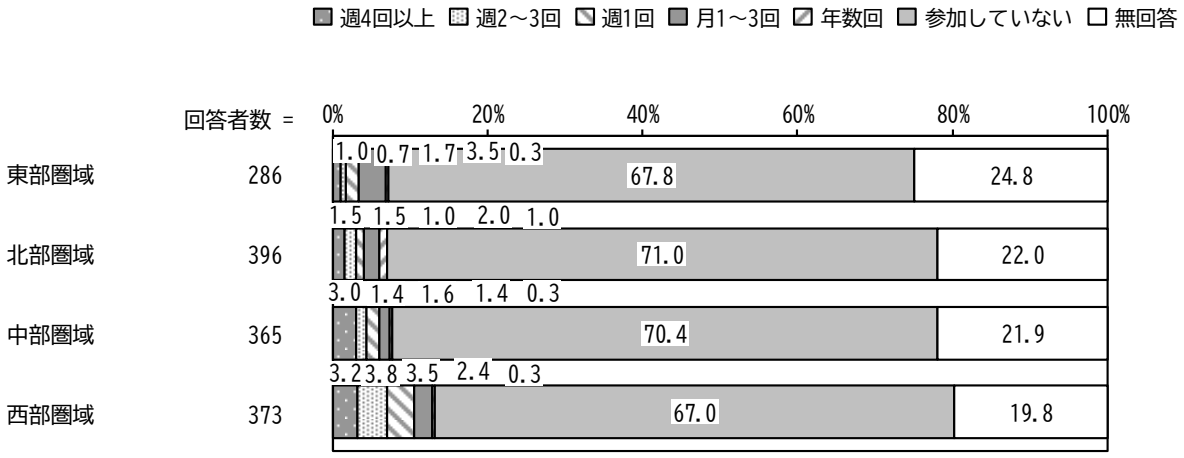
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

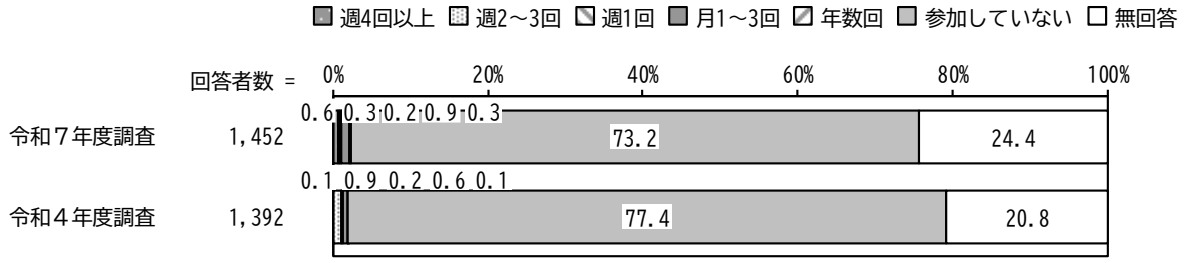
圏域別にみると、大きな差はみられません。



④脳トレグループ

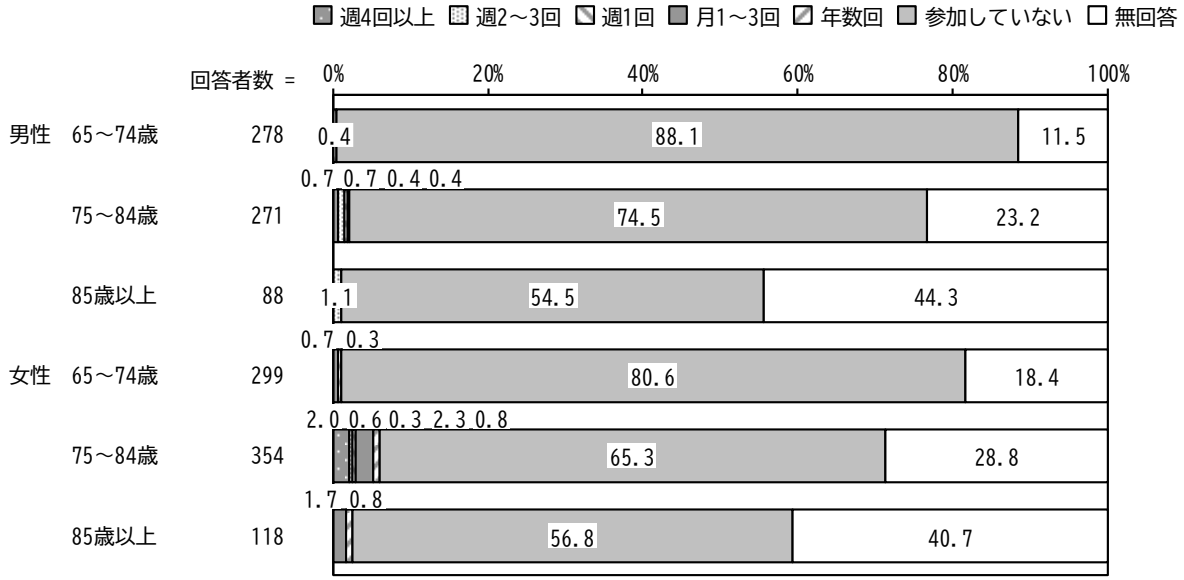
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



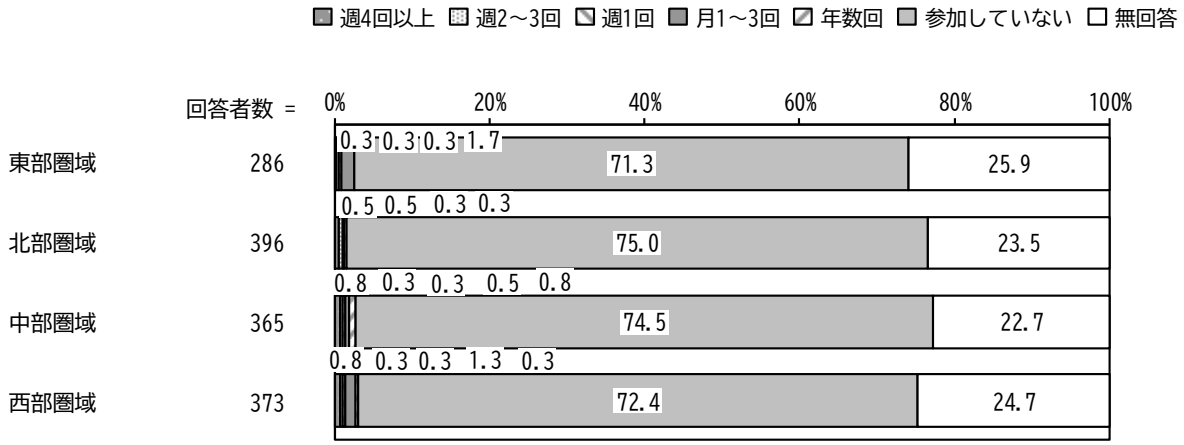
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

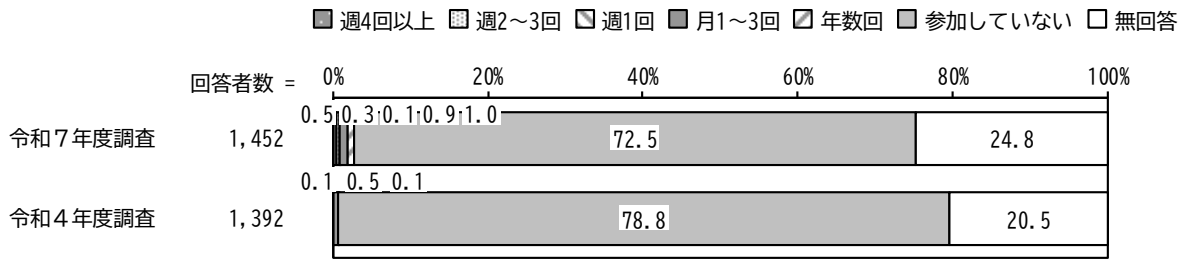
圏域別にみると、大きな差はみられません。



⑤認知症カフェ・サロン

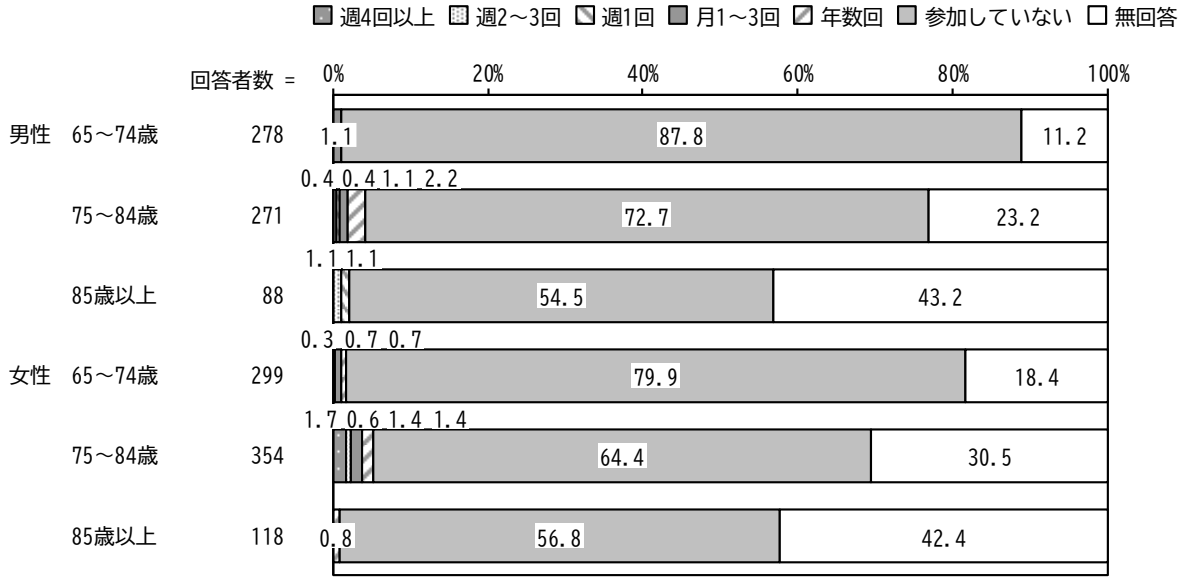
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



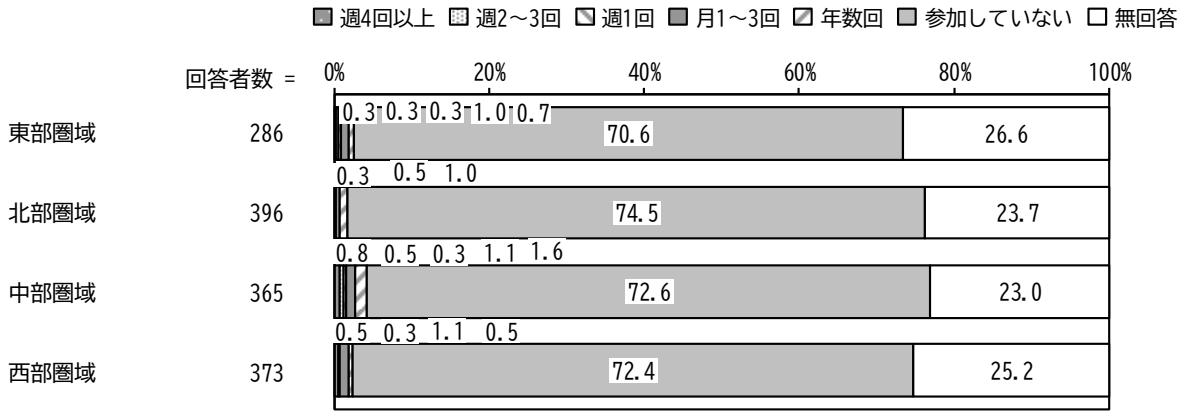
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

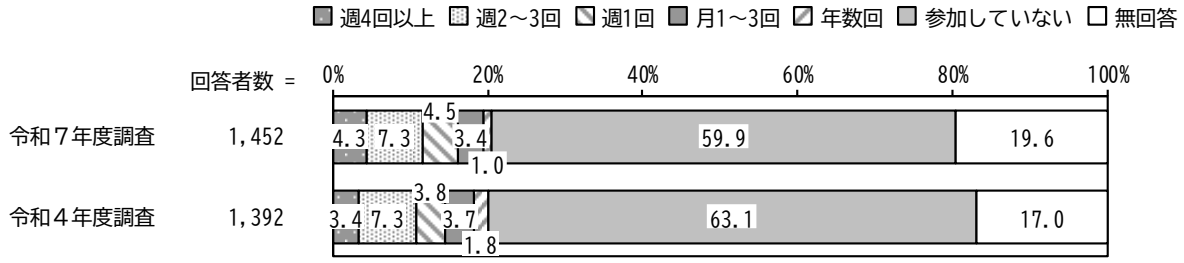
圏域別にみると、大きな差はみられません。



⑥スポーツ関係のグループやクラブ

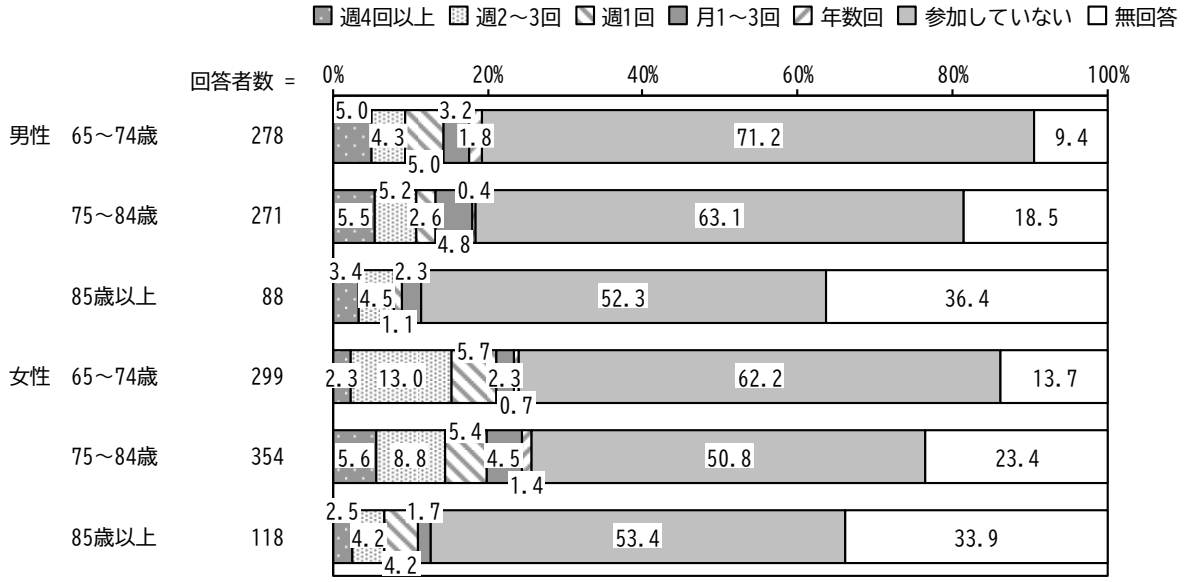
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



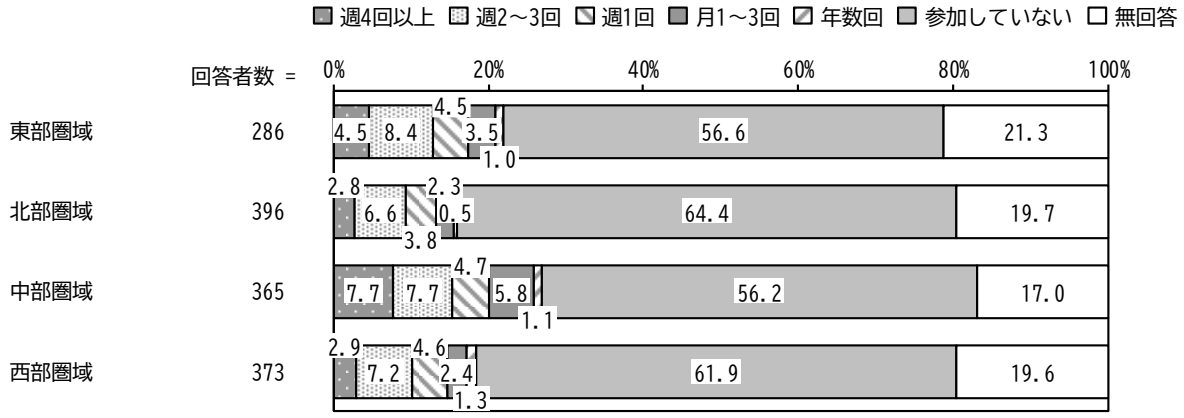
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では“週に１回以上”「参加していない」の割合が高く、女性では“週に１回以上”の割合が高くなっています。



【圏域別】

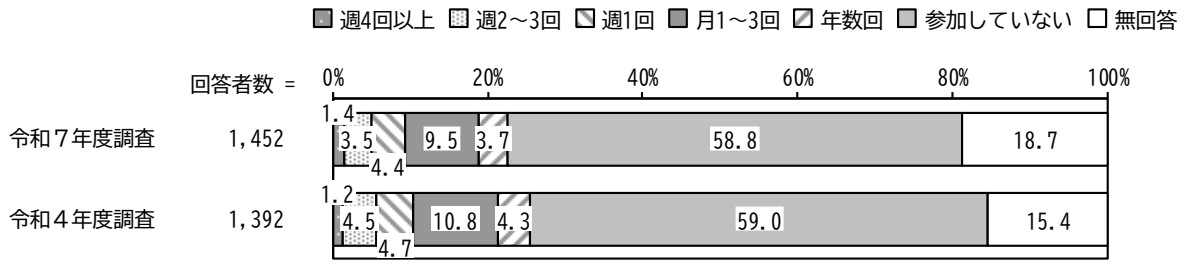
圏域別にみると、大きな差はみられません。



⑦趣味関係のグループ

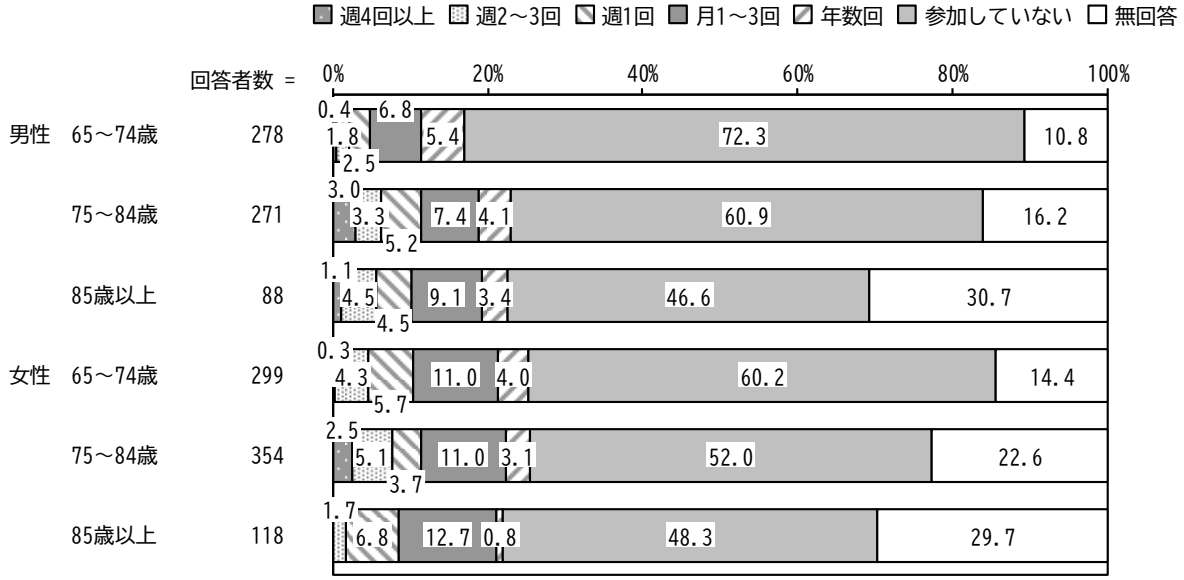
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



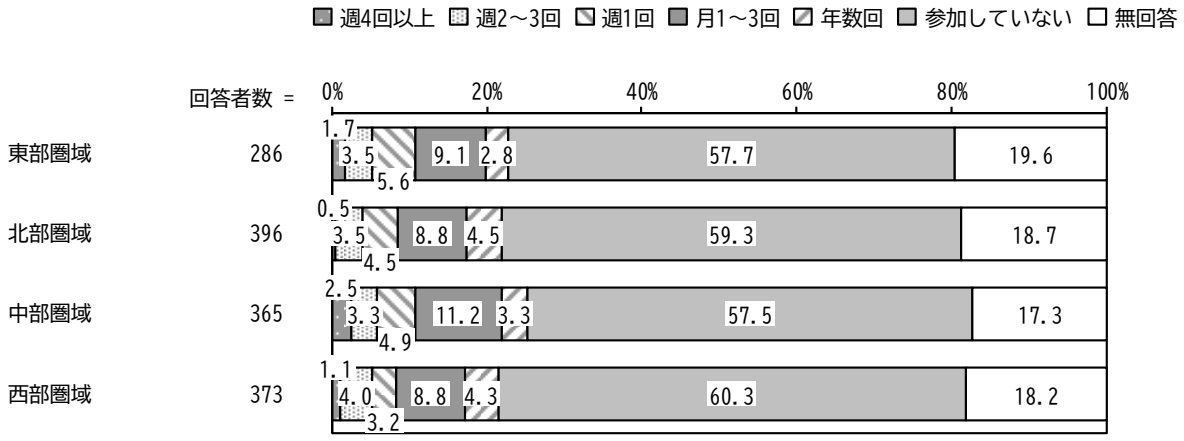
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

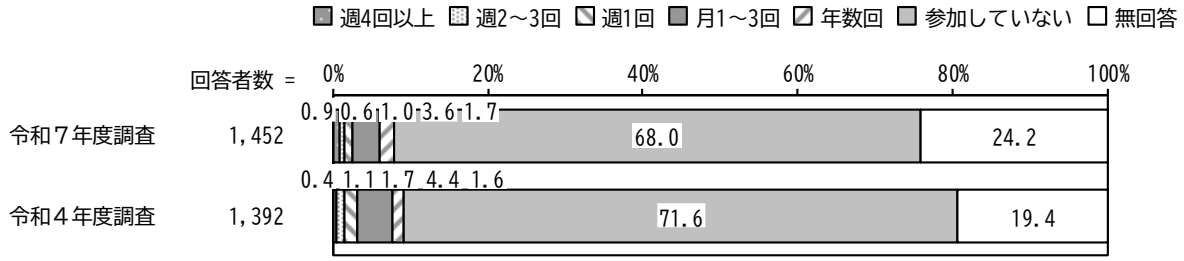
圏域別にみると、大きな差はみられません。



⑧学習・教養サークル

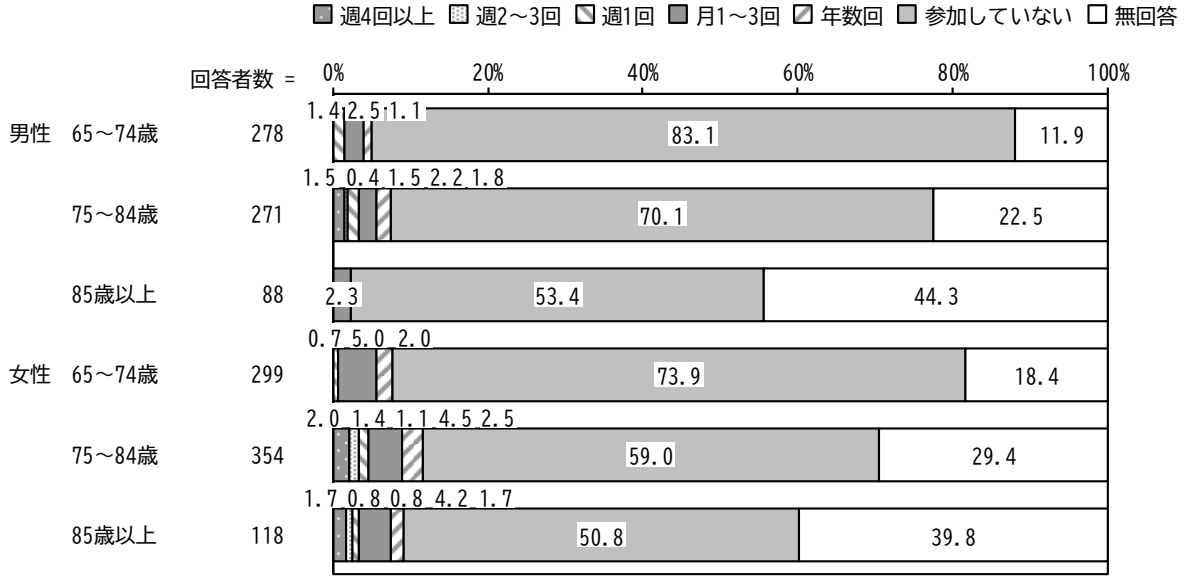
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



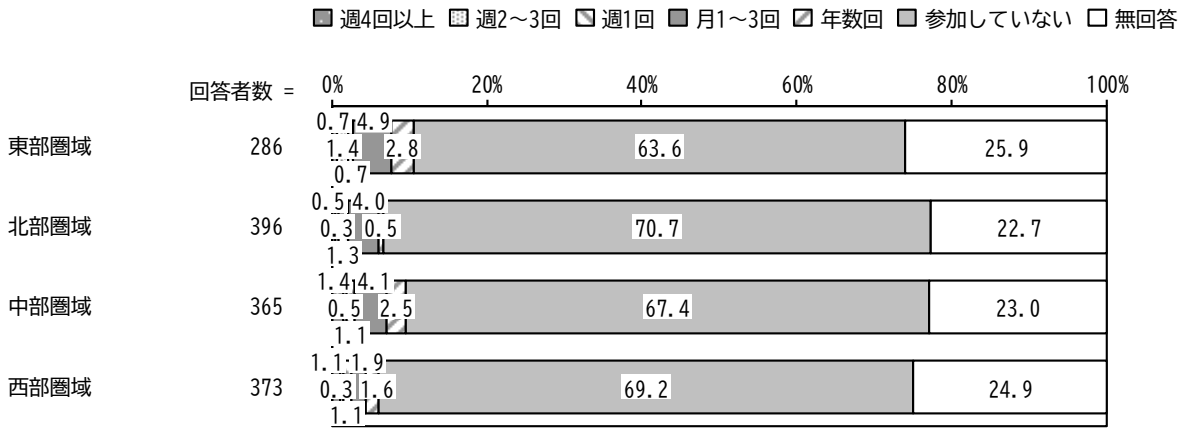
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

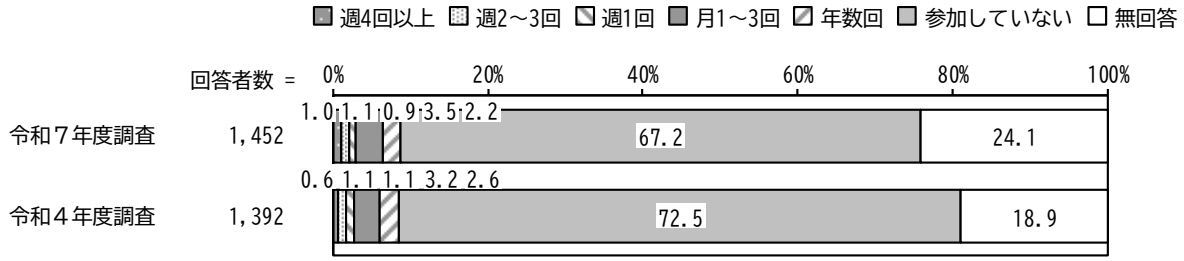
圏域別にみると、大きな差はみられません。



⑨ボランティアのグループ

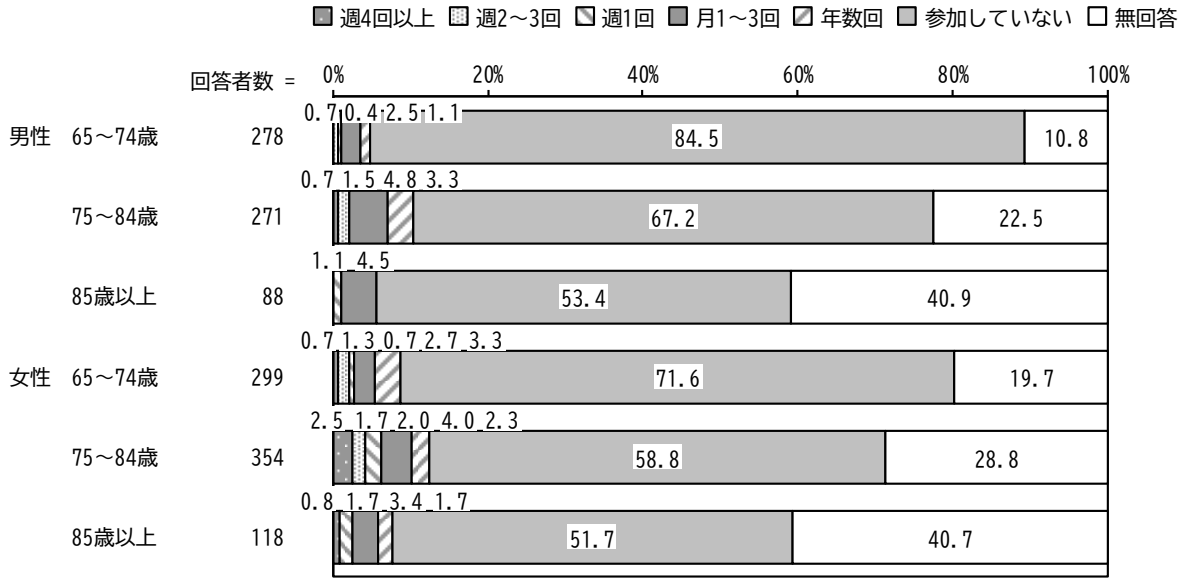
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



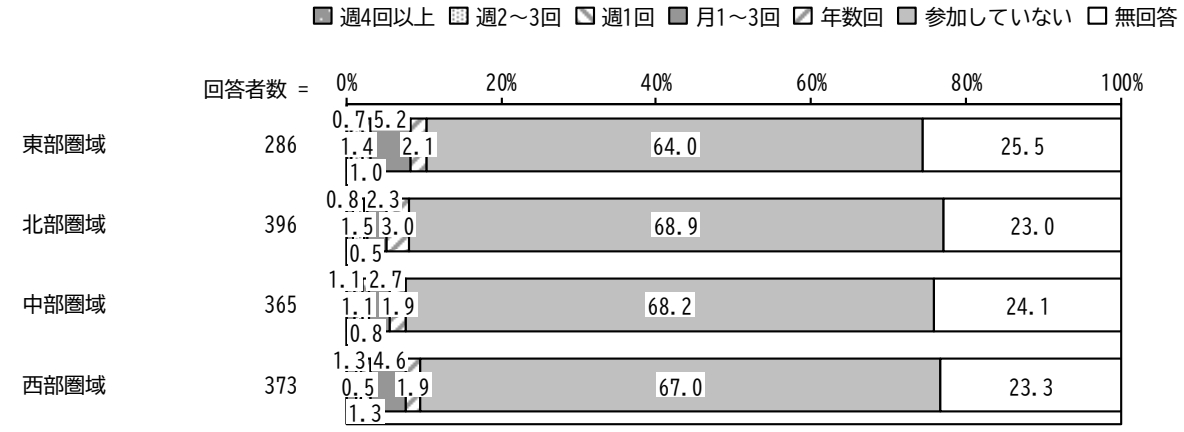
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

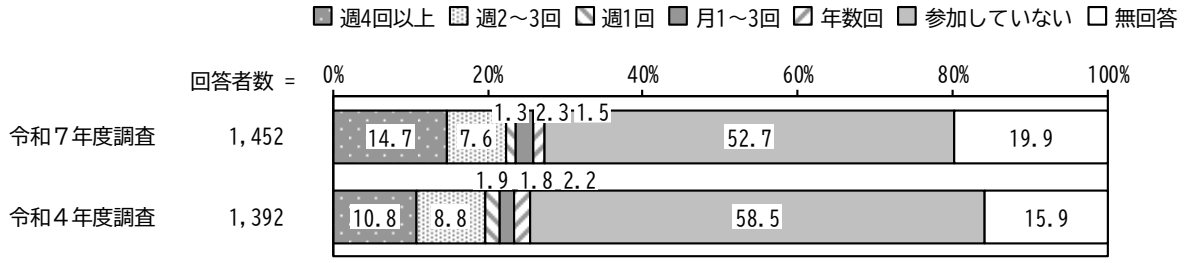
圏域別にみると、大きな差はみられません。



⑩収入のある仕事

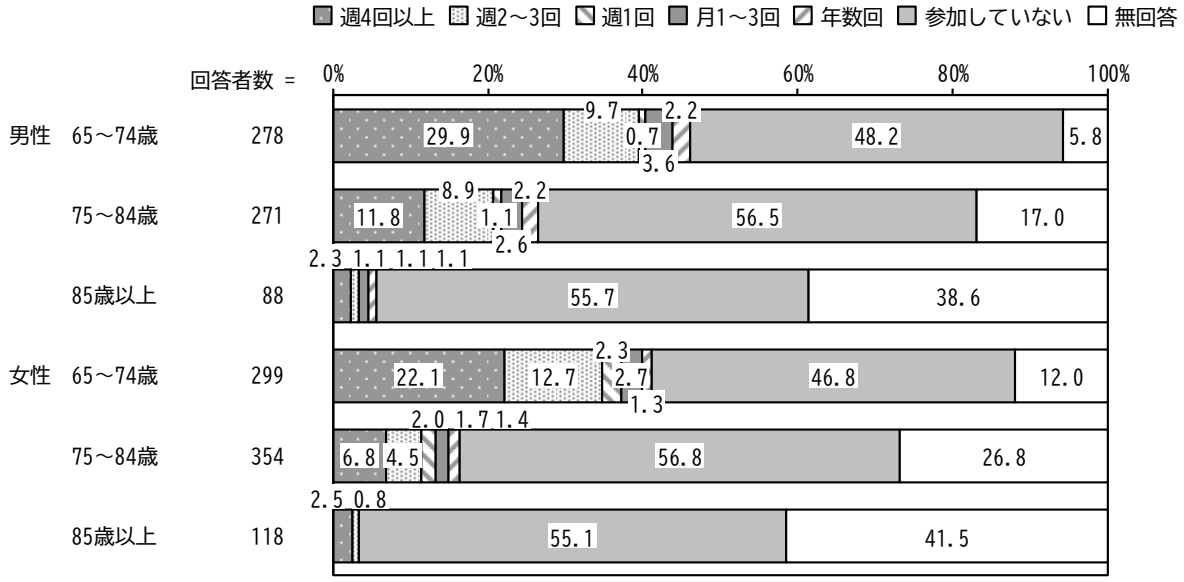
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



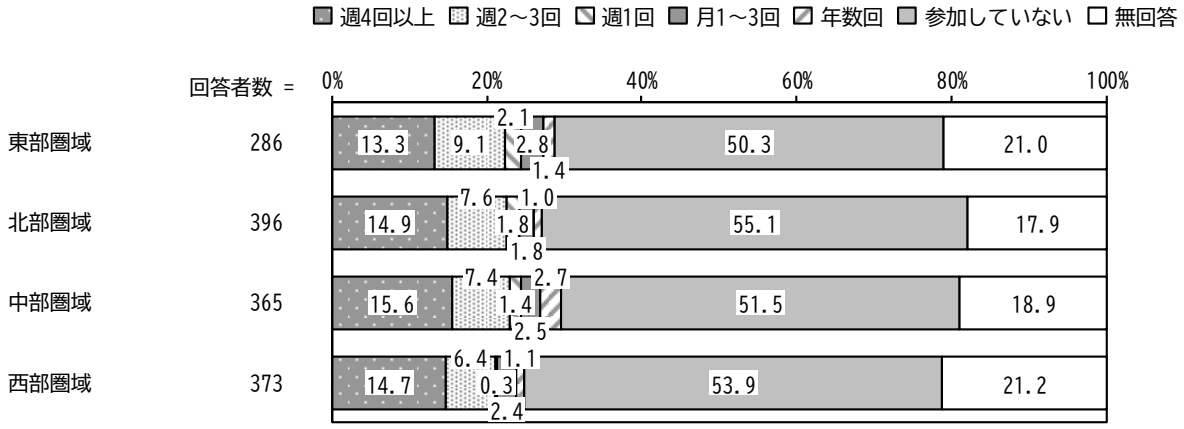
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど“週に１回以上”の割合が高くなっています。また、男性 65～74 歳で「週 4 回以上」の割合が高くなっています。



【圏域別】

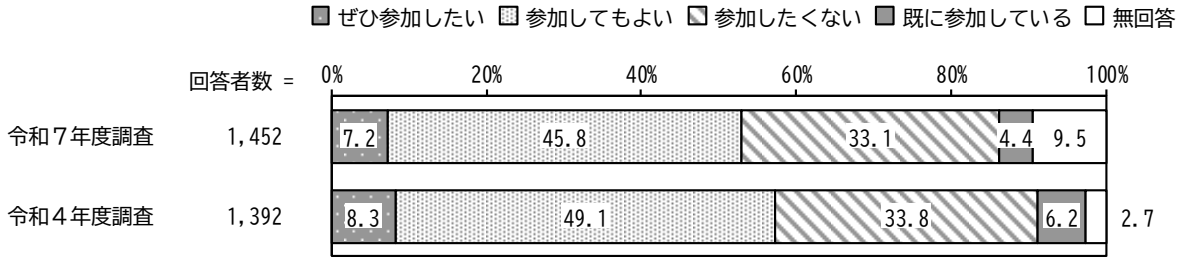
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問２　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（○印は１つ）

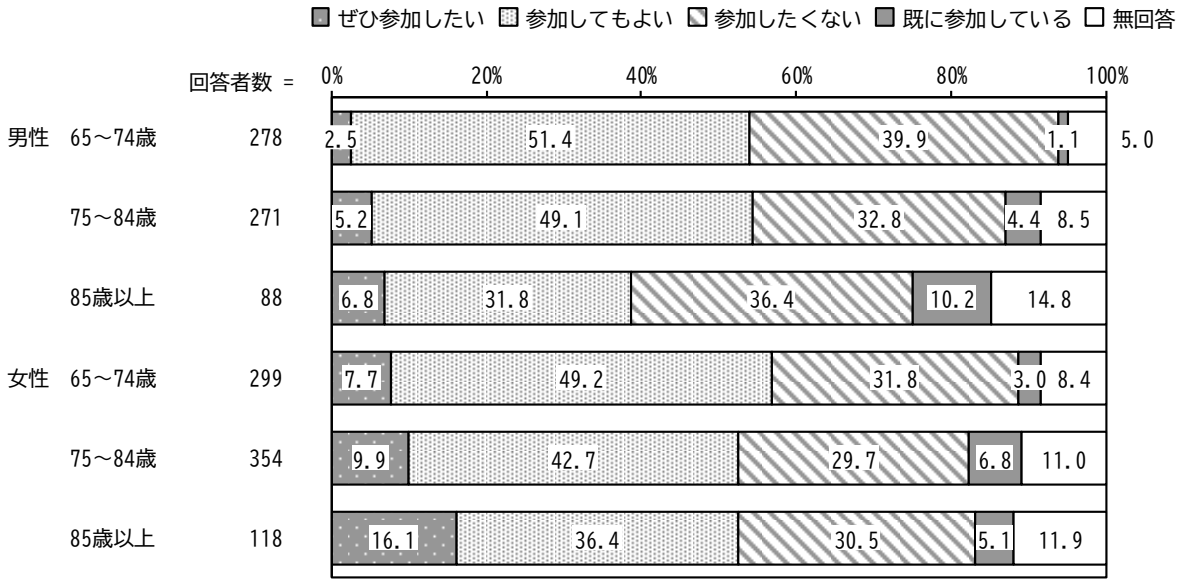
「参加してもよい」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が 33.1%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



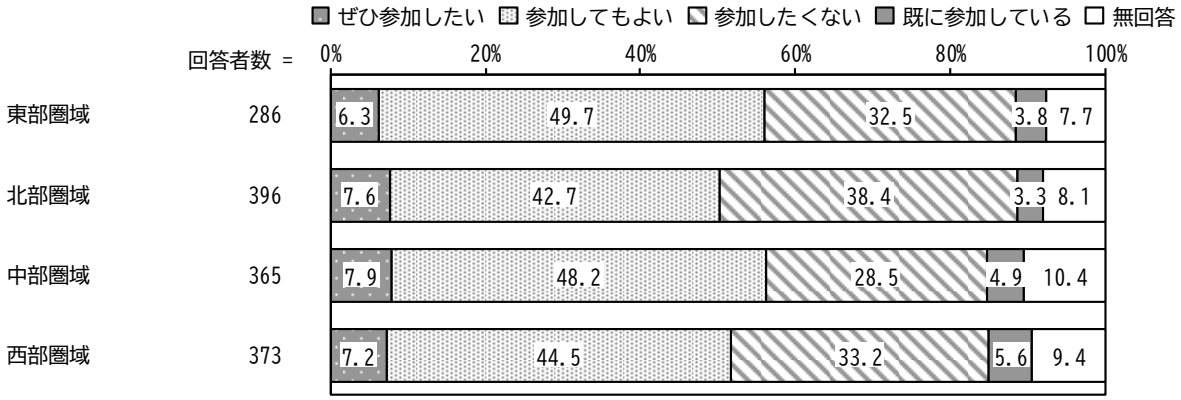
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「ぜひ参加したい」の割合が高く、「参加してもよい」の割合が低くなっています。



【圏域別】

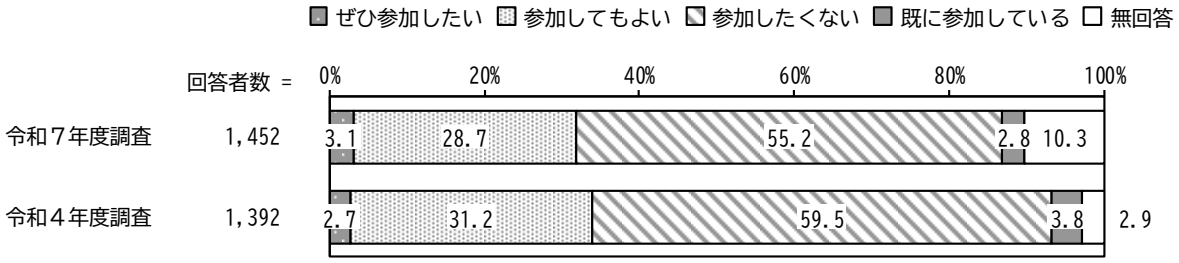
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問３　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○印は１つ)

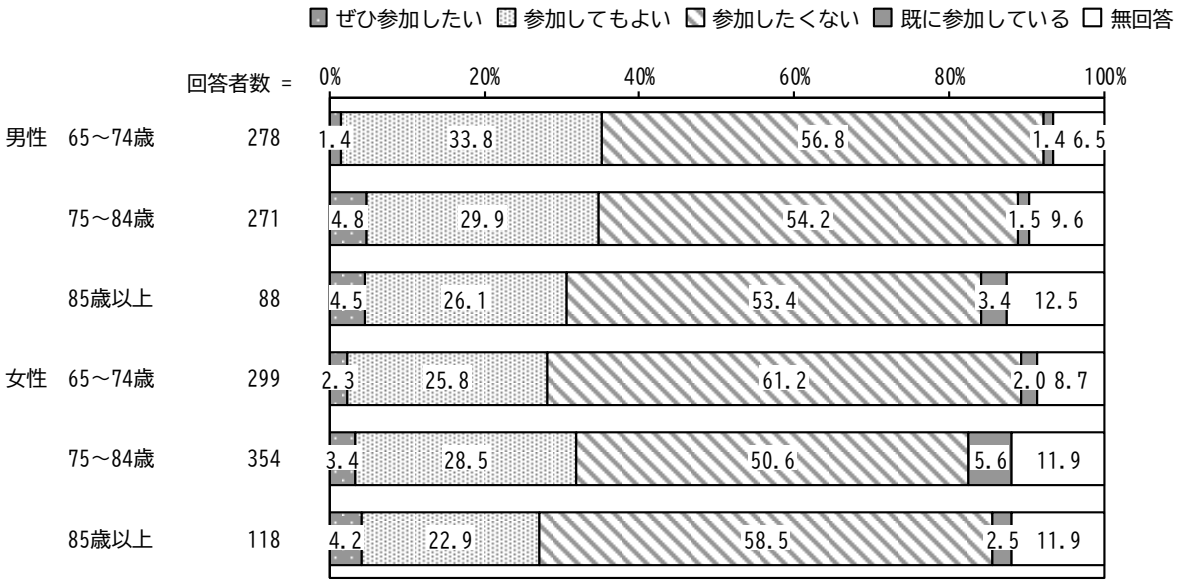
「参加したくない」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 28.7%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



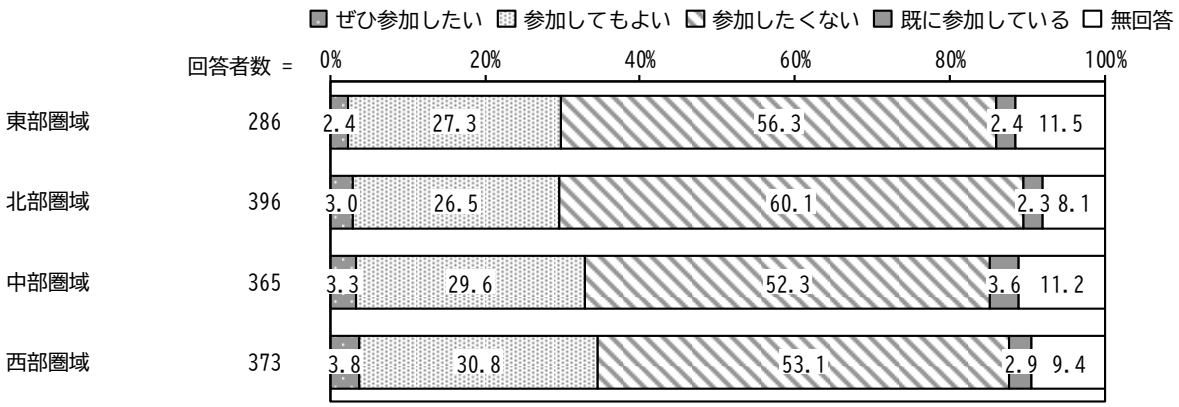
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「参加してもよい」の割合が高くなっています。



【圏域別】

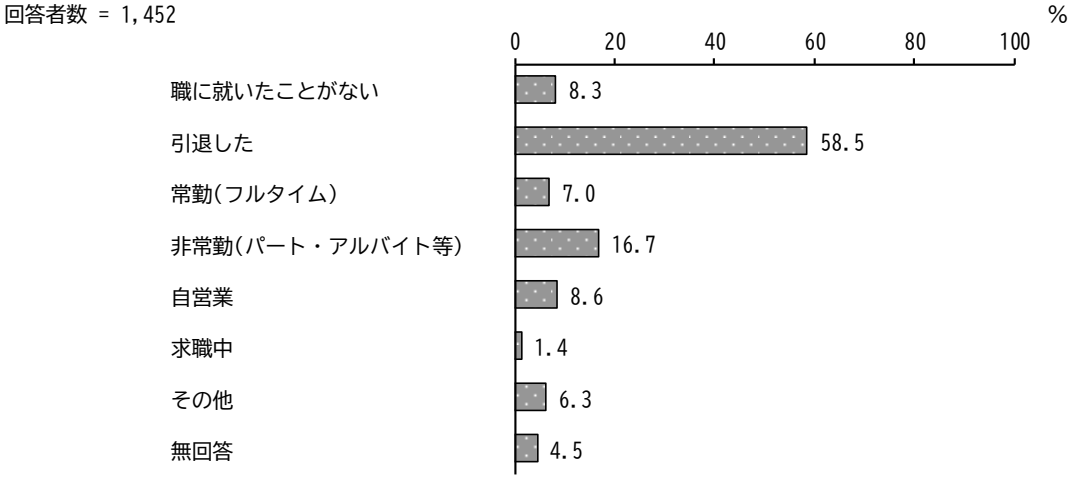
圏域別にみると、大きな差はみられません。



6　就労について

問1　現在のあなたの就労状態はどれですか。（○印はいくつでも）

「引退した」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「非常勤(パート・アルバイト等)」の割合が 16.7%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「職に就いたことがない」「引退した」の割合が高く、「常勤(フルタイム)」「非常勤(パート・アルバイト等)」の割合が低く、女性では「職に就いたことがない」の割合が高く、「非常勤(パート・アルバイト等)」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	職に就いたことがない	引退した	常勤(フルタイム)	非常勤(パート・アルバイト等)	自営業	求職中	その他	無回答
全　体	1,452	8.3	58.5	7.0	16.7	8.6	1.4	6.3	4.5
男性　65～74歳	278	2.5	47.1	19.4	17.3	13.3	2.9	5.0	1.8
75～84歳	271	4.1	68.6	6.6	15.9	7.7	1.1	4.4	5.2
85歳以上	88	15.9	75.0	3.4	5.7	11.4	0.0	4.5	2.3
女性　65～74歳	299	5.7	50.2	5.4	30.1	6.7	2.3	7.7	1.0
75～84歳	354	13.3	61.9	1.7	11.6	6.8	0.3	7.3	6.5
85歳以上	118	18.6	59.3	4.2	7.6	7.6	0.0	9.3	11.0

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

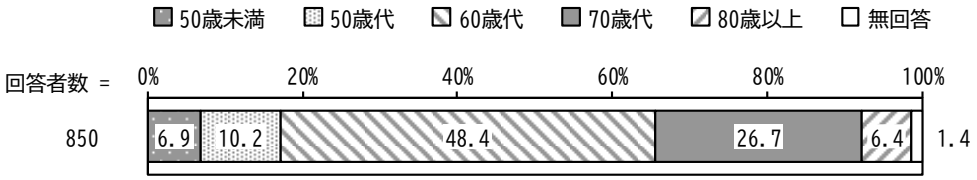
単位：%

区分	回答者数（件）	職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	求職中	その他	無回答
全　体	1,452	8.3	58.5	7.0	16.7	8.6	1.4	6.3	4.5
東部圏域	286	8.0	55.6	8.4	17.5	7.7	0.7	6.3	5.6
北部圏域	396	7.8	59.3	7.3	16.9	7.6	1.0	6.1	4.5
中部圏域	365	8.2	55.6	7.1	15.9	10.4	1.6	8.2	5.8
西部圏域	373	8.8	62.7	6.2	16.6	8.8	1.9	5.1	1.9

※　問１で「引退した」と回答した方のみ、お答えください

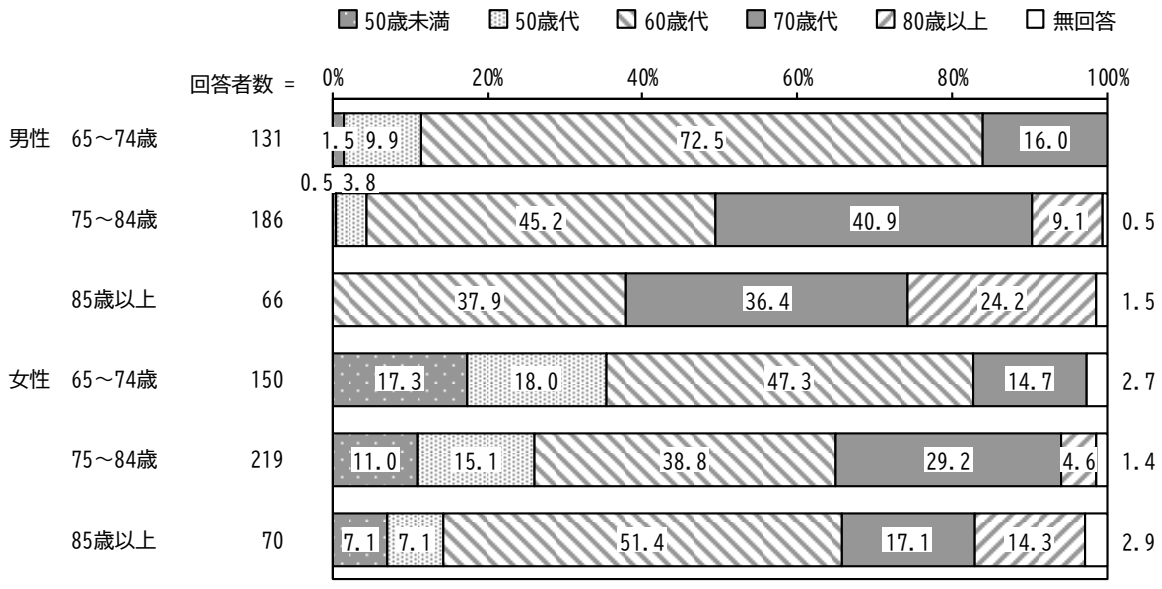
問２　あなたは何歳で引退しましたか。

「60 歳代」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「70 歳代」の割合が 26.7%、「50 歳代」の割合が 10.2%となっています。



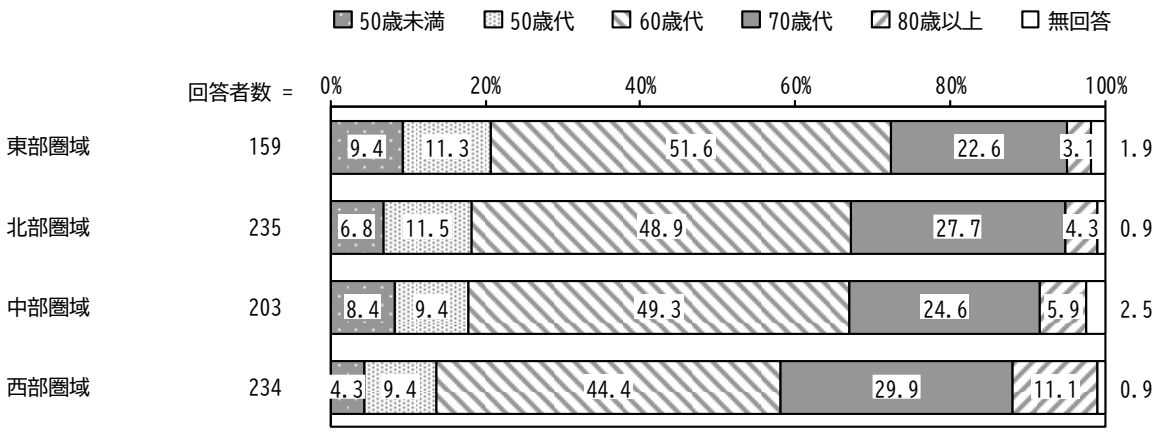
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「80 歳以上」の割合が高く、「60 歳代」の割合が低く、女性では年齢が下がるほど「50 歳未満」「50 歳代」の割合が高く、「80 歳以上」の割合が低くなっています。また、男性 75～84 歳で「70 歳代」の割合が高くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

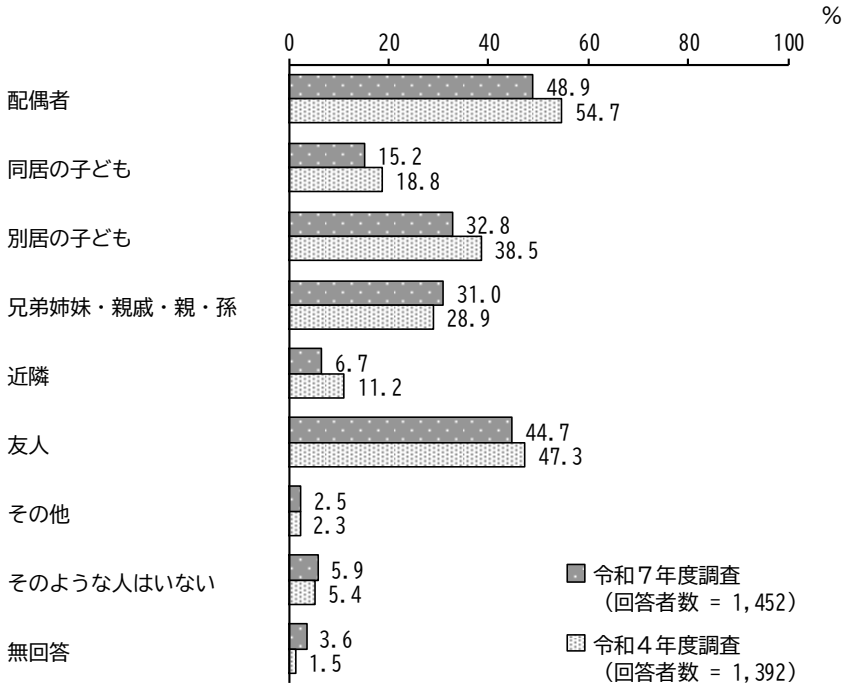


7　たすけあいについて

問1　あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる方。（○印はいくつでも）

「配偶者」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「友人」の割合が 44.7%、「別居の子ども」の割合が 32.8%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「配偶者」「別居の子ども」の割合が減少しています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「配偶者」「友人」の割合が高く、「別居の子ども」の割合が低く、女性では「配偶者」「別居の子ども」「友人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	1,452	48.9	15.2	32.8	31.0	6.7	44.7	2.5	5.9	3.6
男性　65～74歳	278	68.7	12.2	19.4	23.4	1.4	38.5	3.2	6.5	1.4
75～84歳	271	60.5	8.9	22.1	18.8	2.6	28.0	1.8	9.6	5.5
85歳以上	88	60.2	13.6	28.4	19.3	3.4	13.6	1.1	9.1	2.3
女性　65～74歳	299	47.2	22.1	44.5	40.5	9.4	67.2	4.0	5.0	1.7
75～84歳	354	37.3	14.4	40.7	40.1	10.7	53.4	1.1	1.4	5.1
85歳以上	118	9.3	23.7	37.3	38.1	11.0	39.8	5.1	7.6	2.5

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

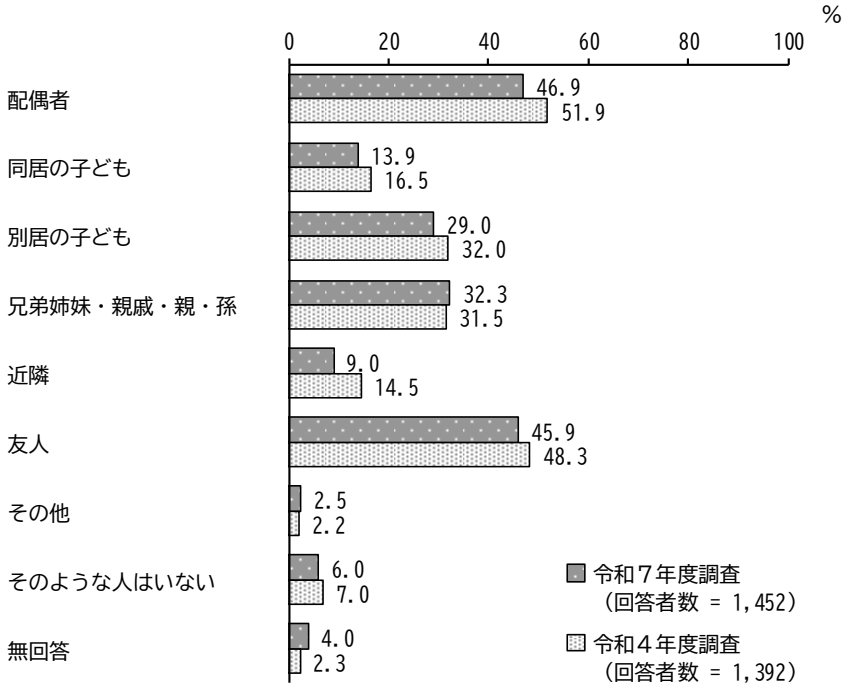
単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	1,452	48.9	15.2	32.8	31.0	6.7	44.7	2.5	5.9	3.6
東部圏域	286	49.3	15.7	31.8	28.0	4.9	44.8	0.7	6.3	4.9
北部圏域	396	49.5	16.9	32.6	32.3	6.6	44.2	3.3	5.1	3.3
中部圏域	365	52.3	13.2	34.0	29.0	7.1	44.7	2.5	5.2	3.8
西部圏域	373	44.8	15.3	31.6	34.3	7.8	46.6	3.5	7.2	1.9

問２　反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる方。（○印はいくつでも）

「配偶者」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「友人」の割合が 45.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が 32.3%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「近隣」の割合が減少しています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「配偶者」「同居の子ども」「友人」の割合が高く、「別居の子ども」の割合が低く、女性では「配偶者」「別居の子ども」「友人」の割合が高くなっています。また、女性 75～84 歳で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	1,452	46.9	13.9	29.0	32.3	9.0	45.9	2.5	6.0	4.0
男性　65～74歳	278	68.7	12.6	18.7	25.5	3.2	38.1	3.2	6.5	1.4
75～84歳	271	59.4	10.0	21.4	20.3	4.4	27.7	2.2	10.3	5.2
85歳以上	88	58.0	8.0	31.8	21.6	1.1	17.0	2.3	11.4	3.4
女性　65～74歳	299	43.8	18.7	43.8	41.1	12.0	69.9	4.3	3.7	1.7
75～84歳	354	34.2	13.0	29.7	42.7	13.8	55.1	1.1	2.3	5.4
85歳以上	118	7.6	22.0	26.3	31.4	14.4	43.2	2.5	7.6	5.1

【圏域別】

圏域別にみると、中部圏域で「配偶者」「別居の子ども」の割合が高くなっています。

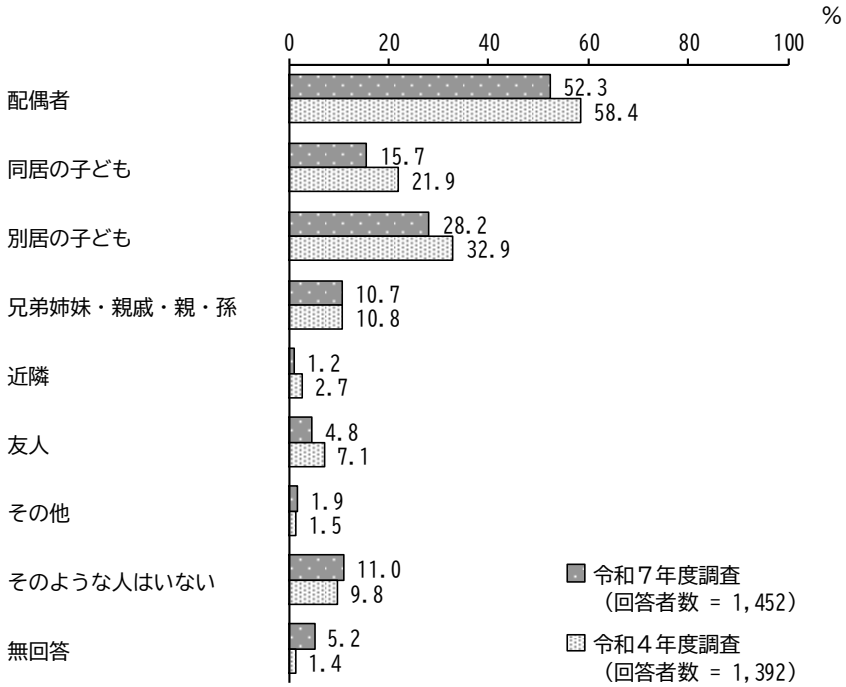
単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	1,452	46.9	13.9	29.0	32.3	9.0	45.9	2.5	6.0	4.0
東部圏域	286	45.5	14.0	26.2	29.7	6.3	45.8	2.4	7.0	4.9
北部圏域	396	47.0	14.4	27.8	34.8	9.6	48.2	3.0	6.6	2.8
中部圏域	365	52.1	13.4	34.8	31.8	9.3	44.4	1.6	4.7	4.4
西部圏域	373	43.2	13.9	26.3	32.2	9.9	46.9	3.2	6.2	3.2

問３　あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる方。（○印はいくつでも）

「配偶者」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 28.2%、「同居の子ども」の割合が 15.7%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「配偶者」「同居の子ども」の割合が減少しています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「別居の子ども」の割合が高く、「配偶者」の割合が低く、女性では年齢が下がるほど「配偶者」の割合が高くなっています。また、女性 85 歳以上で「同居の子ども」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	1,452	52.3	15.7	28.2	10.7	1.2	4.8	1.9	11.0	5.2
男性　65～74歳	278	72.7	11.2	11.9	8.6	0.0	1.4	0.7	11.9	3.2
75～84歳	271	66.1	9.2	24.7	8.9	0.4	3.0	2.2	12.9	4.1
85歳以上	88	59.1	17.0	31.8	4.5	1.1	0.0	2.3	8.0	9.1
女性　65～74歳	299	55.2	18.1	31.4	14.0	2.3	6.4	1.7	11.0	3.7
75～84歳	354	39.5	17.8	36.7	12.4	1.4	7.6	2.3	9.0	5.1
85歳以上	118	5.1	29.7	36.4	13.6	1.7	8.5	4.2	12.7	8.5

【圏域別】

圏域別にみると、中部圏域で「配偶者」の割合が高くなっています。

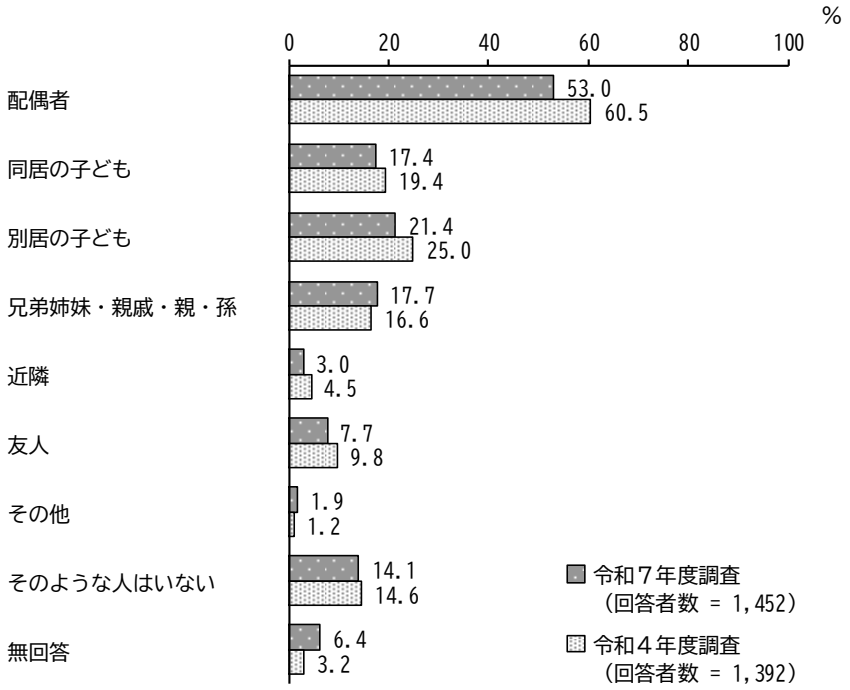
単位：％

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	1,452	52.3	15.7	28.2	10.7	1.2	4.8	1.9	11.0	5.2
東部圏域	286	52.4	17.5	26.9	10.5	1.4	5.9	2.1	11.9	6.6
北部圏域	396	52.5	15.9	27.3	12.1	1.5	4.3	2.3	11.1	4.5
中部圏域	365	58.6	16.7	28.5	8.2	1.1	3.0	1.6	8.8	3.6
西部圏域	373	47.5	13.4	29.8	12.3	0.8	6.2	1.9	12.3	4.8

問４　反対に、看病や世話をしてあげる方。（○印はいくつでも）

「配偶者」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 21.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が 17.7%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「配偶者」の割合が減少しています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「配偶者」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高く、女性では「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	1,452	53.0	17.4	21.4	17.7	3.0	7.7	1.9	14.1	6.4
男性　65～74歳	278	70.9	18.0	13.7	16.5	1.8	4.3	0.4	12.2	4.0
75～84歳	271	64.2	10.7	13.7	12.2	1.5	4.1	1.5	17.0	4.4
85歳以上	88	58.0	15.9	22.7	9.1	0.0	1.1	3.4	12.5	10.2
女性　65～74歳	299	54.2	22.4	32.1	26.8	4.3	9.7	2.0	10.0	4.3
75～84歳	354	44.1	15.8	24.9	18.9	4.8	11.9	2.0	13.6	7.3
85歳以上	118	9.3	24.6	21.2	13.6	2.5	11.9	4.2	26.3	10.2

【圏域別】

圏域別にみると、中部圏域で「配偶者」の割合が高くなっています。

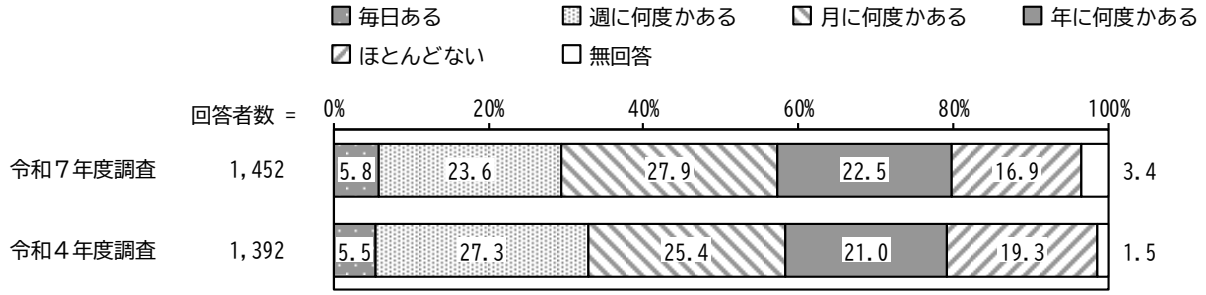
単位：%

区分	回答者数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全　体	1,452	53.0	17.4	21.4	17.7	3.0	7.7	1.9	14.1	6.4
東部圏域	286	54.9	19.2	20.3	18.9	1.4	7.7	1.7	12.6	5.2
北部圏域	396	51.3	18.4	22.0	19.9	3.3	7.3	2.5	14.9	6.3
中部圏域	365	58.9	17.0	23.8	15.3	3.8	6.6	1.6	12.3	5.2
西部圏域	373	48.3	15.8	20.6	17.4	3.2	9.1	1.3	16.6	6.4

問５　友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（○印は１つ）

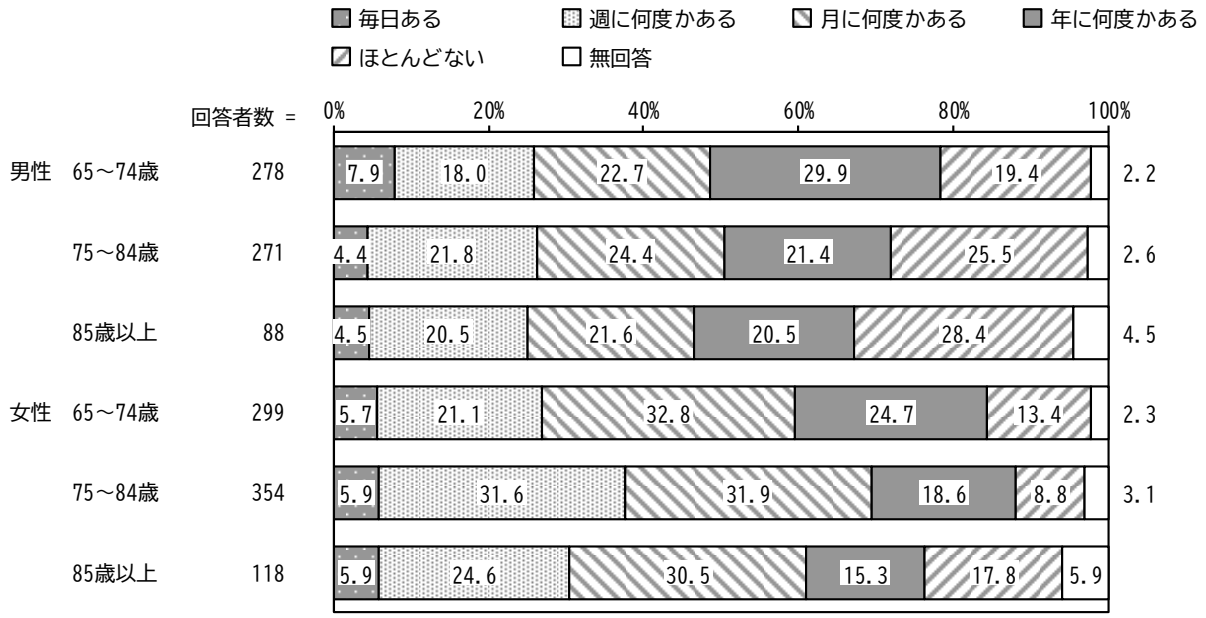
「月に何度かある」の割合が 27.9%と最も高く、次いで「週に何度かある」の割合が 23.6%、「年に何度かある」の割合が 22.5%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



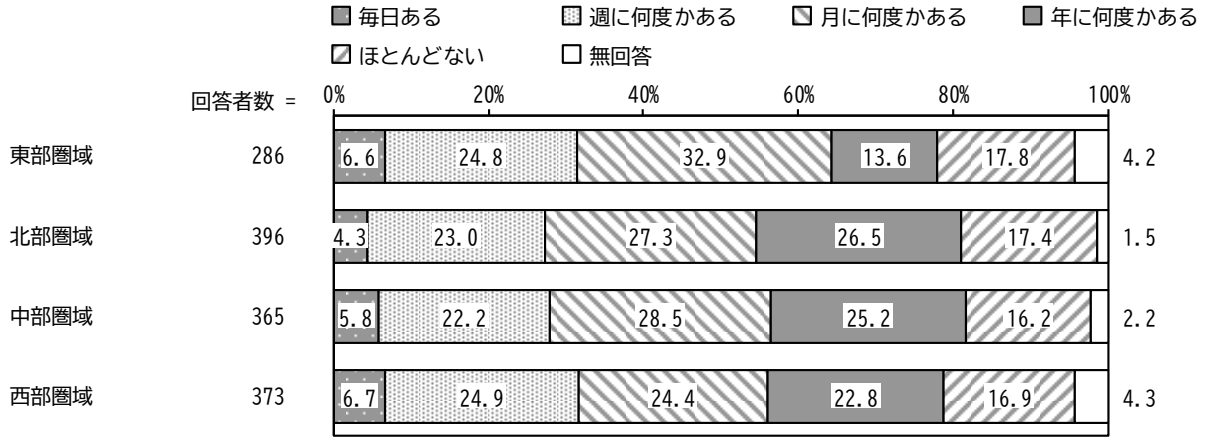
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「ほとんどない」の割合が高く、「年に何度かある」の割合が低く、女性では年齢が下がるほど「年に何度かある」の割合が高くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、東部圏域で「月に何度かある」の割合が高く、「年に何度かある」の割合が低くなっています。

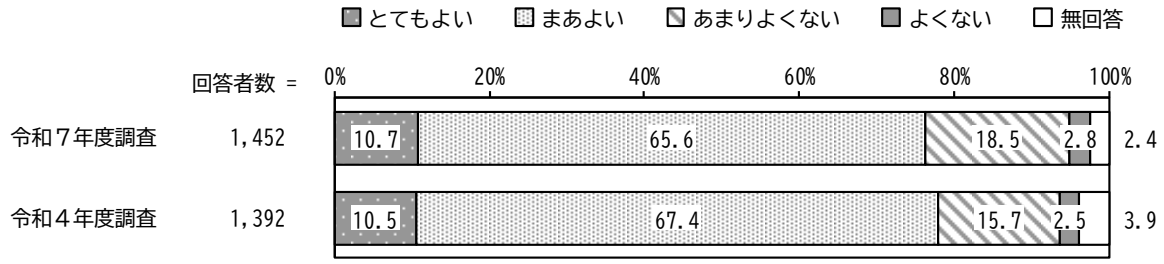


8　健康について

問1　現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○印は１つ）

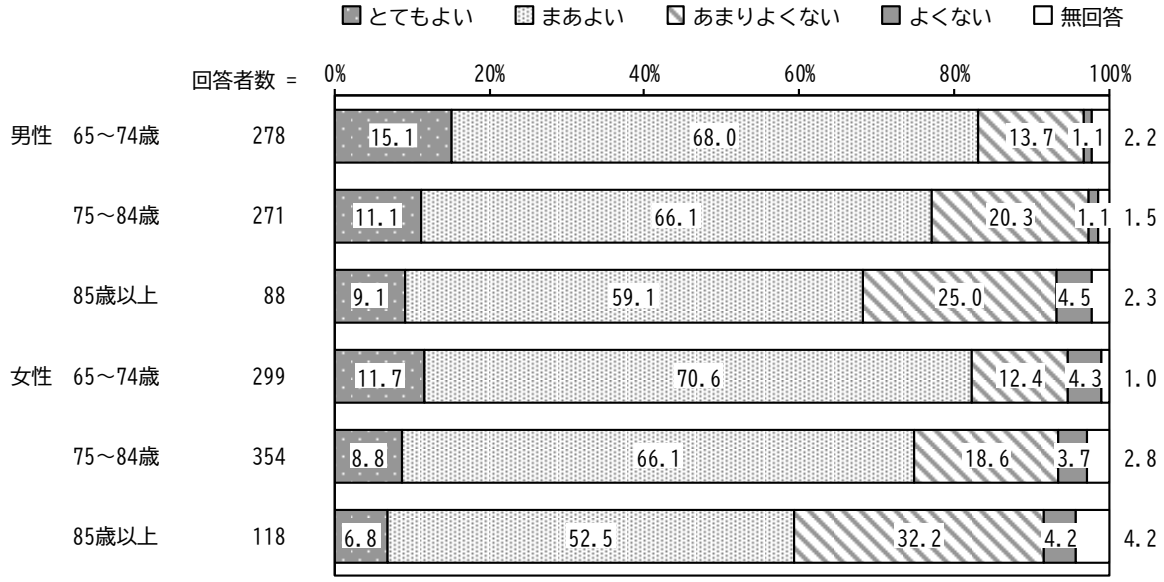
「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい”の割合が 76.3%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”の割合が 21.3%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



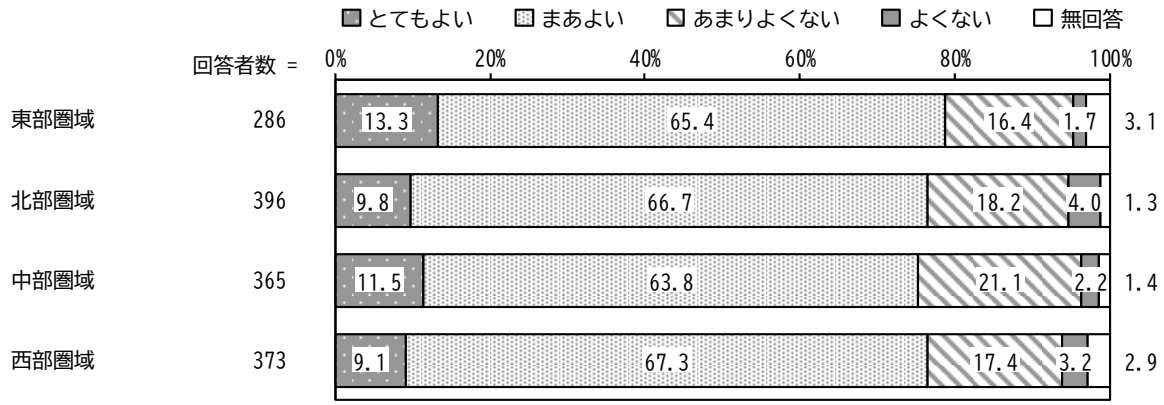
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど“よくない”の割合が高くなっています。また、女性 85 歳以上で「あまりよくない」の割合が高く、「まあよい」の割合が低くなっています。



【圏域別】

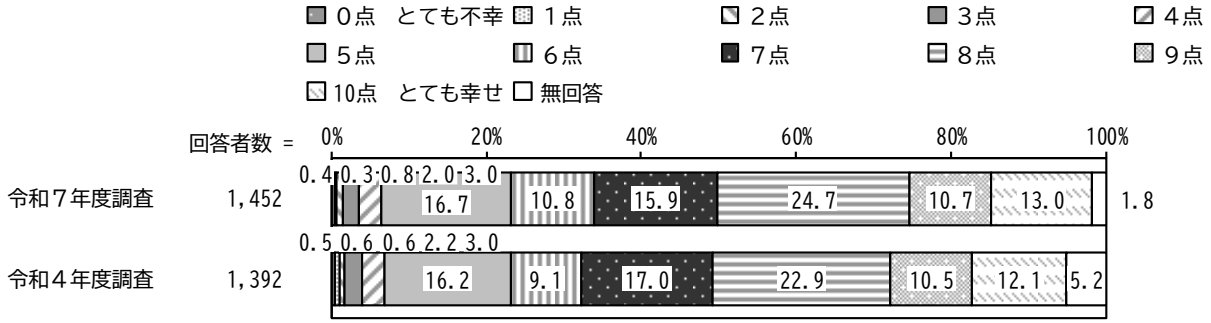
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問２　あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください）。（あてはまる点数を１つ、○印で囲む）

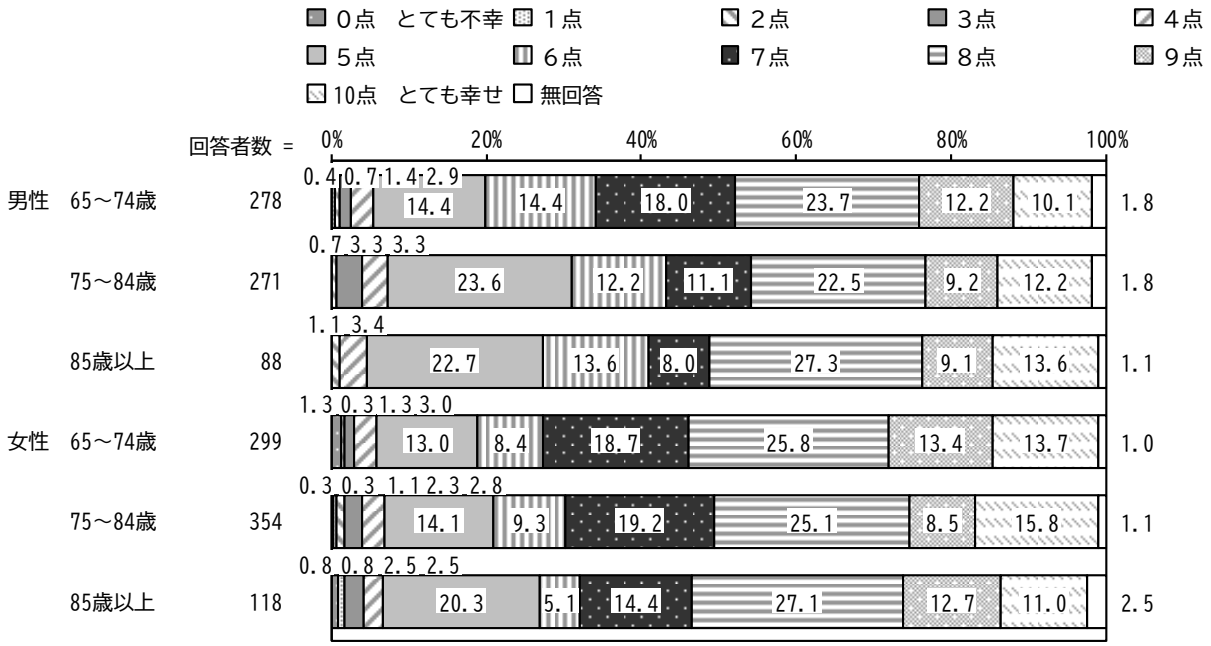
「８点」の割合が 24.7%と最も高く、次いで「５点」の割合が 16.7%、「７点」の割合が 15.9%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



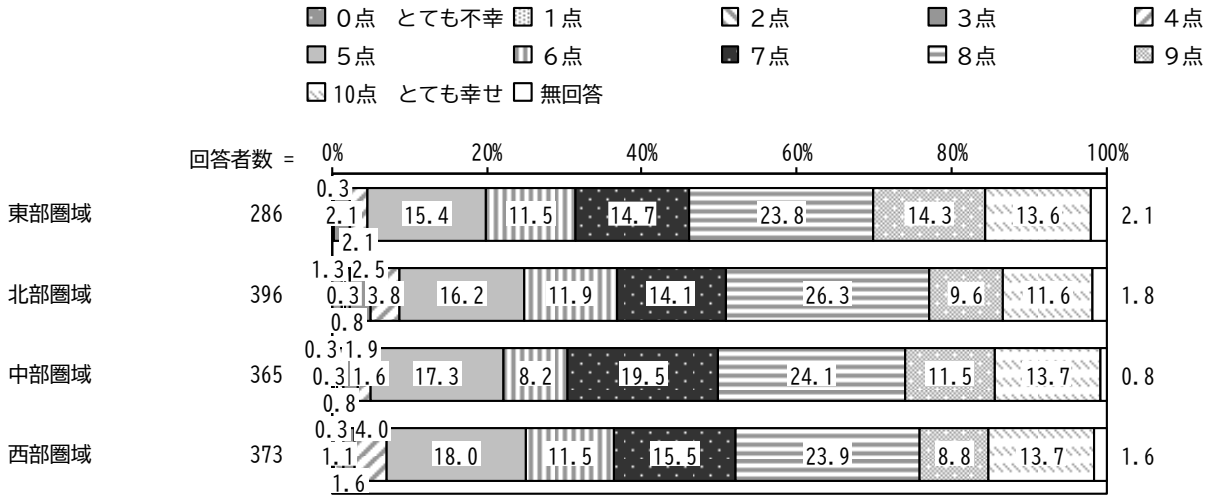
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「７点」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「５点」の割合が高くなっています。



【圏域別】

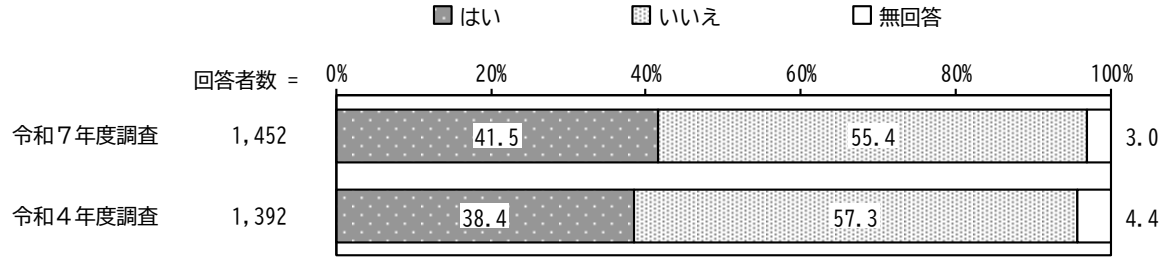
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問３　この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（○印は１つ）

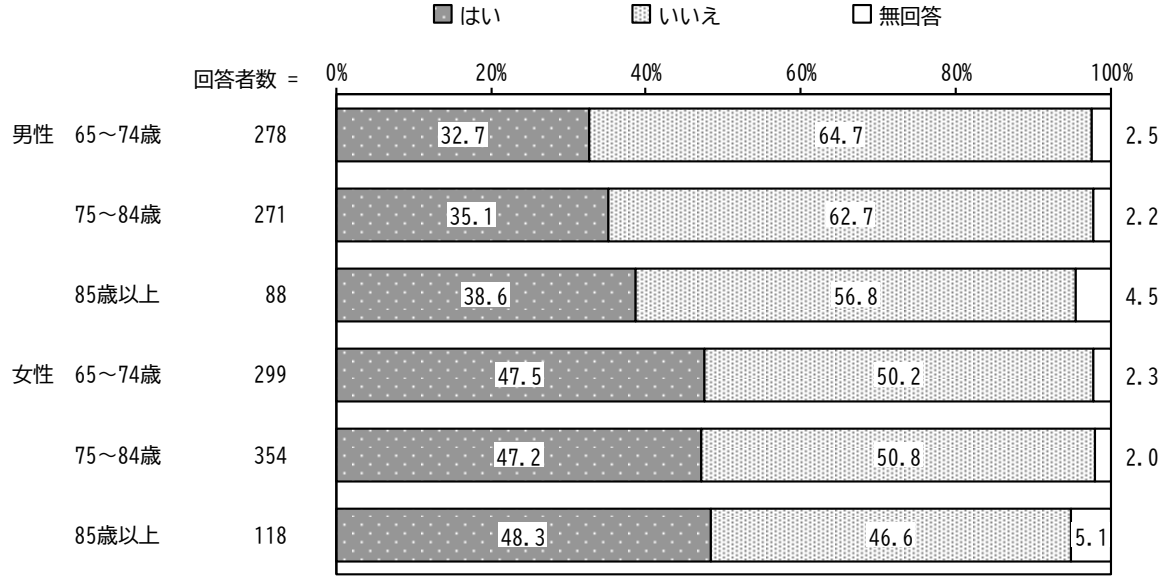
「はい」の割合が 41.5%、「いいえ」の割合が 55.4%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



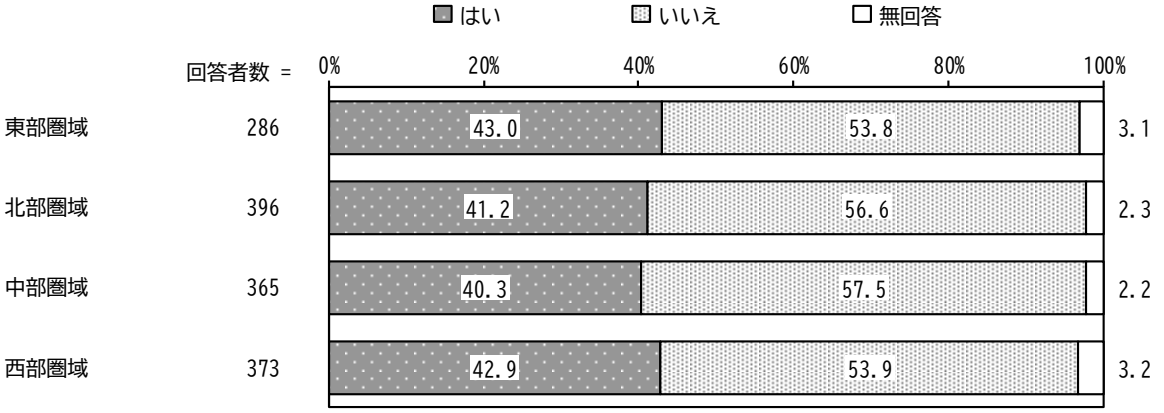
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



【圏域別】

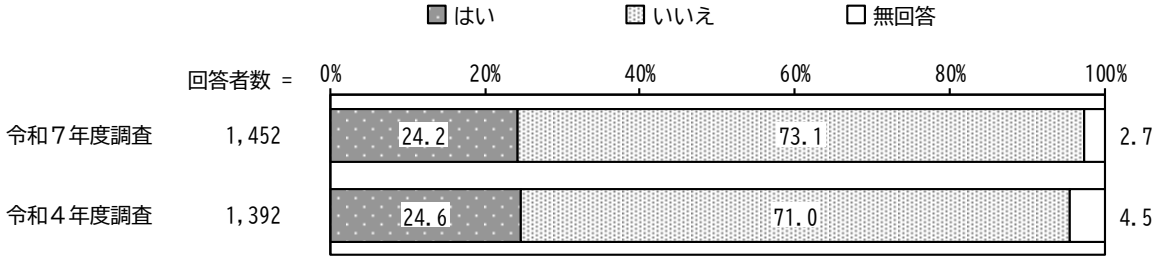
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問４　この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（○印は１つ）

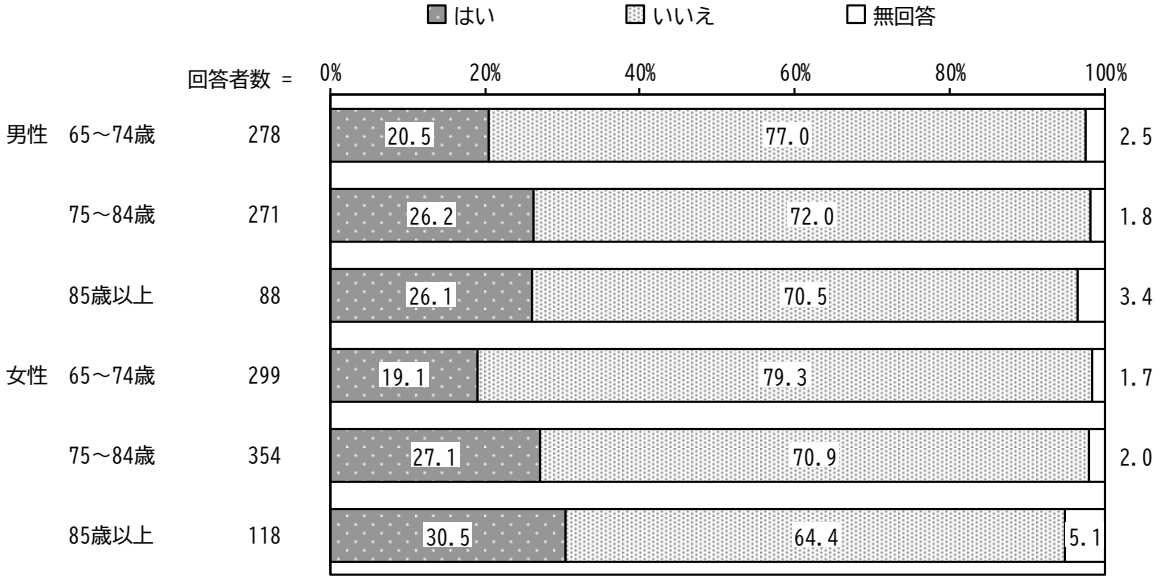
「はい」の割合が 24.2%、「いいえ」の割合が 73.1%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



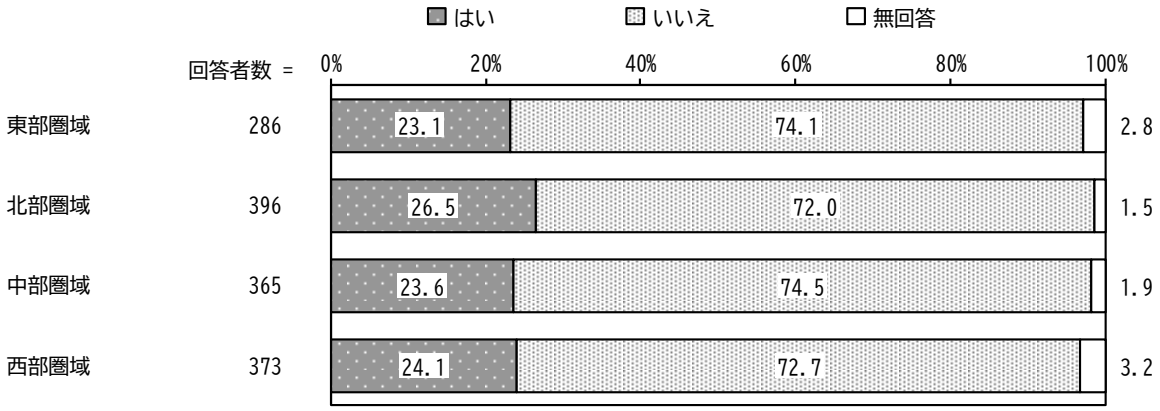
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「いいえ」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



【圏域別】

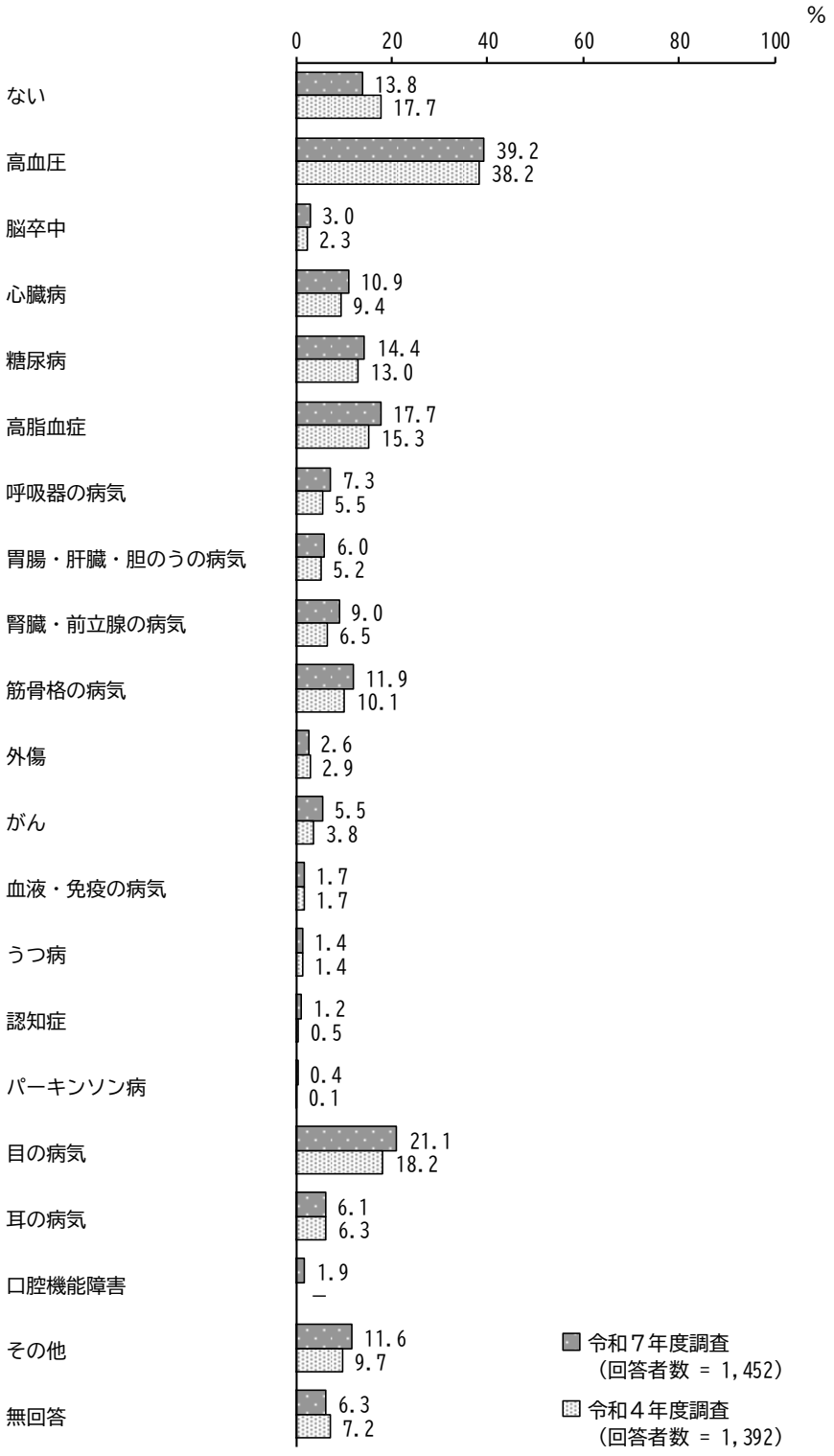
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問５　現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。（〇印はいくつでも）

「高血圧」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が 21.1%、「高脂血症」の割合が 17.7%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※今回調査より、「口腔機能障害」を追加しています。

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「高血圧」「心臓病」「呼吸器の病気」「胃腸・肝臓・胆のうの病気」「がん」の割合が高く、「ない」「高脂血症」の割合が低く、女性では「高血圧」「心臓病」の割合が高く、「ない」の割合が低くなっています。また、女性 85 歳以上で「筋骨格の病気」「目の病気」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	ない	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気
全　体	1,452	13.8	39.2	3.0	10.9	14.4	17.7	7.3	6.0	9.0	11.9
男性　65～74歳	278	22.3	41.0	2.5	9.7	15.8	14.0	3.6	5.0	11.5	5.4
75～84歳	271	10.0	43.9	5.9	15.1	18.8	12.5	7.7	8.1	17.3	4.8
85歳以上	88	8.0	48.9	5.7	17.0	19.3	8.0	10.2	11.4	17.0	10.2
女性　65～74歳	299	18.4	25.4	2.3	4.7	10.4	22.4	6.4	4.3	4.3	16.1
75～84歳	354	12.1	36.4	1.7	11.3	13.8	22.6	8.5	4.5	3.7	15.3
85歳以上	118	5.1	55.9	1.7	11.9	10.2	20.3	8.5	8.5	3.4	25.4

区分	外傷	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	口腔機能障害	その他	無回答
全　体	2.6	5.5	1.7	1.4	1.2	0.4	21.1	6.1	1.9	11.6	6.3
男性　65～74歳	1.1	5.0	1.1	2.2	0.4	0.0	11.5	3.6	0.7	10.4	5.0
75～84歳	1.8	5.2	1.5	1.1	0.7	0.0	19.2	6.6	1.5	8.5	3.7
85歳以上	4.5	12.5	1.1	0.0	6.8	1.1	25.0	13.6	4.5	10.2	6.8
女性　65～74歳	3.0	4.7	2.3	2.0	0.3	0.3	20.7	5.4	1.7	14.4	3.7
75～84歳	3.7	4.5	2.0	1.1	1.4	0.8	24.6	6.2	1.4	13.0	8.8
85歳以上	2.5	7.6	0.8	1.7	0.8	0.8	33.9	7.6	6.8	11.9	7.6

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

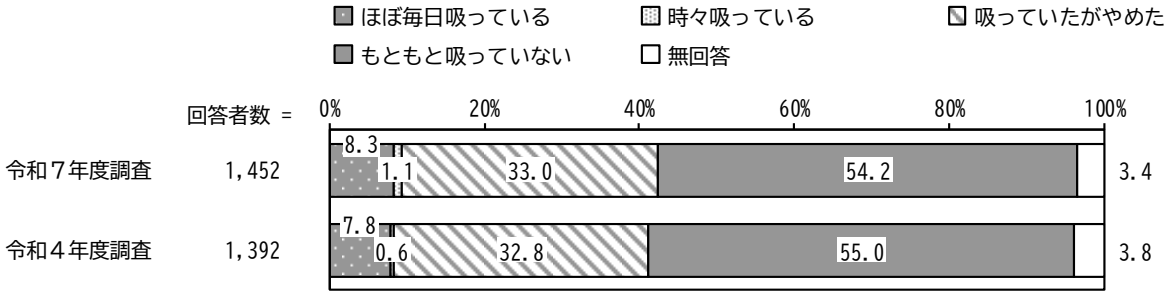
区分	回答者数（件）	ない	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気
全　体	1,452	13.8	39.2	3.0	10.9	14.4	17.7	7.3	6.0	9.0	11.9
東部圏域	286	16.8	40.2	3.8	9.4	11.9	18.2	5.9	4.5	8.4	10.1
北部圏域	396	13.1	35.9	3.3	10.4	15.2	18.7	6.8	5.8	8.6	13.4
中部圏域	365	15.9	36.7	3.0	11.5	15.3	14.2	9.0	7.9	6.8	10.1
西部圏域	373	11.5	44.0	2.4	12.1	15.0	20.1	6.7	5.6	12.1	13.7

区分	外傷	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	口腔機能障害	その他	無回答
全　体	2.6	5.5	1.7	1.4	1.2	0.4	21.1	6.1	1.9	11.6	6.3
東部圏域	1.7	5.9	2.1	0.7	1.4	1.0	22.0	8.0	2.1	10.8	4.5
北部圏域	4.3	5.8	1.3	2.0	0.5	0.5	20.7	6.1	0.5	14.6	7.1
中部圏域	3.0	5.5	1.4	1.6	1.4	0.0	17.0	5.2	3.0	9.9	6.0
西部圏域	1.1	4.8	1.9	1.3	1.6	0.3	24.9	5.6	2.4	10.7	5.4

問６　タバコは吸っていますか。（○印は１つ）

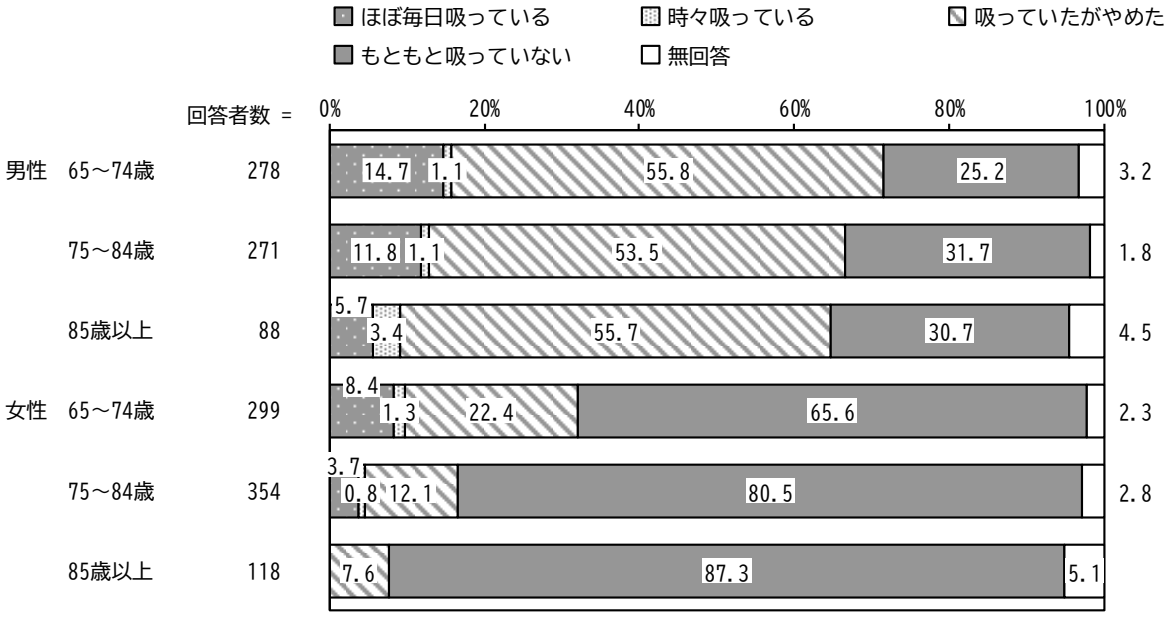
「もともと吸っていない」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 33.0%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



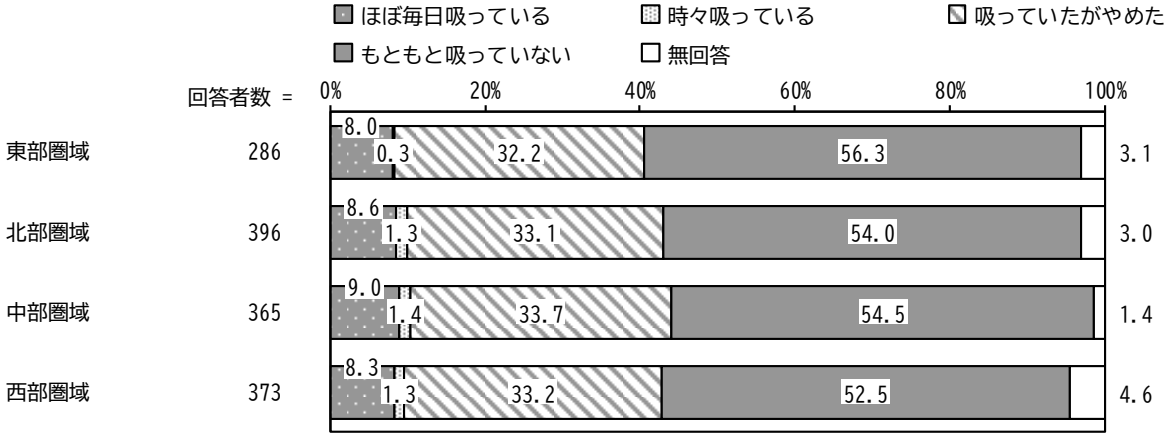
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「ほぼ毎日吸っている」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「もともと吸っていない」の割合が高く、「吸っていたがやめた」の割合が低くなっています。



【圏域別】

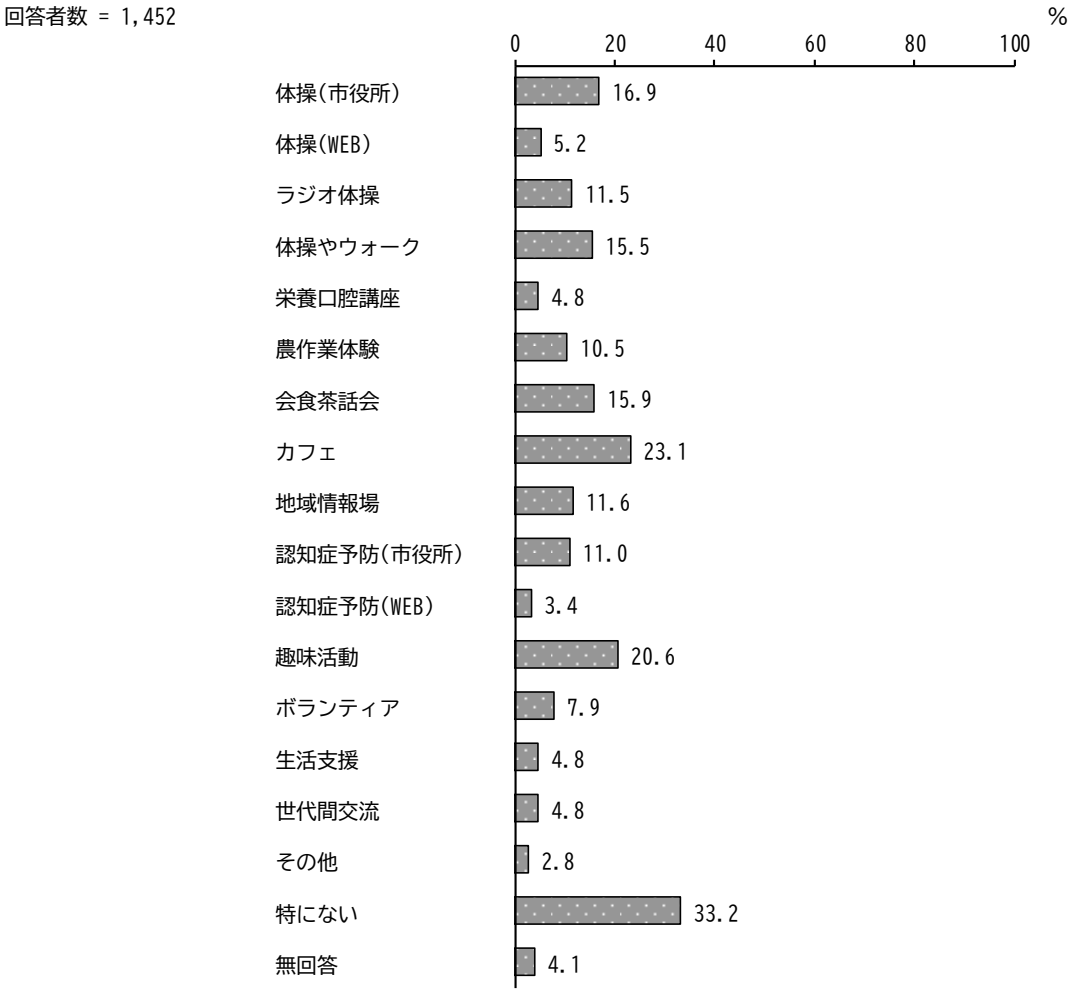
圏域別にみると、大きな差はみられません。



9　在宅医療・介護予防などについて

問1　どのような介護予防や通いの場であれば参加したいと思いますか。（○印はいくつでも）

「カフェ」の割合が 23.1%と最も高く、次いで「趣味活動」の割合が 20.6%、「体操(市役所)」の割合が 16.9%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「体操(市役所)」「ラジオ体操」「認知症予防(市役所)」の割合が高く、「カフェ」の割合が低く、女性では年齢が下がるほど「体操(市役所)」「農作業体験」「カフェ」「趣味活動」の割合が高く、「ラジオ体操」「会食茶話会」「認知症予防(市役所)」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	体操(市役所)	体操(WEB)	ラジオ体操	体操やウォーク	栄養口腔講座	農作業体験	会食茶話会	カフェ	地域情報場
全　体	1,452	16.9	5.2	11.5	15.5	4.8	10.5	15.9	23.1	11.6
男性　65～74歳	278	10.4	6.5	7.9	16.2	3.2	13.3	11.2	30.9	10.8
75～84歳	271	11.1	6.3	10.0	15.9	3.7	14.4	9.2	20.7	7.0
85歳以上	88	18.2	3.4	14.8	13.6	4.5	3.4	20.5	19.3	9.1
女性　65～74歳	299	23.7	5.4	9.7	16.1	6.7	12.0	17.1	28.4	14.4
75～84歳	354	22.3	4.5	13.8	16.9	5.4	8.2	20.1	20.1	14.4
85歳以上	118	13.6	2.5	16.9	10.2	5.1	5.1	25.4	10.2	13.6

区分	認知症予防（市役所）	認知症予防(WEB)	趣味活動	ボランティア	生活支援	世代間交流	その他	特にない	無回答
全　体	11.0	3.4	20.6	7.9	4.8	4.8	2.8	33.2	4.1
男性　65～74歳	5.8	4.0	16.9	9.0	4.3	5.4	0.7	39.9	3.2
75～84歳	5.9	4.4	16.2	8.5	3.0	5.2	3.0	39.9	3.7
85歳以上	12.5	4.5	21.6	8.0	4.5	2.3	6.8	36.4	4.5
女性　65～74歳	10.0	2.0	28.4	8.7	6.0	7.7	2.7	27.1	2.0
75～84歳	17.2	3.1	22.0	8.5	6.5	4.0	2.8	26.8	2.5
85歳以上	18.6	3.4	16.9	1.7	4.2	0.8	5.9	33.1	9.3

【圏域別】

圏域別にみると、北部圏域で「体操(市役所)」の割合が高くなっています。

単位：%

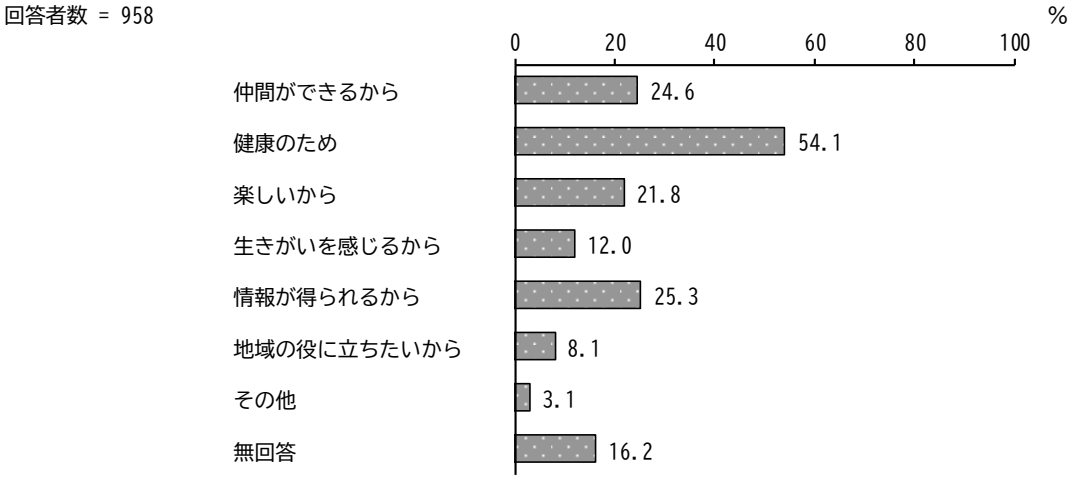
区分	回答者数（件）	体操(市役所)	体操(WEB)	ラジオ体操	体操やウォーク	栄養口腔講座	農作業体験	会食茶話会	カフェ	地域情報場
全　体	1,452	16.9	5.2	11.5	15.5	4.8	10.5	15.9	23.1	11.6
東部圏域	286	18.5	6.3	11.5	14.3	4.5	11.5	15.7	26.9	13.3
北部圏域	396	22.2	4.3	8.3	13.4	5.6	9.3	16.4	21.5	11.4
中部圏域	365	14.2	5.2	12.9	18.1	4.7	12.3	17.5	23.6	10.7
西部圏域	373	13.1	5.1	13.4	15.3	4.6	9.7	13.7	22.3	12.1

区分	認知症予防（市役所）	認知症予防(WEB)	趣味活動	ボランティア	生活支援	世代間交流	その他	特にない	無回答
全　体	11.0	3.4	20.6	7.9	4.8	4.8	2.8	33.2	4.1
東部圏域	9.4	4.9	21.7	9.1	3.8	3.5	2.4	31.8	3.8
北部圏域	14.6	2.8	21.2	7.6	4.3	4.5	2.3	34.6	2.8
中部圏域	11.2	3.8	23.3	8.2	6.8	6.3	3.8	30.4	3.8
西部圏域	8.0	2.4	17.7	7.5	4.6	5.1	2.9	35.7	4.6

※　問１で「体操(市役所)」から「その他」に回答した方のみ、お答えください。

問２　介護予防や通いの場に参加したいと思う理由は何ですか。（〇印はいくつでも）

「健康のため」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「情報が得られるから」の割合が 25.3%、「仲間ができるから」の割合が 24.6%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「健康のため」「情報が得られるから」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「生きがいを感じるから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	仲間ができるから	健康のため	楽しいから	生きがいを感じるから	情報が得られるから	地域の役に立ちたいから	その他	無回答
全　体	958	24.6	54.1	21.8	12.0	25.3	8.1	3.1	16.2
男性　65～74歳	169	24.9	59.8	19.5	10.1	28.4	8.3	4.1	8.9
75～84歳	159	27.7	54.7	18.9	14.5	21.4	9.4	1.9	17.0
85歳以上	58	24.1	48.3	15.5	12.1	17.2	8.6	8.6	22.4
女性　65～74歳	217	24.0	54.8	24.0	8.3	24.9	9.7	4.1	14.3
75～84歳	261	24.5	50.6	23.4	13.4	27.6	7.3	1.9	18.4
85歳以上	75	20.0	53.3	25.3	16.0	25.3	4.0	1.3	24.0

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

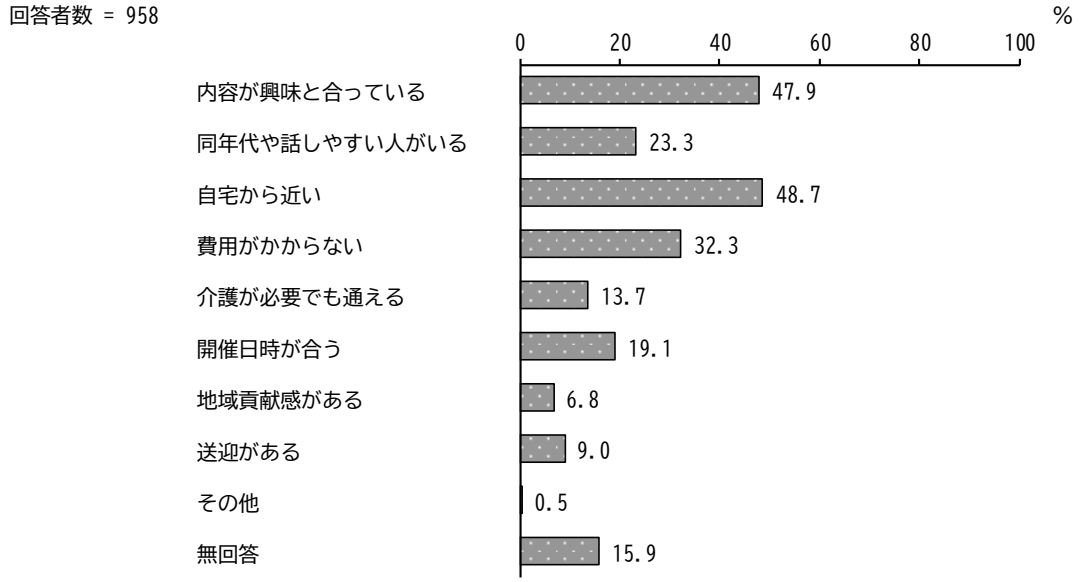
単位：%

区分	回答者数（件）	仲間ができるから	健康のため	楽しいから	生きがいを感じるから	情報が得られるから	地域の役に立ちたいから	その他	無回答
全　体	958	24.6	54.1	21.8	12.0	25.3	8.1	3.1	16.2
東部圏域	192	25.5	54.2	26.0	16.1	27.1	5.7	2.6	14.1
北部圏域	256	22.7	50.0	18.0	10.2	24.2	9.0	3.5	18.8
中部圏域	256	26.2	54.3	24.6	9.8	23.8	8.2	3.9	16.4
西部圏域	238	25.2	57.1	20.2	12.6	26.5	9.2	2.5	15.1

※　問１で「体操(市役所)」から「その他」に回答した方のみ、お答えください。

問３　介護予防や通いの場に参加する際、どのような点を重視しますか。(○印はいくつでも)

「自宅から近い」の割合が 48.7%と最も高く、次いで「内容が興味と合っている」の割合が 47.9%、「費用がかからない」の割合が 32.3%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「介護が必要でも通える」「送迎がある」の割合が高く、「内容が興味と合っている」「開催日時が合う」の割合が低く、女性では年齢が下がるほど「内容が興味と合っている」「費用がかからない」「開催日時が合う」の割合が高く、「介護が必要でも通える」「送迎がある」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	内容が興味と合っている	同年代や話しやすい人がいる	自宅から近い	費用がかからない	介護が必要でも通える	開催日時が合う	地域貢献感がある	送迎がある	その他	無回答
全　体	958	47.9	23.3	48.7	32.3	13.7	19.1	6.8	9.0	0.5	15.9
男性　65～74歳	169	55.0	23.7	46.7	38.5	8.9	18.3	7.1	1.8	0.0	10.7
75～84歳	159	45.3	25.2	42.1	27.7	10.7	10.1	4.4	9.4	0.0	17.0
85歳以上	58	43.1	17.2	48.3	36.2	19.0	5.2	8.6	19.0	1.7	19.0
女性　65～74歳	217	57.6	23.0	52.1	36.9	6.9	27.6	6.5	4.6	0.5	13.4
75～84歳	261	44.4	21.8	52.1	29.9	19.5	23.4	8.8	10.7	0.8	17.2
85歳以上	75	26.7	24.0	45.3	22.7	26.7	9.3	2.7	22.7	1.3	21.3

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

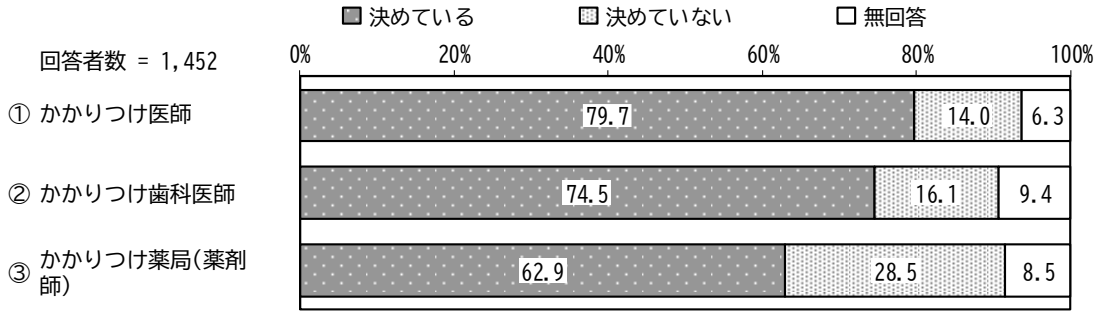
単位：％

区分	回答者数（件）	内容が興味と合っている	同年代や話しやすい人がいる	自宅から近い	費用がかからない	介護が必要でも通える	開催日時が合う	地域貢献感がある	送迎がある	その他	無回答
全　体	958	47.9	23.3	48.7	32.3	13.7	19.1	6.8	9.0	0.5	15.9
東部圏域	192	52.6	23.4	50.5	33.9	15.1	17.7	7.8	6.3	0.5	13.0
北部圏域	256	42.2	22.7	44.5	32.0	12.1	19.1	9.0	9.0	0.8	19.1
中部圏域	256	50.8	21.9	48.4	30.1	15.2	19.5	3.9	11.3	0.0	15.6
西部圏域	238	47.9	24.4	52.1	34.5	12.6	19.7	6.7	8.0	0.4	14.3

問４　あなたは、かかりつけ医師、歯科医師、薬局（薬剤師）を決めていますか。（○印はそれぞれに１つ）

①かかりつけ医師

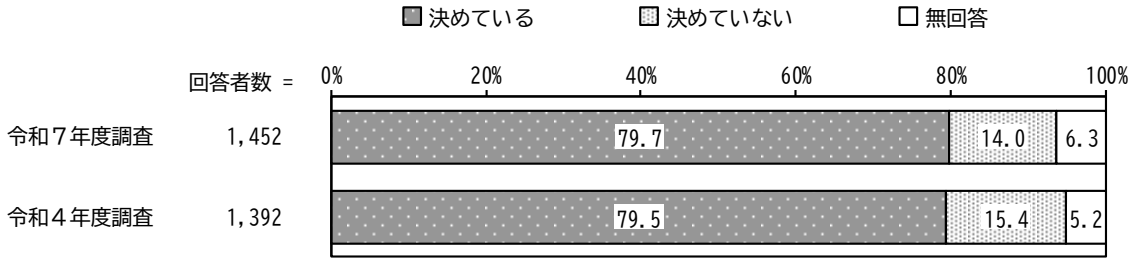
『① かかりつけ医師』で「決めている」が、『③かかりつけ薬局(薬剤師)』で「決めていない」が高くなっています。



① かかりつけ医師

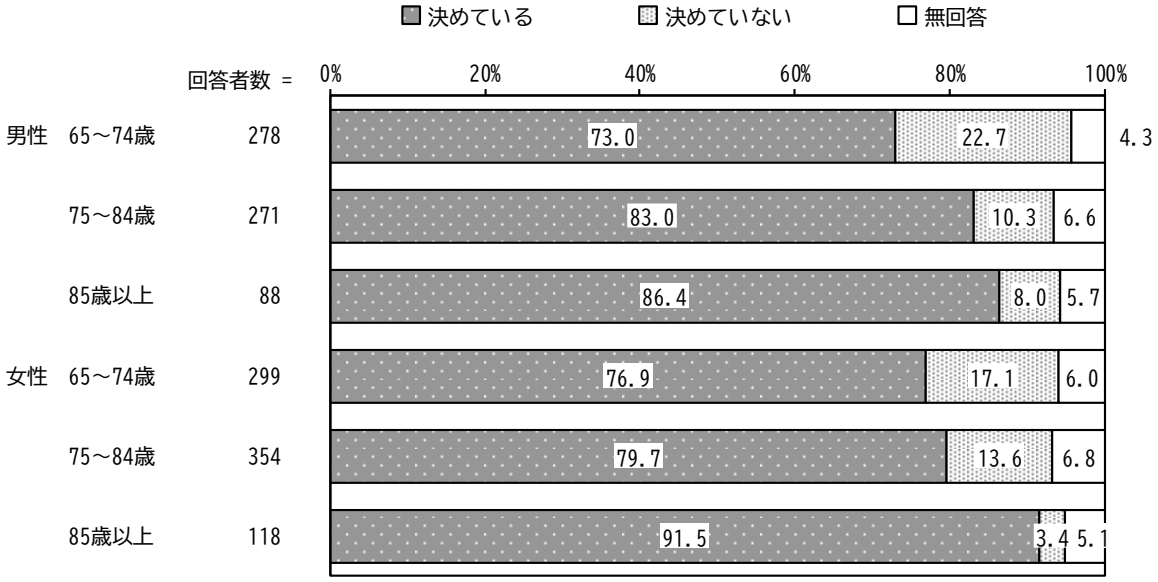
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



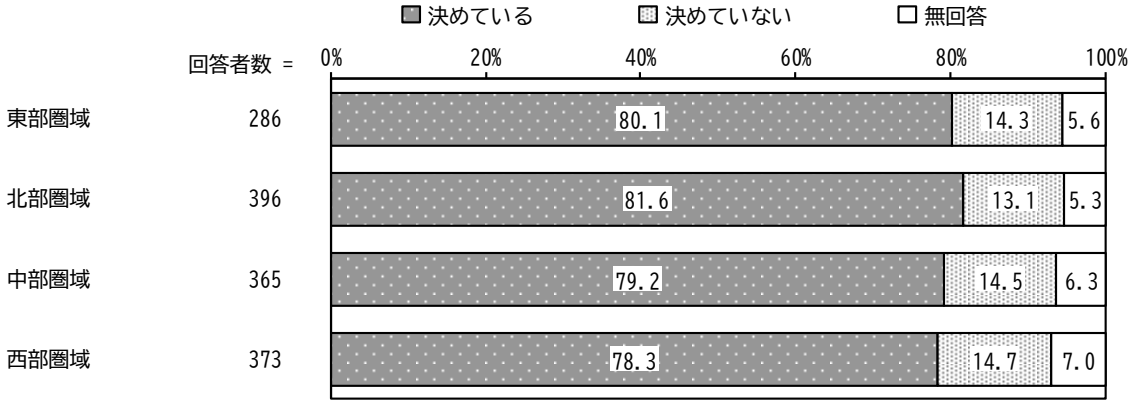
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「決めている」の割合が高くなっています。また、女性 85 歳以上で「決めていない」の割合が低くなっています。



【圏域別】

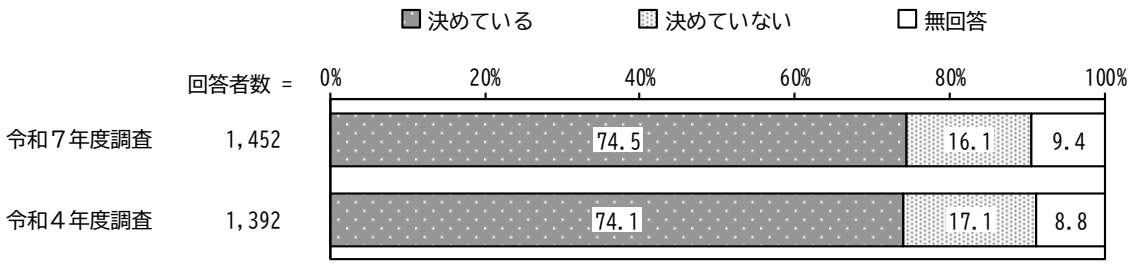
圏域別にみると、大きな差はみられません。



②かかりつけ歯科医師

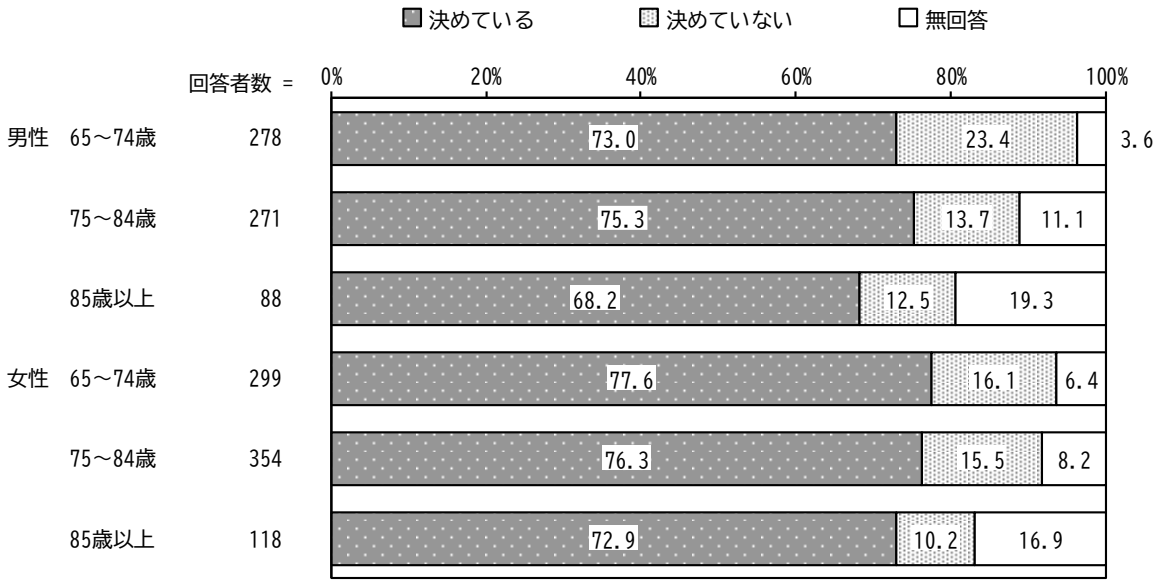
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



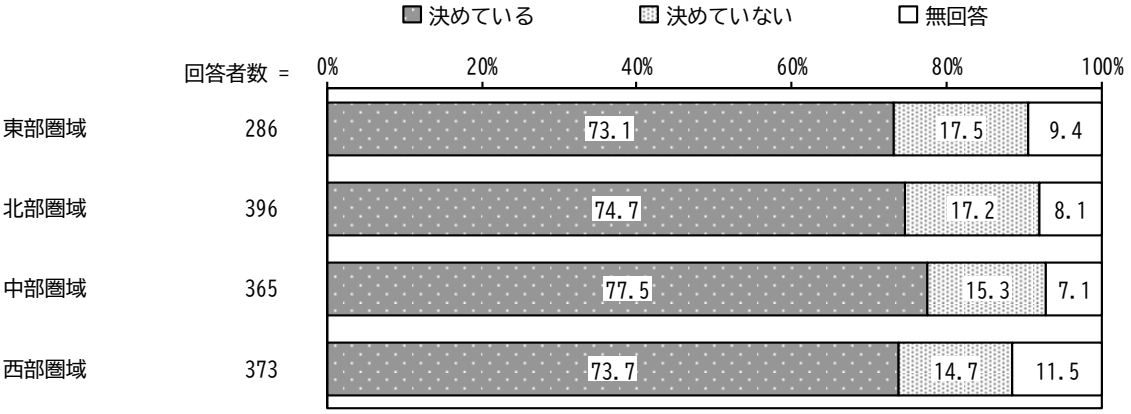
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「決めていない」の割合が高く、女性では「決めている」「決めていない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

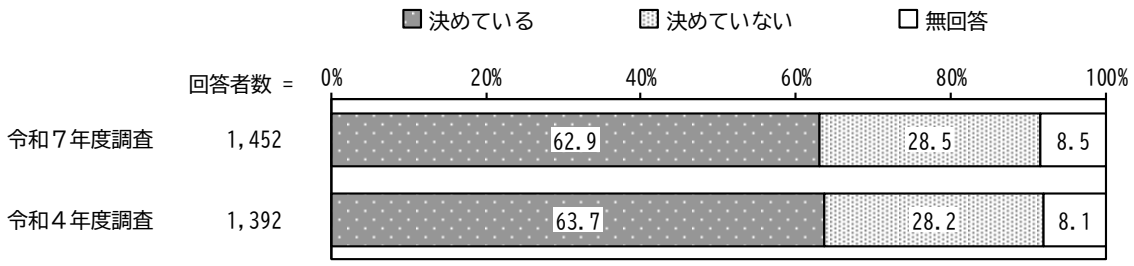
圏域別にみると、大きな差はみられません。



③かかりつけ薬局(薬剤師)

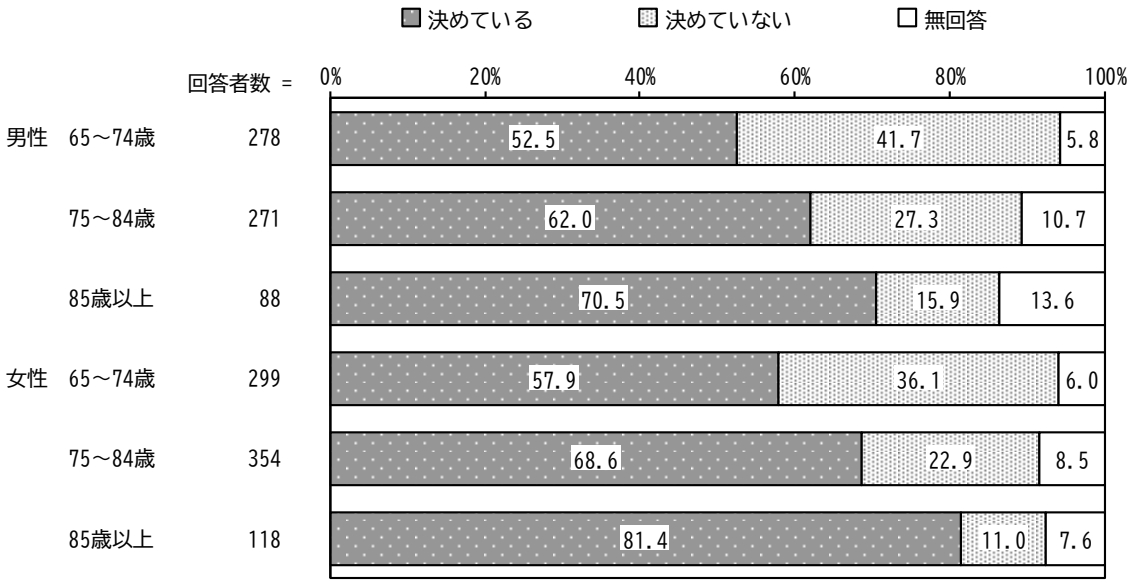
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



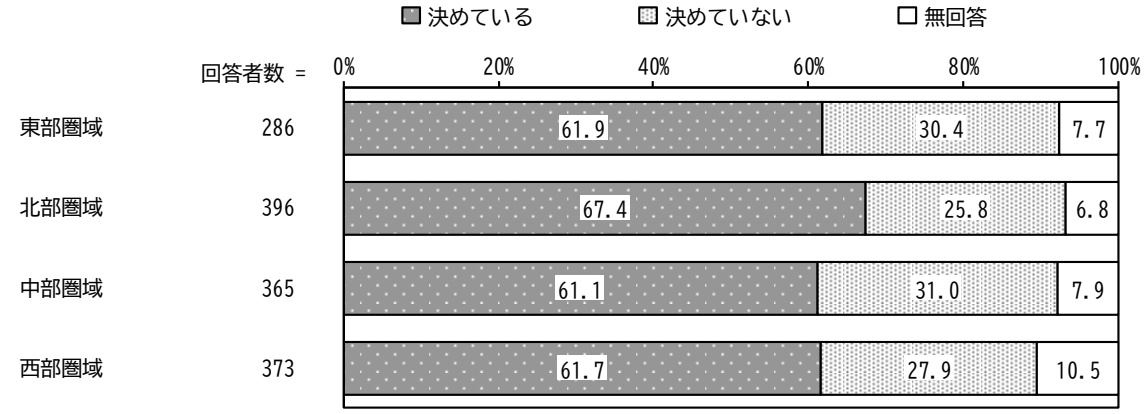
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「決めている」の割合が高くなっています。また、男性 65～74 歳で「決めていない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

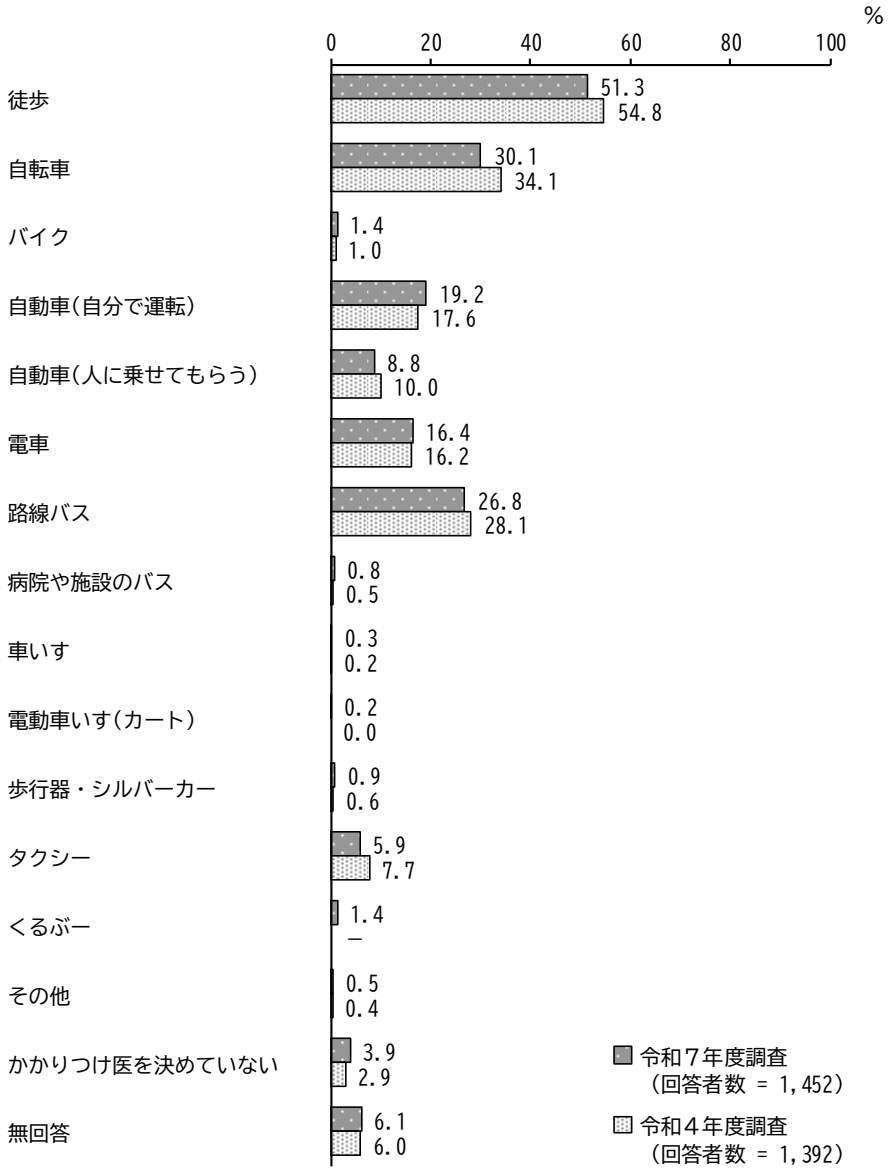
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問５　かかりつけ医師がいる病院等への通院手段は何ですか。（○印はいくつでも）

「徒歩」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「自転車」の割合が 30.1%、「路線バス」の割合が 26.8%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※今回調査より、「くるぶー」を追加しています。

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「自動車(人に乗せてもらう)」「路線バス」「タクシー」の割合が高く、「自動車(自分で運転)」「電車」の割合が低く、女性では「徒歩」「路線バス」の割合が高く、「自転車」「自動車(自分で運転)」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス
全　体	1,452	51.3	30.1	1.4	19.2	8.8	16.4	26.8	0.8
男性　65～74歳	278	43.5	28.1	2.9	33.8	3.2	19.4	18.7	0.4
75～84歳	271	52.8	32.1	3.0	25.8	5.2	14.4	20.7	1.1
85歳以上	88	50.0	23.9	1.1	9.1	11.4	13.6	26.1	2.3
女性　65～74歳	299	51.8	41.1	0.3	20.7	12.4	15.1	25.1	1.0
75～84歳	354	54.0	28.5	0.6	9.6	10.7	19.8	35.9	0.3
85歳以上	118	61.9	12.7	0.0	0.8	13.6	9.3	39.8	0.8

区分	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	くるぶー	その他	かかりつけ医を決めていない	無回答
全　体	0.3	0.2	0.9	5.9	1.4	0.5	3.9	6.1
男性　65～74歳	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	8.6	4.3
75～84歳	0.4	0.0	0.7	3.0	0.7	0.0	2.2	7.0
85歳以上	1.1	0.0	1.1	13.6	5.7	1.1	1.1	3.4
女性　65～74歳	0.0	0.3	0.0	4.0	0.7	0.7	4.3	4.3
75～84歳	0.6	0.0	0.8	8.8	2.0	0.8	3.4	7.1
85歳以上	0.0	0.0	5.1	15.3	2.5	0.8	0.0	5.9

【圏域別】

圏域別にみると、西部圏域で「路線バス」の割合が高くなっています。

単位：%

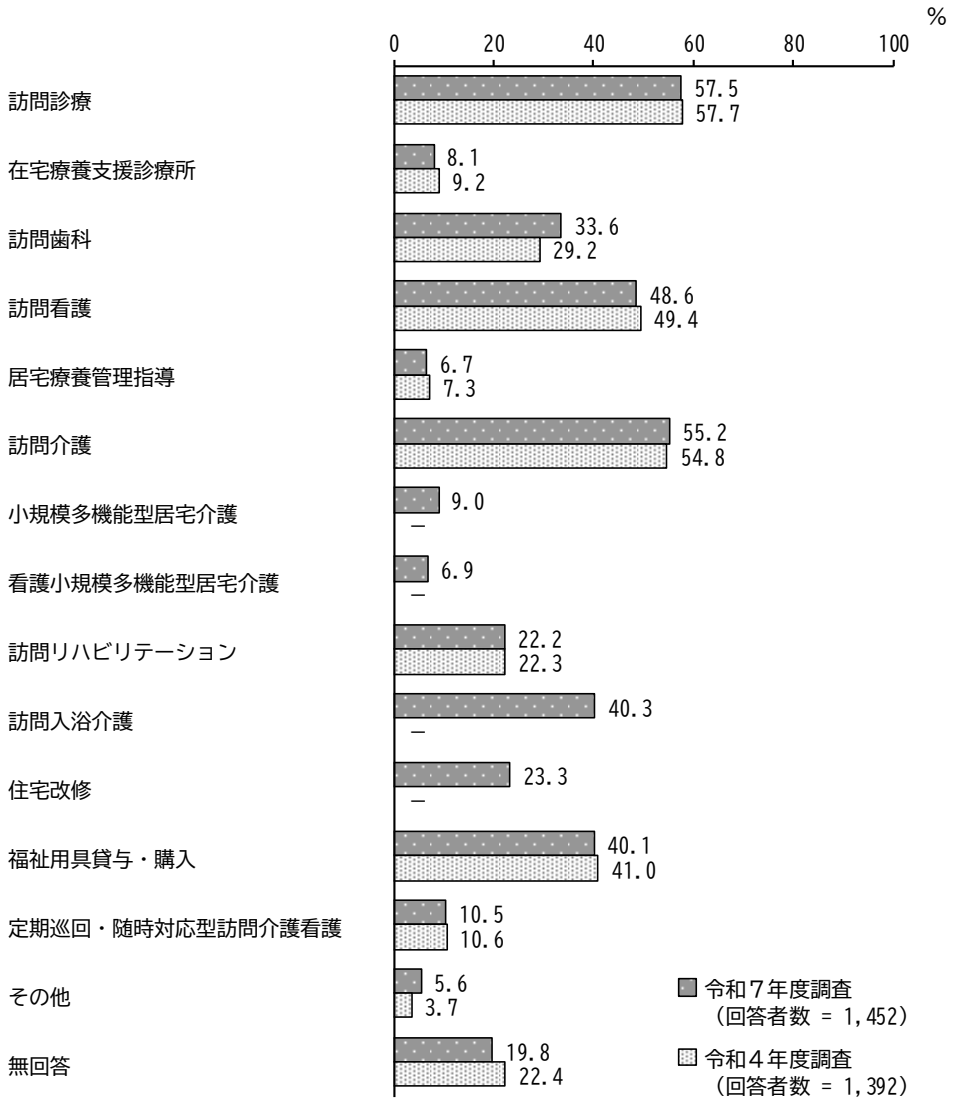
区分	回答者数（件）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス
全　体	1,452	51.3	30.1	1.4	19.2	8.8	16.4	26.8	0.8
東部圏域	286	52.1	25.9	1.7	15.4	5.9	18.5	20.3	1.0
北部圏域	396	54.8	29.3	0.8	18.4	7.8	15.4	24.5	1.3
中部圏域	365	50.4	31.8	1.6	24.1	11.5	18.1	27.4	0.3
西部圏域	373	49.3	32.7	1.6	18.0	8.6	13.4	33.2	0.5

区分	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	くるぶー	その他	かかりつけ医を決めていない	無回答
全　体	0.3	0.2	0.9	5.9	1.4	0.5	3.9	6.1
東部圏域	0.7	0.3	1.4	7.0	1.0	0.3	4.2	8.0
北部圏域	0.3	0.3	0.5	5.6	1.0	0.3	4.5	5.8
中部圏域	0.3	0.0	0.8	5.8	1.9	0.5	3.8	5.5
西部圏域	0.0	0.0	0.8	5.1	1.3	0.8	3.2	4.8

問６　在宅医療・介護について、知っているサービスはありますか。（○印はいくつでも）

「訪問診療」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「訪問介護」の割合が 55.2%、「訪問看護」の割合が 48.6%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※今回調査より、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」、「訪問入浴介護」、「住宅改修」を追加しています。

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「在宅療養支援診療所」「訪問看護」「小規模多機能型居宅介護」「訪問リハビリテーション」「訪問入浴介護」の割合が高く、女性では全体的に割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	訪問診療	在宅療養支援診療所	訪問歯科	訪問看護	居宅療養管理指導	訪問介護	小規模多機能型居宅介護
全　体	1,452	57.5	8.1	33.6	48.6	6.7	55.2	9.0
男性　65～74歳	278	57.2	13.7	32.7	54.0	6.1	64.4	11.5
75～84歳	271	47.6	4.8	21.0	36.2	3.3	43.2	4.8
85歳以上	88	47.7	3.4	21.6	34.1	4.5	43.2	3.4
女性　65～74歳	299	68.9	11.0	46.8	61.5	11.7	62.9	15.7
75～84歳	354	63.6	6.2	39.8	49.7	7.1	59.3	7.6
85歳以上	118	50.8	5.1	25.4	44.9	5.1	44.9	5.9

区分	看護小規模多機能型居宅介護	訪問リハビリテーション	訪問入浴介護	住宅改修	福祉用具貸与・購入	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	その他	無回答
全　体	6.9	22.2	40.3	23.3	40.1	10.5	5.6	19.8
男性　65～74歳	9.4	26.6	42.4	21.2	37.4	12.6	5.8	18.0
75～84歳	3.3	15.5	27.3	11.4	26.2	5.9	9.2	25.5
85歳以上	0.0	13.6	21.6	15.9	27.3	8.0	6.8	21.6
女性　65～74歳	11.0	31.1	50.5	35.8	52.5	14.0	2.7	13.0
75～84歳	7.1	22.9	47.5	28.2	46.6	10.2	4.5	19.2
85歳以上	5.1	15.3	39.0	18.6	43.2	10.2	6.8	18.6

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

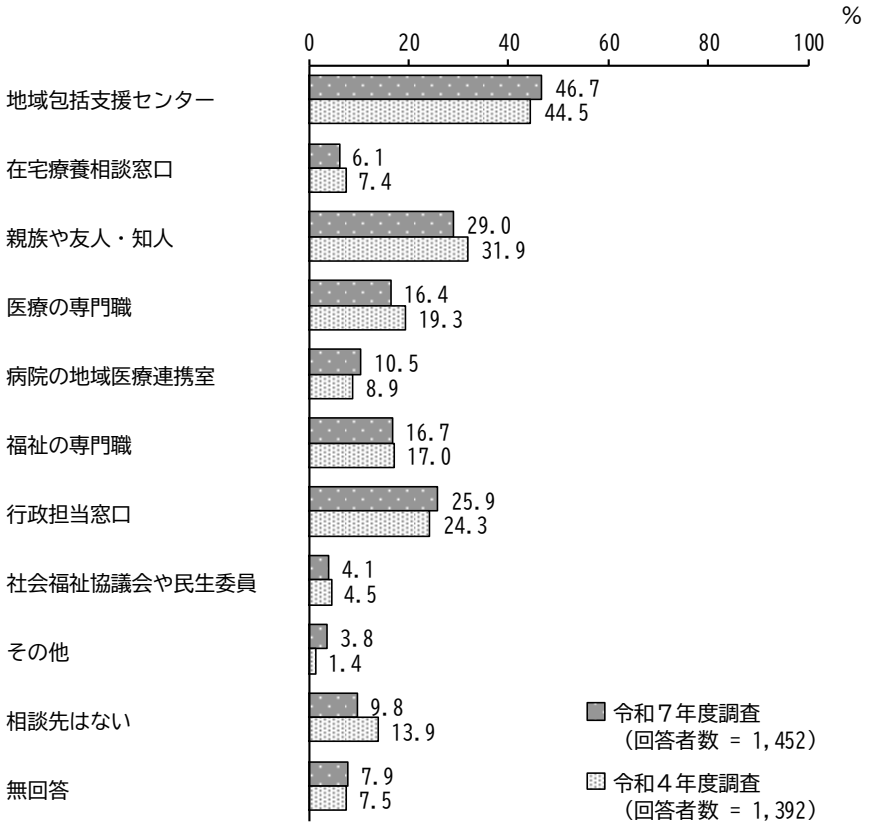
単位：％

区分	回答者数（件）	訪問診療	在宅療養支援診療所	訪問歯科	訪問看護	居宅療養管理指導	訪問介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	訪問リハビリテーション	訪問入浴介護	住宅改修	福祉用具貸与・購入	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	その他	無回答
全　体	1,452	57.5	8.1	33.6	48.6	6.7	55.2	9.0	6.9	22.2	40.3	23.3	40.1	10.5	5.6	19.8
東部圏域	286	58.4	8.0	36.4	46.2	8.0	55.6	9.8	8.0	23.4	41.6	23.8	40.2	11.2	2.8	19.9
北部圏域	396	57.6	6.1	33.6	46.7	5.6	53.0	8.1	5.6	20.7	34.3	23.5	38.6	8.6	6.1	19.7
中部圏域	365	54.8	8.8	32.1	51.0	5.5	57.8	10.1	7.9	24.1	43.8	24.4	42.5	9.6	7.4	20.0
西部圏域	373	61.7	9.7	33.8	51.5	8.3	56.0	8.6	6.7	22.0	43.7	22.3	40.5	12.9	5.6	17.4

問７　在宅医療・介護についてお困りの時に、どこに相談しますか。（○印はいくつでも）

「地域包括支援センター」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「親族や友人・知人」の割合が 29.0%、「行政担当窓口」の割合が 25.9%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「地域包括支援センター」の割合が低く、男性では「医療の専門職」「行政担当窓口」の割合が高く、女性では「病院の地域医療連携室」「福祉の専門職」「行政担当窓口」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	地域包括支援センター	在宅療養相談窓口	親族や友人・知人	医療の専門職	病院の地域医療連携室	福祉の専門職	行政担当窓口	社会福祉協議会や民生委員	その他	相談先はない	無回答
全　体	1,452	46.7	6.1	29.0	16.4	10.5	16.7	25.9	4.1	3.8	9.8	7.9
男性　65～74歳	278	34.9	7.2	27.0	18.7	6.1	11.5	29.1	2.2	5.4	18.3	5.0
75～84歳	271	36.2	6.3	25.5	15.9	9.6	12.9	26.2	5.5	4.4	15.1	9.2
85歳以上	88	46.6	5.7	30.7	11.4	9.1	13.6	15.9	2.3	3.4	3.4	9.1
女性　65～74歳	299	52.5	6.4	31.8	14.7	14.7	23.1	31.4	4.0	4.7	7.7	7.4
75～84歳	354	57.1	5.6	32.2	17.8	13.0	18.4	24.0	4.8	1.7	4.2	6.8
85歳以上	118	57.6	5.9	27.1	16.1	8.5	17.8	20.3	4.2	4.2	4.2	9.3

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

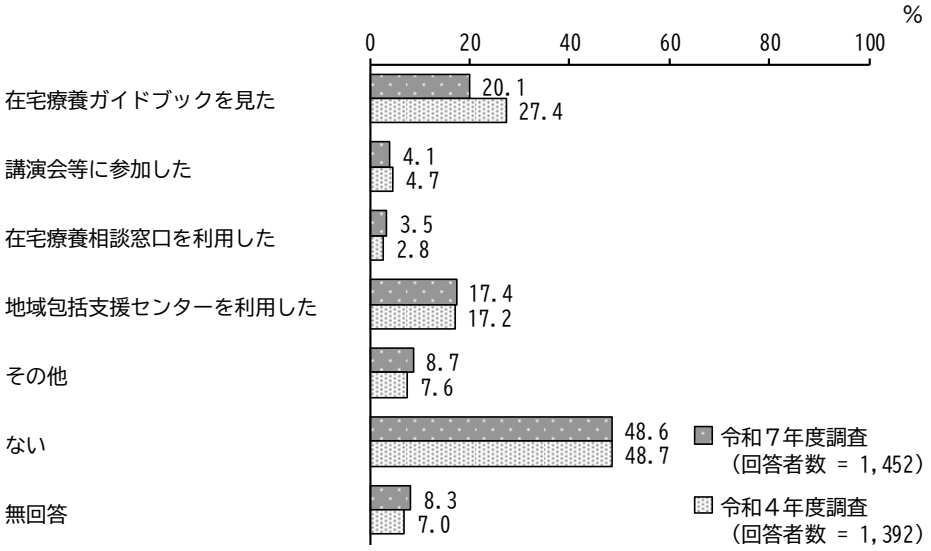
単位：%

区分	回答者数（件）	地域包括支援センター	在宅療養相談窓口	親族や友人・知人	医療の専門職	病院の地域医療連携室	福祉の専門職	行政担当窓口	社会福祉協議会や民生委員	その他	相談先はない	無回答
全　体	1,452	46.7	6.1	29.0	16.4	10.5	16.7	25.9	4.1	3.8	9.8	7.9
東部圏域	286	50.0	4.5	33.2	18.9	10.5	19.6	26.6	3.5	3.1	9.4	7.7
北部圏域	396	47.5	5.6	30.6	16.4	10.1	17.4	28.5	4.8	3.3	9.6	6.6
中部圏域	365	43.3	9.0	24.9	18.9	11.2	15.1	25.5	4.1	4.4	11.2	6.3
西部圏域	373	46.9	5.4	29.2	12.6	11.0	15.3	22.8	3.5	4.6	9.1	9.9

問８　介護や在宅療養について情報を得る機会はありますか。（〇印はいくつでも）

「在宅療養ガイドブックを見た」の割合が 20.1%と最も高く、次いで「地域包括支援センターを利用した」の割合が 17.4%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「在宅療養ガイドブックを見た」の割合が減少しています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「在宅療養ガイドブックを見た」の割合が高く、女性では「地域包括支援センターを利用した」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	在宅療養ガイドブックを見た	講演会等に参加した	在宅療養相談窓口を利用した	地域包括支援センターを利用した	その他	ない	無回答
全　体	1,452	20.1	4.1	3.5	17.4	8.7	48.6	8.3
男性　65～74歳	278	18.3	3.6	4.0	10.4	8.3	62.6	2.5
75～84歳	271	25.1	2.6	1.5	10.3	6.3	52.0	8.9
85歳以上	88	28.4	4.5	4.5	23.9	5.7	34.1	10.2
女性　65～74歳	299	17.1	3.0	3.7	17.7	14.4	48.5	8.4
75～84歳	354	21.2	7.1	4.8	22.6	6.8	44.6	7.3
85歳以上	118	16.1	4.2	2.5	28.8	8.5	39.8	9.3

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

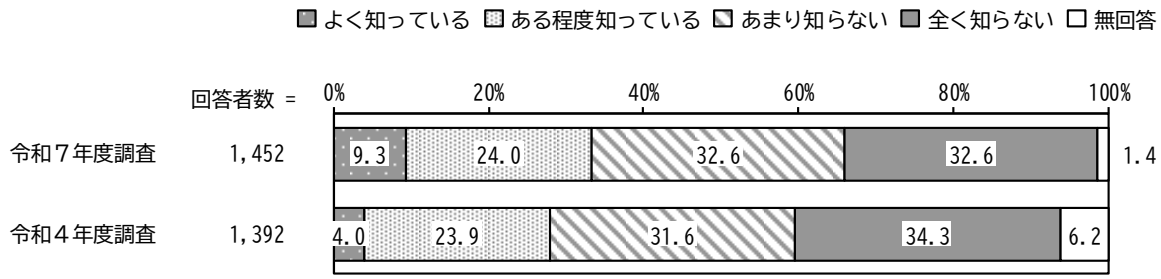
区分	回答者数（件）	在宅療養ガイドブックを見た	講演会等に参加した	在宅療養相談窓口を利用した	地域包括支援センターを利用した	その他	ない	無回答
全　体	1,452	20.1	4.1	3.5	17.4	8.7	48.6	8.3
東部圏域	286	22.4	5.6	3.5	21.3	8.7	44.8	8.7
北部圏域	396	17.9	3.0	3.3	15.7	9.6	52.3	7.3
中部圏域	365	20.0	4.1	4.7	17.3	8.2	51.5	6.8
西部圏域	373	22.0	4.6	2.9	16.6	8.0	46.4	7.8

問９　介護が必要になったときの手続きや介護保険制度のサービスの内容、介護保険料の仕組み等について知っていますか。（○印はそれぞれに１つ）

①申請や手続きの方法

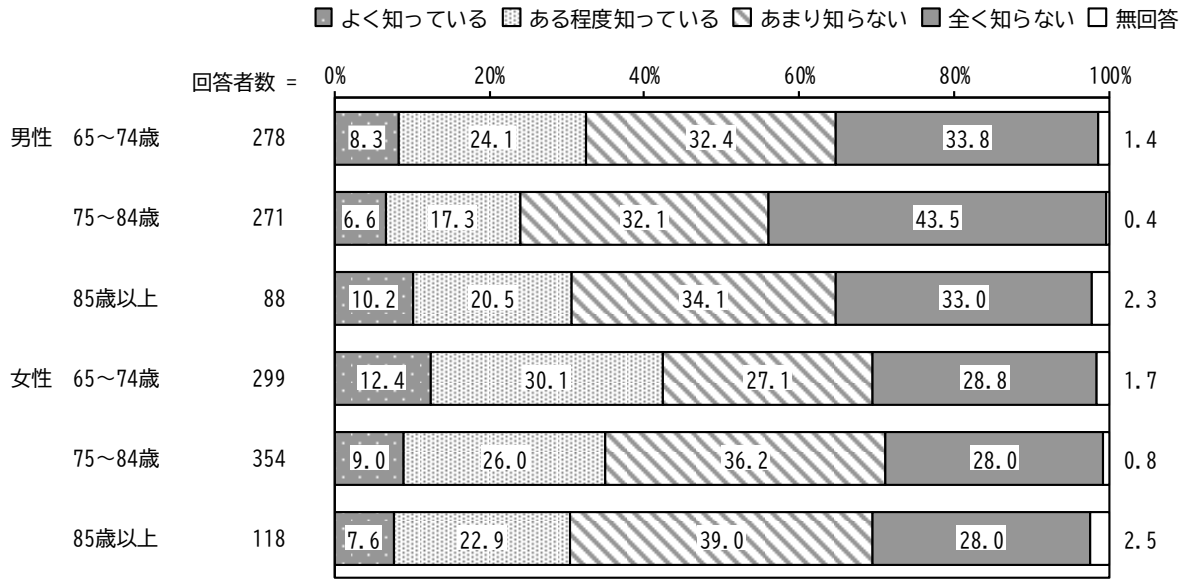
「あまり知らない」「全く知らない」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「ある程度知っている」の割合が 24.0%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「よく知っている」の割合が増加しています。



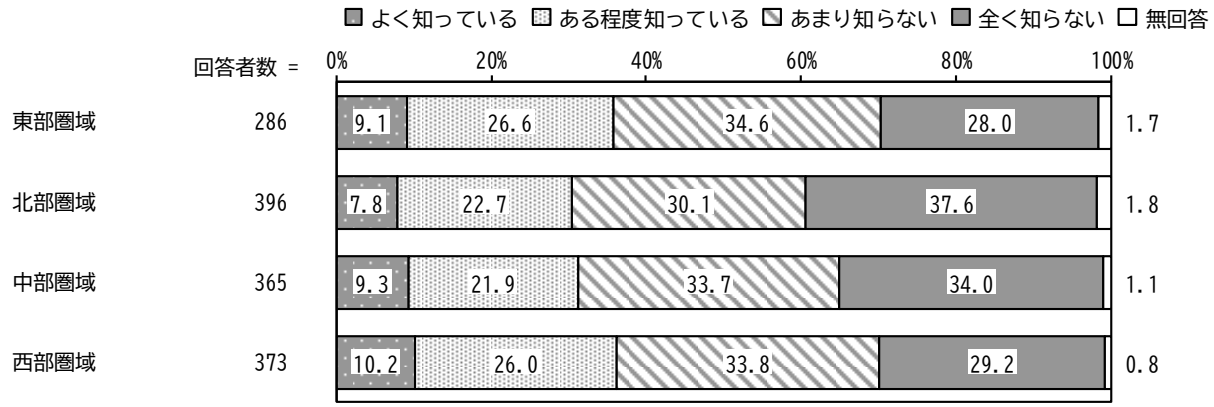
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど「よく知っている」「ある程度知っている」の割合が高く、「あまり知らない」の割合が低くなっています。また、男性 75～84 歳で「全く知らない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

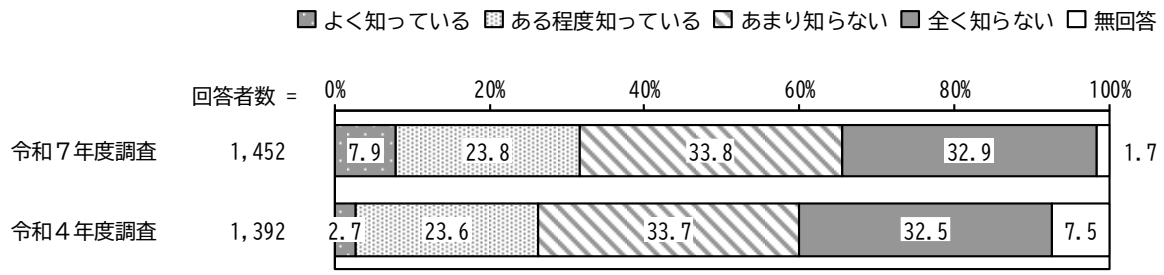
圏域別にみると、北部圏域で「全く知らない」の割合が高くなっています。



②受けられるサービスの内容

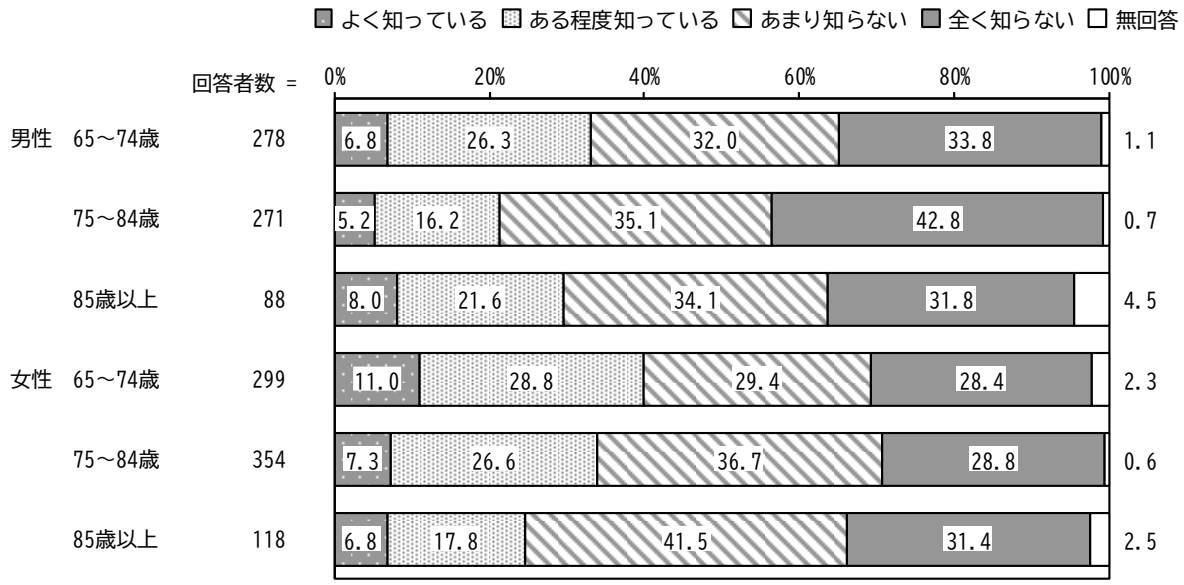
「あまり知らない」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「全く知らない」の割合が 32.9%、「ある程度知っている」の割合が 23.8%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「よく知っている」の割合が増加しています。



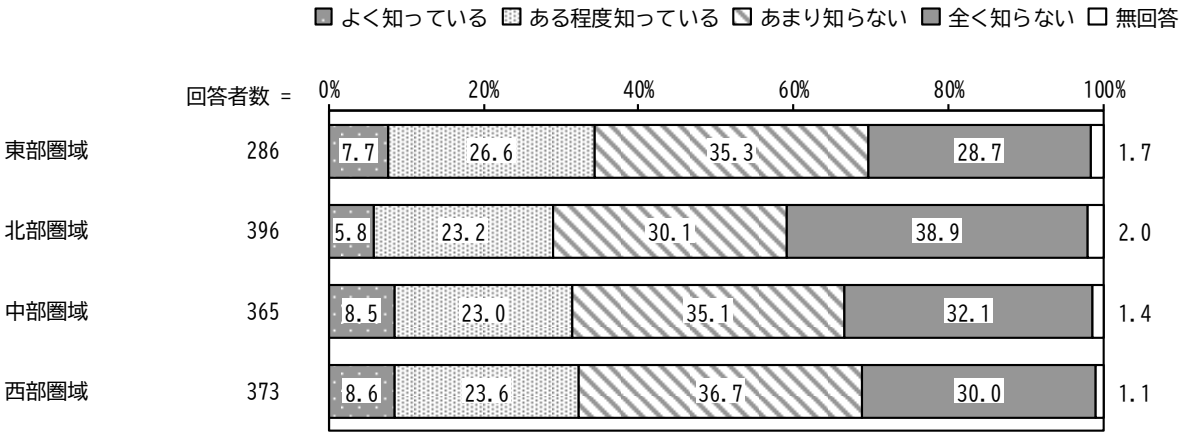
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど「よく知っている」「ある程度知っている」の割合が高く、「あまり知らない」の割合が低くなっています。



【圏域別】

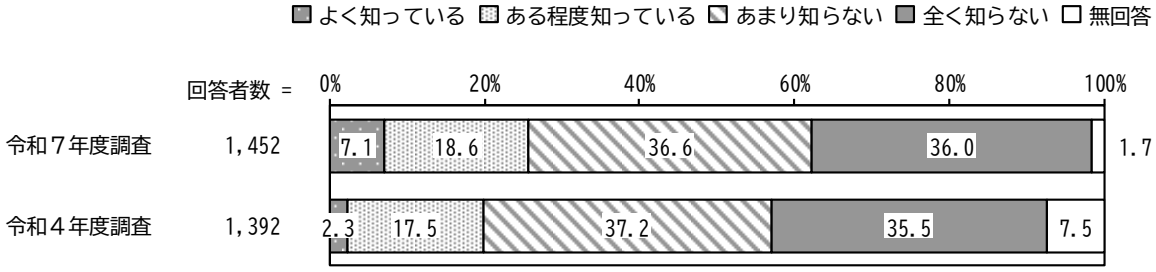
圏域別にみると、北部圏域で「全く知らない」の割合が高くなっています。



③保険料の仕組み

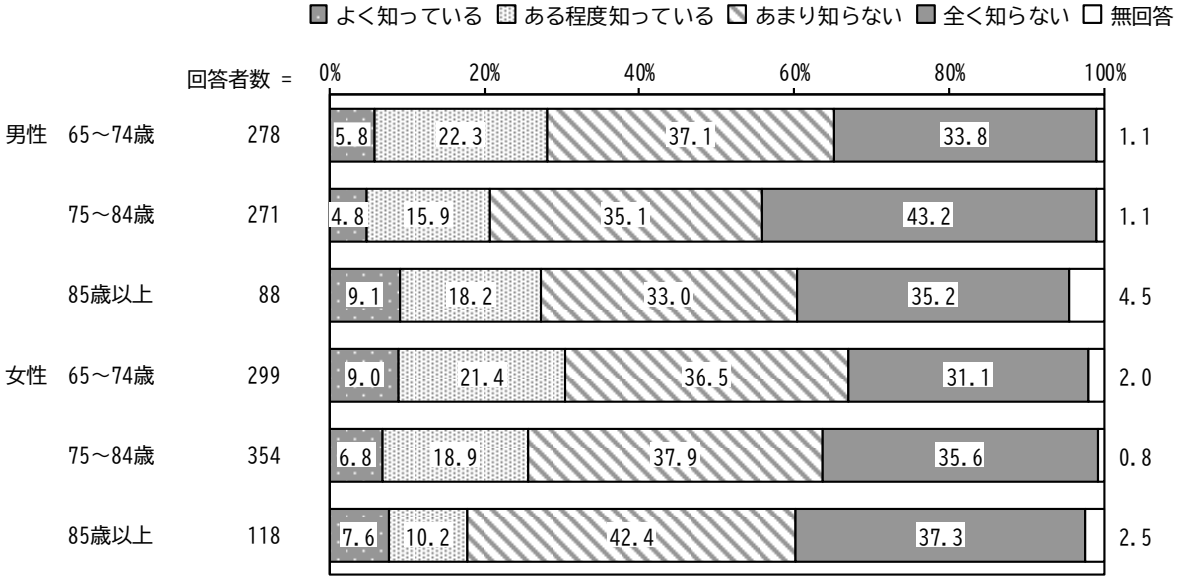
「あまり知らない」の割合が 36.6%と最も高く、次いで「全く知らない」の割合が 36.0%、「ある程度知っている」の割合が 18.6%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



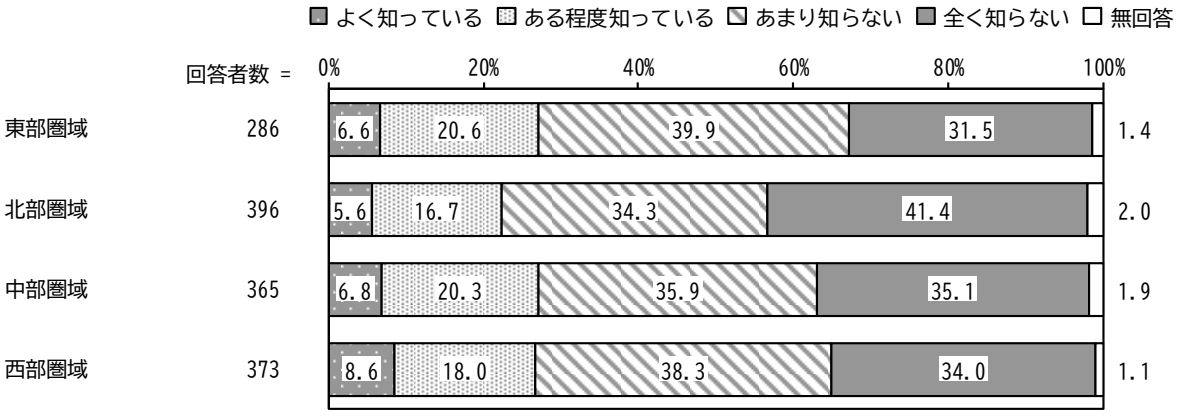
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「あまり知らない」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「あまり知らない」「全く知らない」の割合が高く、「ある程度知っている」の割合が低くなっています。



【圏域別】

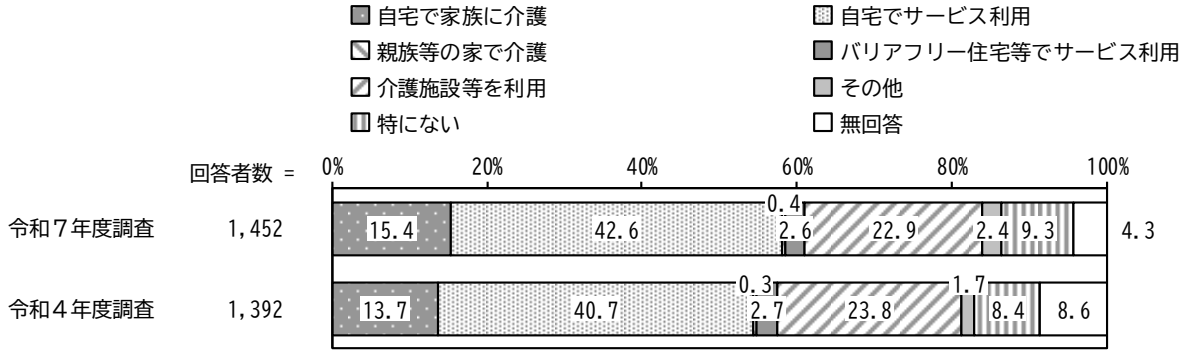
圏域別にみると、北部圏域で「全く知らない」の割合が高くなっています。



問 10　今後、介護・介助が必要になったとして、あなたはどのような生活を希望しますか。
（○印は１つ）

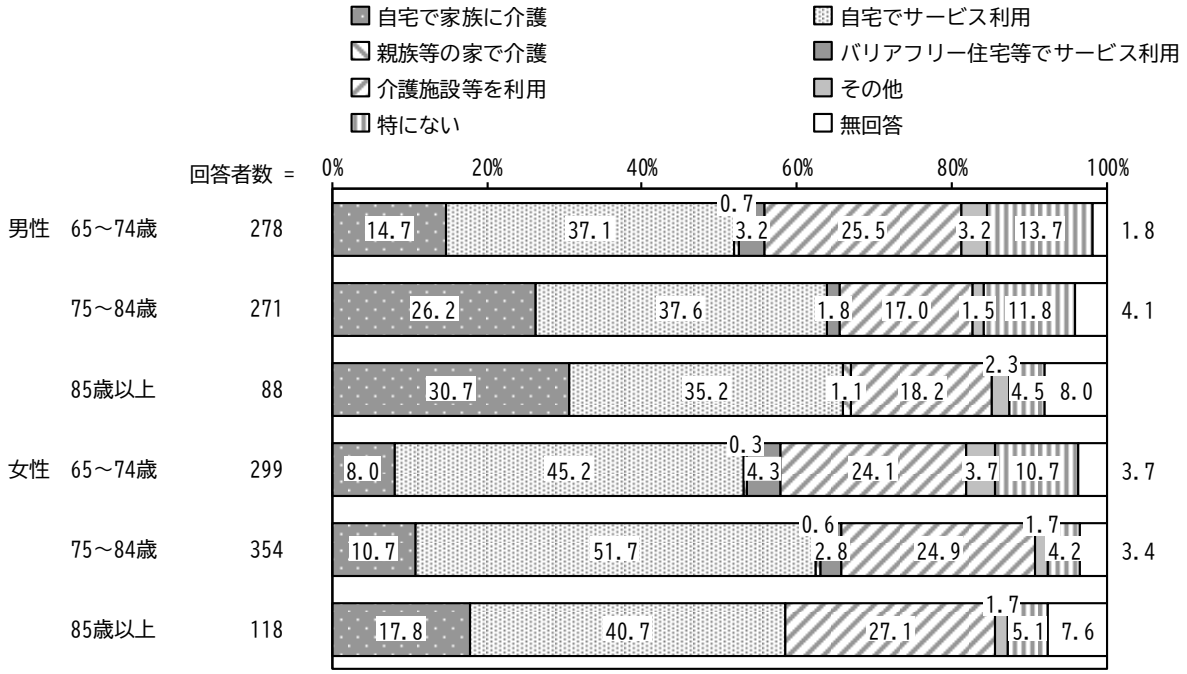
「自宅でサービス利用」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「介護施設等を利用」の割合が 22.9%、「自宅で家族に介護」の割合が 15.4%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



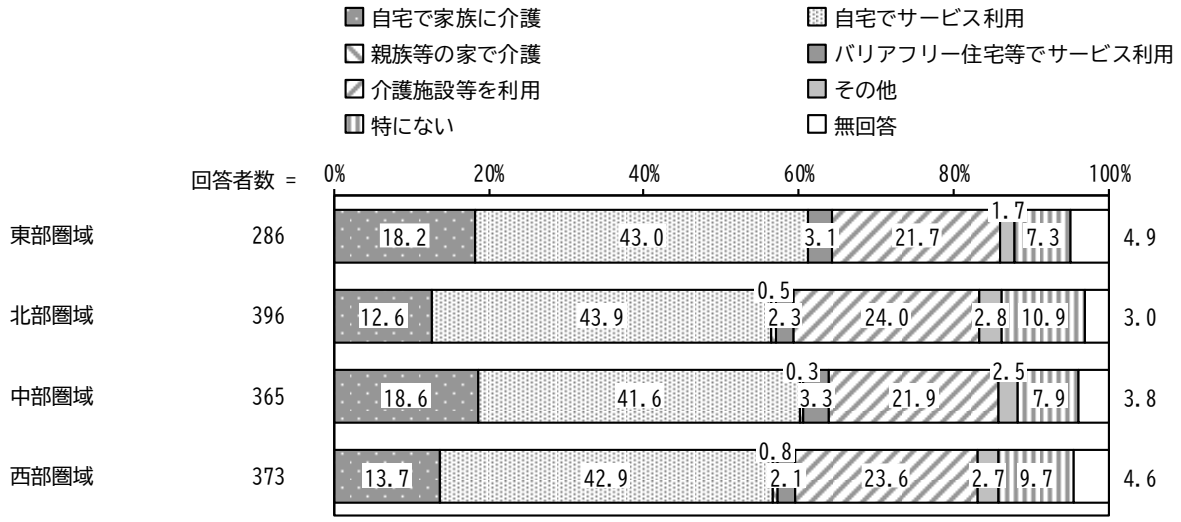
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「自宅で家族に介護」の割合が高くなっています。



【圏域別】

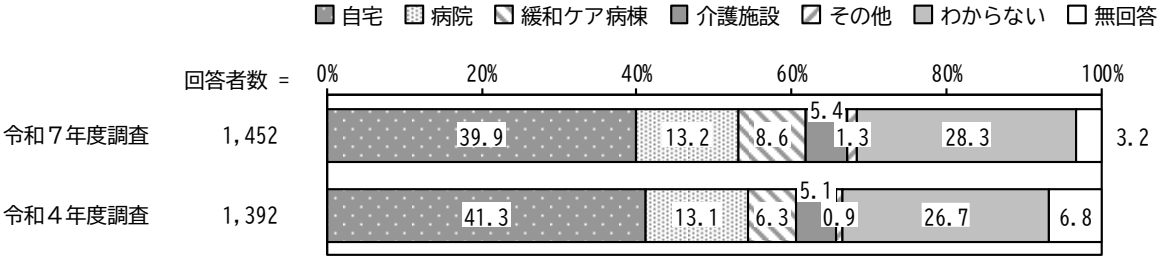
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問 11　あなたは、人生の最期の時期をどこで迎えたいと思いますか。（〇印は１つ）

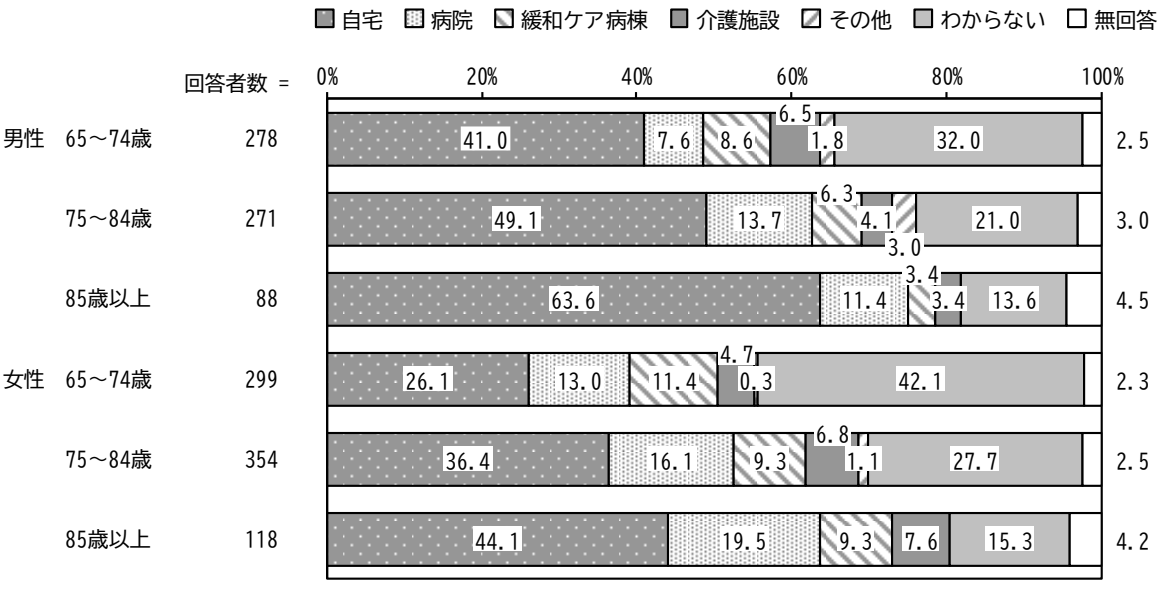
「自宅」の割合が 39.9%と最も高く、次いで「病院」の割合が 13.2%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



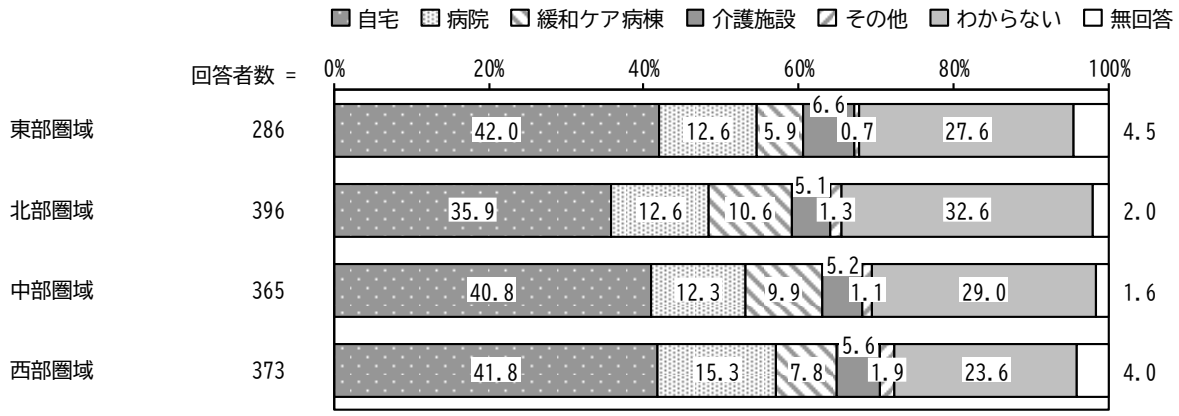
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「自宅」の割合が高く、女性では「自宅」「病院」の割合が高くなっています。



【圏域別】

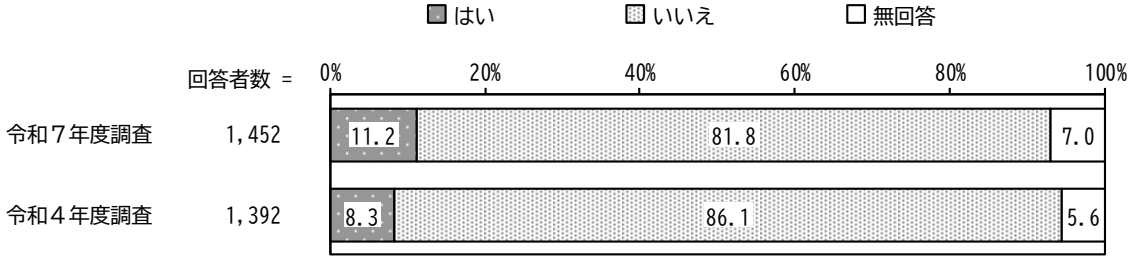
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問 12　認知症の症状がある、またはご家族に認知症の症状がある方がいますか。（○印は１つ）

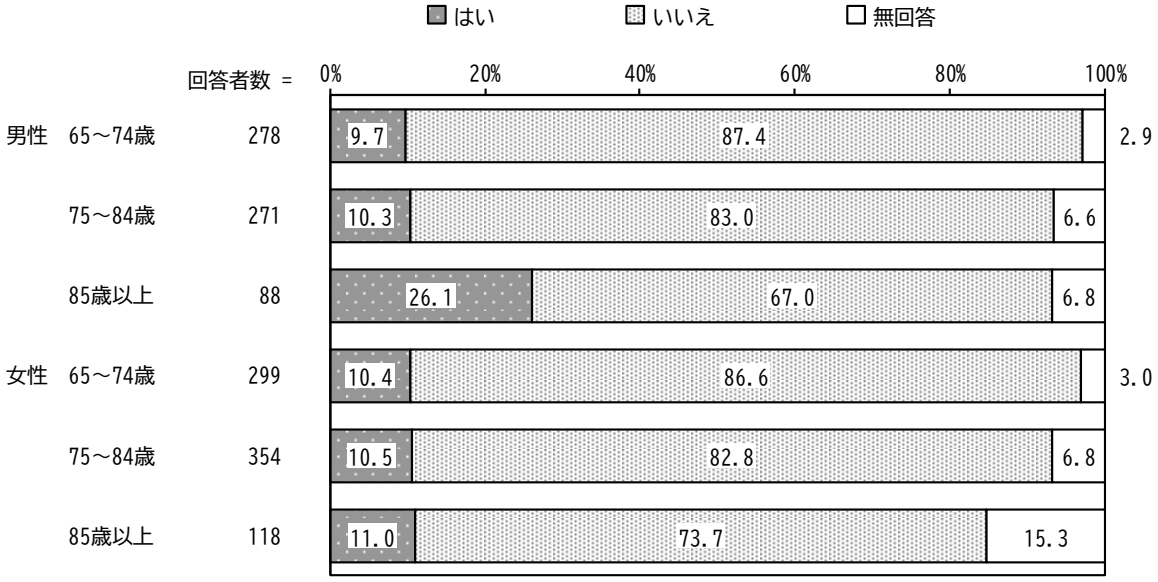
「はい」の割合が 11.2%、「いいえ」の割合が 81.8%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



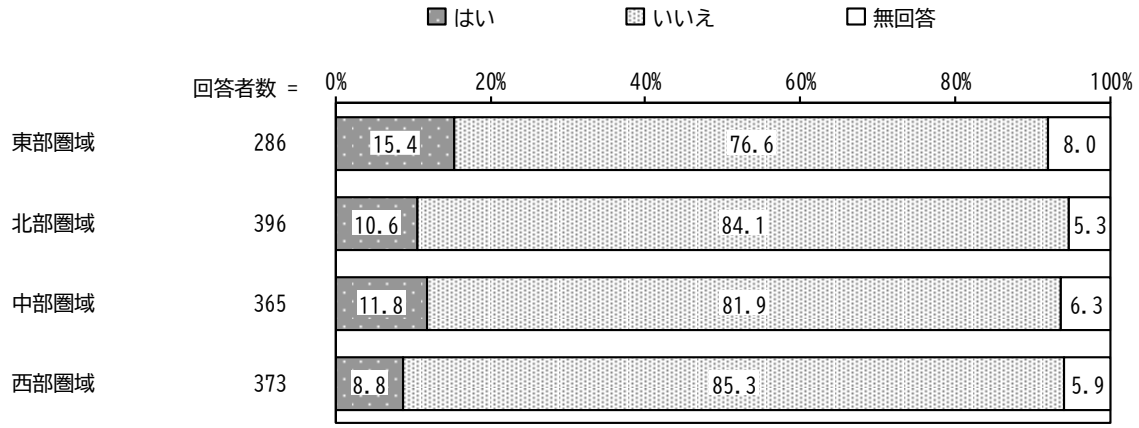
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「はい」の割合が高く、女性では年齢が下がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。



【圏域別】

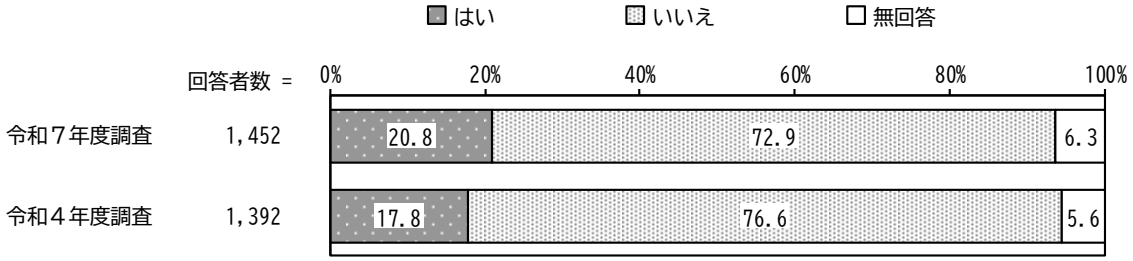
圏域別にみると、東部圏域で「いいえ」の割合が低くなっています。



問 13　認知症に関する相談窓口を知っていますか。（〇印は１つ）

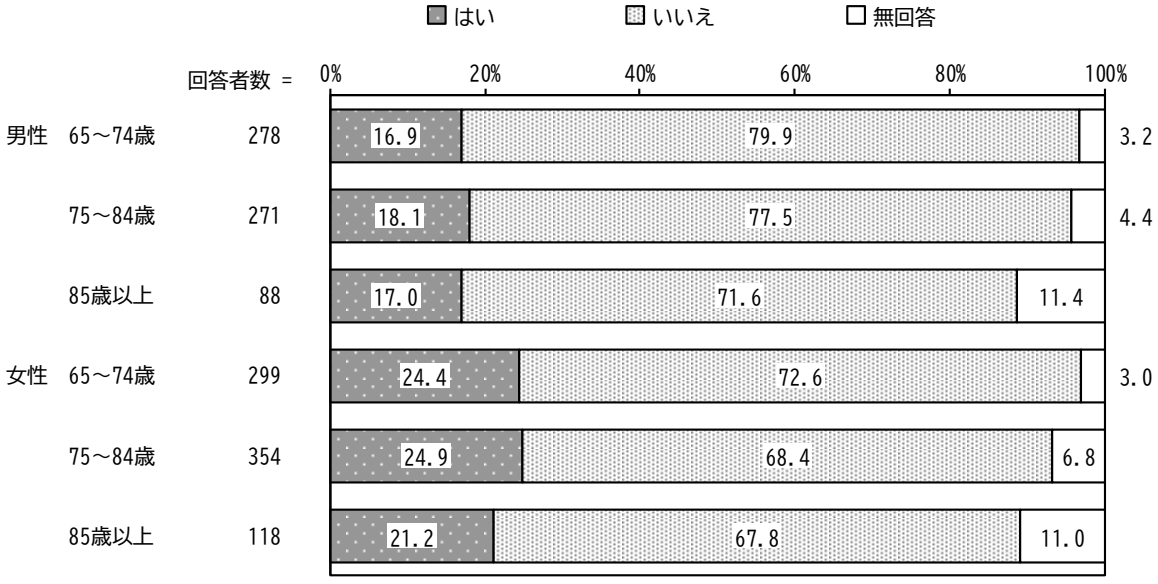
「はい」の割合が 20.8%、「いいえ」の割合が 72.9%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



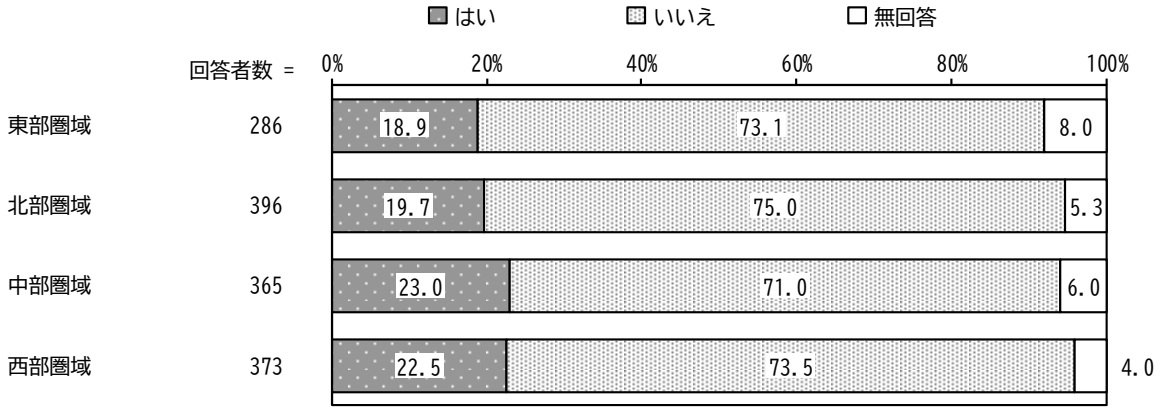
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。



【圏域別】

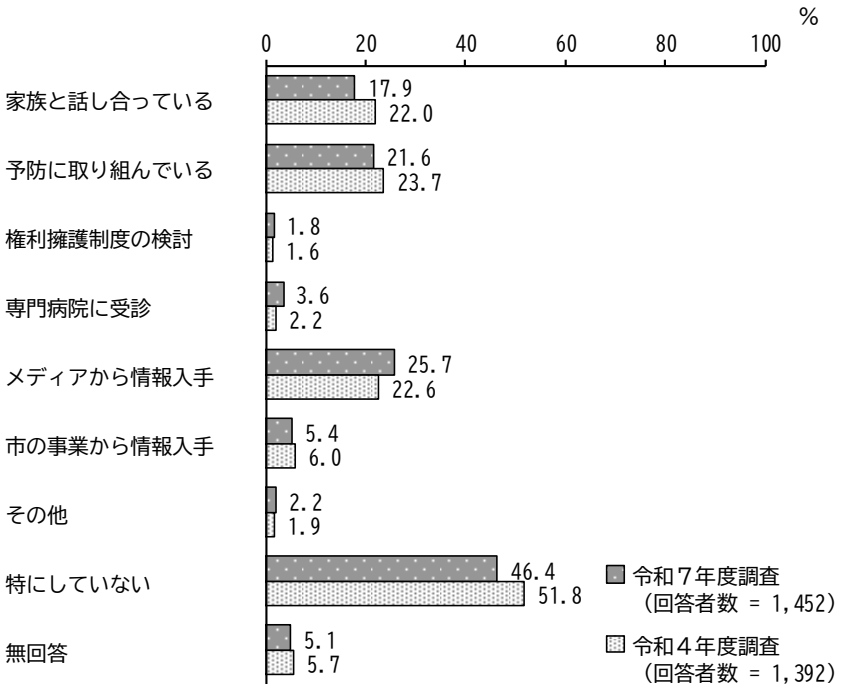
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問 14　認知症に対して備えていることや取り組んでいることはありますか。（○印はいくつでも）

「メディアから情報入手」の割合が 25.7%と最も高く、次いで「予防に取り組んでいる」の割合が 21.6%、「家族と話し合っている」の割合が 17.9%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「家族と話し合っている」「専門病院に受診」の割合が高く、「予防に取り組んでいる」「メディアから情報入手」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	家族と話し合っている	予防に取り組んでいる	権利擁護制度の検討	専門病院に受診	メディアから情報入手	市の事業から情報入手	その他	特にしていない	無回答
全　体	1,452	17.9	21.6	1.8	3.6	25.7	5.4	2.2	46.4	5.1
男性　65～74歳	278	17.3	22.7	2.2	2.2	27.7	1.8	1.4	51.4	1.4
75～84歳	271	22.1	19.6	1.5	3.0	22.5	4.4	1.8	50.6	3.0
85歳以上	88	28.4	14.8	1.1	14.8	18.2	3.4	2.3	42.0	8.0
女性　65～74歳	299	16.7	21.7	1.3	2.3	26.1	5.4	3.0	47.2	4.0
75～84歳	354	13.3	27.4	2.0	3.7	31.4	9.6	2.0	41.8	5.1
85歳以上	118	18.6	15.3	2.5	3.4	22.0	5.9	3.4	41.5	11.0

【圏域別】

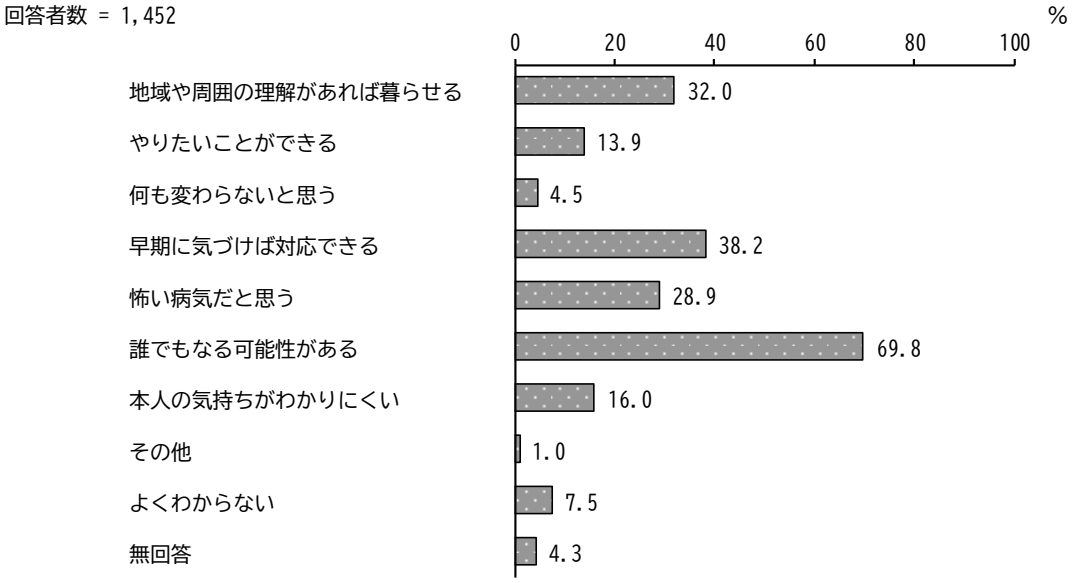
圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	家族と話し合っている	予防に取り組んでいる	権利擁護制度の検討	専門病院に受診	メディアから情報入手	市の事業から情報入手	その他	特にしていない	無回答
全　体	1,452	17.9	21.6	1.8	3.6	25.7	5.4	2.2	46.4	5.1
東部圏域	286	19.9	22.4	1.4	2.4	27.6	5.6	1.0	44.8	7.3
北部圏域	396	18.2	21.7	2.0	3.8	29.3	4.8	2.3	44.2	4.5
中部圏域	365	19.2	23.8	1.6	4.1	24.7	6.3	3.0	46.6	3.6
西部圏域	373	15.0	19.3	2.1	3.8	23.1	5.4	2.1	49.6	3.8

問 15　あなたは「認知症」に対してどのようなイメージを持っていますか。（○印はいくつでも）

「誰でもなる可能性がある」の割合が 69.8%と最も高く、次いで「早期に気づけば対応できる」の割合が 38.2%、「地域や周囲の理解があれば暮らせる」の割合が 32.0%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「怖い病気だと思う」「誰でもなる可能性がある」「本人の気持ちがわかりにくい」の割合が高くなっています。また、女性 75～84 歳で「地域や周囲の理解があれば暮らせる」「早期に気づけば対応できる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	地域や周囲の理解があれば暮らせる	やりたいことができる	何も変わらないと思う	早期に気づけば対応できる	怖い病気だと思う	誰でもなる可能性がある	本人の気持ちがわかりにくい	その他	よくわからない	無回答
全　体	1,452	32.0	13.9	4.5	38.2	28.9	69.8	16.0	1.0	7.5	4.3
男性　65～74歳	278	28.1	9.7	3.6	30.9	35.6	72.3	18.3	0.7	10.1	1.4
75～84歳	271	22.5	12.2	5.5	31.4	30.6	64.6	12.9	1.1	14.0	3.7
85歳以上	88	28.4	10.2	6.8	22.7	23.9	52.3	12.5	1.1	13.6	6.8
女性　65～74歳	299	35.1	13.4	1.3	46.5	26.8	78.6	19.4	1.0	4.3	2.3
75～84歳	354	42.4	19.8	5.4	48.9	24.9	73.7	14.4	0.6	2.0	4.0
85歳以上	118	32.2	15.3	7.6	35.6	33.9	67.8	16.1	2.5	4.2	8.5

【圏域別】

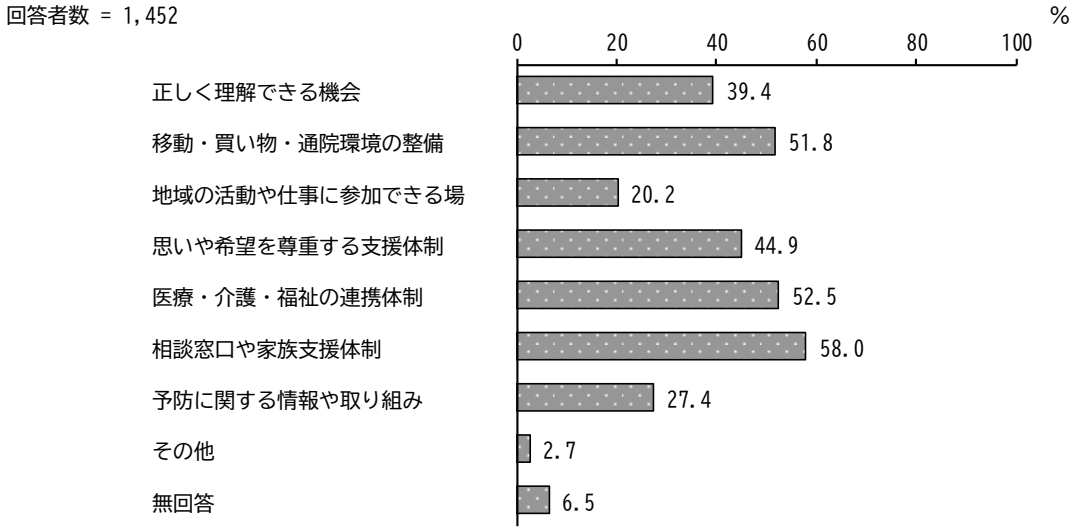
圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	地域や周囲の理解があれば暮らせる	やりたいことができる	何も変わらないと思う	早期に気づけば対応できる	怖い病気だと思う	誰でもなる可能性がある	本人の気持ちがわかりにくい	その他	よくわからない	無回答
全　体	1,452	32.0	13.9	4.5	38.2	28.9	69.8	16.0	1.0	7.5	4.3
東部圏域	286	32.9	14.0	4.2	39.5	29.7	71.0	16.8	0.7	4.9	5.2
北部圏域	396	30.8	10.1	2.8	36.1	28.5	69.4	16.4	1.3	8.3	3.5
中部圏域	365	31.0	16.4	4.7	41.9	29.9	71.2	14.2	0.0	7.9	2.7
西部圏域	373	35.4	15.5	6.4	37.3	29.0	70.5	17.2	1.9	7.5	4.3

問 16　あなたは、認知症のご本人やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に必要だと思うことは何ですか。（○印はいくつでも）

「相談窓口や家族支援体制」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「医療・介護・福祉の連携体制」の割合が 52.5%、「移動・買い物・通院環境の整備」の割合が 51.8%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「地域の活動や仕事に参加できる場」「思いや希望を尊重する支援体制」「医療・介護・福祉の連携体制」「相談窓口や家族支援体制」「予防に関する情報や取り組み」の割合が高く、「正しく理解できる機会」の割合が低く、女性では年齢が上がるほど「移動・買い物・通院環境の整備」「思いや希望を尊重する支援体制」の割合が高く、「医療・介護・福祉の連携体制」「予防に関する情報や取り組み」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	正しく理解できる機会	移動・買い物・通院環境の整備	地域の活動や仕事に参加できる場	思いや希望を尊重する支援体制	医療・介護・福祉の連携体制	相談窓口や家族支援体制	予防に関する情報や取り組み	その他	無回答
全　体	1,452	39.4	51.8	20.2	44.9	52.5	58.0	27.4	2.7	6.5
男性　65～74歳	278	38.1	55.0	22.7	42.8	57.9	60.4	29.9	2.9	2.5
75～84歳	271	40.6	53.5	18.5	42.1	49.8	52.0	26.2	3.3	6.3
85歳以上	88	45.5	55.7	14.8	30.7	47.7	47.7	20.5	4.5	8.0
女性　65～74歳	299	37.8	47.8	20.1	47.5	55.5	68.6	31.8	3.3	5.0
75～84歳	354	41.8	52.0	23.2	50.6	54.0	57.1	27.4	1.4	6.2
85歳以上	118	36.4	54.2	19.5	51.7	44.1	57.6	24.6	2.5	10.2

【圏域別】

圏域別にみると、、中部圏域で「予防に関する情報や取り組み」の割合が高くなっています。

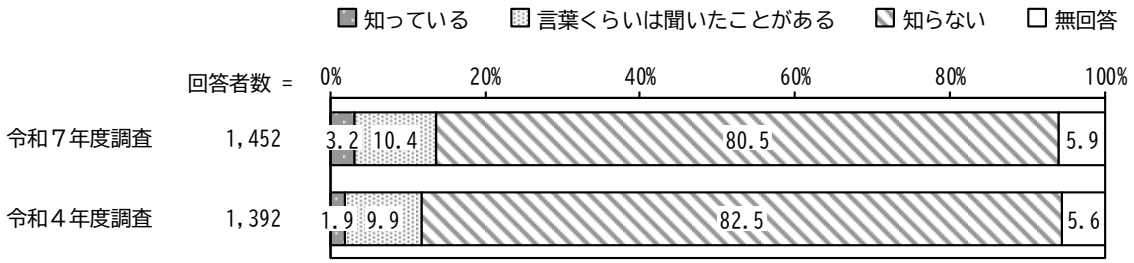
単位：%

区分	回答者数（件）	正しく理解できる機会	移動・買い物・通院環境の整備	地域の活動や仕事に参加できる場	思いや希望を尊重する支援体制	医療・介護・福祉の連携体制	相談窓口や家族支援体制	予防に関する情報や取り組み	その他	無回答
全　体	1,452	39.4	51.8	20.2	44.9	52.5	58.0	27.4	2.7	6.5
東部圏域	286	41.3	49.3	16.4	44.4	52.8	58.4	24.8	2.8	7.0
北部圏域	396	38.4	51.0	18.9	43.4	53.0	60.4	25.8	2.0	6.8
中部圏域	365	38.6	54.5	21.4	46.8	53.7	62.7	35.3	3.0	3.8
西部圏域	373	40.8	53.1	24.1	47.5	52.5	52.5	25.7	3.2	5.9

問 17　「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」または「人生会議」について、知っていますか。(○印は１つ)

「知っている」の割合が 3.2%、「言葉くらいは聞いたことがある」の割合が 10.4%、「知らない」の割合が 80.5%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



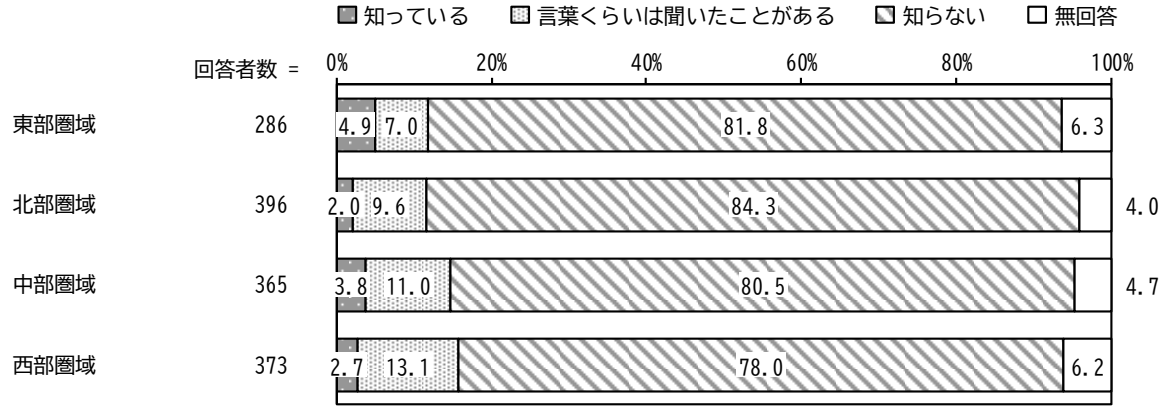
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど「知らない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

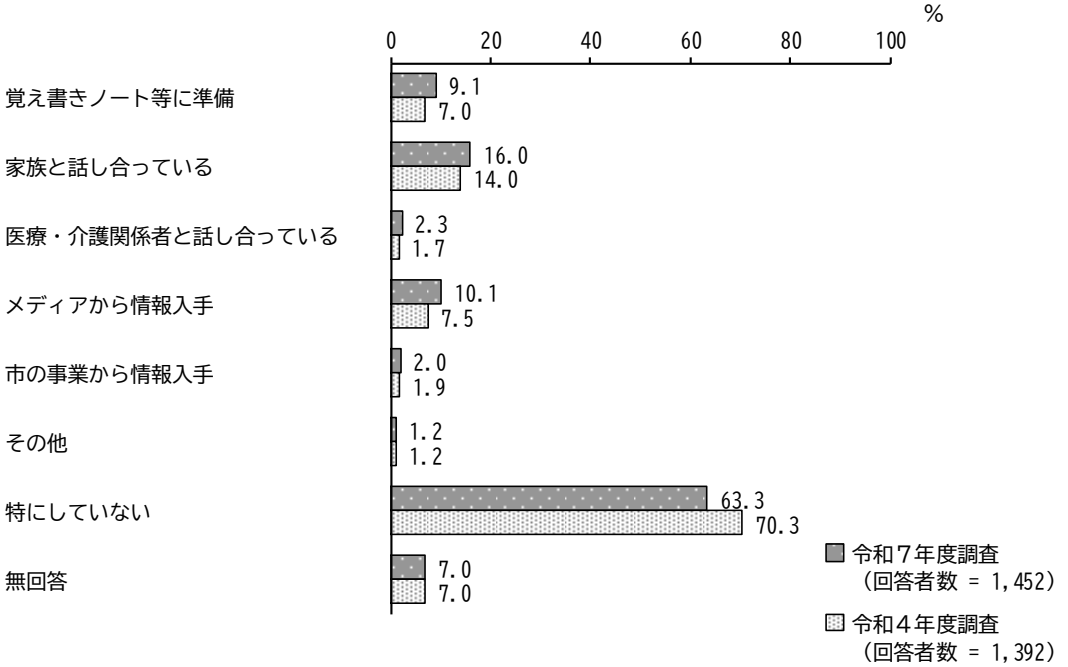
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問 18　「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」または「人生会議」とは、もしものときのために、高齢者本人が望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療関係者等と話し合い、共有することをいいます。このことについて、備えていることや取り組んでいることはありますか。（〇印はいくつでも）

「家族と話し合っている」の割合が 16.0%と最も高く、次いで「メディアから情報入手」の割合が 10.1%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「覚え書きノート等に準備」「家族と話し合っている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	覚え書きノート等に準備	家族と話し合っている	医療・介護関係者と話し合っている	メディアから情報入手	市の事業から情報入手	その他	特にしていない	無回答
全　体	1,452	9.1	16.0	2.3	10.1	2.0	1.2	63.3	7.0
男性　65～74歳	278	6.8	9.4	0.4	10.4	0.7	1.4	76.6	3.6
75～84歳	271	7.7	12.2	3.0	7.7	1.8	0.4	71.2	5.2
85歳以上	88	11.4	22.7	5.7	12.5	2.3	0.0	58.0	9.1
女性　65～74歳	299	9.7	19.4	1.3	8.7	2.0	1.7	60.9	4.7
75～84歳	354	9.6	18.6	2.0	13.0	3.1	1.1	56.8	7.6
85歳以上	118	15.3	20.3	5.9	8.5	2.5	2.5	49.2	11.9

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

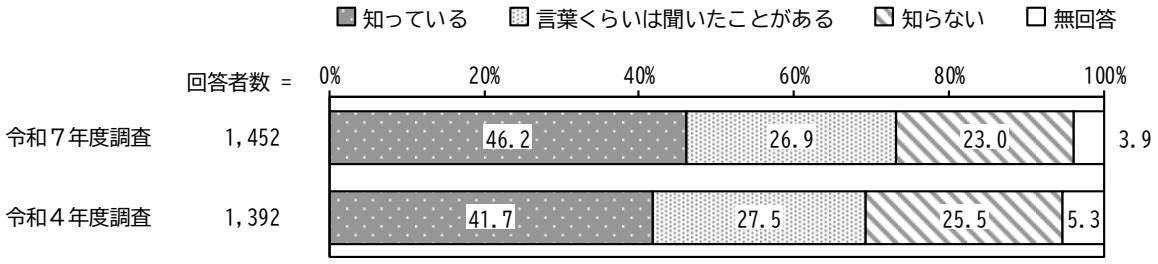
区分	回答者数（件）	覚え書きノート等に準備	家族と話し合っている	医療・介護関係者と話し合っている	メディアから情報入手	市の事業から情報入手	その他	特にしていない	無回答
全　体	1,452	9.1	16.0	2.3	10.1	2.0	1.2	63.3	7.0
東部圏域	286	8.7	16.8	3.5	11.2	2.4	1.7	60.8	9.1
北部圏域	396	9.6	17.2	1.8	10.4	2.0	0.8	62.6	5.8
中部圏域	365	9.9	18.4	1.4	10.1	2.2	1.4	65.2	4.1
西部圏域	373	8.3	11.8	2.7	8.8	1.6	1.1	65.4	7.5

10　地域包括支援センターについて

問１　地域包括支援センター(包括)を知っていますか。(○印は１つ)

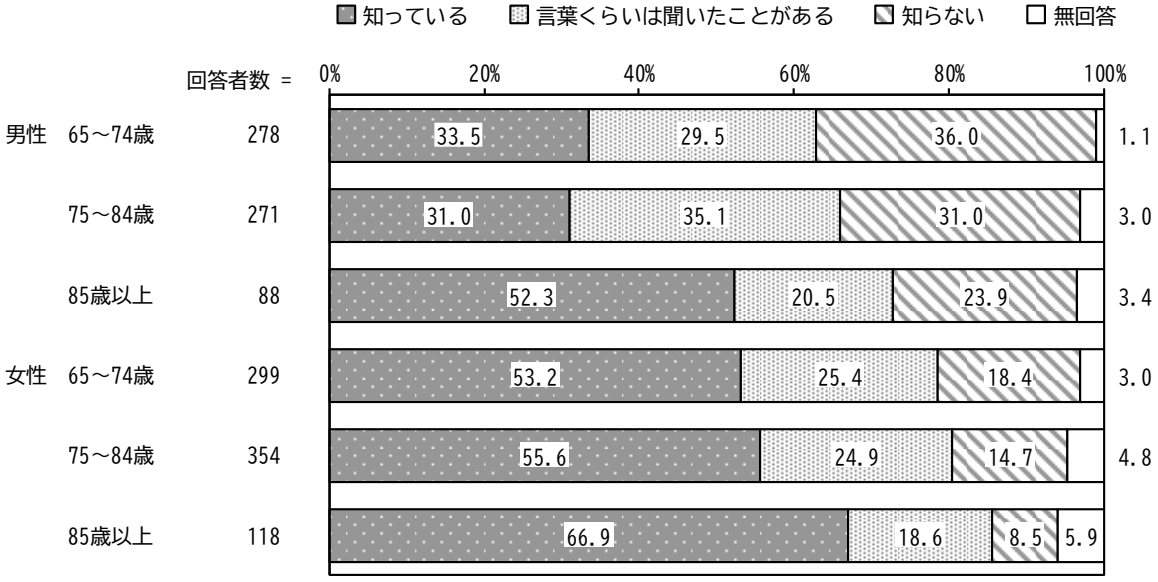
「知っている」の割合が 46.2%、「言葉くらいは聞いたことがある」の割合が 26.9%、「知らない」の割合が 23.0%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



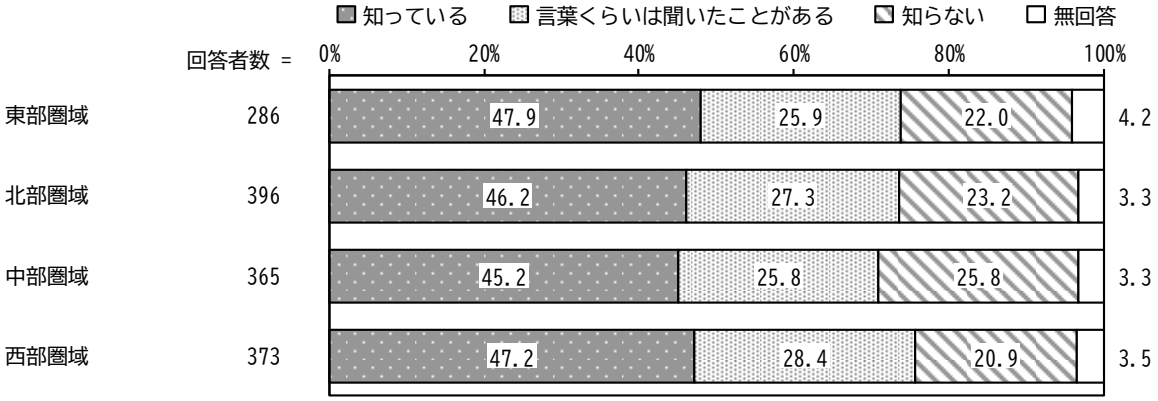
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「知らない」の割合が高く、女性では「言葉くらいは聞いたことがある」「知らない」の割合が高く、「知っている」の割合が低くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

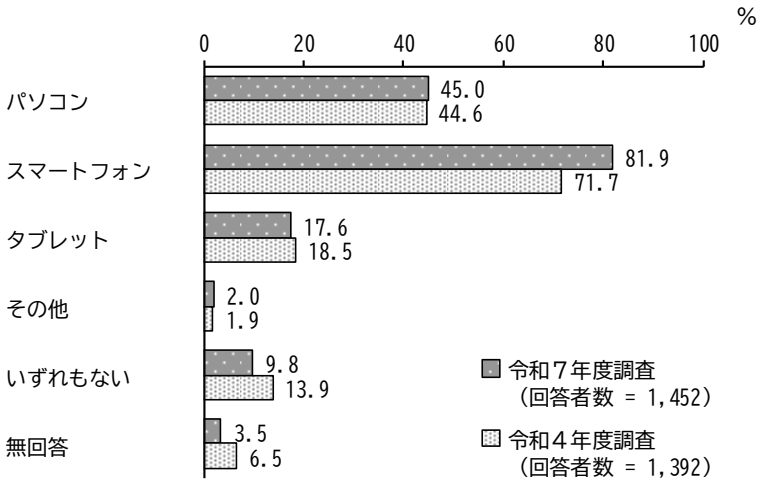


11　デジタル機器の使用等について

問１　次のデジタル(電子)機器のうち、あなたが所有しているものはありますか。(○印はいくつでも)

「パソコン」の割合が 45.0%、「スマートフォン」の割合が 81.9%、「タブレット」の割合が 17.6%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「スマートフォン」の割合が増加しています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「パソコン」「スマートフォン」「タブレット」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	パソコン	スマートフォン	タブレット	その他	いずれもない	無回答
全　体	1,452	45.0	81.9	17.6	2.0	9.8	3.5
男性　65～74歳	278	68.7	90.3	30.2	1.4	4.7	1.8
75～84歳	271	53.1	82.3	15.5	2.2	9.2	1.5
85歳以上	88	42.0	62.5	10.2	6.8	20.5	2.3
女性　65～74歳	299	45.8	90.6	23.7	1.3	4.7	2.0
75～84歳	354	30.5	83.3	10.2	1.1	10.2	4.2
85歳以上	118	21.2	55.9	5.9	3.4	28.0	8.5

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

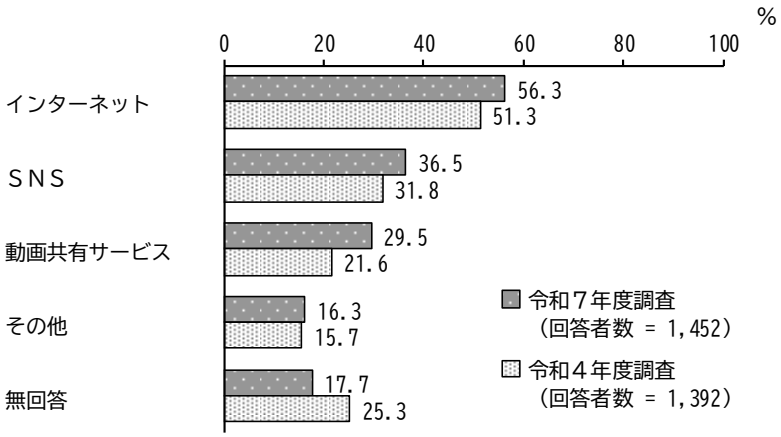
単位：%

区分	回答者数（件）	パソコン	スマートフォン	タブレット	その他	いずれもない	無回答
全　体	1,452	45.0	81.9	17.6	2.0	9.8	3.5
東部圏域	286	44.4	81.1	16.1	1.7	11.9	3.5
北部圏域	396	45.2	82.6	17.9	2.3	10.1	2.5
中部圏域	365	48.5	84.7	20.0	1.9	8.2	2.2
西部圏域	373	44.0	80.7	15.8	1.9	9.9	4.3

問２　次のうち、情報を得るため、日常的に使っているものはありますか。（○印はいくつでも）

「インターネット」の割合が 56.3%、「ＳＮＳ」の割合が 36.5%、「動画共有サービス」の割合が 29.5%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「動画共有サービス」の割合が増加しています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「インターネット」「SNS」「動画共有サービス」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	インターネット	ＳＮＳ	動画共有サービス	その他	無回答
全　体	1,452	56.3	36.5	29.5	16.3	17.7
男性　65～74歳	278	81.3	46.0	46.0	13.7	4.3
75～84歳	271	57.2	29.5	27.3	17.3	14.4
85歳以上	88	44.3	11.4	10.2	22.7	28.4
女性　65～74歳	299	68.6	50.8	43.5	11.7	7.7
75～84歳	354	44.6	37.9	20.6	16.1	23.4
85歳以上	118	16.9	15.3	6.8	27.1	48.3

【圏域別】

圏域別にみると、中部圏域で「インターネット」の割合が高くなっています。

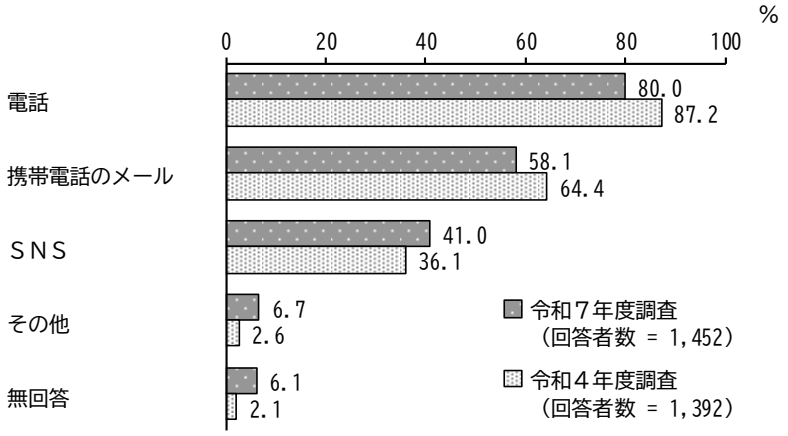
単位：%

区分	回答者数（件）	インターネット	ＳＮＳ	動画共有サービス	その他	無回答
全　体	1,452	56.3	36.5	29.5	16.3	17.7
東部圏域	286	55.9	39.5	28.7	13.6	20.6
北部圏域	396	56.8	35.9	29.8	20.5	15.4
中部圏域	365	61.9	38.4	31.2	15.6	13.4
西部圏域	373	52.8	34.9	29.8	14.2	20.1

問３　ご家族や友人、知人等と連絡を取るとき、どのような方法で連絡を取りますか。（○印はいくつでも）

「電話」の割合が 80.0%、「携帯電話のメール」の割合が 58.1%、「ＳＮＳ」の割合が 41.0%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「ＳＮＳ」の割合が増加しています。一方、「電話」「携帯電話のメール」の割合が減少しています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「携帯電話のメール」「SNS」の割合が高く、「電話」の割合が低く、女性では年齢が上がるほど「電話」の割合が高く、「SNS」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	電話	携帯電話のメール	ＳＮＳ	その他	無回答
全　体	1,452	80.0	58.1	41.0	6.7	6.1
男性　65～74歳	278	76.3	71.2	57.2	7.6	2.9
75～84歳	271	82.7	56.8	28.4	4.8	5.2
85歳以上	88	86.4	40.9	11.4	5.7	10.2
女性　65～74歳	299	76.9	54.2	60.9	5.7	4.0
75～84歳	354	82.8	64.4	40.1	7.6	6.5
85歳以上	118	88.1	42.4	13.6	7.6	7.6

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

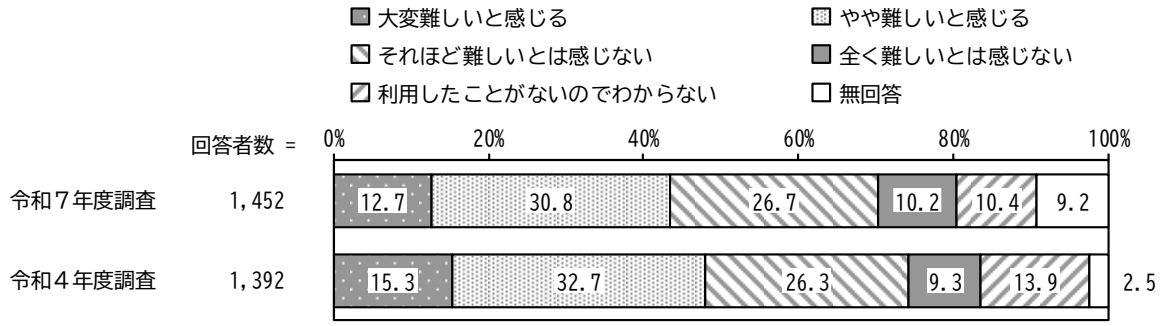
単位：％

区分	回答者数（件）	電話	携帯電話のメール	SNS	その他	無回答
全　体	1,452	80.0	58.1	41.0	6.7	6.1
東部圏域	286	80.1	55.9	40.6	5.6	5.6
北部圏域	396	82.3	57.8	43.7	8.6	4.8
中部圏域	365	80.0	63.0	43.3	7.4	5.8
西部圏域	373	81.0	58.2	38.9	4.8	4.8

問４　インターネットやスマートフォンを利用することは難しいと感じますか。（○印は１つ）

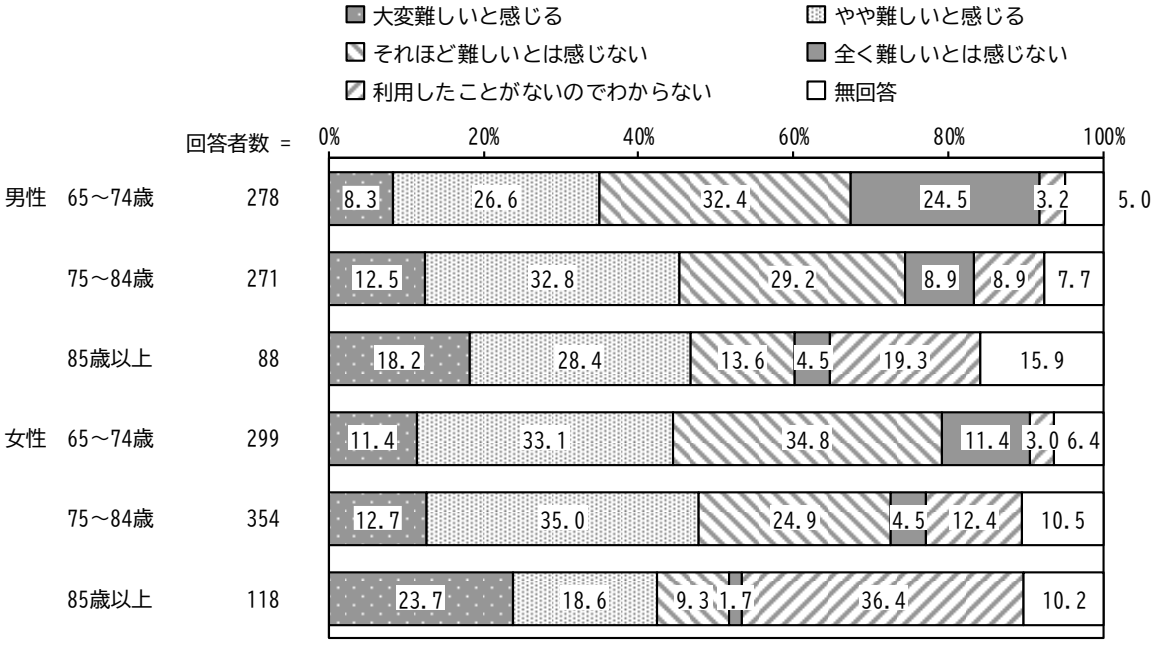
「大変難しいと感じる」「やや難しいと感じる」を合わせた“難しいと感じる”の割合が 43.5%、「それほど難しいとは感じない」「全く難しいとは感じない」を合わせた“難しいとは感じない”の割合が 36.9%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



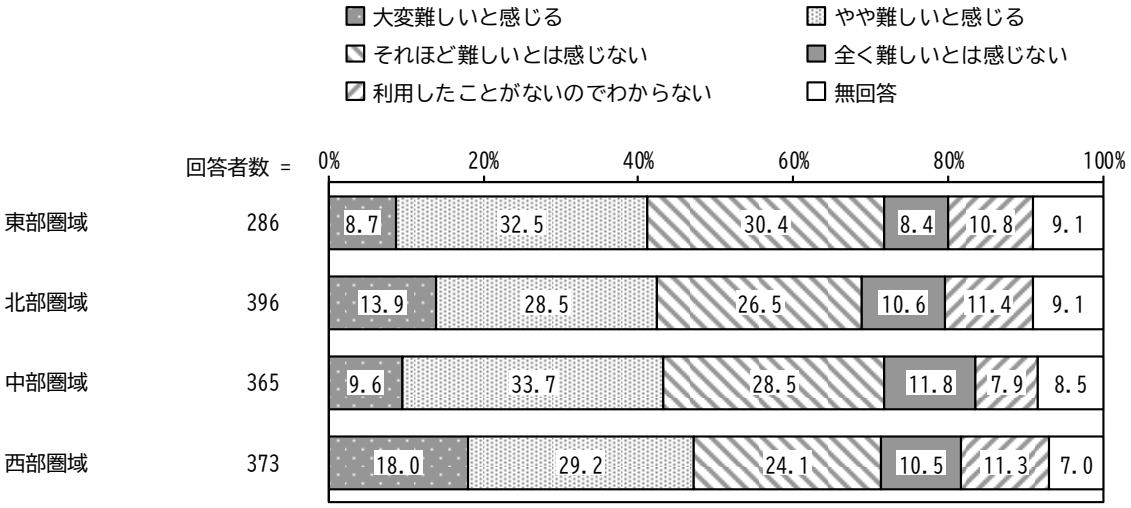
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど“難しいと感じる”の割合が高く、女性では年齢が下がるほど“難しいとは感じない”の割合が高くなっています。また、女性 85 歳以上で「大変難しいと感じる」「利用したことがないのでわからない」、男性 65～74 歳で「全く難しいとは感じない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



令和７年度　東久留米市高齢者アンケート調査
（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）　調査票

はじめに

日頃から東久留米市介護保険事業にご理解とご協力をたまわり、厚くお礼申し上げます。

現在、市では令和９年度から令和11年度の３年間を計画期間とした、「第10期東久留米市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向けた作業を進めています。

この計画は、市が計画期間中に実施する高齢者に関する施策、介護保険事業の方向性を定める重要な計画です。

つきましては、本計画に地域の高齢者の皆様の生活状況やご意向を反映し、より効果的なものとするために、本アンケート調査を実施いたします。

本調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますよう、宜しくお願いします。

令和７年１２月　東久留米市

ご記入の前に、お読みください

1．この調査は、本市に在住の 65 歳以上の方で、**要介護１～５の認定を受けていない方**の中から 2,000 人を無作為に抽出し、皆様にご協力をお願いしております。

2．回答にあたっては**封筒のあて名「ご本人」の状況**をお答えいただきますが、ご家族の方が「ご本人」の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されたりしてもかまいません。

3．ご回答は、**あてはまる回答の番号を○で囲んでください**。回答数は、各設問文に（○印は 1 つ）（○印はいくつでも）など指定してありますので、それに従ってご回答ください。また、（　　）がある回答は、記述でご回答ください。

4．設問は厚生労働省が作成した調査実施の手引きを参考に作成されています。

5．ご記入いただいた調査票は、**令和７年 12 月 22 日（月）**までに、同封の返信用封筒に入れて、**切手を貼らずに無記名で**郵送してください。

6．インターネットによる回答の場合は、右の二次元コードを読み込むか、下記のＵＲＬにアクセスしてください。インターネットでご回答いただく場合は、調査票の返送は不要です。

https://questant.jp/q/85TCHNYY

7．本調査は、個人が識別されない形で行われます（皆様の個人情報との紐付（ひもづ）けは行いません）。また、本調査で得られたデータの活用に際し、厚生労働省が管理するデータベースに調査結果の情報を登録し、集計・比較・分析等を行います。

8．ご不明の点は、**最終ページに記載した介護福祉課の連絡先**までご連絡ください。

ここから、回答を始めてください

はじめに、お答えください

問１　調査票にご記入されているのはどなたですか。（○印は１つ）

1．あて名のご本人　　2．ご家族（あて名のご本人からみた続柄：　　）
3．その他（　　）

問２　あなた（あて名のご本人）の性別を教えてください（○印は１つ）

1．男性　　2．女性

問３　令和７年 11 月末時点のあなたの年齢を記入してください。

（　　）歳

問４　あなたの居住地を教えてください。（○印は１つ）

1．上の原	2．神宝町	3．金山町	4．氷川台
5．大門町	6．東本町	7．新川町	8．浅間町
9．学園町	10．ひばりが丘団地	11．本町	12．小山
13．幸町	14．中央町	15．南沢	16．前沢 1～3 丁目
17．前沢４～５丁目	18．南町	19．滝山	20．下里１・７丁目
21．下里２～６丁目	22．柳窪	23．野火止	24．八幡町
25．弥生			

問５　あなたは要支援認定を受けていますか。（○印は１つ）

1．要支援認定を受けていないし、事業対象者（※）でもない
2．要支援認定を受けていないが、事業対象者（※）である
3．要支援１の認定を受けている
4．要支援２の認定を受けている

※　「事業対象者」とは、基本チェックリストを実施した結果、日常生活における何らかのリスクがあると認定された方のことをいいます。具体的には、「介護保険被保険者証（緑色）」の「要介護状態区分等」の欄に、「事業対象者」の記載がある方です。

1　ご家族や生活状況について、おたずねします

問１　あなたの、家族構成を教えてください。（○印は１つ）

１．１人暮らし	２．夫婦２人暮らし(配偶者 65 歳以上)
３．夫婦２人暮らし(配偶者 64 歳以下)	４．息子・娘との２世帯
５．その他	

問２　あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○印は１つ）

１．介護・介助は必要ない
２．何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
３．現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

問３　現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○印は１つ）

１．大変苦しい	２．やや苦しい	３．ふつう
４．ややゆとりがある	５．大変ゆとりがある	

問４　お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか。（○印は１つ）

１．持家（一戸建て）	２．持家（集合住宅）	３．公営賃貸住宅
４．民間賃貸住宅（一戸建て）	５．民間賃貸住宅（集合住宅）	６．借家・間借り
７．その他		

2　からだを動かすことについて、おたずねします

問１　あなたは、階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。（○印は１つ）

１．できるし、している	２．できるけどしていない	３．できない

問２　いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（○印は１つ）

１．できるし、している	２．できるけどしていない	３．できない

問３　１５分位続けて歩いていますか。（○印は１つ）

１．できるし、している	２．できるけどしていない	３．できない

問４　過去１年間に転んだ経験がありますか。（○印は１つ）

１．何度もある	２．１度ある	３．ない

問５　転倒に対する不安は大きいですか。（○印は１つ）

１．とても不安である	２．やや不安である
３．あまり不安でない	４．不安でない

問６　週に１回以上は外出していますか。（○印は１つ）

１．ほとんど外出しない	２．週１回
３．週２～４回	４．週５回以上

問７　昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○印は１つ）

１．とても減っている	２．減っている
３．あまり減っていない	４．減っていない

問８　外出する際の移動手段は何ですか。（○印はいくつでも）

１．徒歩	２．自転車	３．バイク
４．自動車（自分で運転）	５．自動車（人に乗せてもらう）	６．電車
７．路線バス	８．病院や施設のバス	９．車いす
10．電動車いす（カート）	11．歩行器・シルバーカー	12．タクシー
13．くるぶー	14．その他（　　）	

3　食べることについて、おたずねします

問１　あなたの身長・体重はいくつですか。

身長（　　）ｃｍ　　体重（　　）ｋｇ

問２　半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（○印は１つ）

１．はい	２．いいえ

問３　お茶や汁物等でむせることがありますか。（○印は１つ）

１．はい	２．いいえ

問４　口の渇(かわ)きが気になりますか。（○印は１つ）

１．はい	２．いいえ

問５　歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。（○印は１つ）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）。

１．自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用	２．自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし
３．自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用	４．自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし

問６　６か月間で２～３kg 以上の体重減少がありましたか。（○印は１つ）

１．はい	２．いいえ

問７　どなたかと食事をともにする機会はありますか。（○印は１つ）

１．毎日ある	２．週に何度かある	３．月に何度かある
４．年に何度かある	５．ほとんどない	

４　毎日の生活について、おたずねします

問１　あなたは、物忘れが多いと感じますか。（○印は１つ）

１．はい	２．いいえ

問２　自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（○印は１つ）

１．はい	２．いいえ

問３　今日が何月何日かわからない時がありますか。（○印は１つ）

１．はい	２．いいえ

問４　バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）。（○印は１つ）

１．できるし、している	２．できるけどしていない	３．できない

問５　自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○印は１つ）

１．できるし、している	２．できるけどしていない	３．できない

問６　自分で食事の用意をしていますか。（○印は１つ）

１．できるし、している	２．できるけどしていない	３．できない

問７　自分で請求書の支払いをしていますか。（○印は１つ）

１．できるし、している	２．できるけどしていない	３．できない

問８　自分で預貯金の出し入れをしていますか。（○印は１つ）

１．できるし、している	２．できるけどしていない	３．できない

問９　ふだんの生活の中で、自宅以外でよく行く場所はどこですか。（○印はいくつでも）

１．公園や散歩道などの屋外の場所
２．地域の集まりや通いの場（サロン、体操教室、ボランティア活動など）
３．趣味のサークル、習い事、カルチャーセンターなど
４．地域包括支援センター・高齢者福祉施設・自治体の窓口
５．カフェや喫茶店など
６．図書館、本屋
７．医療機関（病院、診療所など）
８．スーパーマーケットや商店街
９．子どもや孫の家
10．その他（　　）
11．特にない

５　地域での活動について、おたずねします

問１　あなたは、以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
※　①～⑩それぞれにご回答ください。（○印はそれぞれに１つ）

	週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない
①　町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
②　老人クラブ	1	2	3	4	5	6
③　自主体操グループ	1	2	3	4	5	6
④　脳トレグループ	1	2	3	4	5	6
⑤　認知症カフェ・サロン	1	2	3	4	5	6
⑥　スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
⑦　趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
⑧　学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑨　ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
⑩　収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問２　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に**参加者として**参加してみたいと思いますか。（○印は１つ）

１．ぜひ参加したい	２．参加してもよい
３．参加したくない	４．既に参加している

問３　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に**企画・運営（お世話役）として**参加してみたいと思いますか。（○印は１つ）

１．ぜひ参加したい	２．参加してもよい
３．参加したくない	４．既に参加している

６　就労について、おたずねします

問１　現在のあなたの就労状態はどれですか。（○印はいくつでも）

１．職に就いたことがない	２．引退した
３．常勤（フルタイム）	４．非常勤（パート・アルバイト等）
５．自営業	６．求職中
７．その他（　　）	

※　問１で「２．引退した」と回答した方のみ、お答えください。

問２　あなたは何歳で引退しましたか。

（　　）歳

７　たすけあいについて、おたずねします

問１　あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる方。（○印はいくつでも）

１．配偶者	２．同居の子ども	３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫	５．近隣	６．友人
７．その他（　　）	８．そのような人はいない	

問２　反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる方。（○印はいくつでも）

１．配偶者	２．同居の子ども	３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫	５．近隣	６．友人
７．その他（　　）	８．そのような人はいない	

問３　あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる方。（○印はいくつでも）

１．配偶者	２．同居の子ども	３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫	５．近隣	６．友人
７．その他（　　）	８．そのような人はいない	

問４　反対に、看病や世話をしてあげる方。（○印はいくつでも）

１．配偶者	２．同居の子ども	３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫	５．近隣	６．友人
７．その他（　　）	８．そのような人はいない	

問５　友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（○印は１つ）

１．毎日ある	２．週に何度かある
３．月に何度かある	４．年に何度かある
５．ほとんどない	

８　健康について、おたずねします

問１　現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○印は１つ）

１．とてもよい	２．まあよい	３．あまりよくない	４．よくない

問２　あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を１０点として、ご記入ください）。（あてはまる点数を１つ、○印で囲む）

とても不幸										とても幸せ
０点	１点	２点	３点	４点	５点	６点	７点	８点	９点	１０点

問３　この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（○印は１つ）

１．はい	２．いいえ

問４　この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（○印は１つ）

１．はい	２．いいえ

問５　現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。（○印はいくつでも）

１．ない	２．高血圧
３．脳卒中（脳出血・脳こうそく等）	４．心臓病
５．糖尿病	６．高脂血症（脂質異常）
７．呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	８．胃腸・肝臓・胆のうの病気
９．腎臓・前立腺の病気	10．筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
11．外傷（転倒・骨折等）	12．がん（悪性新生物）
13．血液・免疫の病気	14．うつ病
15．認知症(アルツハイマー病等)	16．パーキンソン病
17．目の病気	18．耳の病気
19．口腔機能障害	20．その他（　　）

問６　タバコは吸っていますか。（○印は１つ）

１．ほぼ毎日吸っている	２．時々吸っている
３．吸っていたがやめた	４．もともと吸っていない

９　在宅医療・介護予防などについて、おたずねします

問１　どのような介護予防や通いの場であれば参加したいと思いますか。（○印はいくつでも）

１．体操（運動）の教室（市役所での講座）
２．体操（運動）の教室（WEB（インターネット））
３．身近な地域の公園でのラジオ体操
４．体操やウォーキングのグループ
５．栄養や口腔ケアについて学ぶ講座
６．農作業や農作物の収穫体験
７．会食や茶話会等、食事をしながら、話し合う場
８．一人でゆっくり過ごせる、カフェなどの場
９．地域の情報を知ることができる場
10．認知症予防の教室（市役所での講座）
11．認知症予防の教室（WEB（インターネット））
12．趣味の活動への参加（料理教室、手芸、健康マージャン等）
13．ボランティアなど
14．支援が必要な高齢者への生活支援（買い物支援、移動支援等）
15．子どもや若年世代等世代間との交流活動
16．その他（　　）
17．特にない

※　問１で「１」から「16」に回答した方のみ、お答えください。

問２　介護予防や通いの場に参加したいと思う理由は何ですか。（○印はいくつでも）

１．仲間ができるから	２．健康のため	３．楽しいから
４．生きがいを感じるから	５．情報が得られるから	６．地域の役に立ちたいから
７．その他（　　）		

※　問１で「１」から「16」に回答した方のみ、お答えください。

問３　介護予防や通いの場に参加する際、どのような点を重視しますか。（○印はいくつでも）

１．内容が自分の興味と合っている	２．同年代や話しやすい人が参加している
３．自宅から近く、歩いて行ける	４．費用がかからない・安価である
５．介護が必要になっても通える配慮がある	６．開催日時が自分に合っている
７．地域に貢献している実感がある	８．送迎がある
９．その他（　　）	

問４　あなたは、かかりつけ医師、歯科医師、薬局（薬剤師）を決めていますか。（○印はそれぞれに１つ）

①　かかりつけ医師	１．決めている	２．決めていない
②　かかりつけ歯科医師	１．決めている	２．決めていない
③　かかりつけ薬局（薬剤師）	１．決めている	２．決めていない

問５　かかりつけ医師がいる病院等への通院手段は何ですか。（○印はいくつでも）

１．徒歩	２．自転車	３．バイク
４．自動車（自分で運転）	５．自動車（人に乗せてもらう）	６．電車
７．路線バス	８．病院や施設のバス	９．車いす
10．電動車いす（カート）	11．歩行器・シルバーカー	12．タクシー
13．くるぶー	14．その他（　　）	
15．かかりつけ医を決めていない		

問６　在宅医療･介護について､知っているサービスはありますか｡（○印はいくつでも）

１．訪問診療	２．在宅療養支援診療所
３．訪問歯科	４．訪問看護
５．居宅療養管理指導	６．訪問介護
７．小規模多機能型居宅介護	８．看護小規模多機能型居宅介護
９．訪問リハビリテーション	10．訪問入浴介護
11．住宅改修	12．福祉用具貸与・購入
13．定期巡回・随時対応型訪問介護看護	14．その他（　　）

問７　在宅医療・介護についてお困りの時に、どこに相談しますか。（○印はいくつでも）

１．地域包括支援センター	２．在宅療養相談窓口
３．親族や友人・知人	４．医療の専門職（医師・看護師など）
５．病院の地域医療連携室（相談員）など	６．福祉の専門職（ケアマネジャー・社会福祉士など）
７．行政担当窓口	８．社会福祉協議会や民生委員
９．その他（　　）	10．相談先はない

問８　介護や在宅療養について情報を得る機会はありますか。（○印はいくつでも）

１．在宅療養ガイドブックを見たことがある
２．在宅療養や介護に関する講演会等に参加したことがある
３．在宅療養相談窓口を利用したことがある
４．地域包括支援センターを利用したことがある
５．その他（　　）
６．ない

問９　介護が必要になったときの手続きや介護保険制度のサービスの内容、介護保険料の仕組み等について知っていますか。（○印はそれぞれに１つ）

	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない
①　申請や手続きの方法	1	2	3	4
②　受けられるサービスの内容	1	2	3	4
③　保険料の仕組み	1	2	3	4

問１０　今後、介護・介助が必要になったとして、あなたはどのような生活を希望しますか。（○印は１つ）

１．自宅で、主に家族や親族に介護をしてもらいたい
２．自宅で、主に介護サービスなどを利用したい
３．子どもや親族等の家に住み替えて、介護をしてもらいたい
４．バリアフリー住宅等に住み替えて、介護サービスなどを利用したい
５．介護施設等の施設サービスを利用したい（入所したい）
６．その他（　　）
７．特にない

問１１　あなたは、人生の最期（さいご）の時期をどこで迎えたいと思いますか。（○印は１つ）

１．自宅	２．病院	３．緩和ケア病棟（ホスピスなど）
４．介護施設	５．その他（　　）	６．わからない

問１２　認知症の症状がある、またはご家族に認知症の症状がある方がいますか。（○印は１つ）

１．はい	２．いいえ

問１３　認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○印は１つ）

１．はい	２．いいえ

問１４　認知症に対して備えていることや取り組んでいることはありますか。（○印はいくつでも）

１．家族と話し合っている
２．生活習慣病や認知症などの予防に取り組んでいる
３．成年後見制度などの権利擁護の制度について検討している
４．専門の病院に受診している
５．TV や雑誌、インターネット等のメディアから情報を入手している
６．講演会や広報紙等、市の実施事業等から情報を入手している
７．その他（　　）
８．特にしていない

問１５　あなたは「認知症」に対してどのようなイメージを持っていますか。（○印はいくつでも）

１．地域や周囲の理解があれば暮らせる	２．認知症になってもやりたいことができる
３．認知症になっても何も変わらないと思う	４．早期に気づけば対応できる
５．怖い病気だと思う	６．誰でもなる可能性がある
７．本人の気持ちがわかりにくい	８．その他（　　）
９．よくわからない	

問１６　あなたは、認知症のご本人やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に必要だと思うことは何ですか。（○印はいくつでも）

１．認知症について正しく理解できる機会（講座・広報など）の充実
２．認知症のある人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備
３．認知症のある人が地域の活動や仕事などに参加できる場の確保
４．認知症のある人の思いや希望を尊重しながら支援する体制づくり
５．医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備
６．認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実
７．認知症予防に関する情報や取り組みの推進
８．その他（　　）

問１７　「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」または「人生会議」について、知っていますか。（○印は１つ）

１．知っている	２．言葉くらいは聞いたことがある
３．知らない	

問１８　「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」または「人生会議」とは、もしものときのために、高齢者本人が望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療関係者等と話し合い、共有することをいいます。このことについて、備えていることや取り組んでいることはありますか。（○印はいくつでも）

１．「わたしの覚え書きノート（東久留米市版）」やエンディングノートなどに取り組み、準備している
２．家族と話し合っている
３．医療・介護関係者（かかりつけ医師・ケアマネジャーなど）と話し合っている
４．TV や雑誌、インターネット等のメディアから情報を入手している
５．講演会や広報紙等、市の実施事業等から情報を入手している
６．その他（　　）
７．特にしていない

９　地域包括支援センターについて、おたずねします

問１　地域包括支援センター（包括）を知っていますか。（○印は１つ）

１．知っている	２．言葉くらいは聞いたことがある
３．知らない	

１０　デジタル機器の使用等について、おたずねします

問１　次のデジタル（電子）機器のうち、あなたが所有しているもの（家族で共有している場合を含む）はありますか。（○印はいくつでも）

１．パソコン	２．スマートフォン	３．タブレット
４．その他（　　）	５．いずれもない	

問２　次のうち、情報を得るため、日常的に使っているものはありますか。（○印はいくつでも）

１．インターネット（ニュースサイトなど）
２．ＳＮＳ（ライン、フェイスブック、X（旧ツイッター）、インスタグラムなど）
３．動画共有サービス（ユーチューブなど）
４．その他（　　）

問３　ご家族や友人、知人等と連絡を取るとき、どのような方法で連絡を取りますか。（○印はいくつでも）

１．電話	２．携帯電話のメール
３．ＳＮＳ（ライン、フェイスブック、X（旧ツイッター）、インスタグラムなど）	
４．その他（　　）	

問４　インターネットやスマートフォンを利用することは難しいと感じますか。（○印は１つ）

１．大変難しいと感じる	２．　やや難しいと感じる
３．それほど難しいとは感じない	４．全く難しいとは感じない
５．利用したことがないのでわからない	

お疲れさまです。以上で、アンケート調査は終了です。

この度は調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ご記入済みの調査票は三つ折りにして同封の返信用封筒に入れ、
切手は貼らずに無記名で、

令和７年 12 月 22 日（月曜日）

までに、郵便ポストにご投函ください。

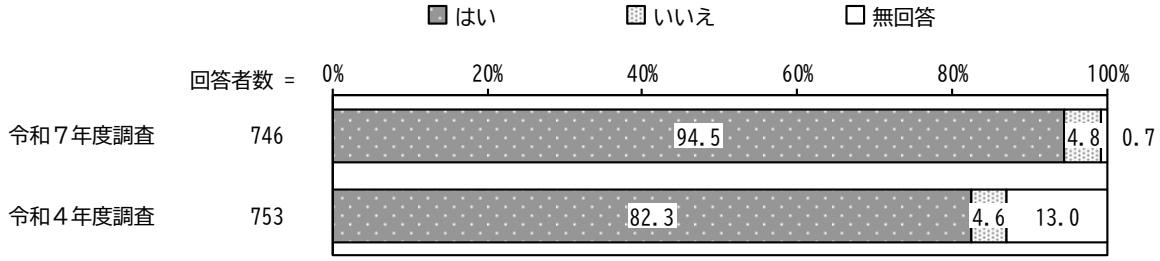
ご回答は、市の高齢者施策・介護保険事業に生かしてまいります。
調査に関するお問い合わせ等は、下記までご連絡ください。

東久留米市役所　福祉保健部　介護福祉課
☎　042-470-7777（内線 4910・4911）

Ⅲ　在宅介護実態調査結果

問１　封筒のあて名のご本人は、令和７年 11 月現在、ご自宅で生活されていますか。（○印は１つ）

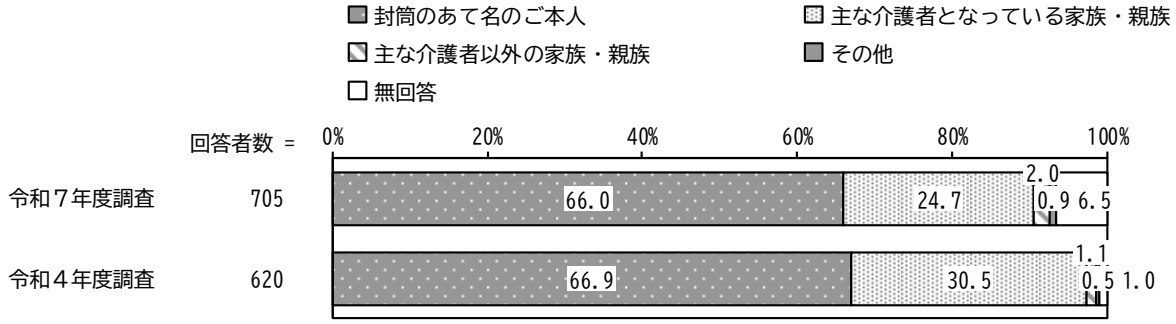
「はい」の割合が 94.5%、「いいえ」の割合が 4.8%となっています。
令和４年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



A票　封筒のあて名のご本人について

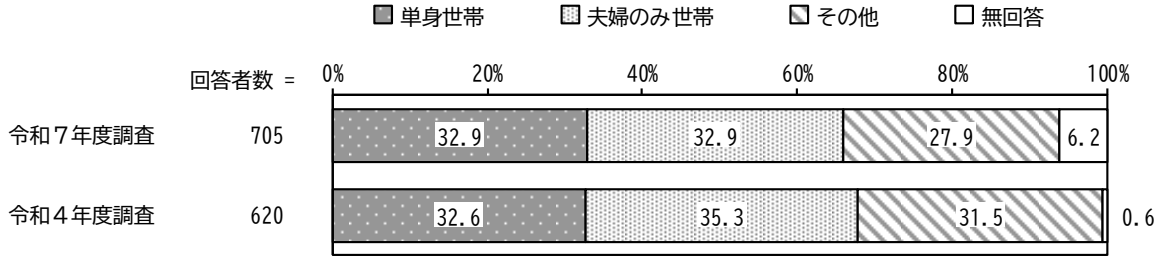
問１　この調査票にご記入されているのは、どなたですか。（○印は１つ）

「封筒のあて名のご本人」の割合が 66.0%、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が 24.7%、「主な介護者以外の家族・親族」の割合が 2.0%となっています。
令和４年度調査と比較すると、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が減少しています。



問２　ご家族(世帯類型)について、教えてください。（○印は１つ）

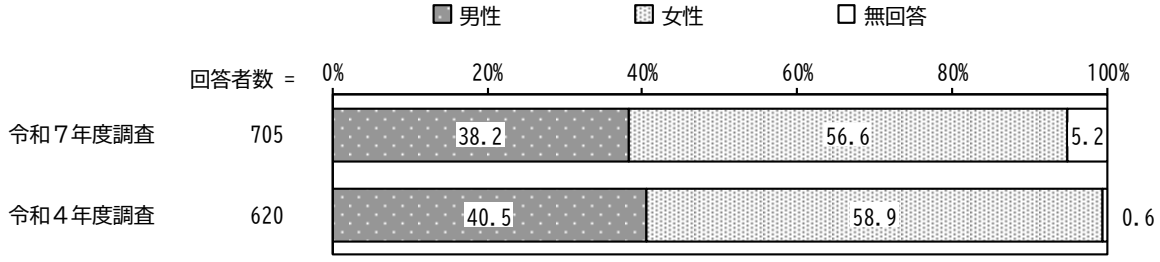
「単身世帯」、「夫婦のみ世帯」の割合が 32.9%となっています。
令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問３　ご本人の性別について、教えてください。（○印は１つ）

「男性」の割合が 38.2%、「女性」の割合が 56.6%となっています。

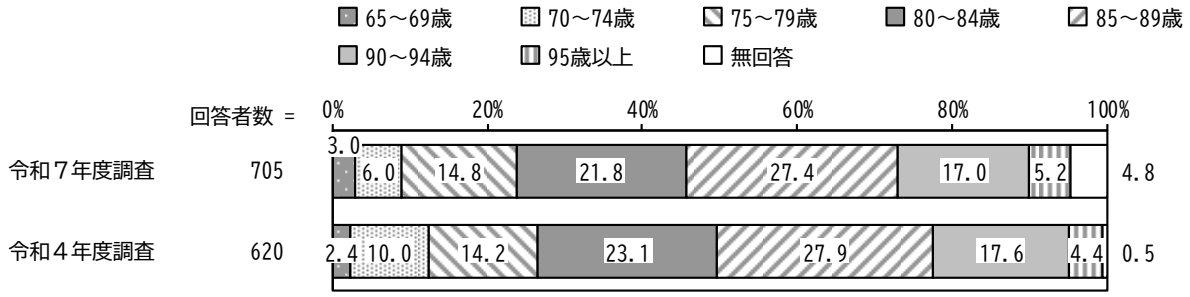
令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問４　ご本人の令和７年 11 月末時点の年齢について、教えてください。（○印は１つ）

「85～89 歳」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「80～84 歳」の割合が 21.8%、「90～94 歳」の割合が 17.0%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問５　ご本人の居住地を教えてください。（○印は１つ）

「滝山」の割合が 12.3%と最も高くなっています。

単位：%

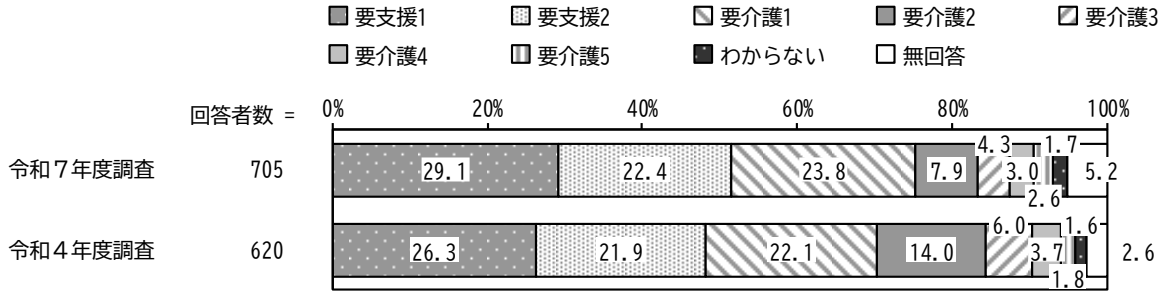
回答者数（件）	上の原	神宝町	金山町	氷川台	大門町	東本町	新川町	浅間町	学園町	ひばりが丘団地	本町	小山	幸町
705	4.1	1.6	2.4	2.7	3.1	1.3	1.3	3.0	2.7	2.0	5.0	3.5	5.4

中央町	南沢	前沢１～３丁目	前沢４～５丁目	南町	滝山	下里１・７丁目	下里２～６丁目	柳窪	野火止	八幡町	弥生	無回答
8.2	4.5	4.3	2.8	5.5	12.3	4.0	5.0	2.8	2.3	4.1	1.4	4.7

問６　ご本人の要介護度を、教えてください。（○印は１つ）

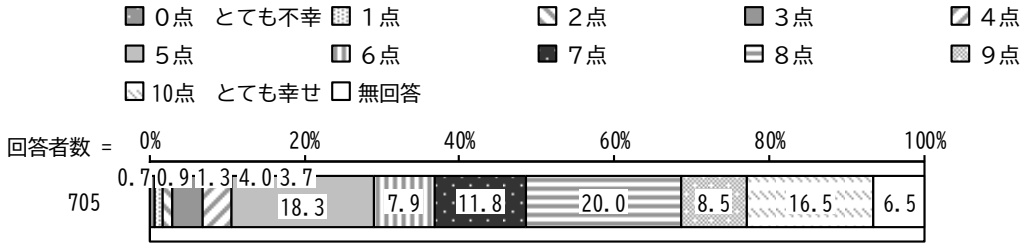
「要支援１」の割合が 29.1%と最も高く、次いで「要介護１」の割合が 23.8%、「要支援２」の割合が 22.4%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「要介護２」の割合が減少しています。



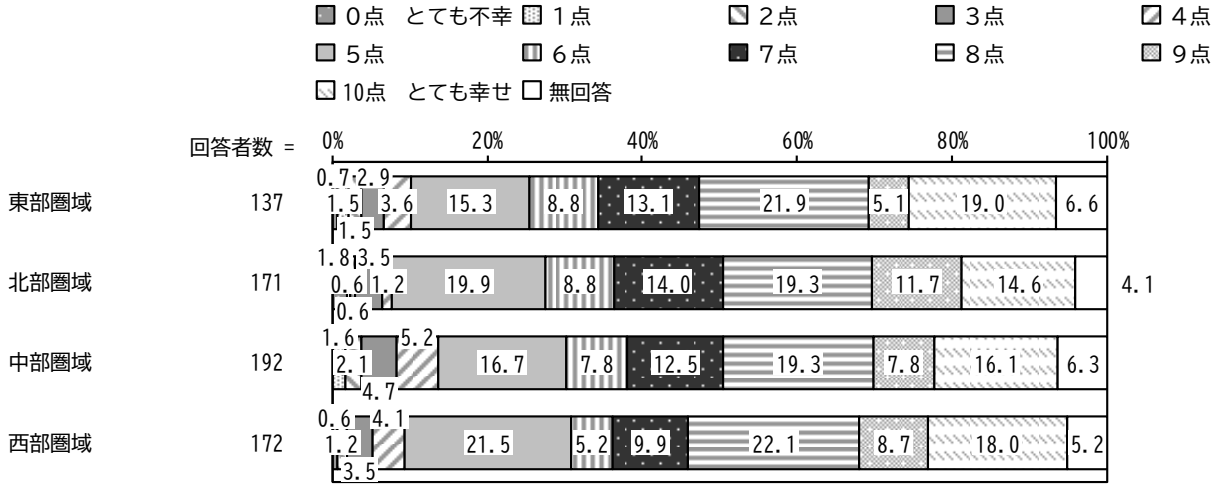
問７　あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても幸せ」を１０点、「とても不幸」を０点として、ご記入ください）。（あてはまる点数を１つ、○印で囲む）

「８点」の割合が 20.0%と最も高く、次いで「５点」の割合が 18.3%、「10 点とても幸せ」の割合が 16.5%となっています。



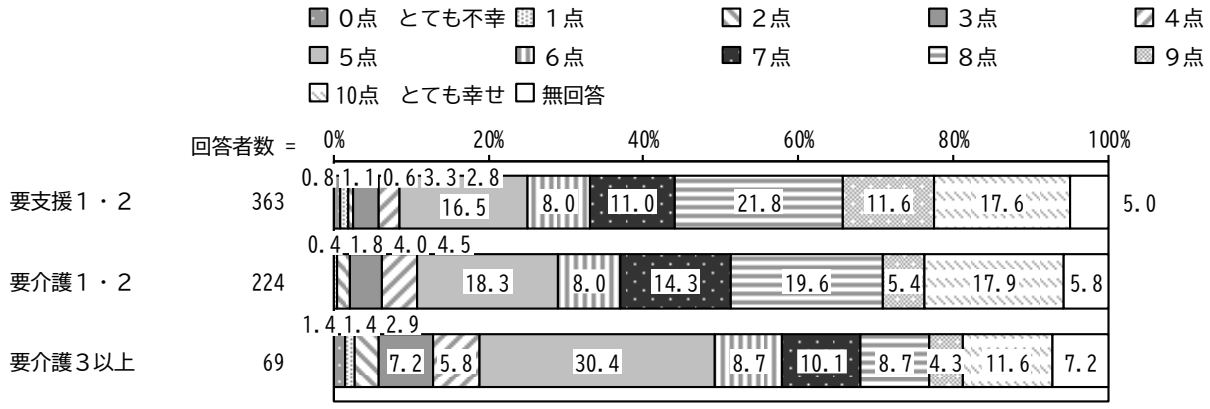
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



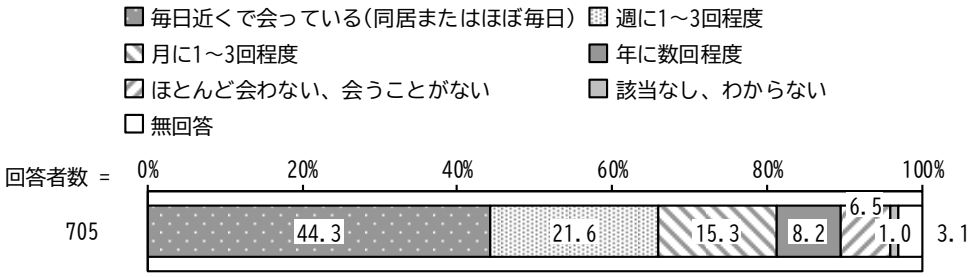
【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護度が下がるほど「８点」「９点」の割合が高く、「５点」の割合が低くなっています。



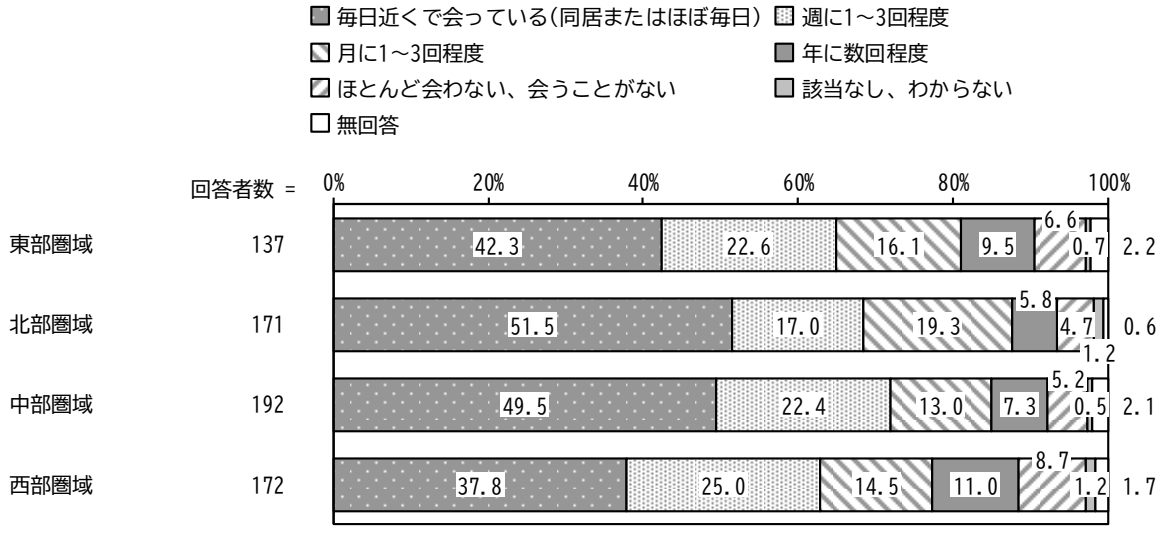
問８　家族や友人と会う頻度はどれくらいですか。（○印は１つ）

「毎日近くで会っている(同居またはほぼ毎日)」の割合が 44.3%と最も高く、次いで「週に１～３回程度」の割合が 21.6%、「月に１～３回程度」の割合が 15.3%となっています。



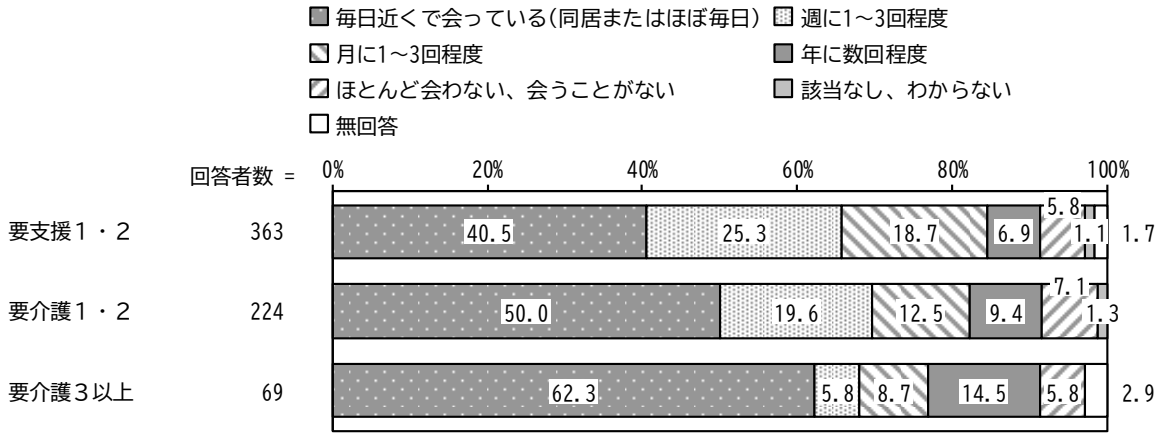
【圏域別】

圏域別にみると、北部圏域、中部圏域で「毎日近くで会っている(同居またはほぼ毎日)」の割合が高くなっています。



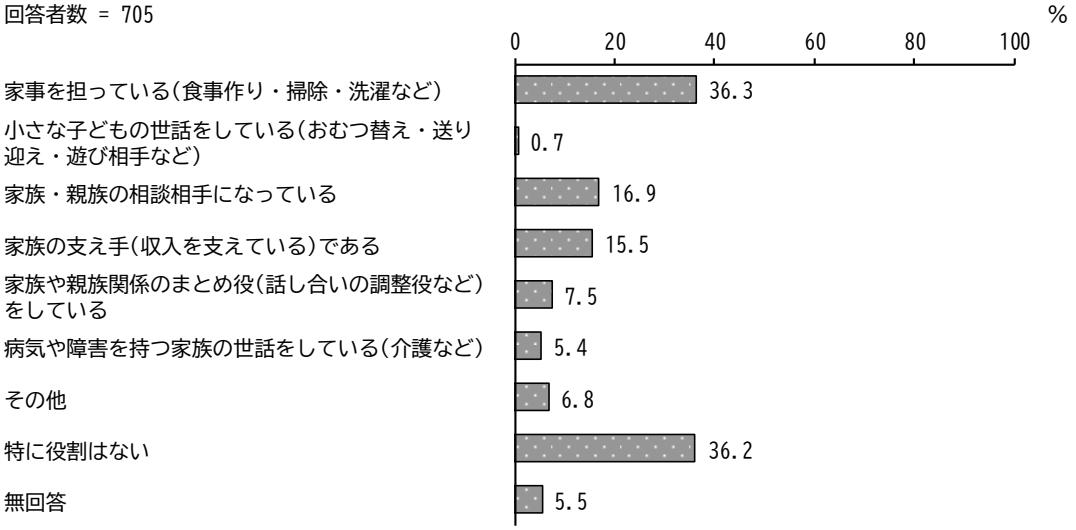
【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「毎日近くで会っている(同居またはほぼ毎日)」「年に数回程度」の割合が高く、「週に 1～３回程度」「月に１～３回程度」の割合が低くなっています。



問９　あなたは、家族や親族の中で以下のような役割を果たしていますか。(○印はいくつでも)

「家事を担っている(食事作り・掃除・洗濯など)」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「家族・親族の相談相手になっている」の割合が 16.9%、「家族の支え手(収入を支えている)である」の割合が 15.5%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	家事を担っている(食事作り・掃除・洗濯など)	小さな子どもの世話をしている(おむつ替え・送り迎え・遊び相手など)	家族・親族の相談相手になっている	家族の支え手(収入を支えている)である	家族や親族関係のまとめ役(話し合いの調整役など)をしている	病気や障害を持つ家族の世話をしている(介護など)	その他	特に役割はない	無回答
全　体	705	36.3	0.7	16.9	15.5	7.5	5.4	6.8	36.2	5.5
東部圏域	137	38.0	2.2	21.2	16.8	10.2	7.3	5.1	31.4	2.9
北部圏域	171	36.8	0.6	18.7	19.9	10.5	4.1	7.6	35.7	2.9
中部圏域	192	40.6	0.5	16.1	14.6	6.8	6.8	7.8	35.9	3.6
西部圏域	172	32.6	0.0	14.5	12.8	4.7	4.1	6.4	44.8	4.1

【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護度が下がるほど「家事を担っている(食事作り・掃除・洗濯など)」「家族・親族の相談相手になっている」の割合が高くなっています。

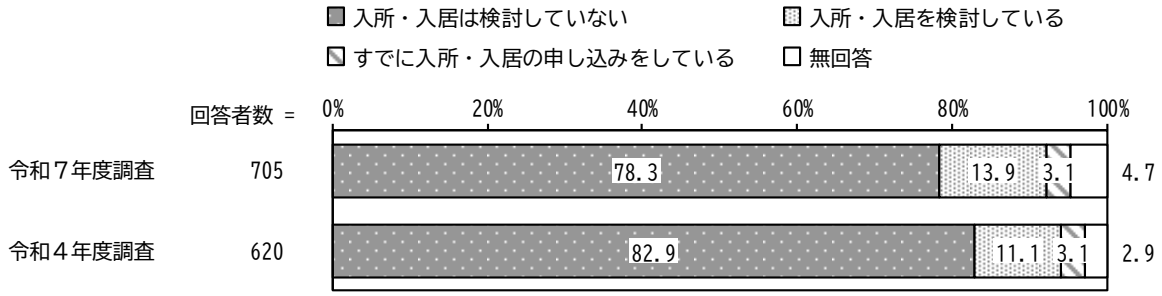
単位：%

区分	回答者数（件）	家事を担っている(食事作り・掃除・洗濯など)	小さな子どもの世話をしている(おむつ替え・送り迎え・遊び相手など)	家族・親族の相談相手になっている	家族の支え手(収入を支えている)である	家族や親族関係のまとめ役(話し合いの調整役など)をしている	病気や障害を持つ家族の世話をしている(介護など)	その他	特に役割はない	無回答
全　体	705	36.3	0.7	16.9	15.5	7.5	5.4	6.8	36.2	5.5
要支援１・２	363	46.6	1.1	19.0	14.9	8.0	5.5	7.4	31.1	3.0
要介護１・２	224	27.7	0.4	17.4	17.9	8.5	5.8	6.7	42.9	0.9
要介護３以上	69	11.6	0.0	8.7	15.9	5.8	7.2	7.2	55.1	8.7

問 10　現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、教えてください。（〇印は１つ）

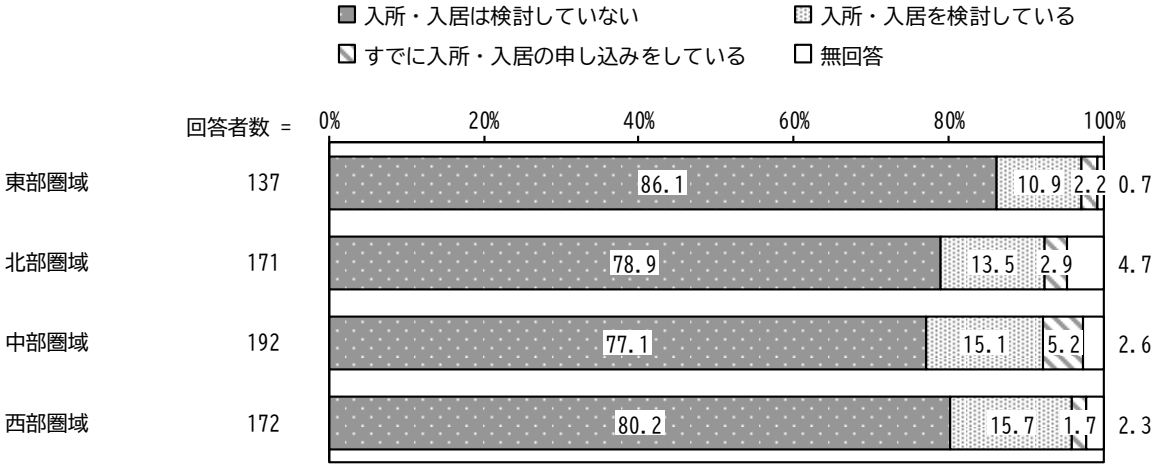
「入所・入居は検討していない」の割合が 78.3%、「入所・入居を検討している」の割合が 13.9%、「すでに入所・入居の申し込みをしている」の割合が 3.1%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



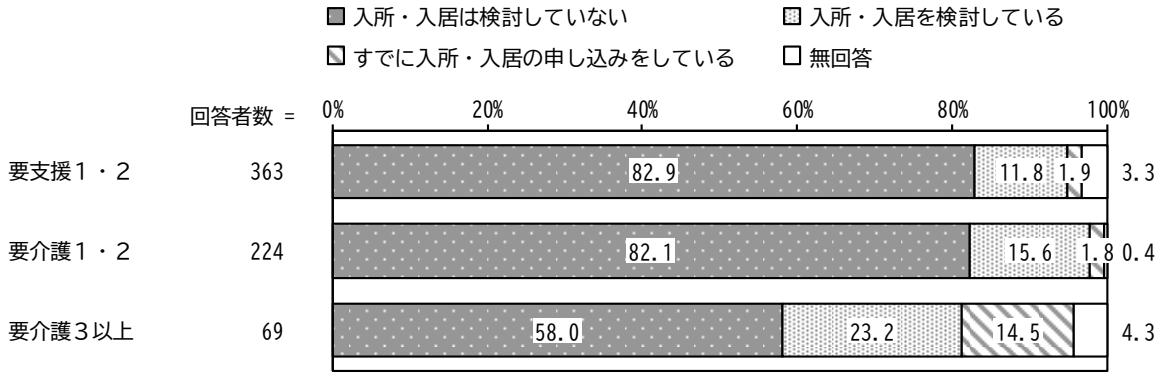
【圏域別】

圏域別にみると、東部圏域で「入所・入居は検討していない」の割合が高くなっています。



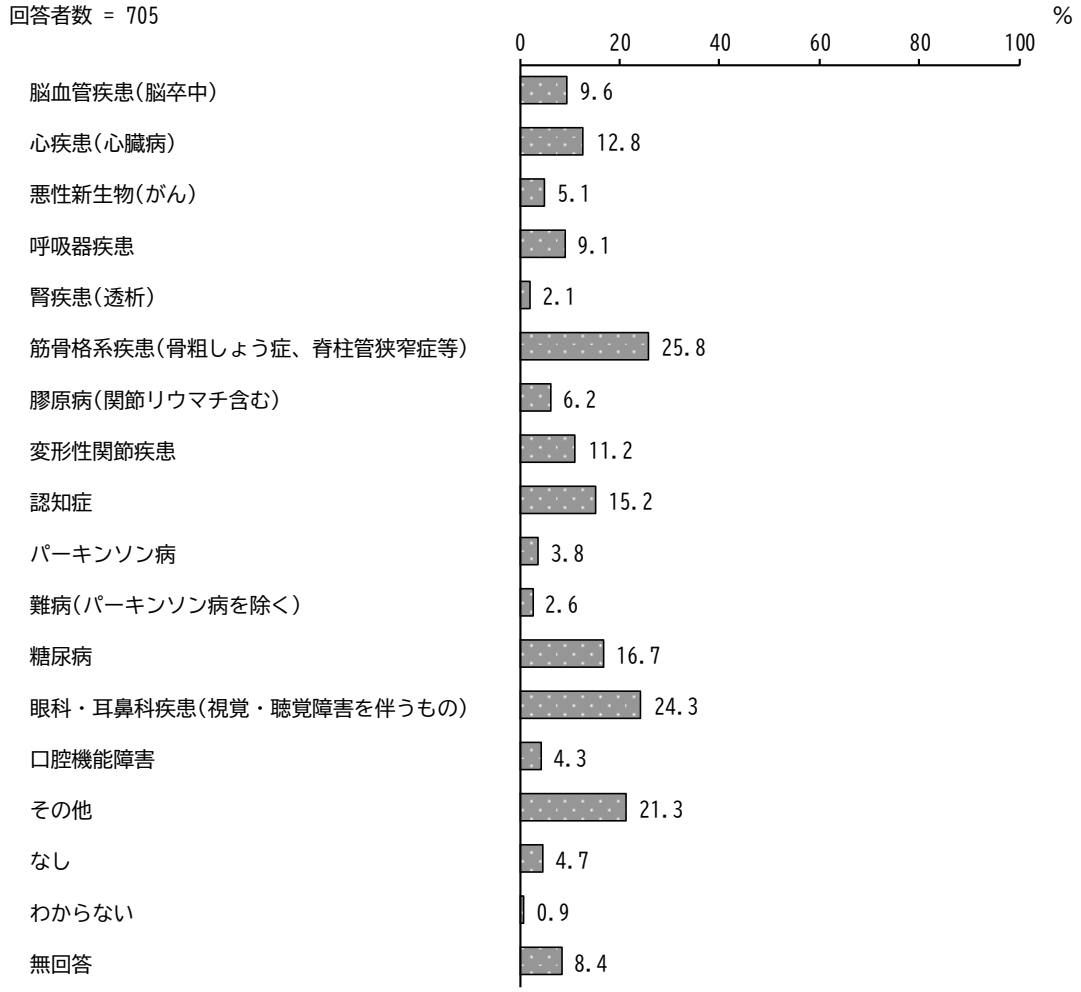
【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「入所・入居を検討している」の割合が高く、「入所・入居は検討していない」の割合が低くなっています。



問 11　ご本人が現在抱えている傷病について、ご回答ください。（○印はいくつでも）

「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」の割合が 25.8%と最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」の割合が 24.3%、「糖尿病」の割合が 16.7%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	脳血管疾患（脳卒中）	心疾患（心臓病）	悪性新生物（がん）	呼吸器疾患	腎疾患（透析）	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	膠原病（関節リウマチ含む）	変形性関節疾患	認知症
全　体	705	9.6	12.8	5.1	9.1	2.1	25.8	6.2	11.2	15.2
東部圏域	137	8.0	13.9	5.1	7.3	0.7	24.1	8.8	14.6	16.1
北部圏域	171	10.5	12.9	6.4	9.4	2.9	27.5	3.5	13.5	15.2
中部圏域	192	7.3	13.0	3.1	9.4	3.1	24.5	6.3	8.9	18.2
西部圏域	172	12.2	11.6	5.8	11.0	1.7	28.5	8.1	9.9	12.8

区分	パーキンソン病	難病（パーキンソン病を除く）	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	口腔機能障害	その他	なし	わからない	無回答
全　体	3.8	2.6	16.7	24.3	4.3	21.3	4.7	0.9	8.4
東部圏域	2.9	0.7	15.3	24.1	3.6	23.4	2.9	0.7	5.8
北部圏域	4.7	2.9	14.0	25.7	5.3	19.3	4.7	0.6	8.8
中部圏域	5.2	2.6	22.4	24.0	3.6	24.0	4.7	1.6	4.2
西部圏域	2.3	4.1	15.1	25.0	5.2	20.9	6.4	0.6	7.0

【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「脳血管疾患(脳卒中)」「認知症」「パーキンソン病」の割合が高く、「心疾患(心臓病)」「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」の割合が低くなっています。

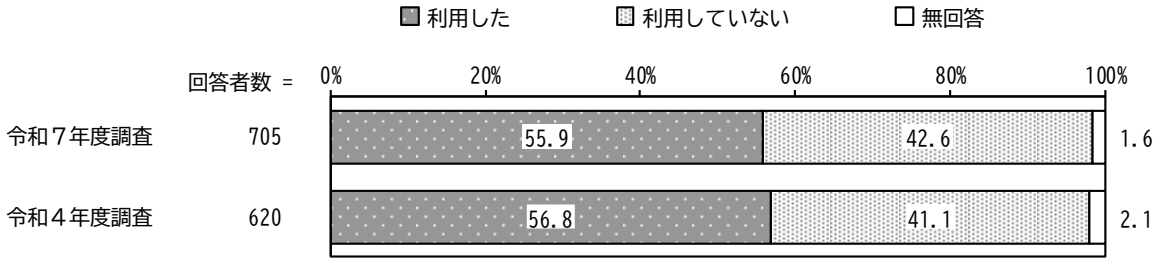
単位：%

区分	回答者数（件）	脳血管疾患（脳卒中）	心疾患（心臓病）	悪性新生物（がん）	呼吸器疾患	腎疾患（透析）	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	膠原病（関節リウマチ含む）	変形性関節疾患	認知症
全　体	705	9.6	12.8	5.1	9.1	2.1	25.8	6.2	11.2	15.2
要支援１・２	363	7.2	15.2	4.1	8.8	2.2	29.5	8.3	12.1	6.6
要介護１・２	224	13.4	12.1	7.1	10.3	2.2	26.8	4.5	10.7	23.7
要介護３以上	69	14.5	8.7	4.3	7.2	2.9	14.5	2.9	11.6	42.0

区分	パーキンソン病	難病（パーキンソン病を除く）	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	口腔機能障害	その他	なし	わからない	無回答
全　体	3.8	2.6	16.7	24.3	4.3	21.3	4.7	0.9	8.4
要支援１・２	2.2	1.9	18.5	28.7	3.3	22.6	5.8	0.8	6.1
要介護１・２	3.6	2.7	15.6	23.7	5.4	19.6	3.1	0.4	5.8
要介護３以上	11.6	7.2	11.6	11.6	8.7	27.5	0.0	0.0	8.7

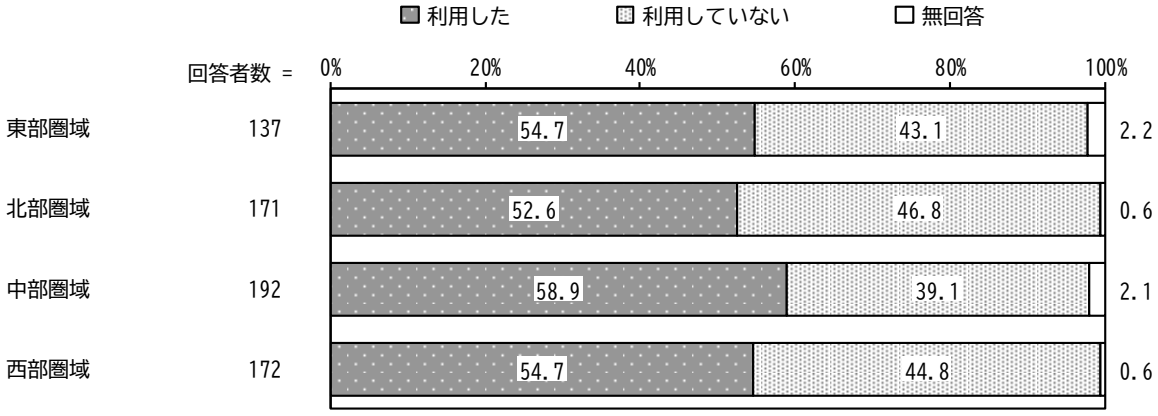
問 12　令和７年 11 月の１か月の間に、介護保険サービスを利用しましたか。（○印は１つ）

「利用した」の割合が 55.9%、「利用していない」の割合が 42.6%となっています。
令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



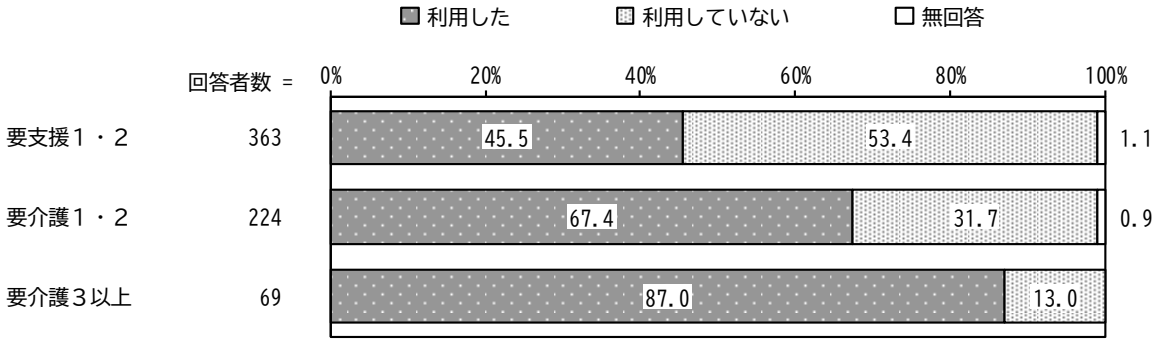
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「利用した」の割合が高くなっています。

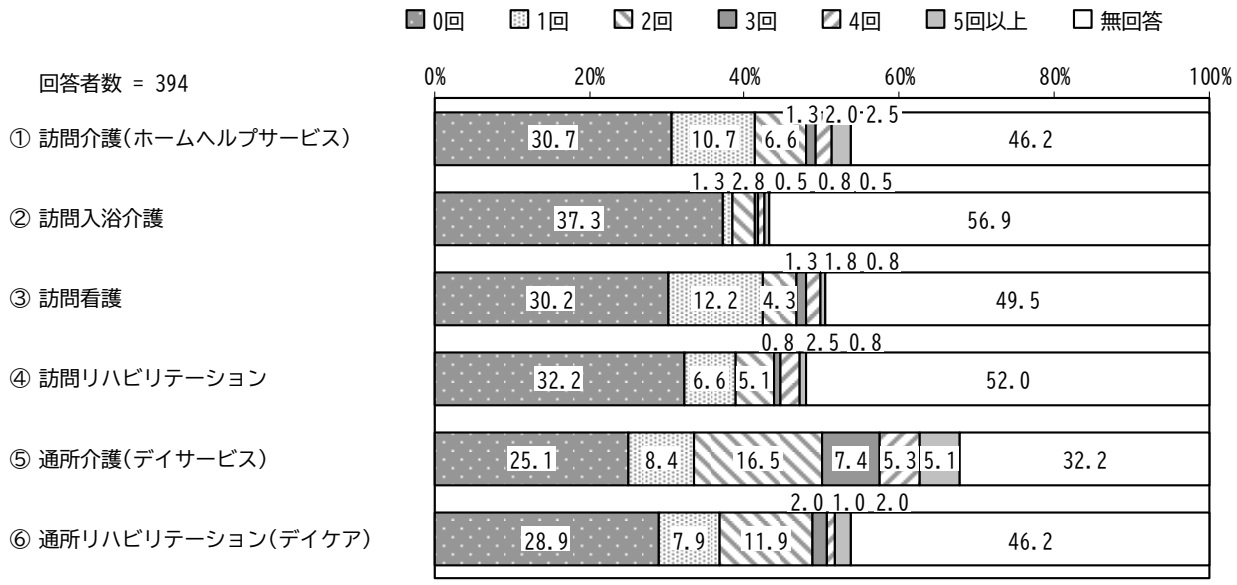


※　問 12 で「利用した」と回答した方のみ、お答えください。

問 13　以下の介護保険サービス等について、令和７年 11 月の１か月間の利用状況をご回答ください。

対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「０回」または「利用していない」を選択してください。（○印はそれぞれに１つ）

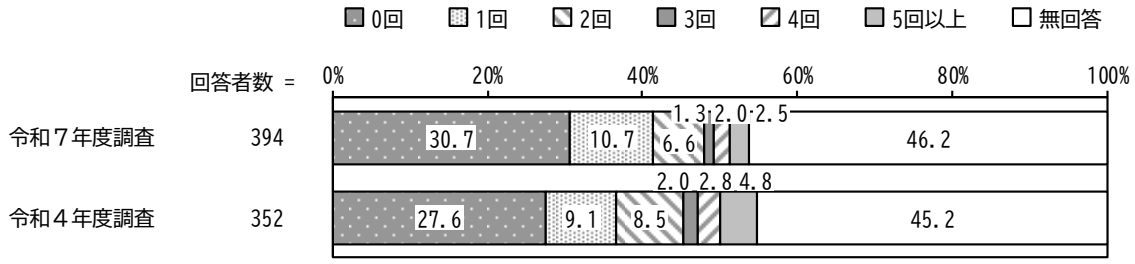
『②訪問入浴介護』で「0 回」が、『③訪問看護』で「1 回」が、『⑤通所介護（デイサービス）』で「2 回」「3 回」「4 回」「5 回以上」が高くなっています。



①訪問介護（ホームヘルプサービス）

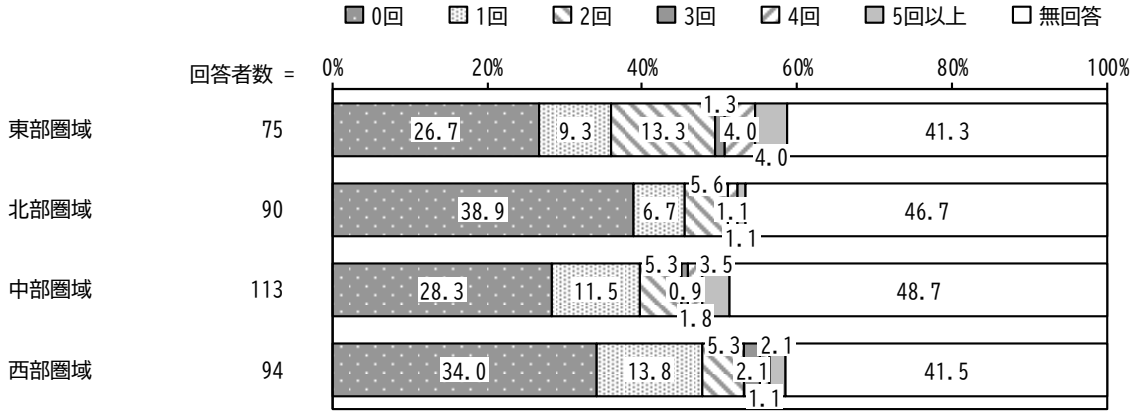
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



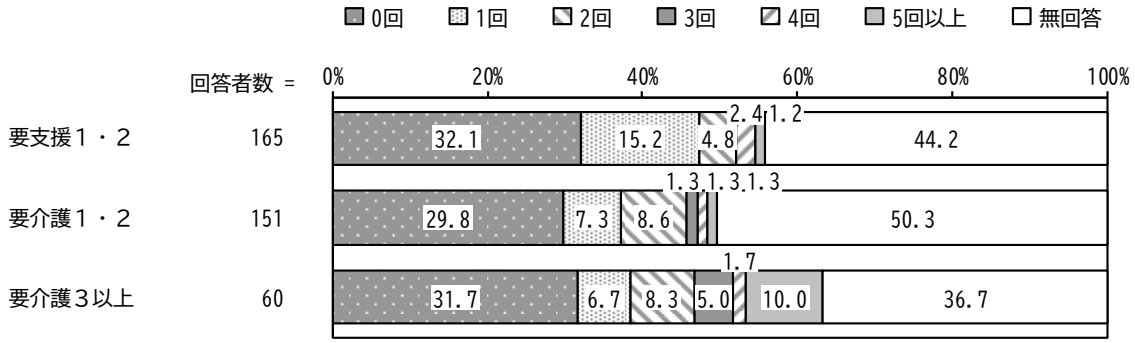
【圏域別】

圏域別にみると、西部圏域で「0 回」、東部圏域で「2 回」の割合が高くなっています。



【要介護度別】

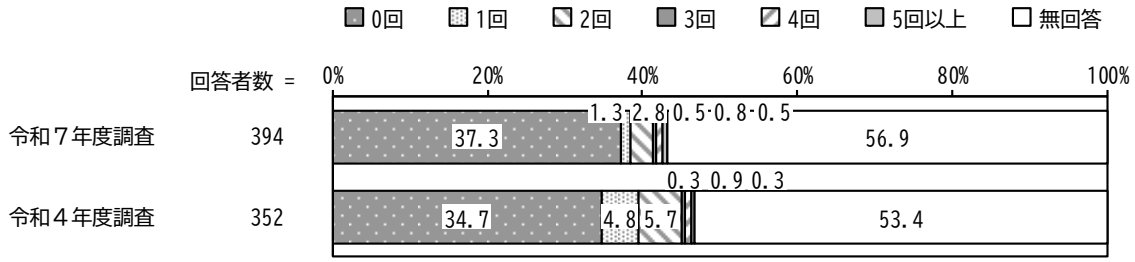
要介護度別にみると、要介護度が下がるほど「1 回」の割合が高くなっています。



②訪問入浴介護

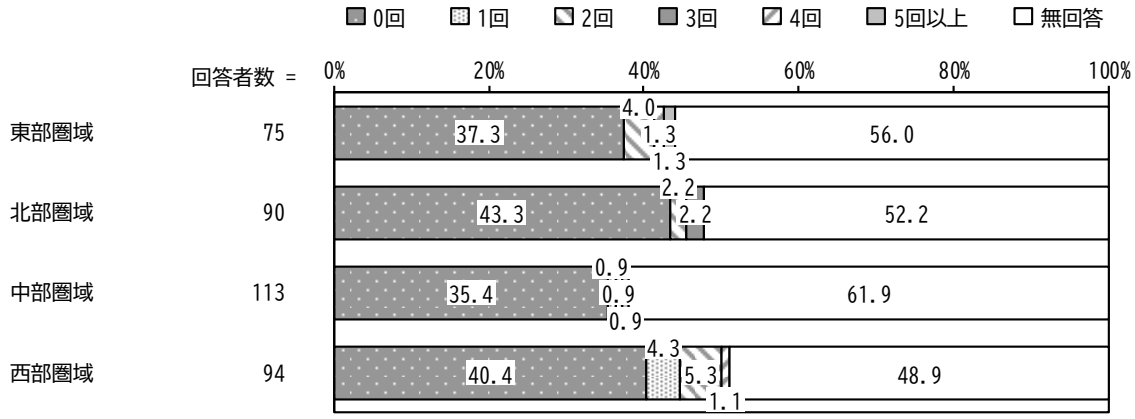
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



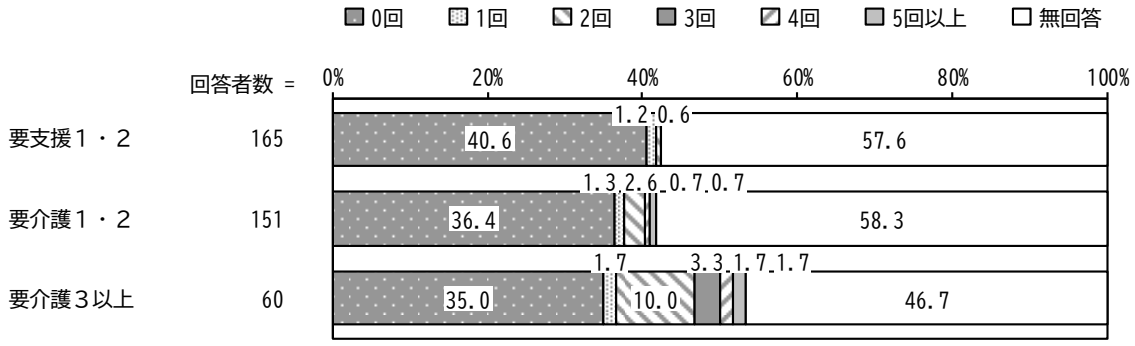
【圏域別】

圏域別にみると、北部圏域で「0 回」の割合が高くなっています。



【要介護度別】

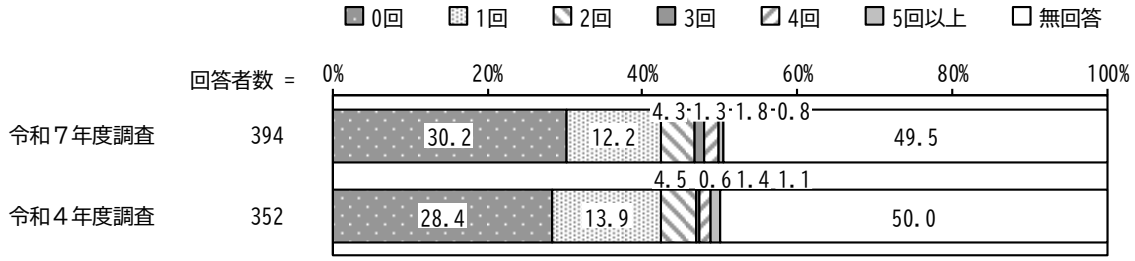
要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「2 回」の割合が高く、「0 回」の割合が低くなっています。



③訪問看護

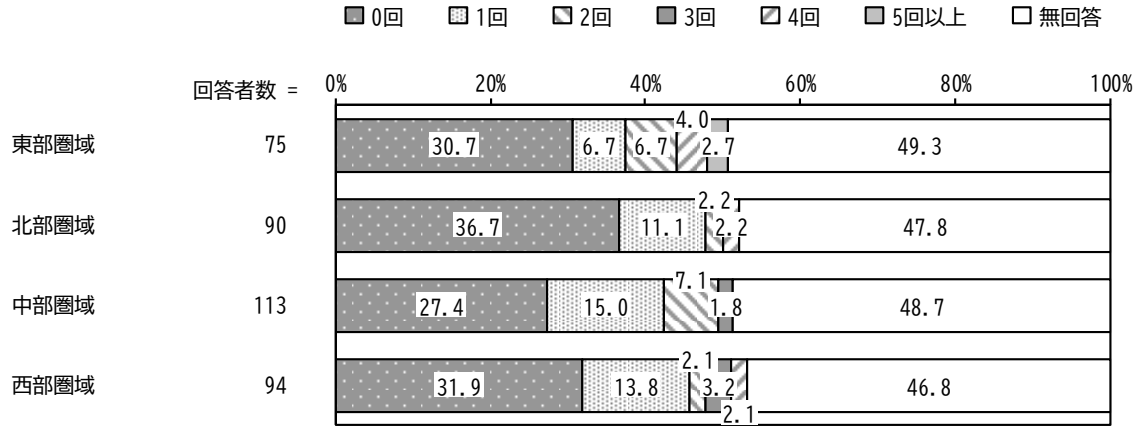
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



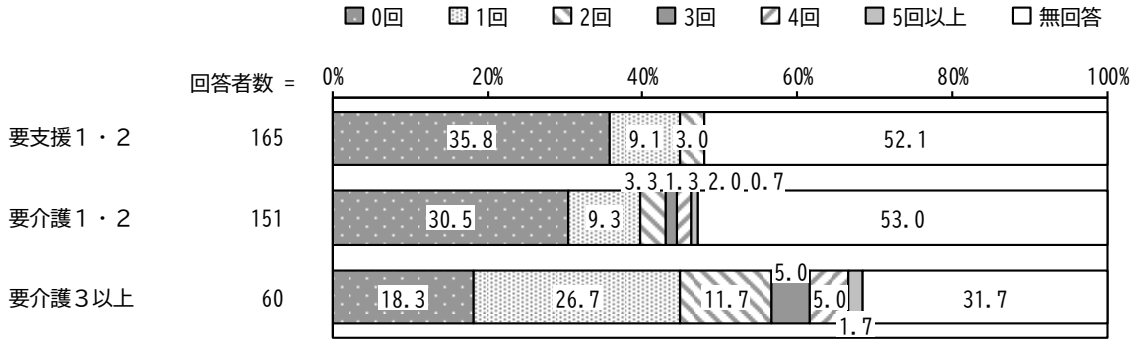
【圏域別】

圏域別にみると、北部圏域で「0 回」の割合が高く、東部圏域で「1 回」の割合が低くなっています。



【要介護度別】

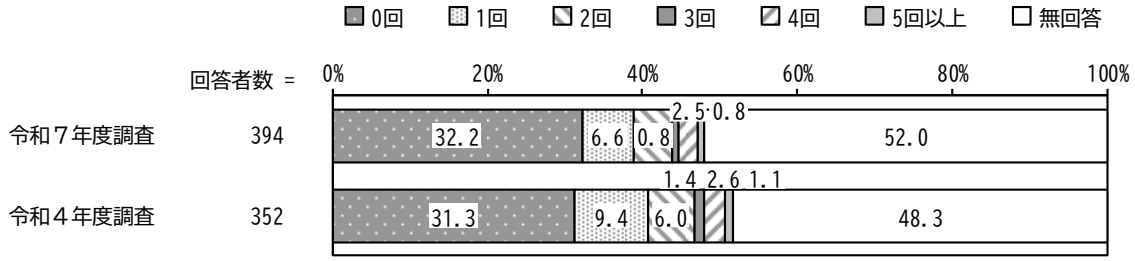
要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「1 回」「2 回」の割合が高く、「0 回」の割合が低くなっています。



④訪問リハビリテーション

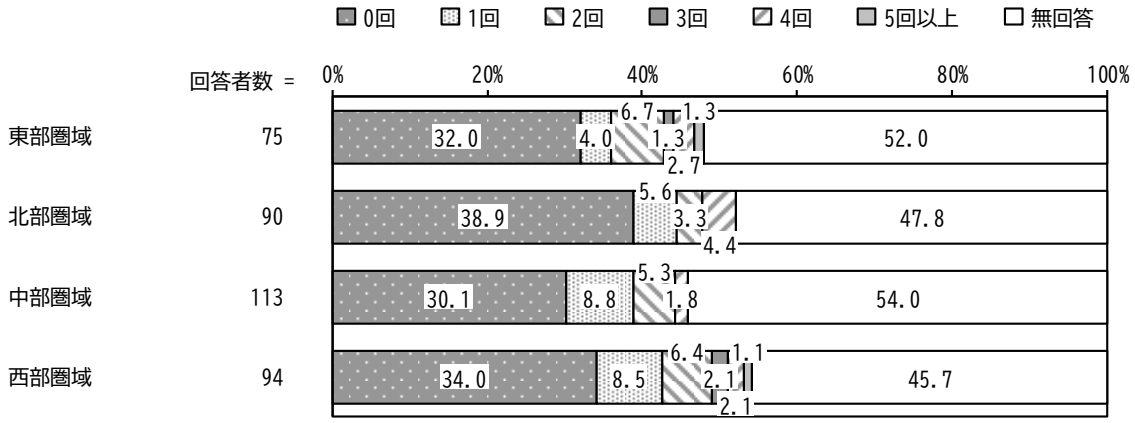
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



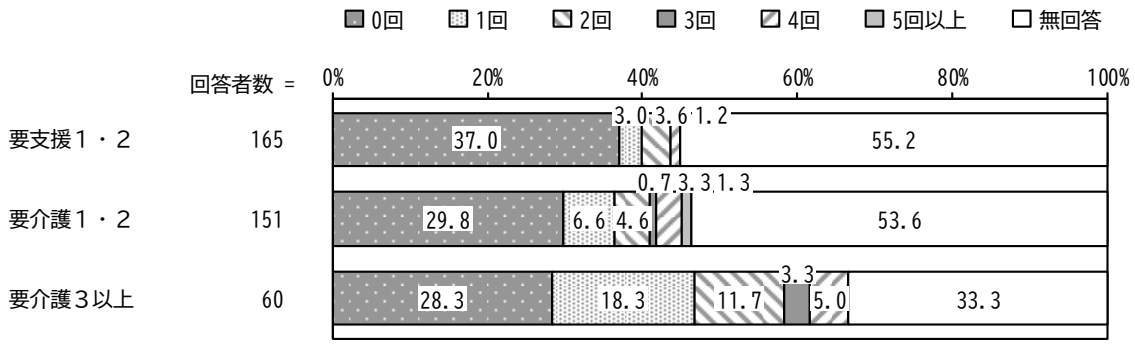
【圏域別】

圏域別にみると、北部圏域で「0 回」の割合が高くなっています。



【要介護度別】

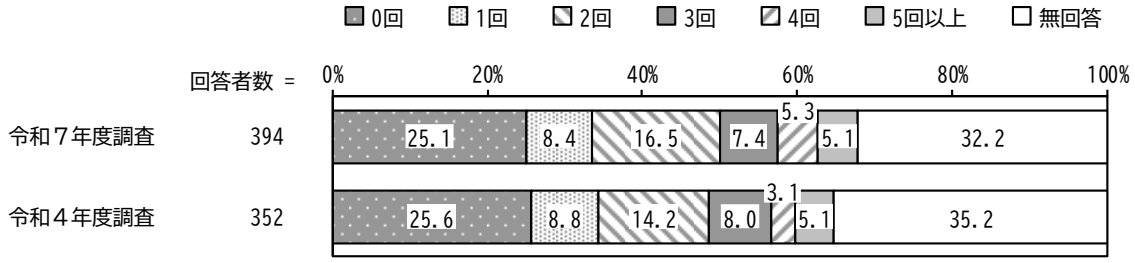
要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「1 回」「2 回」の割合が高く、「0 回」の割合が低くなっています。



⑤通所介護(デイサービス)

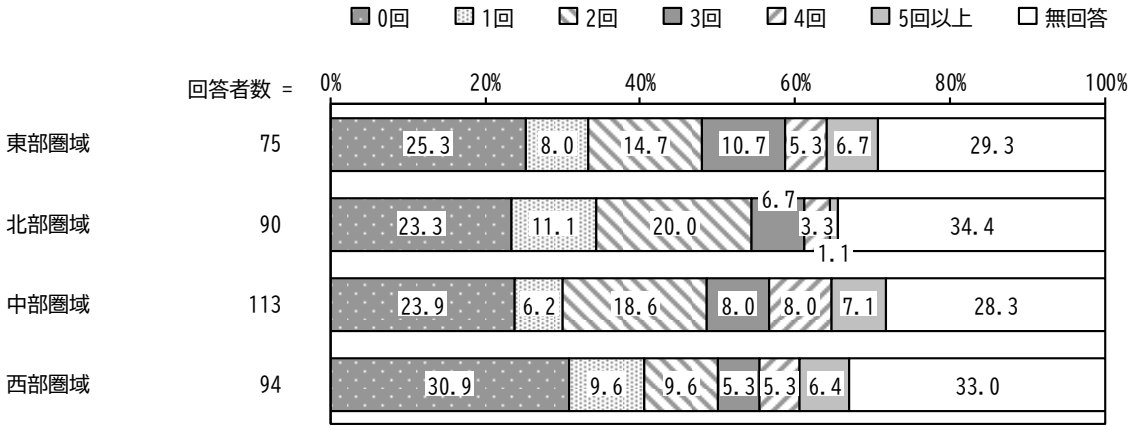
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



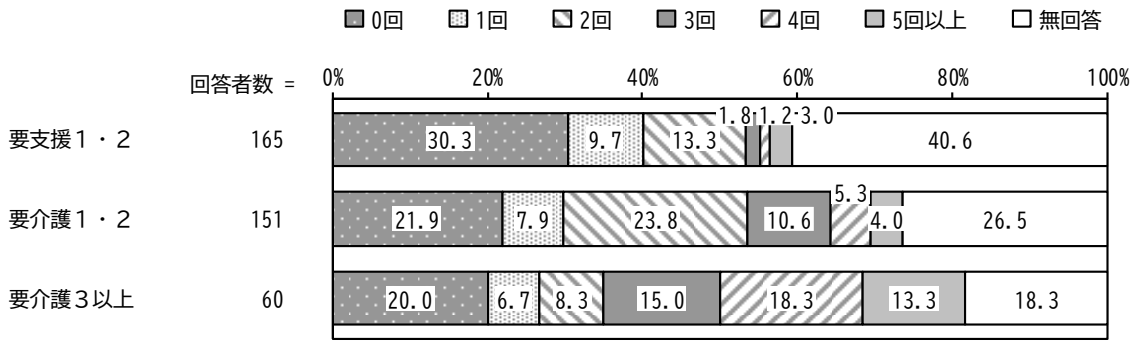
【圏域別】

圏域別にみると、西部圏域で「0 回」の割合が高く、「2 回」の割合が低くなっています。



【要介護度別】

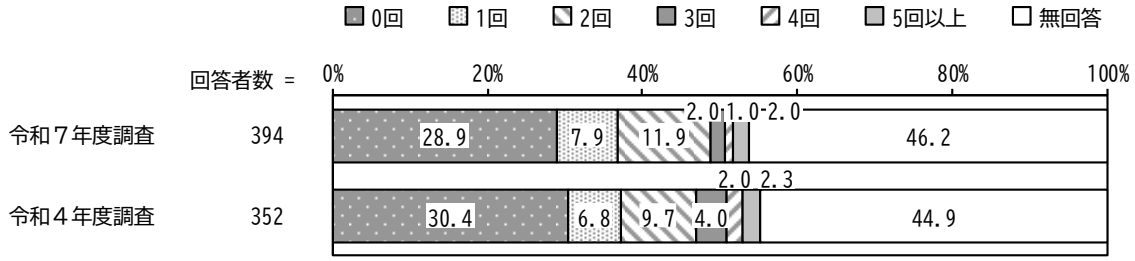
要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「3 回」「4 回」「5 回以上」の割合が高く、「0 回」の割合が低くなっています。



⑥通所リハビリテーション(デイケア)

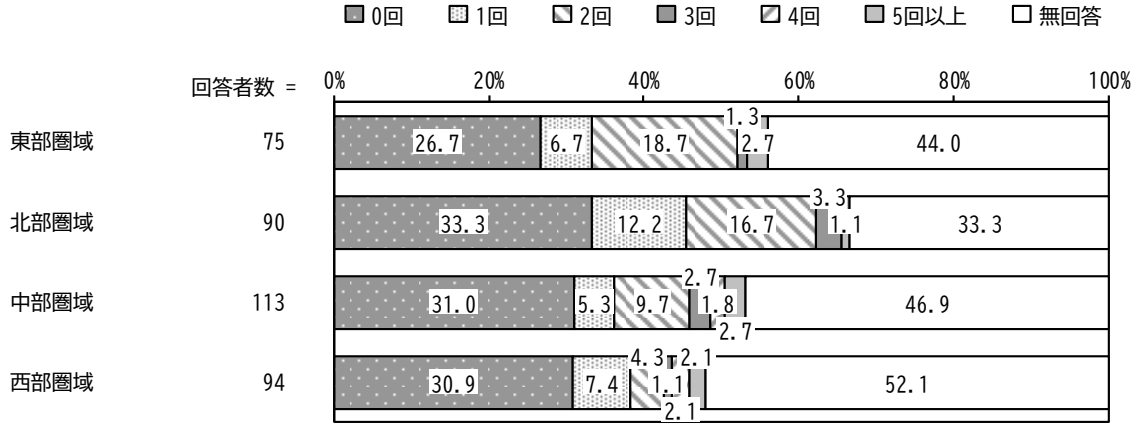
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



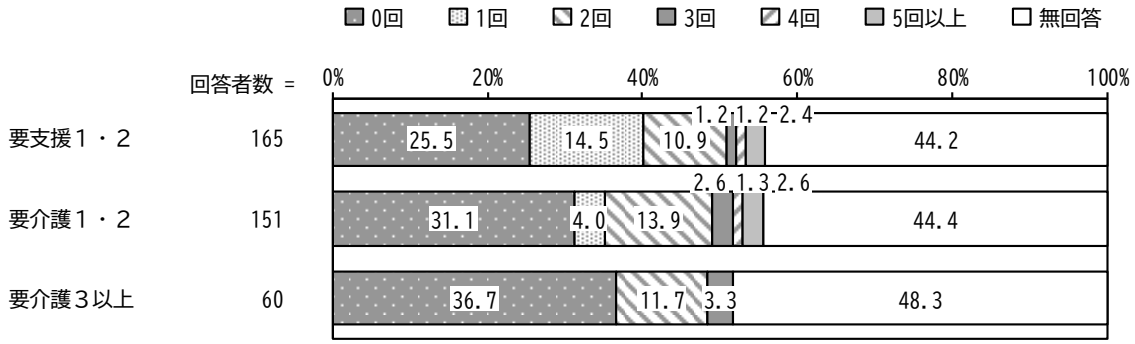
【圏域別】

圏域別にみると、東部圏域で「2 回」の割合が高くなっています。



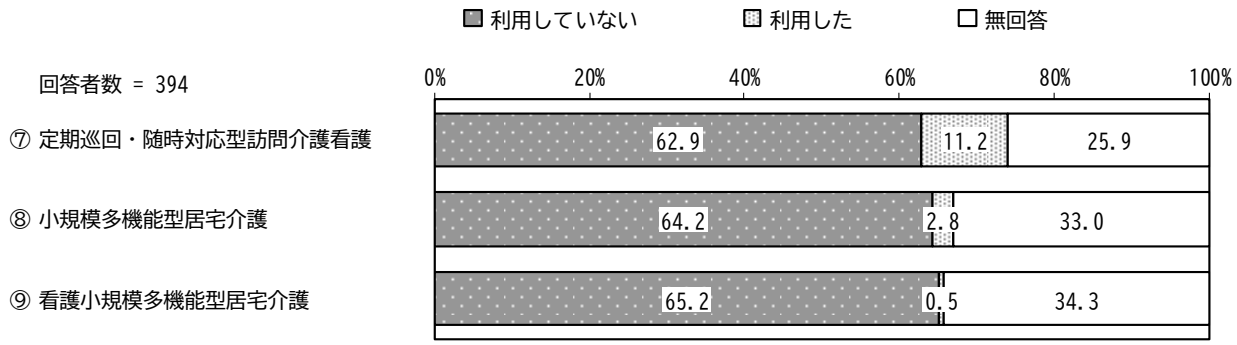
【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「0 回」の割合が高く、「1 回」の割合が低くなっています。



⑦定期巡回・随時対応型訪問介護看護

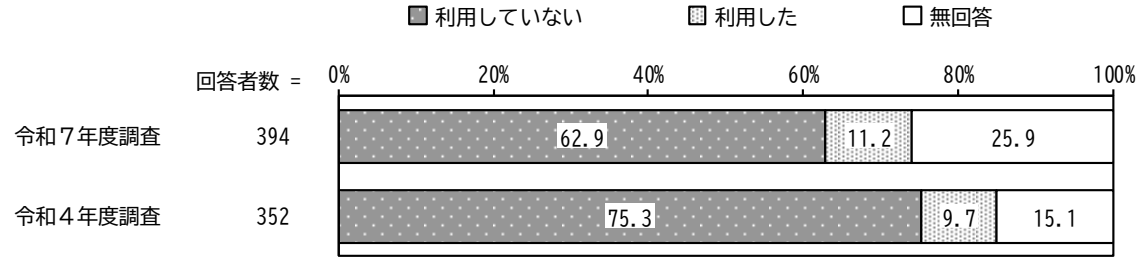
『⑨看護小規模多機能型居宅介護』で「利用していない」が、『⑦定期巡回・随時対応型訪問介護看護』で「利用した」が高くなっています。



⑦定期巡回・随時対応型訪問介護看護

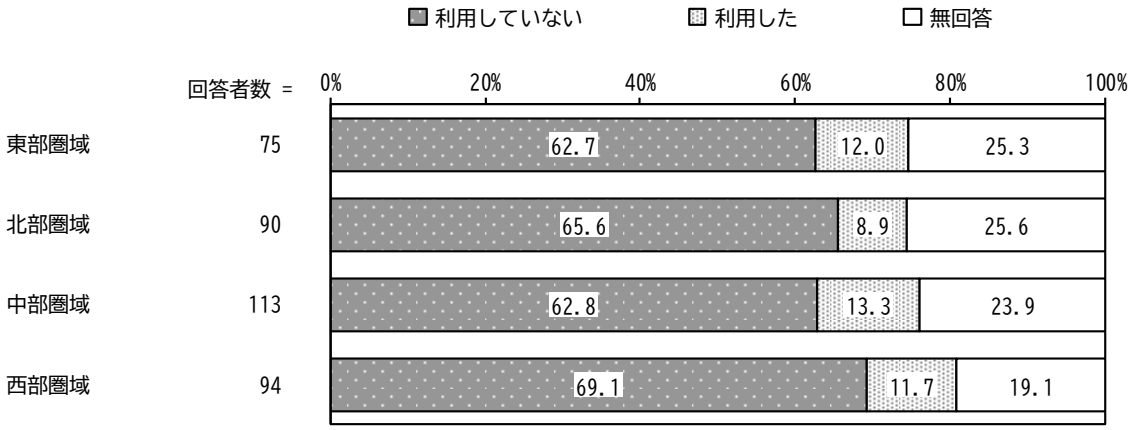
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が減少しています。



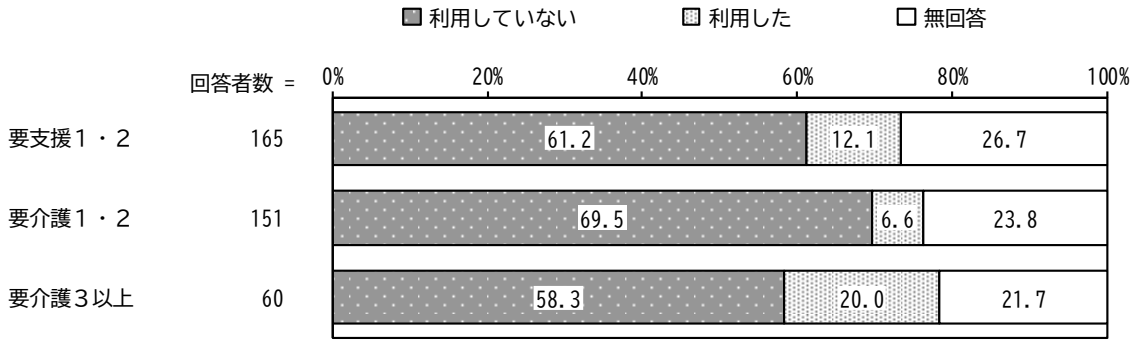
【圏域別】

圏域別にみると、西部圏域で「利用していない」の割合が高くなっています。



【要介護度別】

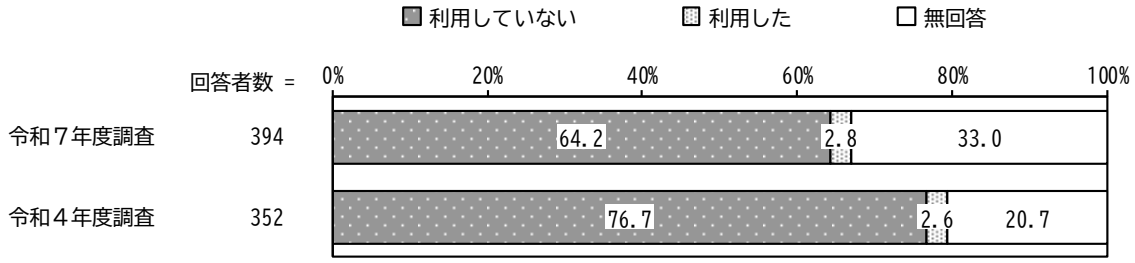
要介護度別にみると、要介護１・２で「利用していない」、要介護３以上で「利用した」の割合が高くなっています。



⑧小規模多機能型居宅介護

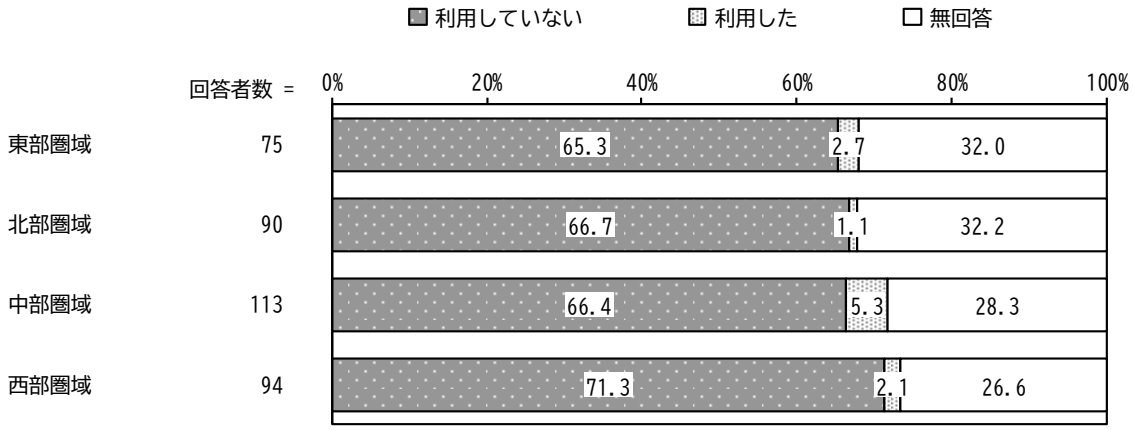
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が減少しています。



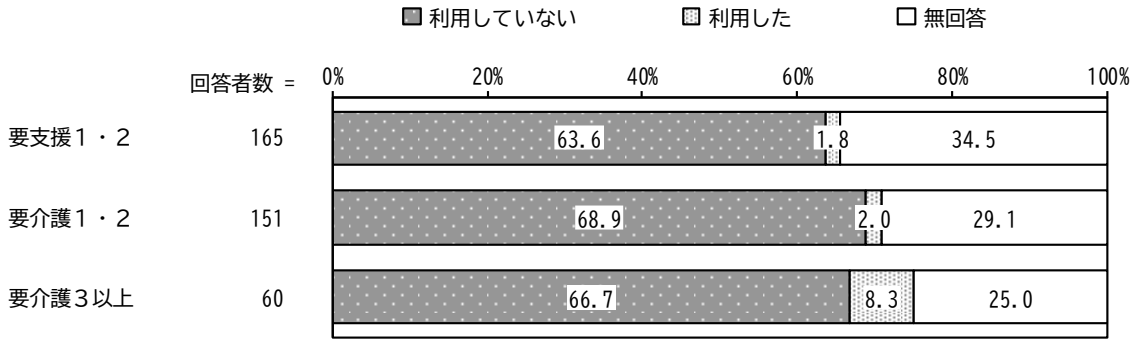
【圏域別】

圏域別にみると、西部圏域で「利用していない」の割合が高くなっています。



【要介護度別】

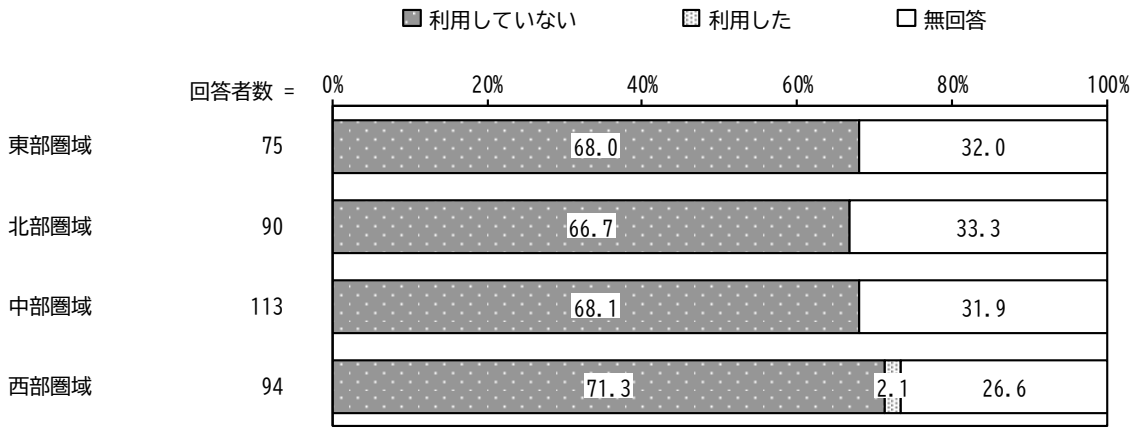
要介護度別にみると、要介護３以上で「利用した」の割合が高くなっています。



⑨看護小規模多機能型居宅介護

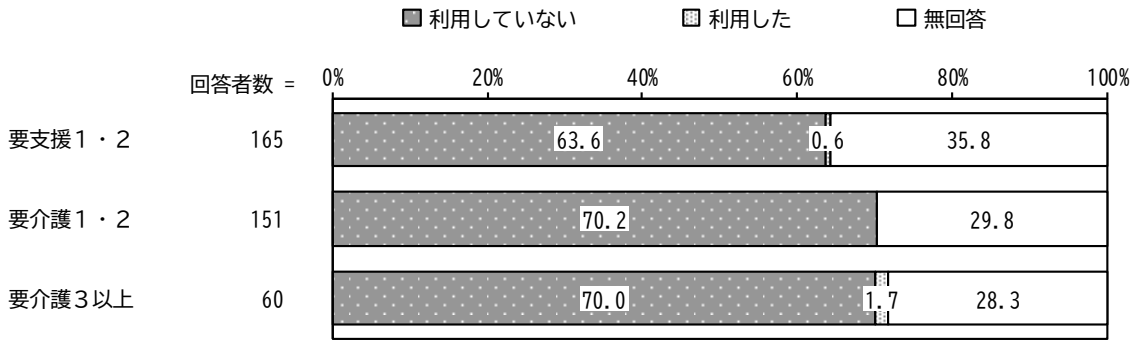
【圏域別】

圏域別にみると、西部圏域で「利用していない」の割合が高くなっています。



【要介護度別】

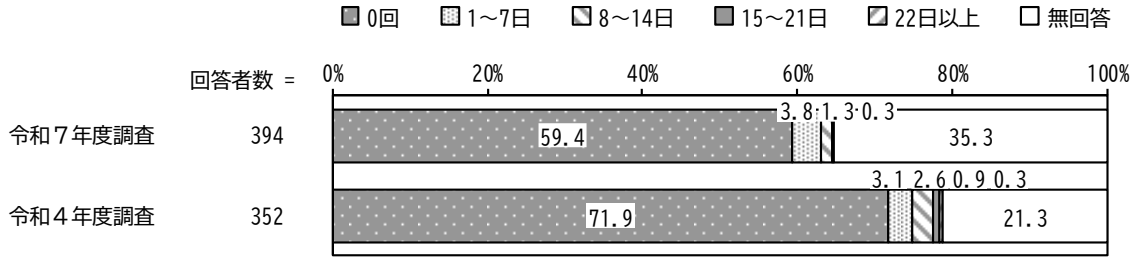
要介護度別にみると、要介護１・２で「利用していない」の割合が高くなっています。



⑩ショートステイ

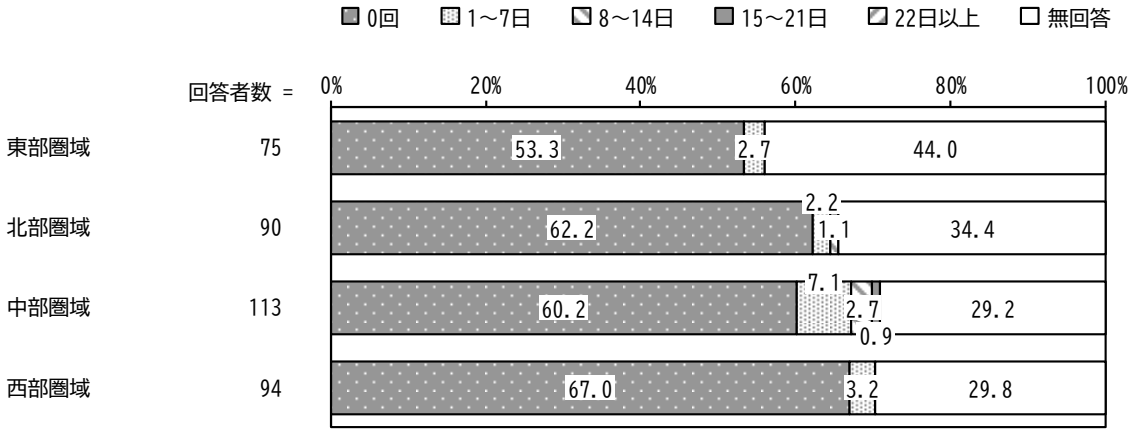
「0 回」の割合が 59.4%と最も高くなっています。

令和４年度調査と比較すると、「0 回」の割合が減少しています。



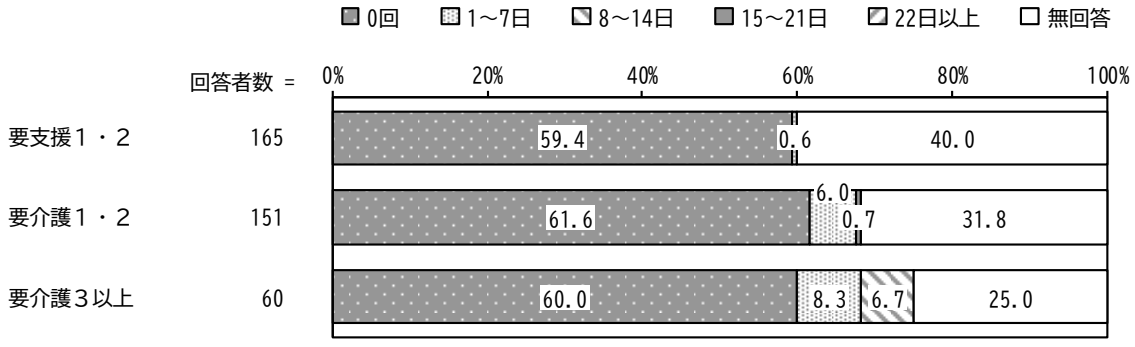
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【要介護度別】

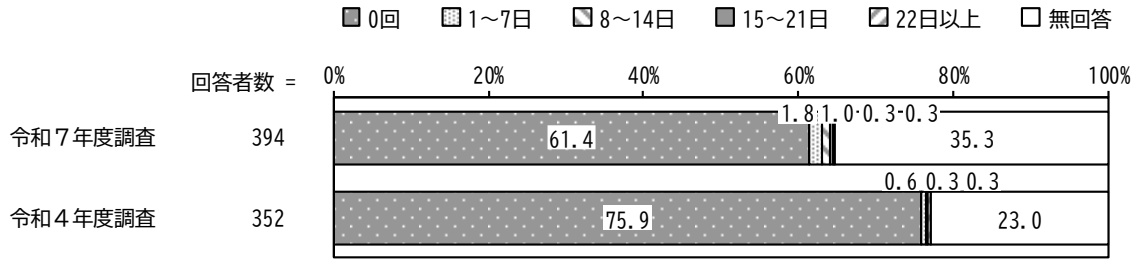
要介護度別にみると、要介護３以上で「8～14 日」の割合が高くなっています。



⑪宿泊サービス(お泊りデイサービス)※

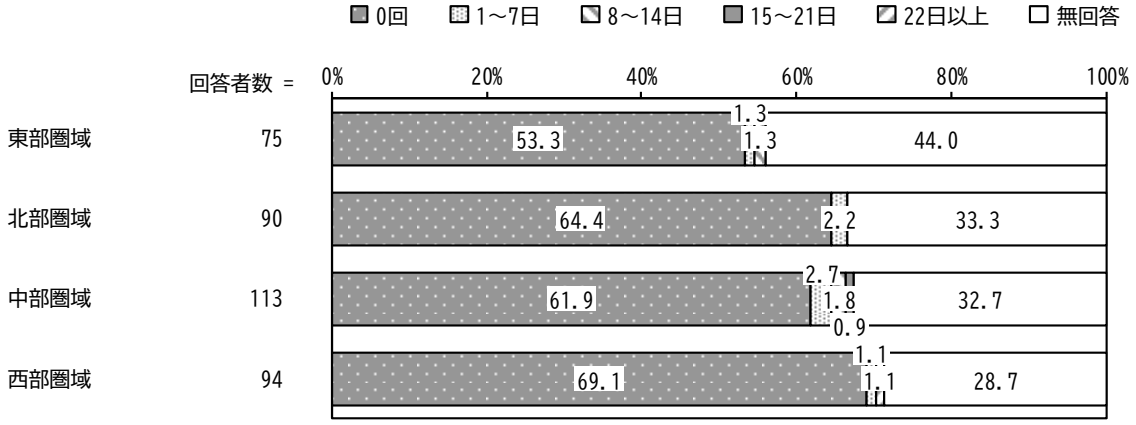
「0 回」の割合が 61.4%と最も高くなっています。

令和４年度調査と比較すると、「0 回」の割合が減少しています。



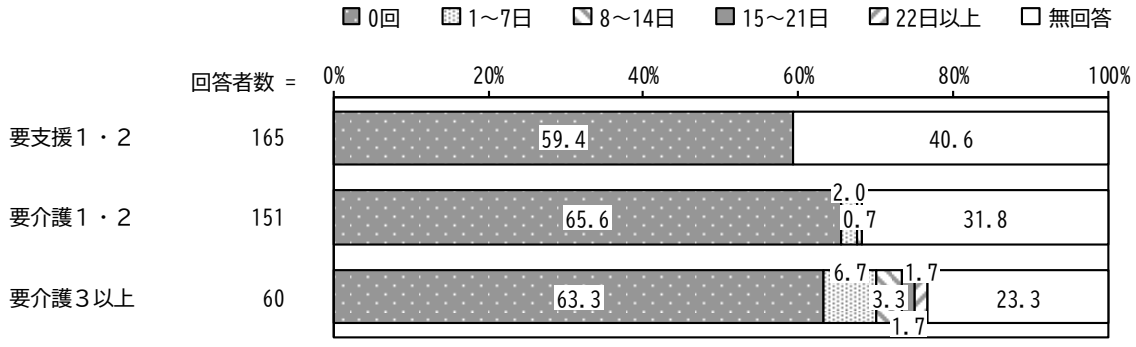
【圏域別】

圏域別にみると、西部圏域で「0 回」の割合が高くなっています。



【要介護度別】

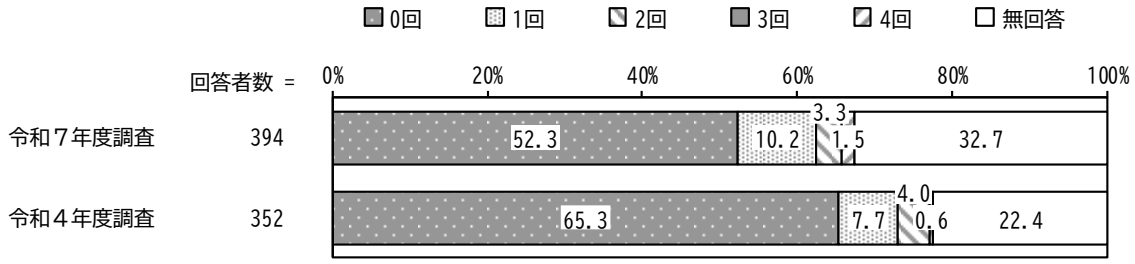
要介護度別にみると、大きな差はみられません。



⑫居宅療養管理指導

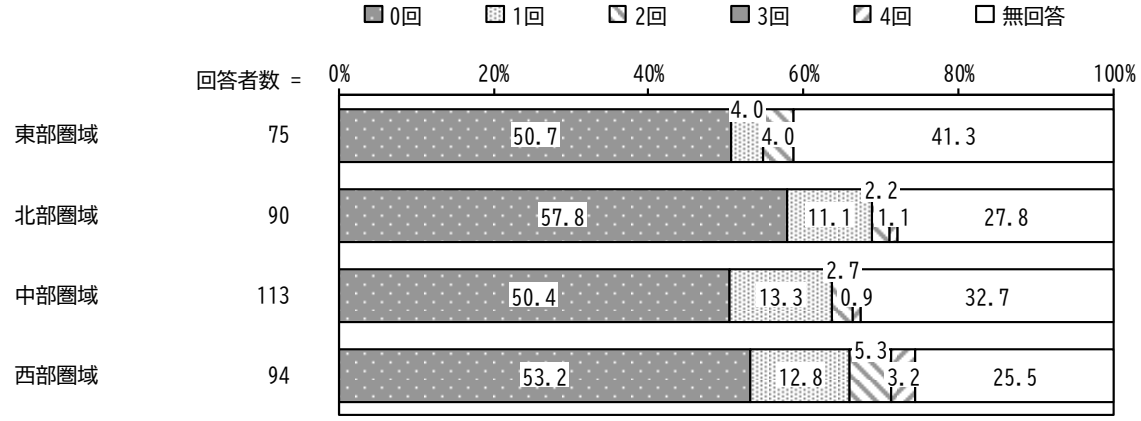
「0 回」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「1 回」の割合が 10.2%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「0 回」の割合が減少しています。



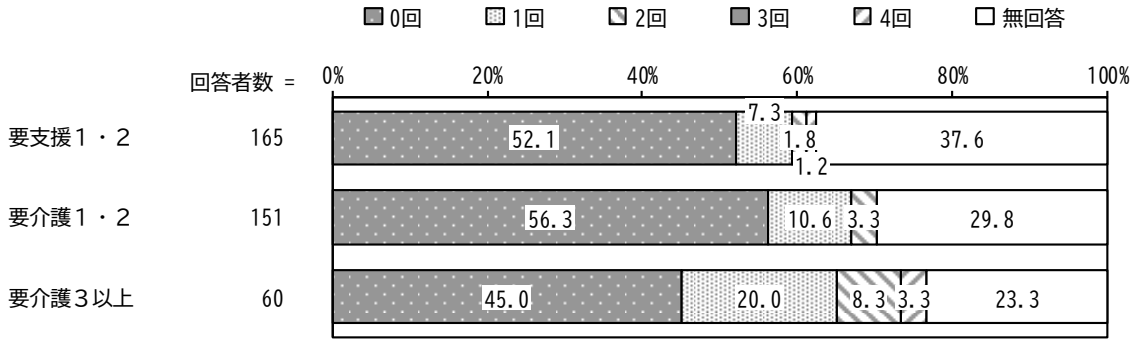
【圏域別】

圏域別にみると、北部圏域で「0 回」の割合が高く、東部圏域で「1 回」の割合が低くなっています。



【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「1 回」の割合が高くなっています。

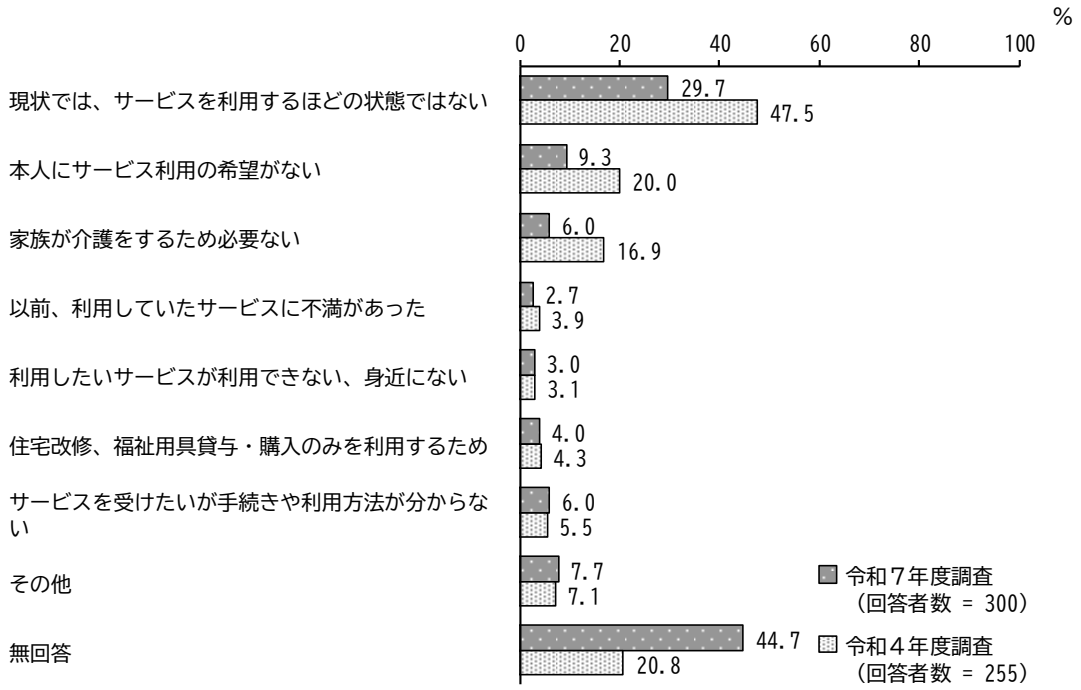


※　問 12 で「利用していない」と回答した方のみ、お答えください。

問 14　介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（○印はいくつでも）

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が 29.7%と最も高くなっています。

令和４年度調査と比較すると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が減少しています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全　体	300	29.7	9.3	6.0	2.7	3.0	4.0	6.0	7.7	44.7
東部圏域	59	25.4	5.1	6.8	5.1	3.4	5.1	3.4	6.8	52.5
北部圏域	80	22.5	8.8	3.8	2.5	2.5	5.0	7.5	10.0	51.3
中部圏域	75	40.0	12.0	6.7	4.0	6.7	2.7	9.3	6.7	29.3
西部圏域	77	31.2	9.1	7.8	0.0	0.0	3.9	3.9	7.8	45.5

【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「家族が介護をするため必要ない」「利用したいサービスが利用できない、身近にない」「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」の割合が高く、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が低くなっています。また、要支援１・２で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が高く、要介護１・２で「家族が介護をするため必要ない」の割合が高くなっています。

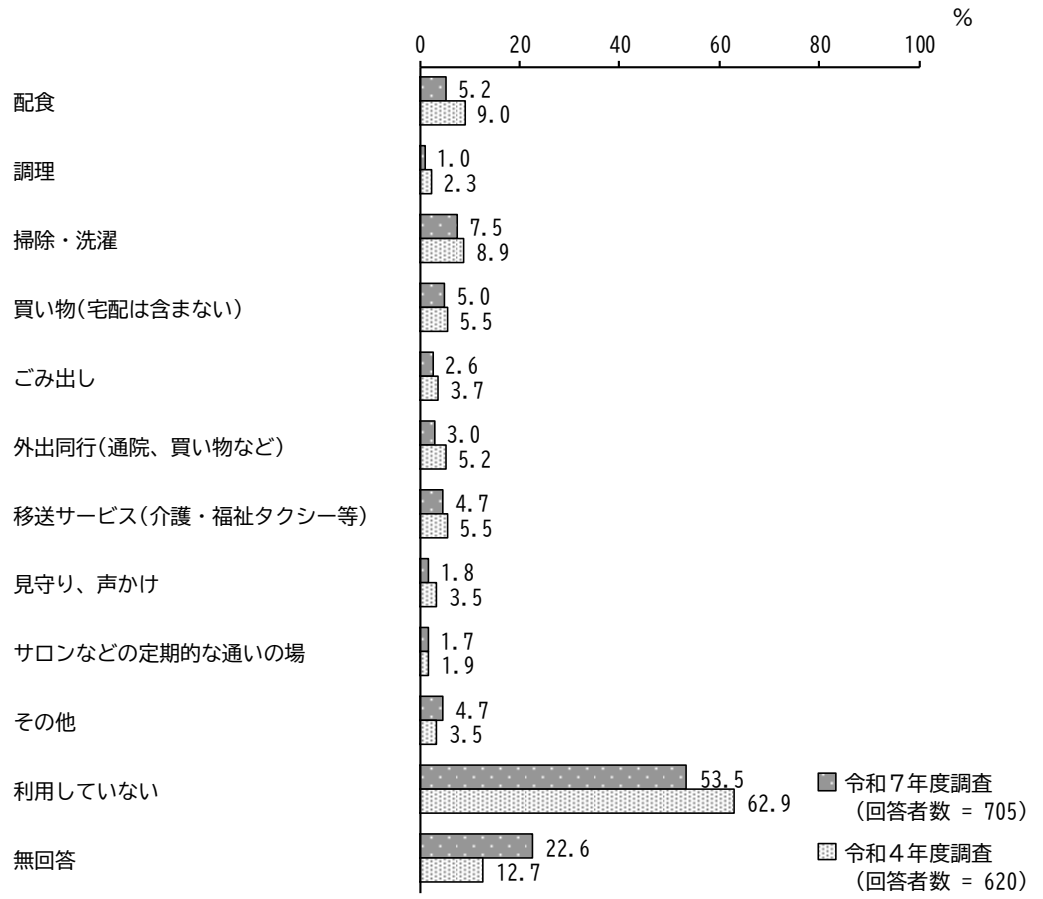
単位：％

区分	回答者数（件）	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全　体	300	29.7	9.3	6.0	2.7	3.0	4.0	6.0	7.7	44.7
要支援１・２	194	33.0	9.3	4.1	2.1	2.6	4.6	4.1	5.7	47.9
要介護１・２	71	22.5	9.9	11.3	5.6	2.8	4.2	5.6	16.9	38.0
要介護３以上	9	22.2	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	33.3	0.0	22.2

問 15　現在、利用している、「介護保険サービス以外（自費）」の支援・サービスについて、ご回答ください。（○印はいくつでも）

「掃除・洗濯」の割合が 7.5%と最も高くなっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ごみ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全　体	705	5.2	1.0	7.5	5.0	2.6	3.0	4.7	1.8	1.7	4.7	53.5	22.6
東部圏域	137	5.8	0.7	8.8	5.8	4.4	5.1	3.6	1.5	2.9	6.6	46.0	27.0
北部圏域	171	5.3	0.6	3.5	1.2	1.2	0.0	3.5	0.6	1.8	4.1	58.5	23.4
中部圏域	192	5.2	0.0	6.3	5.7	1.6	3.6	5.7	1.6	1.0	4.2	56.8	16.1
西部圏域	172	5.2	2.3	12.2	7.6	4.1	4.1	4.7	3.5	1.7	4.7	57.6	16.9

【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護３以上で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高くなっています。

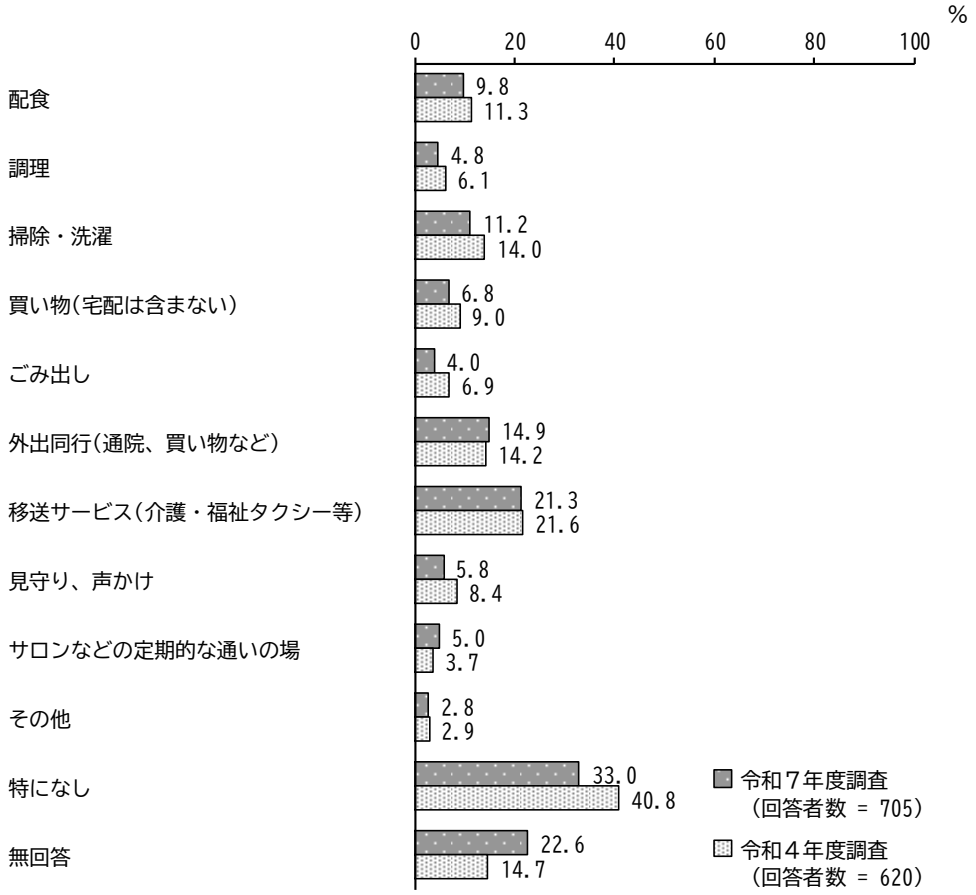
単位：%

区分	回答者数（件）	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ごみ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全　体	705	5.2	1.0	7.5	5.0	2.6	3.0	4.7	1.8	1.7	4.7	53.5	22.6
要支援１・２	363	4.1	0.6	8.0	5.0	1.7	3.0	4.1	1.7	1.7	5.5	53.4	22.0
要介護１・２	224	5.8	0.9	8.9	5.8	4.5	4.0	3.6	1.3	1.3	4.0	55.8	20.5
要介護３以上	69	7.2	1.4	0.0	1.4	1.4	1.4	11.6	4.3	2.9	4.3	60.9	13.0

問 16　今後の在宅生活の継続に必要と感じる「介護保険サービス以外（自費）」の支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（○印は３つまで）

「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」の割合が 21.3%と最も高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」の割合が 14.9%、「掃除・洗濯」の割合が 11.2%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ごみ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全　体	705	9.8	4.8	11.2	6.8	4.0	14.9	21.3	5.8	5.0	2.8	33.0	22.6
東部圏域	137	10.2	5.8	15.3	5.1	6.6	13.9	24.1	2.2	1.5	2.2	34.3	19.7
北部圏域	171	9.4	4.7	8.2	7.0	2.9	15.8	25.1	5.8	7.0	2.9	31.0	24.0
中部圏域	192	10.4	5.2	10.4	7.8	3.1	16.1	20.3	5.2	4.2	3.6	35.9	19.8
西部圏域	172	9.9	4.7	13.4	7.6	2.9	14.5	18.0	10.5	5.8	2.9	34.9	19.8

【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」の割合が高くなっています。

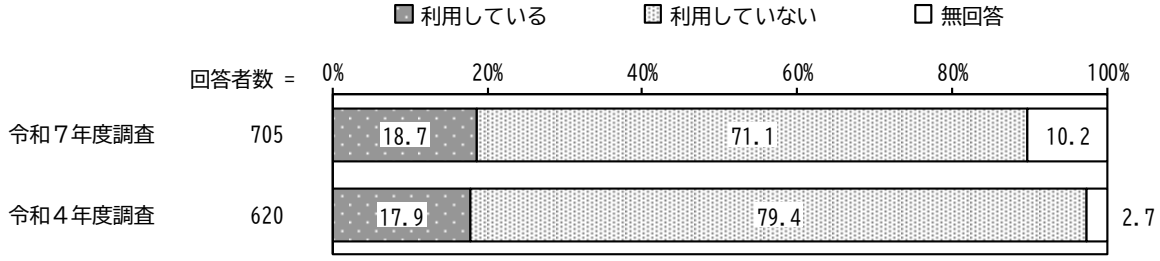
単位：%

区分	回答者数（件）	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ごみ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全　体	705	9.8	4.8	11.2	6.8	4.0	14.9	21.3	5.8	5.0	2.8	33.0	22.6
要支援１・２	363	9.4	6.1	11.0	9.1	2.2	13.5	20.1	5.8	3.9	3.0	33.3	23.7
要介護１・２	224	12.5	4.0	13.4	4.9	7.1	19.2	22.8	6.3	5.8	1.8	35.3	15.6
要介護３以上	69	7.2	2.9	8.7	4.3	4.3	14.5	30.4	5.8	5.8	7.2	31.9	17.4

問 17　ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。（〇印は１つ）

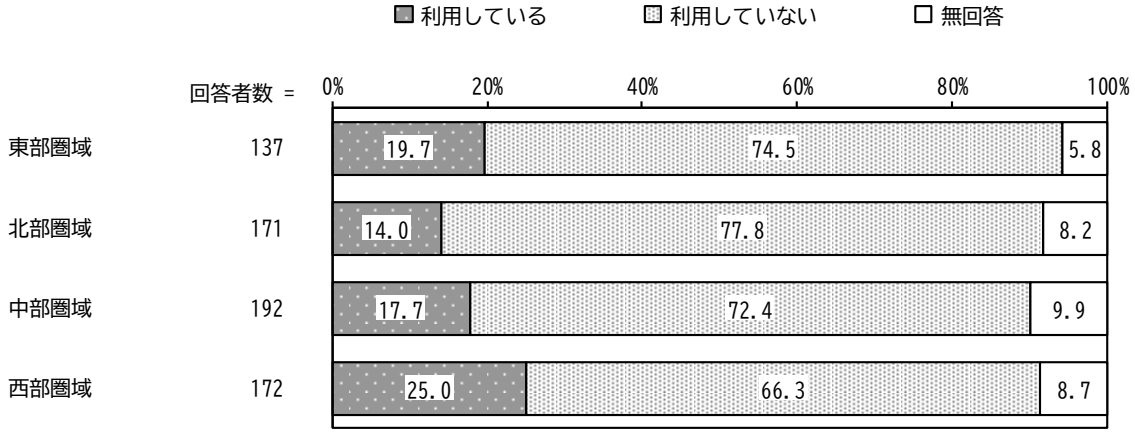
「利用している」の割合が 18.7%、「利用していない」の割合が 71.1%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が減少しています。



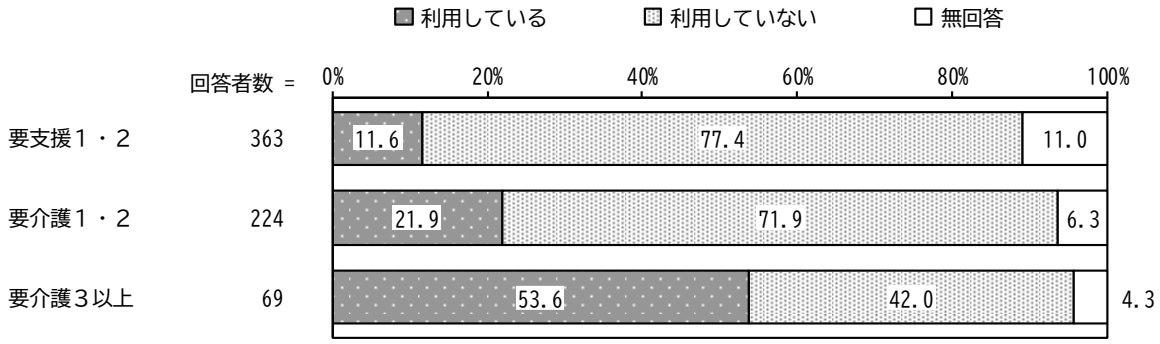
【圏域別】

圏域別にみると、西部圏域で「利用している」、北部圏域で「利用していない」の割合が高くなっています。



【要介護度別】

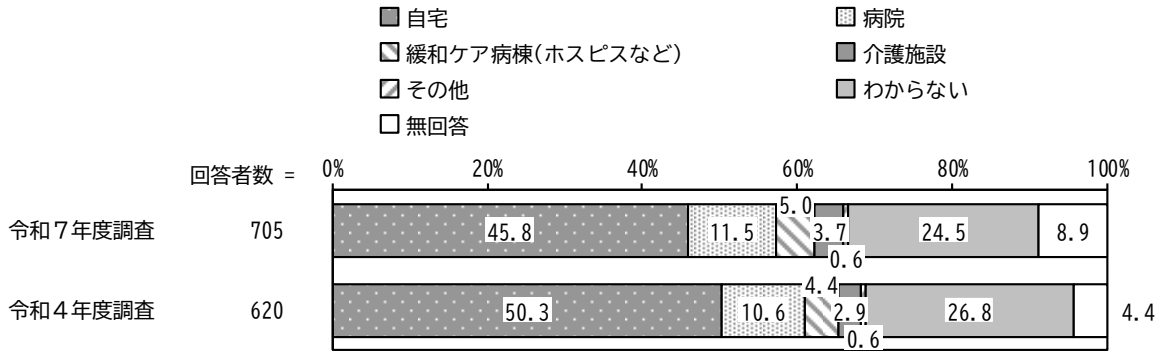
要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「利用している」の割合が高くなっています。



問 18　ご本人は、人生の最期の時期をどこで迎えたいと思いますか。（○印は１つ）

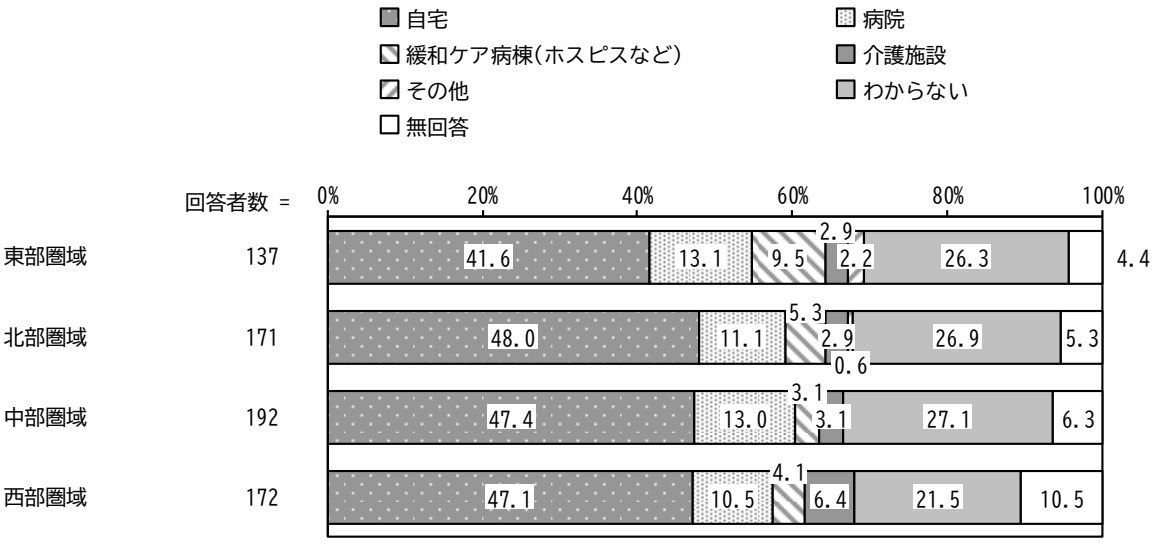
「自宅」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「病院」の割合が 11.5%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



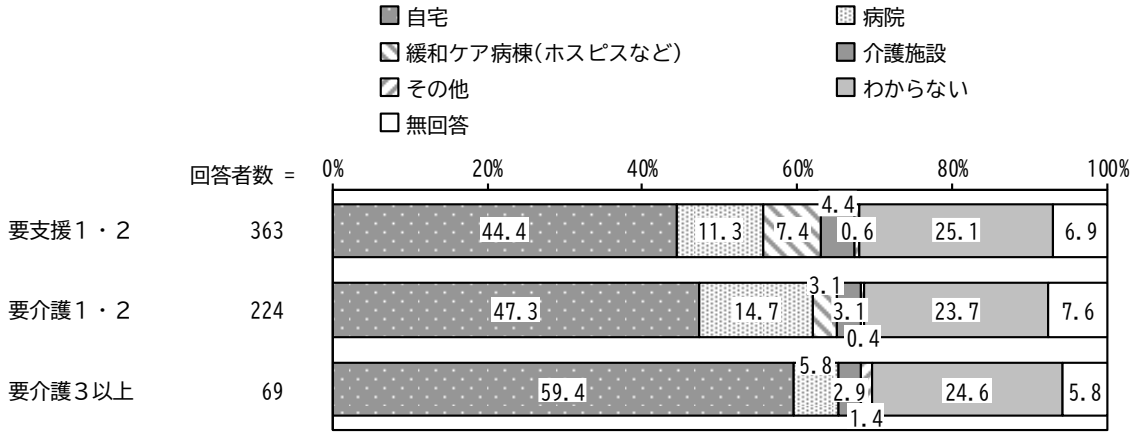
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【要介護度別】

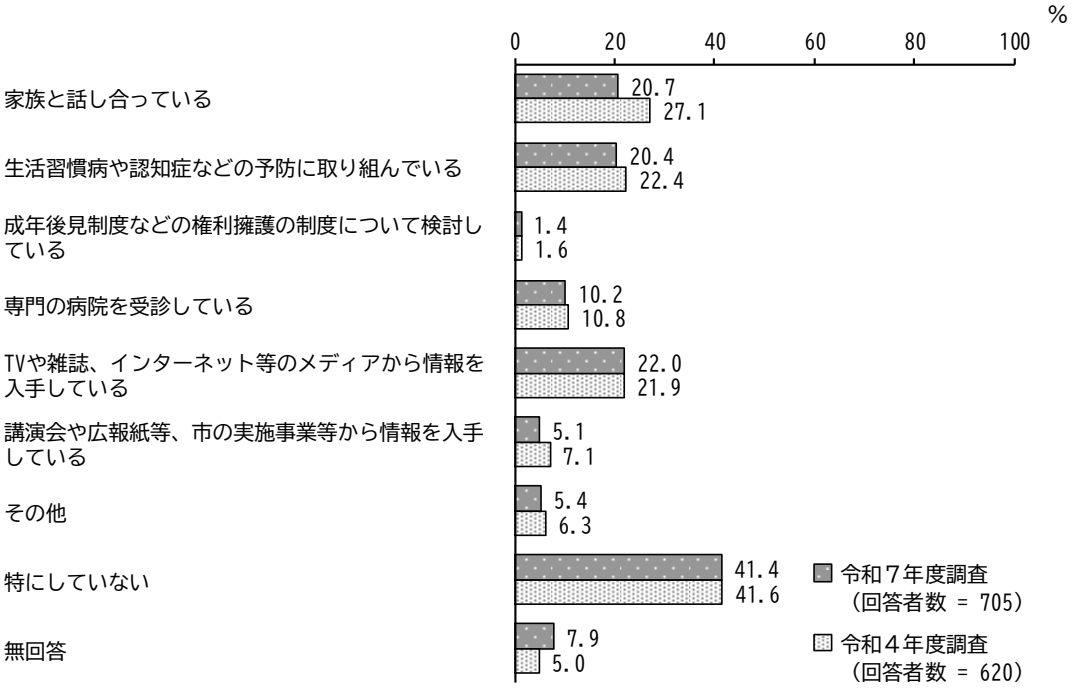
要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「自宅」の割合が高くなっています。



問 19　認知症に対して備えていることや取り組んでいることはありますか。（○印はいくつでも）

「TV や雑誌、インターネット等のメディアから情報を入手している」の割合が 22.0%と最も高く、次いで「家族と話し合っている」の割合が 20.7%、「生活習慣病や認知症などの予防に取り組んでいる」の割合が 20.4%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「家族と話し合っている」の割合が減少しています。



【圏域別】

圏域別にみると、東部圏域で「TV や雑誌、インターネット等のメディアから情報を入手している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	家族と話し合っている	生活習慣病や認知症などの予防に取り組んでいる	成年後見制度などの権利擁護の制度について検討している	専門の病院を受診している	TVや雑誌、インターネット等のメディアから情報を入手している	講演会や広報紙等、市の実施事業等から情報を入手している	その他	特にしていない	無回答
全　体	705	20.7	20.4	1.4	10.2	22.0	5.1	5.4	41.4	7.9
東部圏域	137	24.1	24.1	0.7	8.8	29.2	7.3	8.0	34.3	5.1
北部圏域	171	25.1	19.9	1.2	12.9	23.4	5.8	4.7	43.9	4.7
中部圏域	192	16.7	21.9	1.6	9.4	22.4	5.7	7.3	42.7	4.2
西部圏域	172	19.8	18.6	1.2	10.5	17.4	2.9	2.9	45.9	10.5

【要介護度別】

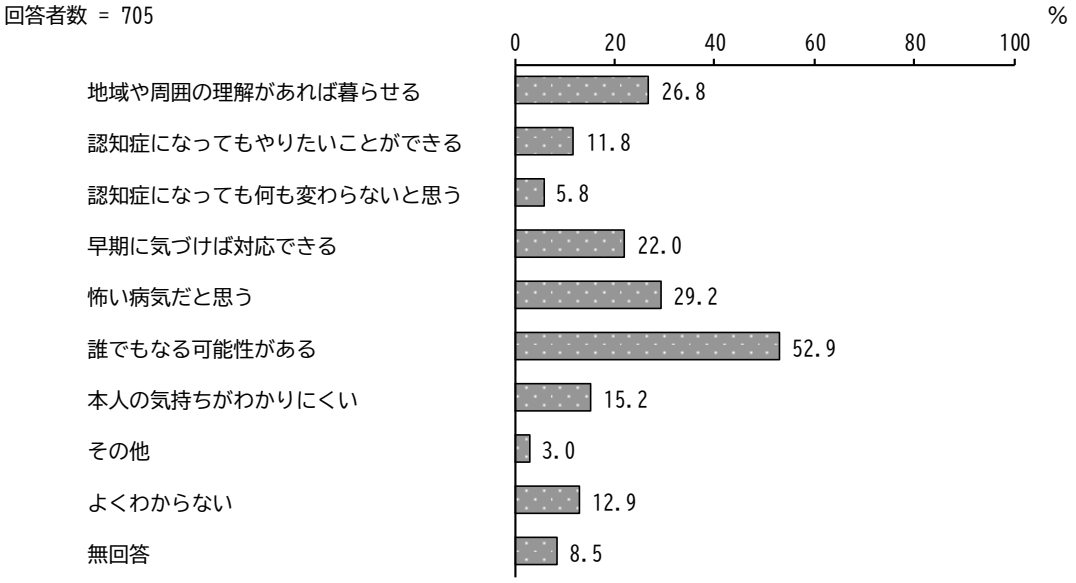
要介護度別にみると、要介護度が下がるほど「生活習慣病や認知症などの予防に取り組んでいる」「TV や雑誌、インターネット等のメディアから情報を入手している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	家族と話し合っている	生活習慣病や認知症などの予防に取り組んでいる	成年後見制度などの権利擁護の制度について検討している	専門の病院を受診している	TVや雑誌、インターネット等のメディアから情報を入手している	講演会や広報紙等、市の実施事業等から情報を入手している	その他	特にしていない	無回答
全　体	705	20.7	20.4	1.4	10.2	22.0	5.1	5.4	41.4	7.9
要支援１・２	363	20.1	24.0	1.7	8.5	25.9	6.3	4.4	40.5	6.6
要介護１・２	224	23.7	22.3	0.9	15.2	21.4	5.4	6.7	40.6	4.9
要介護３以上	69	20.3	7.2	2.9	10.1	15.9	1.4	8.7	47.8	5.8

問 20　あなたは「認知症」に対してどのようなイメージを持っていますか。（○印はいくつでも）

「誰でもなる可能性がある」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「怖い病気だと思う」の割合が 29.2%、「地域や周囲の理解があれば暮らせる」の割合が 26.8%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、北部圏域で「認知症になってもやりたいことができる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	地域や周囲の理解があれば暮らせる	認知症になってもやりたいことができる	認知症になっても何も変わらないと思う	早期に気づけば対応できる	怖い病気だと思う	誰でもなる可能性がある	本人の気持ちがわかりにくい	その他	よくわからない	無回答
全　体	705	26.8	11.8	5.8	22.0	29.2	52.9	15.2	3.0	12.9	8.5
東部圏域	137	30.7	9.5	3.6	21.9	32.1	54.0	10.9	3.6	13.1	7.3
北部圏域	171	24.6	12.9	4.7	25.1	37.4	58.5	17.0	2.9	10.5	5.8
中部圏域	192	29.2	17.2	5.7	19.3	25.5	51.0	16.7	2.6	15.1	4.7
西部圏域	172	25.0	8.1	8.7	23.8	27.9	52.9	16.3	3.5	12.8	9.3

【要介護度別】

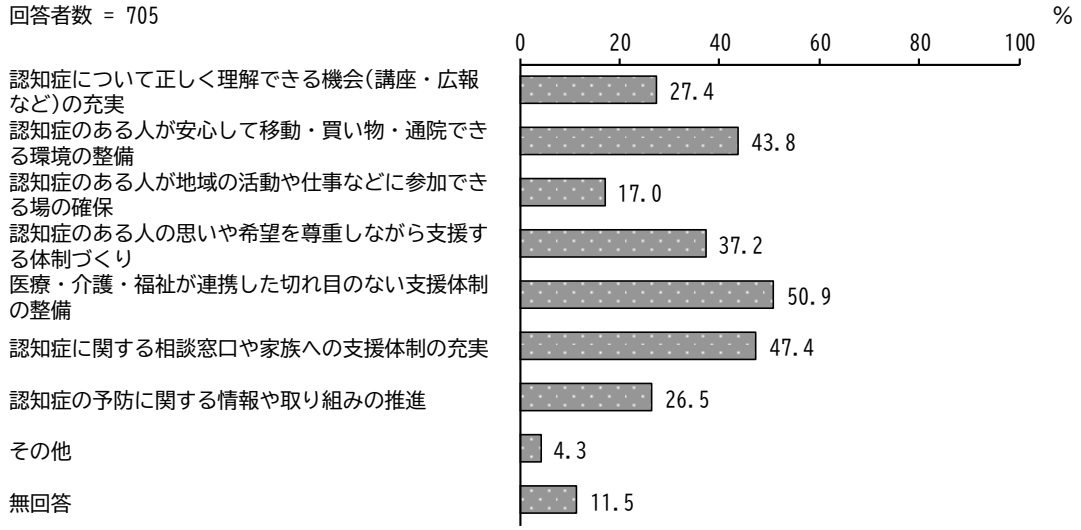
要介護度別にみると、要介護度が下がるほど「地域や周囲の理解があれば暮らせる」「怖い病気だと思う」「誰でもなる可能性がある」の割合が高く、「本人の気持ちがわかりにくい」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	地域や周囲の理解があれば暮らせる	認知症になってもやりたいことができる	認知症になっても何も変わらないと思う	早期に気づけば対応できる	怖い病気だと思う	誰でもなる可能性がある	本人の気持ちがわかりにくい	その他	よくわからない	無回答
全　体	705	26.8	11.8	5.8	22.0	29.2	52.9	15.2	3.0	12.9	8.5
要支援１・２	363	28.9	12.4	4.7	24.0	33.9	56.5	13.5	3.0	10.7	5.8
要介護１・２	224	26.8	12.5	6.3	24.1	29.9	54.0	17.9	2.7	13.8	6.3
要介護３以上	69	23.2	7.2	5.8	10.1	17.4	43.5	18.8	5.8	21.7	11.6

問 21　あなたは、認知症のあるご本人やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に必要だと思うことは何ですか。（○印はいくつでも）

「医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実」の割合が 47.4%、「認知症のある人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備」の割合が 43.8%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、東部圏域で「認知症について正しく理解できる機会(講座・広報など)の充実」、北部圏域で「認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	認知症について正しく理解できる機会(講座・広報など)の充実	認知症のある人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備	認知症のある人が地域の活動や仕事などに参加できる場の確保	認知症のある人の思いや希望を尊重しながら支援する体制づくり	医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備	認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実	認知症の予防に関する情報や取り組みの推進	その他	無回答
全　体	705	27.4	43.8	17.0	37.2	50.9	47.4	26.5	4.3	11.5
東部圏域	137	32.8	44.5	17.5	37.2	48.9	39.4	26.3	7.3	13.1
北部圏域	171	25.7	43.9	17.0	36.8	56.1	56.1	27.5	2.3	8.2
中部圏域	192	26.6	45.3	15.6	39.1	50.0	48.4	24.5	4.7	7.8
西部圏域	172	27.3	45.3	17.4	39.5	54.1	49.4	28.5	4.1	9.9

【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護度が下がるほど「認知症のある人が地域の活動や仕事などに参加できる場の確保」の割合が高くなっています。

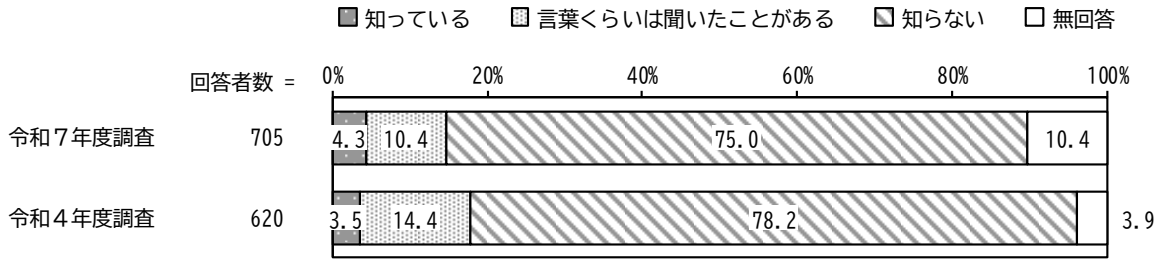
単位：％

区分	回答者数（件）	認知症について正しく理解できる機会（講座・広報など）の充実	認知症のある人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備	認知症のある人が地域の活動や仕事などに参加できる場の確保	認知症のある人の思いや希望を尊重しながら支援する体制づくり	医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備	認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実	認知症の予防に関する情報や取り組みの推進	その他	無回答
全　体	705	27.4	43.8	17.0	37.2	50.9	47.4	26.5	4.3	11.5
要支援１・２	363	28.7	45.2	18.2	36.9	52.1	47.7	27.5	4.4	10.2
要介護１・２	224	29.5	48.7	17.9	41.1	54.5	52.7	28.6	3.1	8.5
要介護３以上	69	15.9	34.8	13.0	31.9	50.7	47.8	23.2	7.2	11.6

問 22　「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」または「人生会議」について、知っていますか。（〇印は１つ）

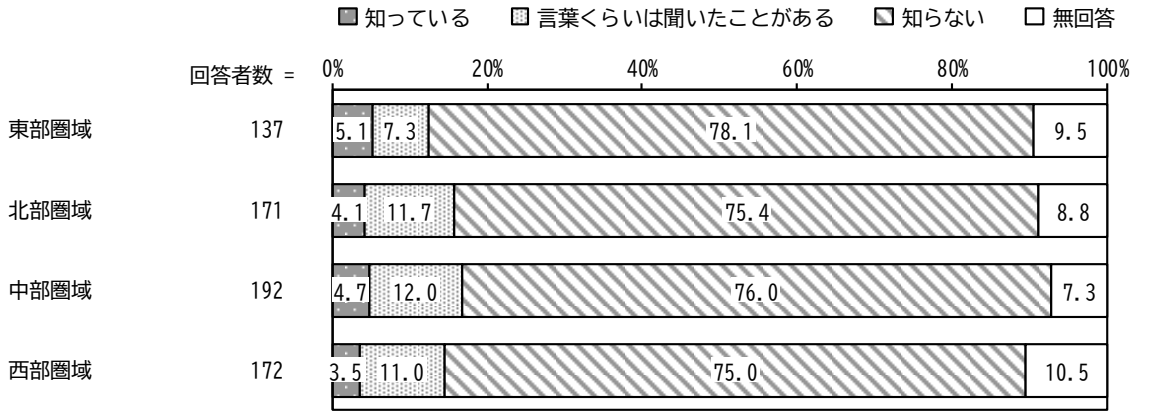
「知っている」の割合が 4.3%、「言葉くらいは聞いたことがある」の割合が 10.4%、「知らない」の割合が 75.0%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



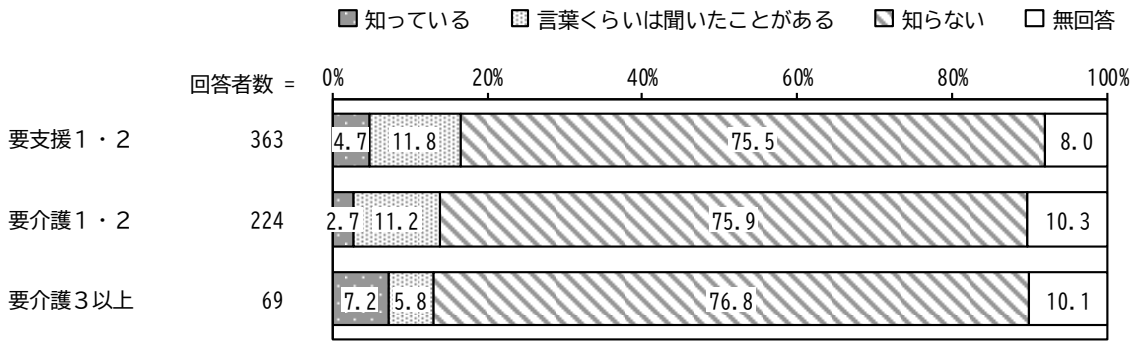
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【要介護度別】

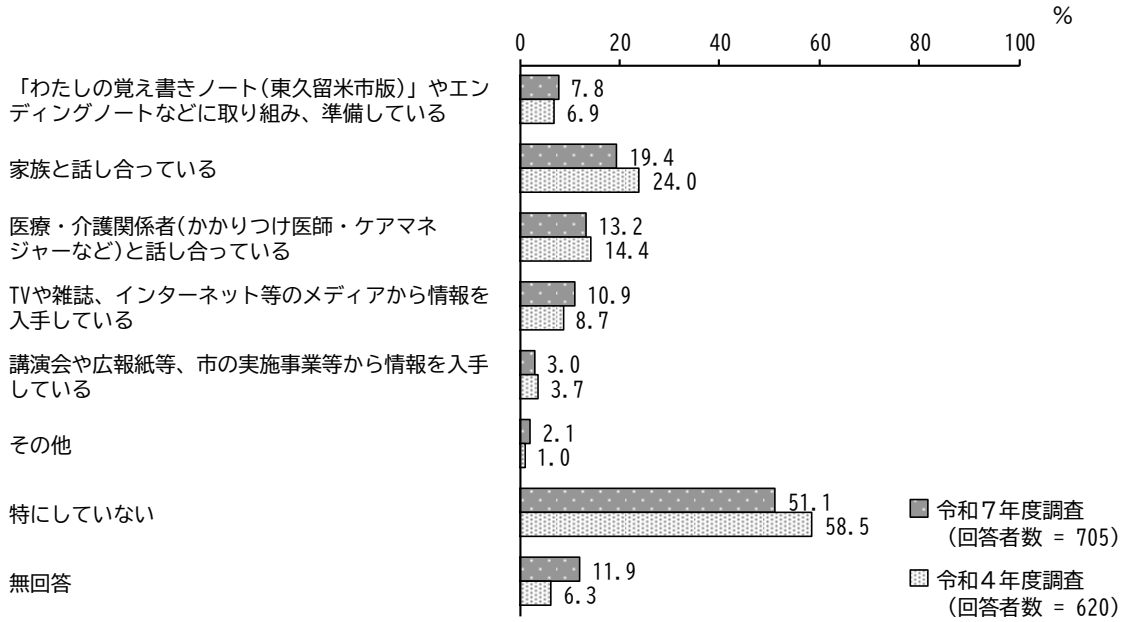
要介護度別にみると、要介護度が下がるほど「言葉くらいは聞いたことがある」の割合が高くなっています。



問 23　「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」または「人生会議」とは、もしものときのために、高齢者本人が望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療関係者等と話し合い、共有することをいいます。このことについて、備えていることや取り組んでいることはありますか。（〇印はいくつでも）

「家族と話し合っている」の割合が 19.4%と最も高く、次いで「医療・介護関係者(かかりつけ医師・ケアマネジャーなど)と話し合っている」の割合が 13.2%、「TV や雑誌、インターネット等のメディアから情報を入手している」の割合が 10.9%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	「わたしの覚え書きノート(東久留米市版)」やエンディングノートなどに取り組み、準備している	家族と話し合っている	医療・介護関係者(かかりつけ医師・ケアマネジャーなど)と話し合っている	TVや雑誌、インターネット等のメディアから情報を入手している	講演会や広報紙等、市の実施事業等から情報を入手している	その他	特にしていない	無回答
全　体	705	7.8	19.4	13.2	10.9	3.0	2.1	51.1	11.9
東部圏域	137	8.8	19.7	18.2	12.4	2.9	2.2	48.9	9.5
北部圏域	171	7.6	17.5	11.1	14.0	2.3	4.1	53.2	11.1
中部圏域	192	6.8	19.3	10.4	12.0	4.2	2.6	55.2	6.8
西部圏域	172	9.9	22.1	14.5	5.8	1.7	0.0	50.0	14.5

【要介護度別】

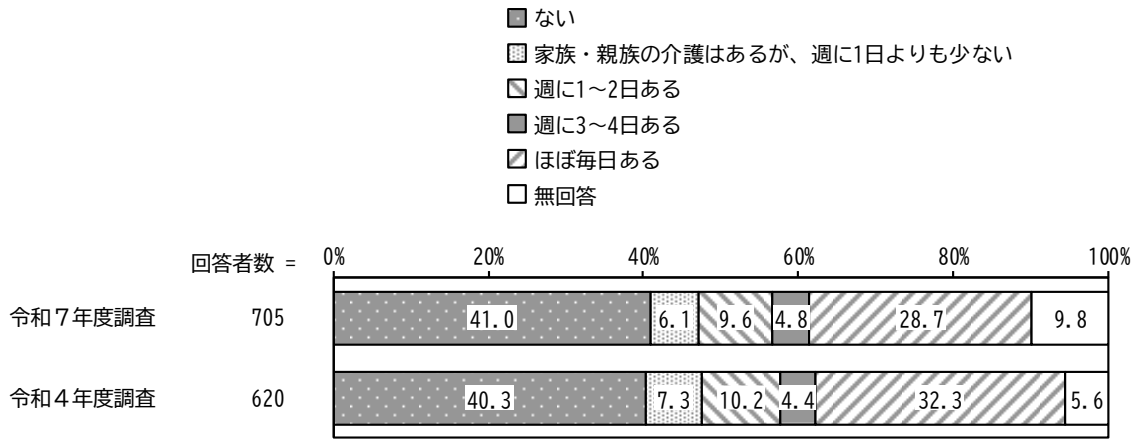
要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「医療・介護関係者(かかりつけ医師・ケアマネジャーなど)と話し合っている」の割合が高く、「TV や雑誌、インターネット等のメディアから情報を入手している」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	「わたしの覚え書きノート(東久留米市版)」やエンディングノートなどに取り組み、準備している	家族と話し合っている	医療・介護関係者(かかりつけ医師・ケアマネジャーなど)と話し合っている	TVや雑誌、インターネット等のメディアから情報を入手している	講演会や広報紙等、市の実施事業等から情報を入手している	その他	特にしていない	無回答
全　体	705	7.8	19.4	13.2	10.9	3.0	2.1	51.1	11.9
要支援１・２	363	8.0	19.6	11.3	12.9	3.0	1.1	52.3	11.8
要介護１・２	224	8.9	23.7	14.7	11.2	3.1	3.1	50.4	6.3
要介護３以上	69	5.8	17.4	20.3	2.9	1.4	5.8	50.7	11.6

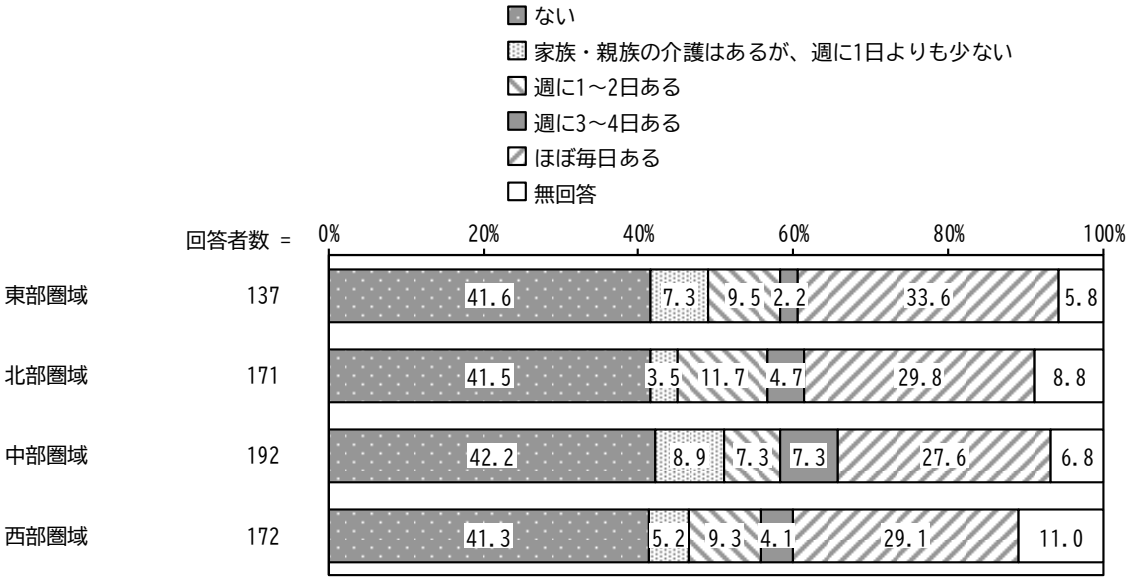
問 24　ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していないご家族やご親族の方からの介護を含む）。（〇印は１つ）

「ない」の割合が 41.0%と最も高く、次いで「ほぼ毎日ある」の割合が 28.7%となっています。令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



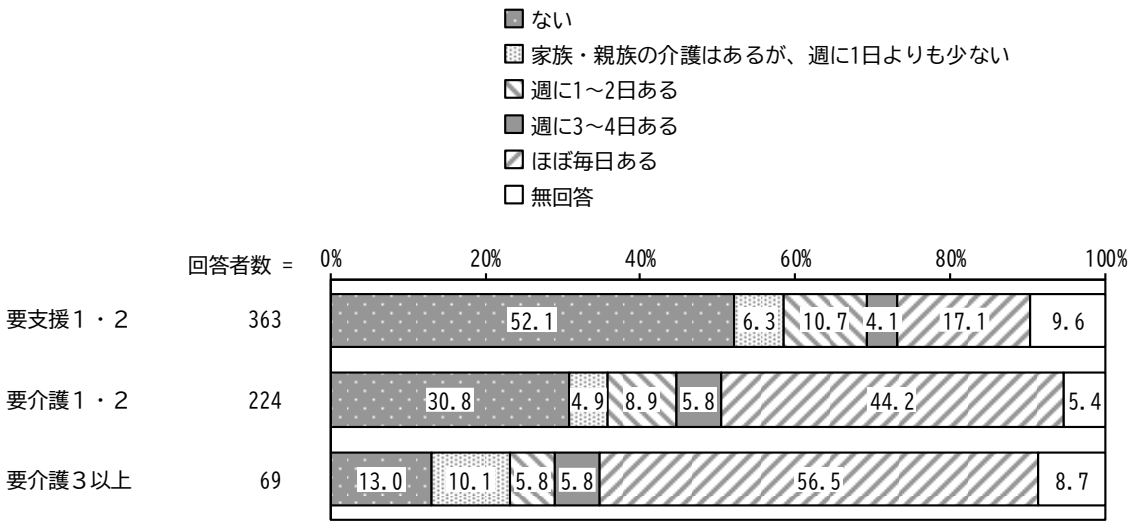
【圏域別】

圏域別にみると、、大きな差はみられません。



【要介護度別】

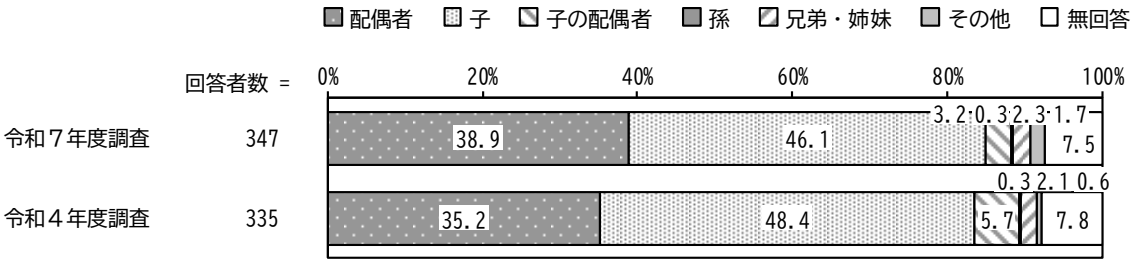
要介護度別にみると、要介護度が下がるほど「ない」「週に 1～2 日ある」の割合が高く、「ほぼ毎日ある」の割合が低くなっています。



B票　主な介護者の方について

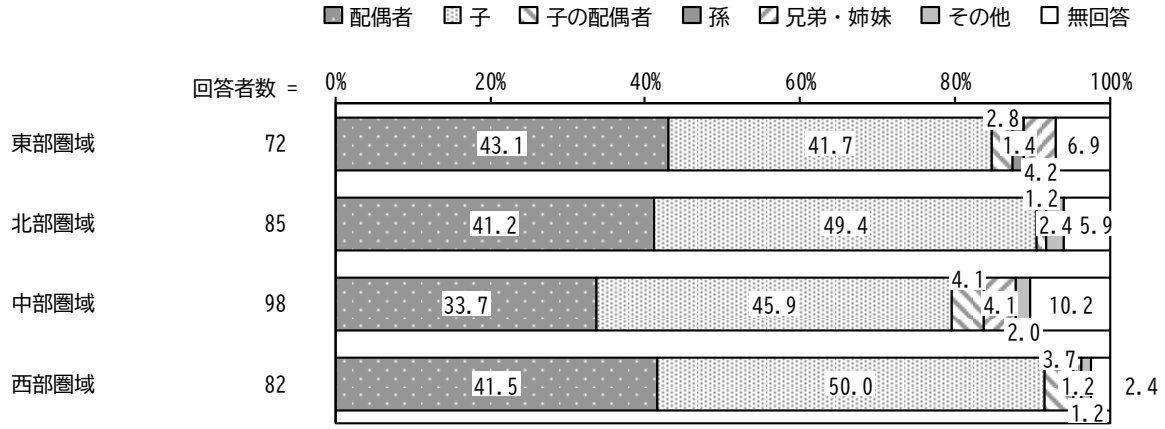
問1　主な介護者の方は、どなたですか。（○印は１つ）

「子」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が 38.9%となっています。
令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



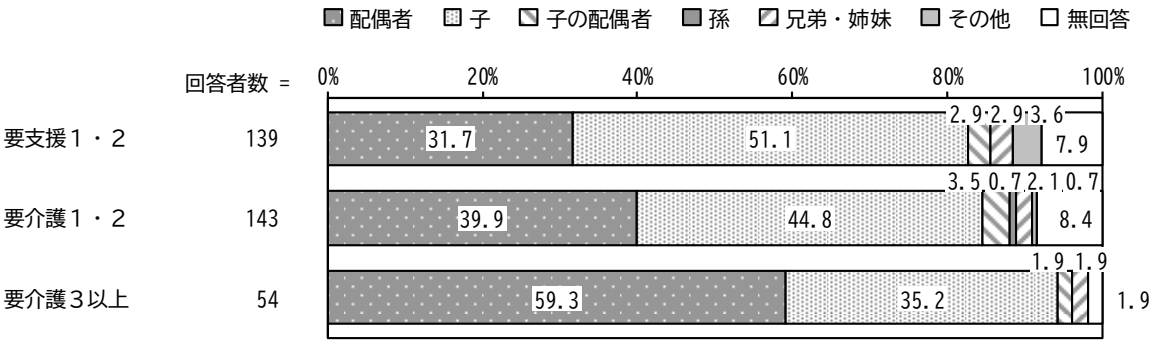
【圏域別】

圏域別にみると、中部圏域で「配偶者」の割合が低くなっています。



【要介護度別】

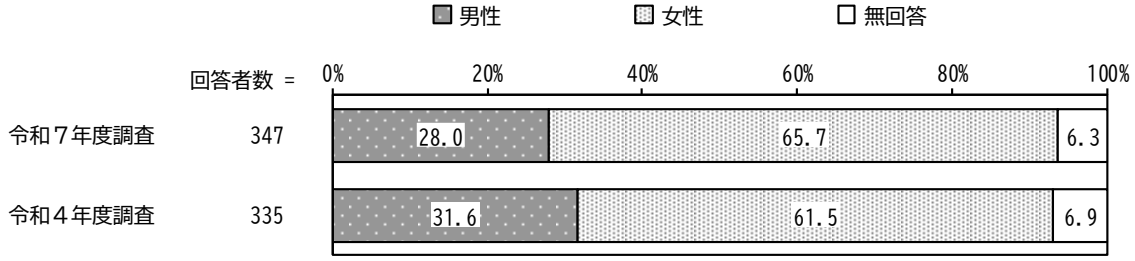
要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「配偶者」の割合が高く、「子」の割合が低くなっています。



問２　主な介護者の方の性別について、教えてください。（○印は１つ）

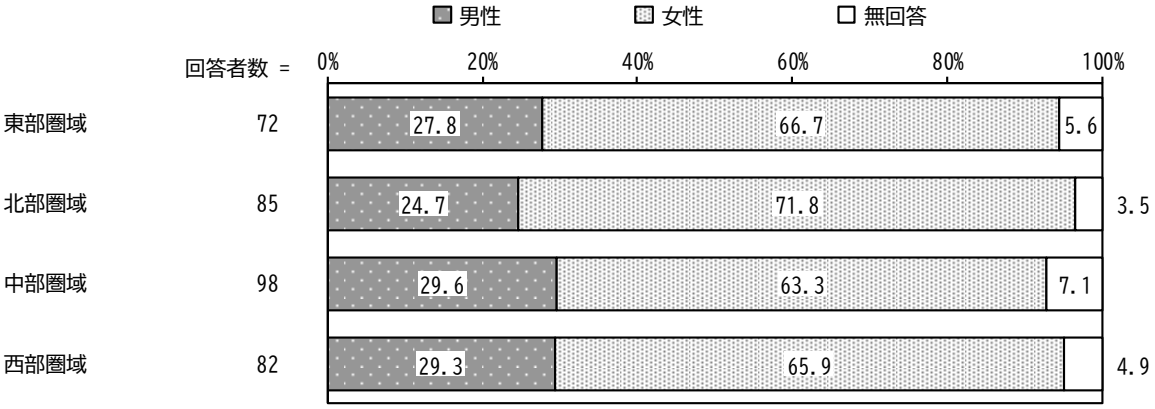
「男性」の割合が 28.0%、「女性」の割合が 65.7%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



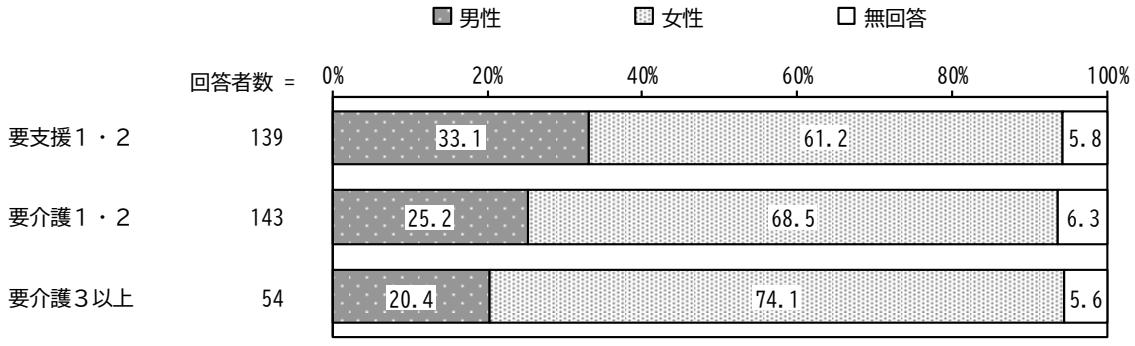
【圏域別】

圏域別にみると、北部圏域で「女性」の割合が高くなっています。



【要介護度別】

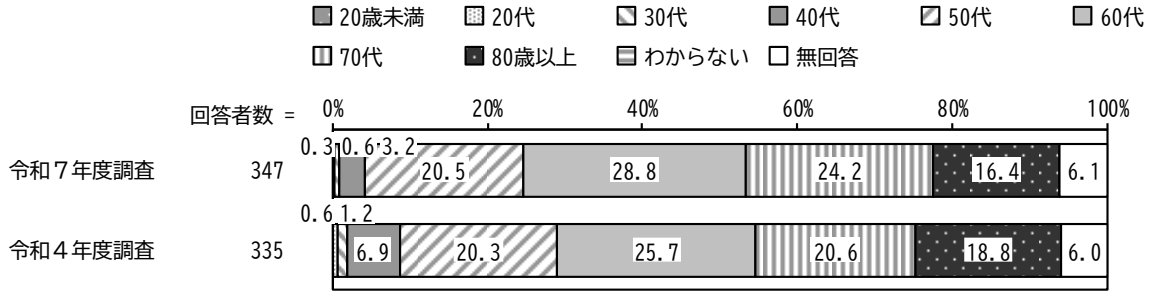
要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「女性」の割合が高くなっています。



問３　主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（〇印は１つ）

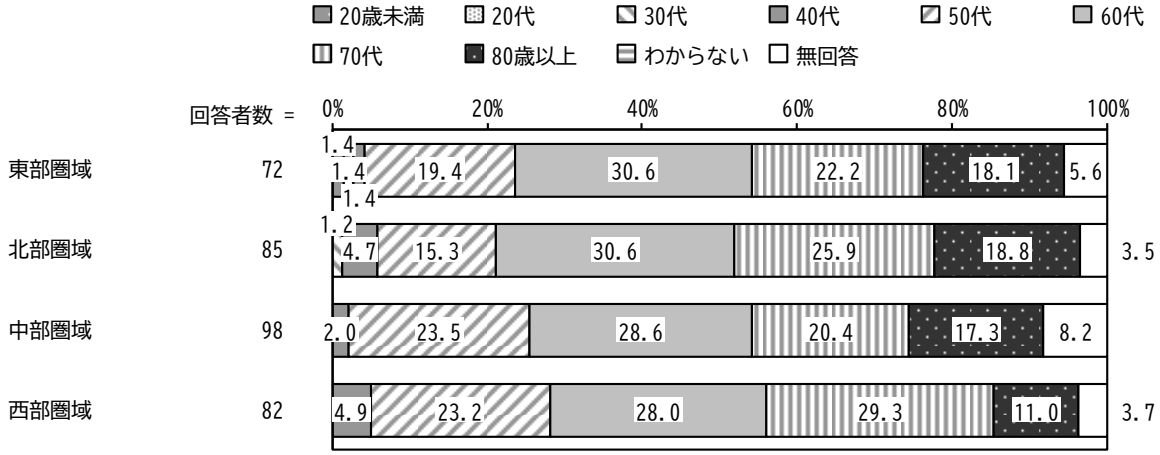
「60 代」の割合が 28.8%と最も高く、次いで「70 代」の割合が 24.2%、「50 代」の割合が 20.5%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



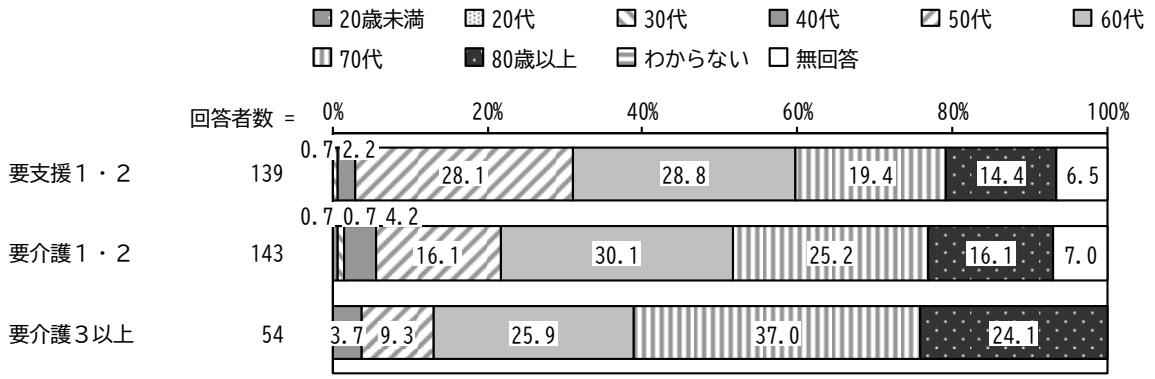
【圏域別】

圏域別にみると、西部圏域で「70 代」の割合が高く、北部圏域で「50 代」、西部圏域で「80 歳以上」の割合が低くなっています。



【要介護度別】

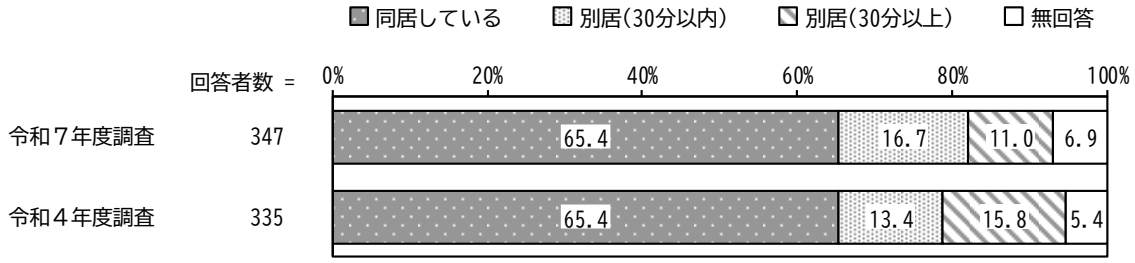
要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「70 代」「80 歳以上」の割合が高く、「50 代」の割合が低くなっています。



問４　主な介護者の方は同居していますか。（○印は１つ）

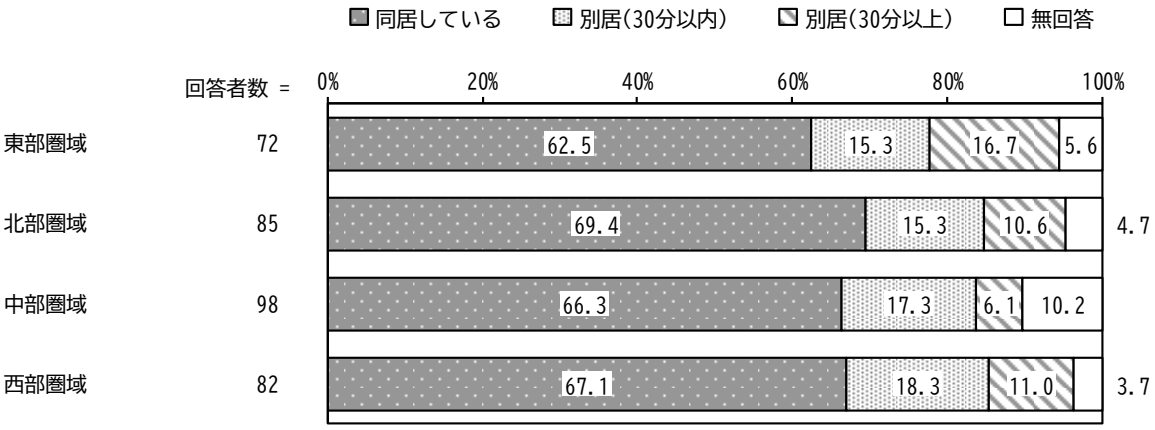
「同居している」の割合が 65.4%、「別居(30 分以内)」の割合が 16.7%、「別居(30 分以上)」の割合が 11.0%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



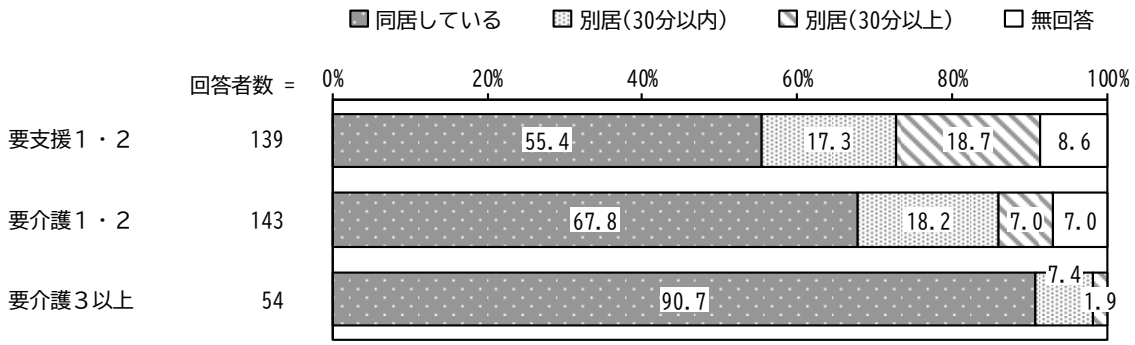
【圏域別】

圏域別にみると、東部圏域で「別居(30 分以上)」の割合が高くなっています。



【要介護度別】

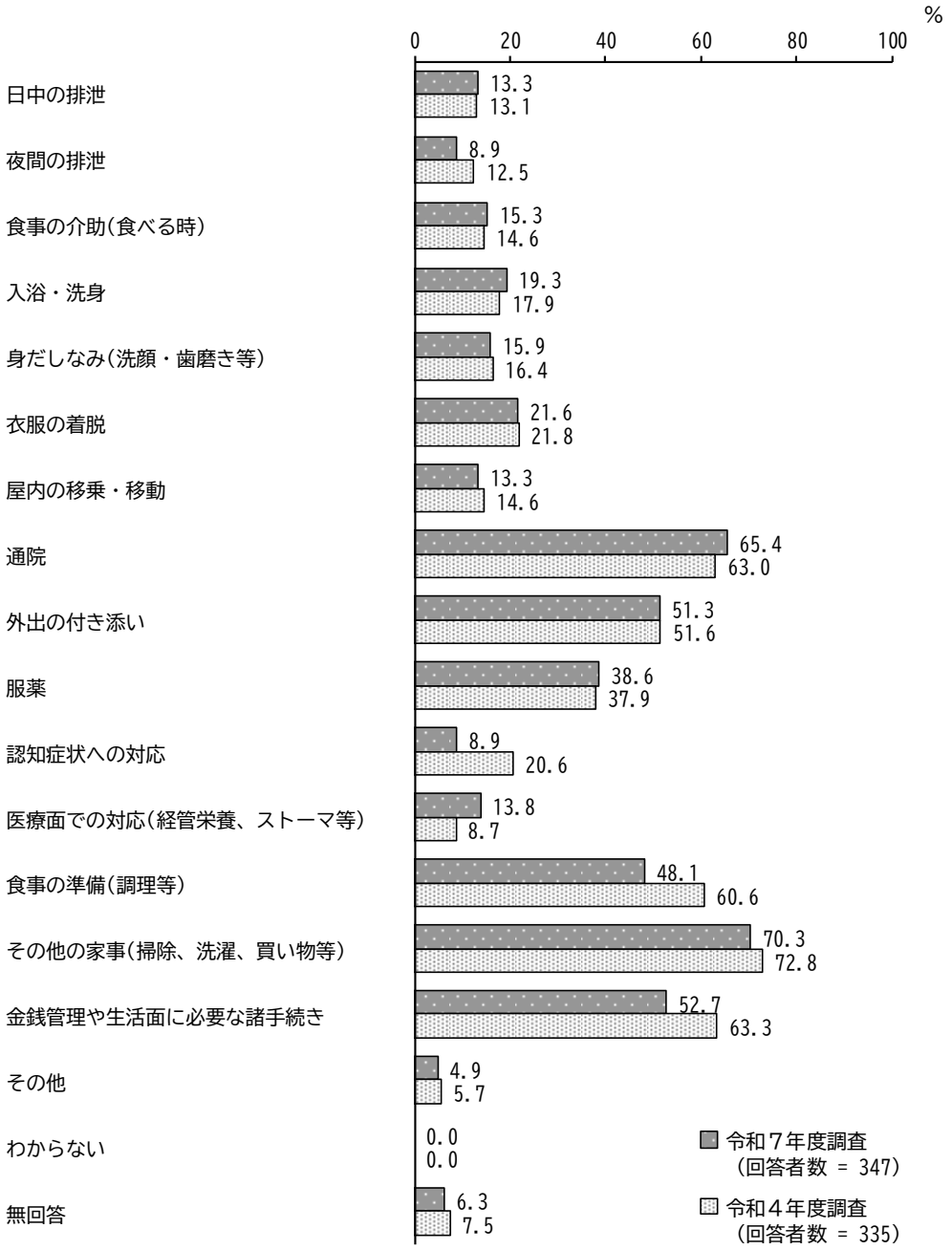
要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「同居している」の割合が高く、「別居(30 分以上)」の割合が低くなっています。



問５　現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（○印はいくつでも）

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が 70.3%と最も高く、次いで「通院」の割合が 65.4%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が 52.7%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」の割合が増加しています。一方、「認知症状への対応」「食事の準備（調理等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が減少しています。



【圏域別】

圏域別にみると、西部圏域で「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	通院	外出の付き添い
全　体	347	13.3	8.9	15.3	19.3	15.9	21.6	13.3	65.4	51.3
東部圏域	72	9.7	4.2	15.3	16.7	13.9	20.8	11.1	61.1	45.8
北部圏域	85	11.8	9.4	12.9	15.3	10.6	21.2	12.9	72.9	56.5
中部圏域	98	14.3	9.2	13.3	23.5	18.4	21.4	12.2	65.3	56.1
西部圏域	82	15.9	12.2	20.7	20.7	20.7	23.2	17.1	64.6	48.8

区分	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全　体	38.6	8.9	13.8	48.1	70.3	52.7	4.9	0.0	6.3
東部圏域	40.3	8.3	12.5	52.8	61.1	51.4	6.9	0.0	5.6
北部圏域	32.9	8.2	12.9	44.7	75.3	51.8	1.2	0.0	5.9
中部圏域	40.8	12.2	11.2	49.0	71.4	52.0	6.1	0.0	8.2
西部圏域	43.9	7.3	19.5	50.0	78.0	59.8	6.1	0.0	3.7

【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助(食べる時)」「入浴・洗身」「身だしなみ(洗顔・歯磨き等)」「衣服の着脱」「屋内の移乗・移動」「服薬」「認知症状への対応」「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」「食事の準備(調理等)」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が高くなっています。また、要介護１・２で「通院」「外出の付き添い」の割合が高くなっています。

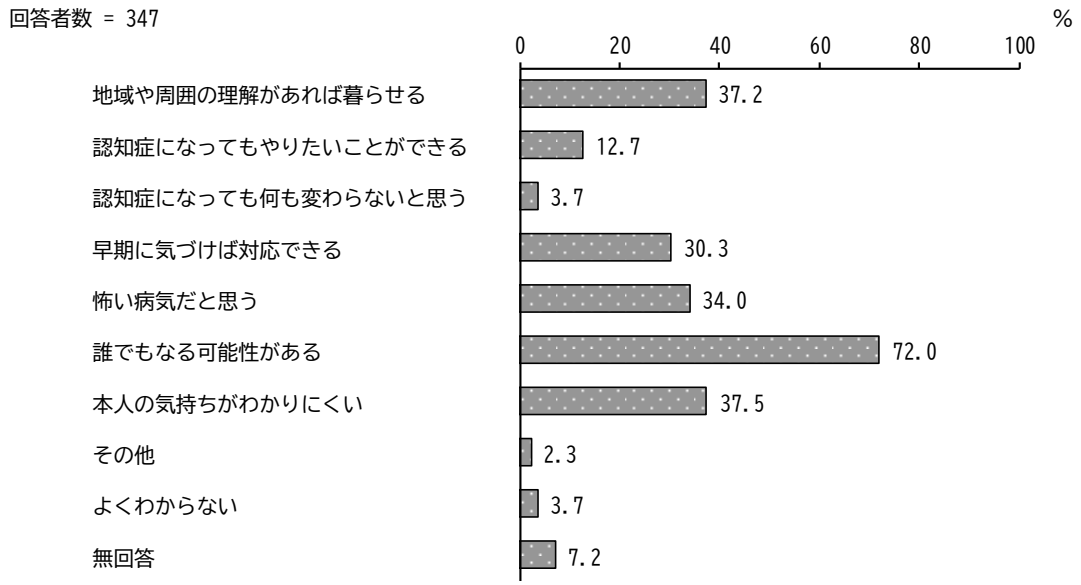
単位：％

区分	回答者数（件）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	通院	外出の付き添い
全　体	347	13.3	8.9	15.3	19.3	15.9	21.6	13.3	65.4	51.3
要支援１・２	139	3.6	2.2	2.9	8.6	3.6	9.4	4.3	58.3	44.6
要介護１・２	143	6.3	4.2	13.3	24.5	15.4	21.7	11.2	78.3	62.2
要介護３以上	54	57.4	38.9	53.7	35.2	50.0	53.7	42.6	53.7	44.4

区分	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全　体	38.6	8.9	13.8	48.1	70.3	52.7	4.9	0.0	6.3
要支援１・２	18.0	5.8	10.1	29.5	61.2	34.5	2.9	0.0	9.4
要介護１・２	46.9	9.1	11.9	61.5	78.3	65.7	6.3	0.0	4.9
要介護３以上	75.9	18.5	29.6	64.8	81.5	72.2	7.4	0.0	0.0

問６　あなたは「認知症」に対してどのようなイメージを持っていますか。(○印はいくつでも)

「誰でもなる可能性がある」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「本人の気持ちがわかりにくい」の割合が 37.5%、「地域や周囲の理解があれば暮らせる」の割合が 37.2%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、東部圏域で「地域や周囲の理解があれば暮らせる」「誰でもなる可能性がある」、西部圏域で「本人の気持ちがわかりにくい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	地域や周囲の理解があれば暮らせる	認知症になってもやりたいことができる	認知症になっても何も変わらないと思う	早期に気づけば対応できる	怖い病気だと思う	誰でもなる可能性がある	本人の気持ちがわかりにくい	その他	よくわからない	無回答
全　体	347	37.2	12.7	3.7	30.3	34.0	72.0	37.5	2.3	3.7	7.2
東部圏域	72	44.4	12.5	4.2	38.9	36.1	77.8	29.2	0.0	2.8	5.6
北部圏域	85	35.3	12.9	0.0	28.2	40.0	77.6	40.0	1.2	2.4	3.5
中部圏域	98	30.6	15.3	5.1	24.5	31.6	70.4	36.7	4.1	3.1	6.1
西部圏域	82	40.2	11.0	6.1	32.9	30.5	67.1	45.1	3.7	7.3	8.5

【要介護度別】

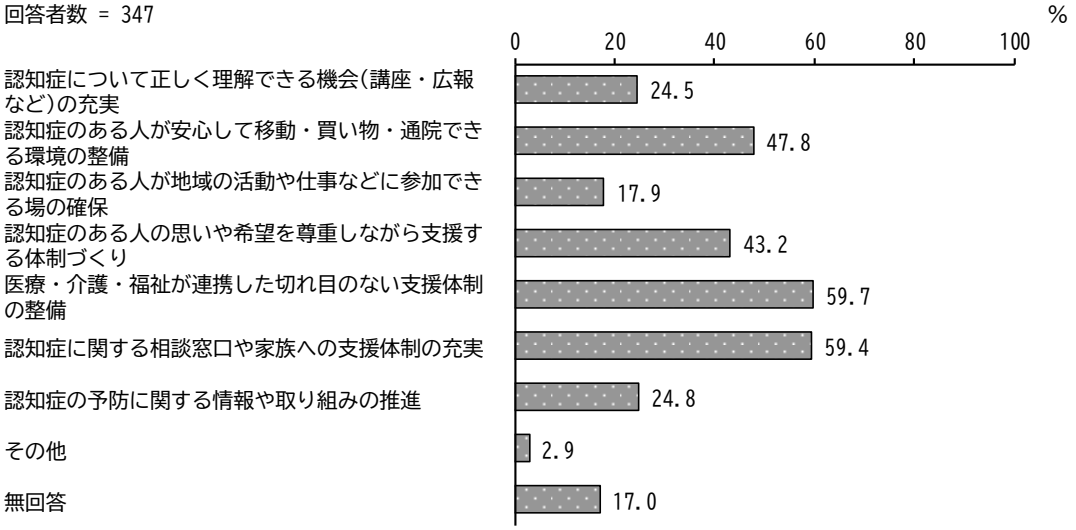
要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「本人の気持ちがわかりにくい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	地域や周囲の理解があれば暮らせる	認知症になってもやりたいことができる	認知症になっても何も変わらないと思う	早期に気づけば対応できる	怖い病気だと思う	誰でもなる可能性がある	本人の気持ちがわかりにくい	その他	よくわからない	無回答
全　体	347	37.2	12.7	3.7	30.3	34.0	72.0	37.5	2.3	3.7	7.2
要支援１・２	139	33.1	10.1	4.3	28.8	35.3	71.9	28.8	1.4	4.3	7.2
要介護１・２	143	41.3	15.4	2.8	36.4	37.8	74.8	39.2	3.5	4.2	6.3
要介護３以上	54	37.0	14.8	3.7	22.2	24.1	70.4	61.1	1.9	1.9	3.7

問７　あなたは、認知症のあるご本人やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に必要だと思うことは何ですか。（○印はいくつでも）

「医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実」の割合が 59.4%、「認知症のある人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備」の割合が 47.8%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、東部圏域で「認知症について正しく理解できる機会(講座・広報など)の充実」「認知症のある人が地域の活動や仕事などに参加できる場の確保」「認知症のある人の思いや希望を尊重しながら支援する体制づくり」、西部圏域で「認知症のある人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備」「医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	認知症について正しく理解できる機会(講座・広報など)の充実	認知症のある人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備	認知症のある人が地域の活動や仕事などに参加できる場の確保	認知症のある人の思いや希望を尊重しながら支援する体制づくり	医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備	認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実	認知症の予防に関する情報や取り組みの推進	その他	無回答
全　体	347	24.5	47.8	17.9	43.2	59.7	59.4	24.8	2.9	17.0
東部圏域	72	34.7	41.7	29.2	50.0	55.6	58.3	30.6	6.9	20.8
北部圏域	85	22.4	51.8	15.3	43.5	57.6	64.7	21.2	1.2	14.1
中部圏域	98	26.5	43.9	17.3	40.8	64.3	56.1	23.5	3.1	16.3
西部圏域	82	15.9	56.1	13.4	42.7	63.4	61.0	25.6	1.2	13.4

【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護度が下がるほど「認知症について正しく理解できる機会(講座・広報など)の充実」「認知症のある人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備」の割合が高く、「医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備」の割合が低くなっています。

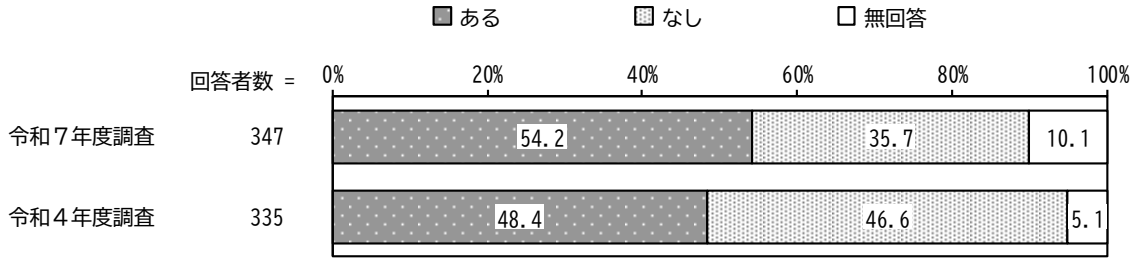
単位：%

区分	回答者数（件）	認知症について正しく理解できる機会(講座・広報など)の充実	認知症のある人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備	認知症のある人が地域の活動や仕事などに参加できる場の確保	認知症のある人の思いや希望を尊重しながら支援する体制づくり	医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備	認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実	認知症の予防に関する情報や取り組みの推進	その他	無回答
全　体	347	24.5	47.8	17.9	43.2	59.7	59.4	24.8	2.9	17.0
要支援１・２	139	26.6	51.1	18.7	43.2	56.1	51.8	25.2	3.6	16.5
要介護１・２	143	24.5	46.9	18.2	45.5	62.9	67.1	27.3	2.8	16.8
要介護３以上	54	20.4	40.7	18.5	42.6	64.8	64.8	20.4	1.9	14.8

問８　ご家族・ご親族のことで、地域包括支援センター(包括)に相談をしたことがありますか。(〇印は１つ)

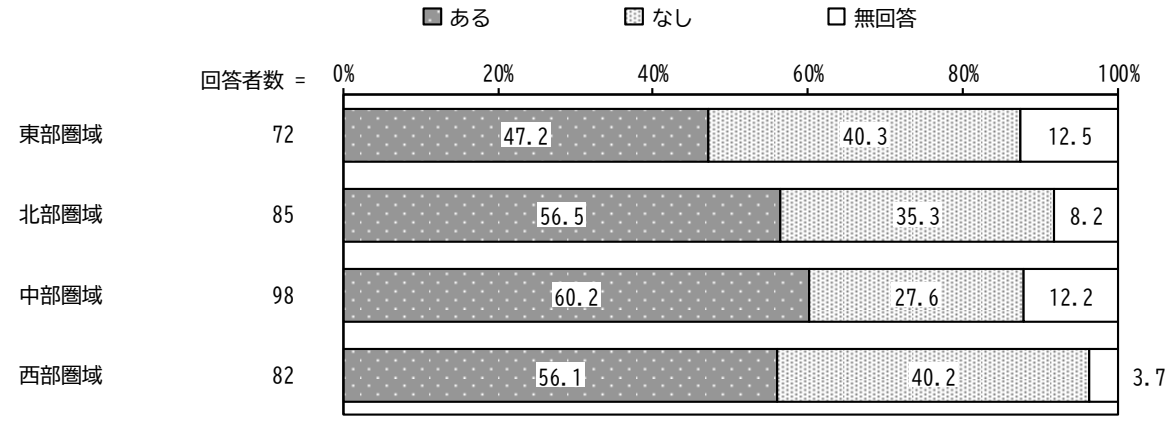
「ある」の割合が 54.2%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



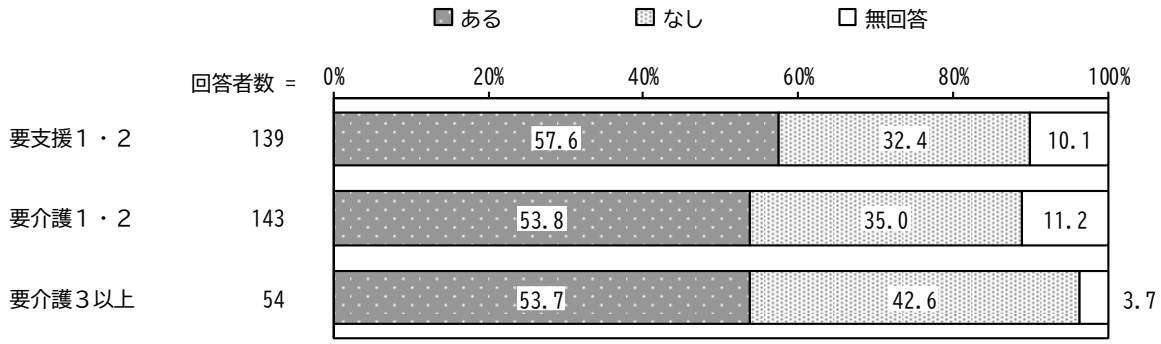
【圏域別】

圏域別にみると、中部圏域で「ある」の割合が高くなっています。



【要介護度別】

要介護度別にみると、大きな差はみられません。

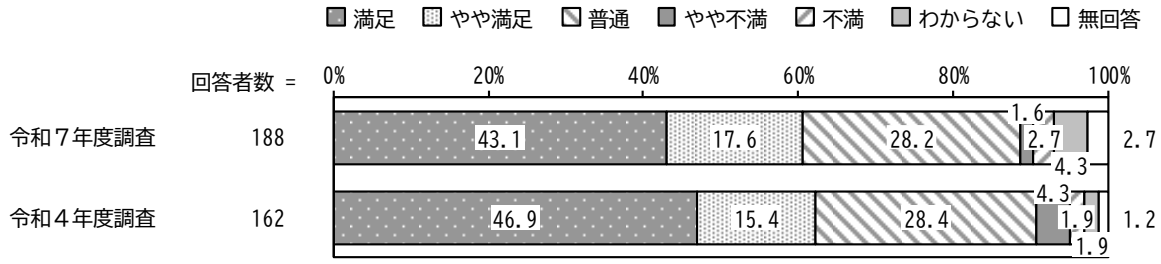


※　問８で「ある」と回答した方のみ、お答えください。

問９　地域包括支援センター(包括)に相談をした際の対応はいかがでしたか。(○印は１つ)

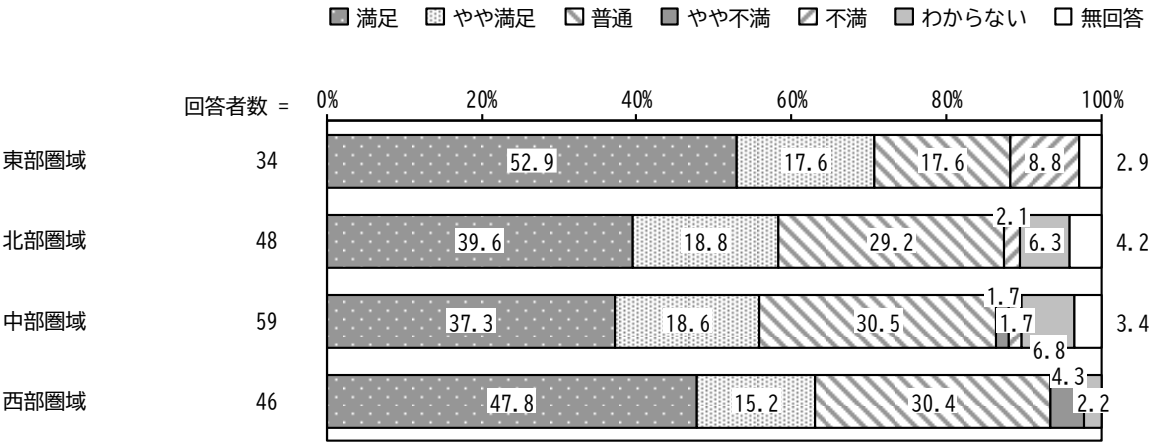
「満足」「やや満足」を合わせた“満足”の割合が 60.7%、「やや不満」「不満」を合わせた“不満”の割合が 4.3%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



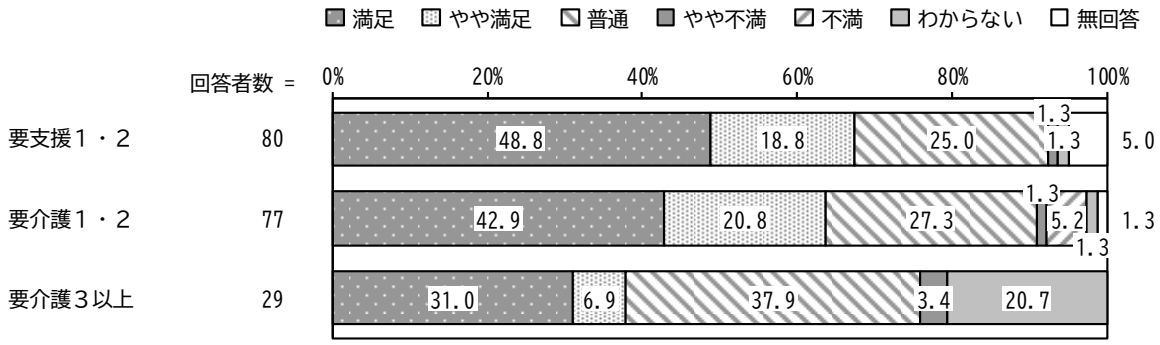
【圏域別】

圏域別にみると、東部圏域で“満足”の割合が高くなっています。



【要介護度別】

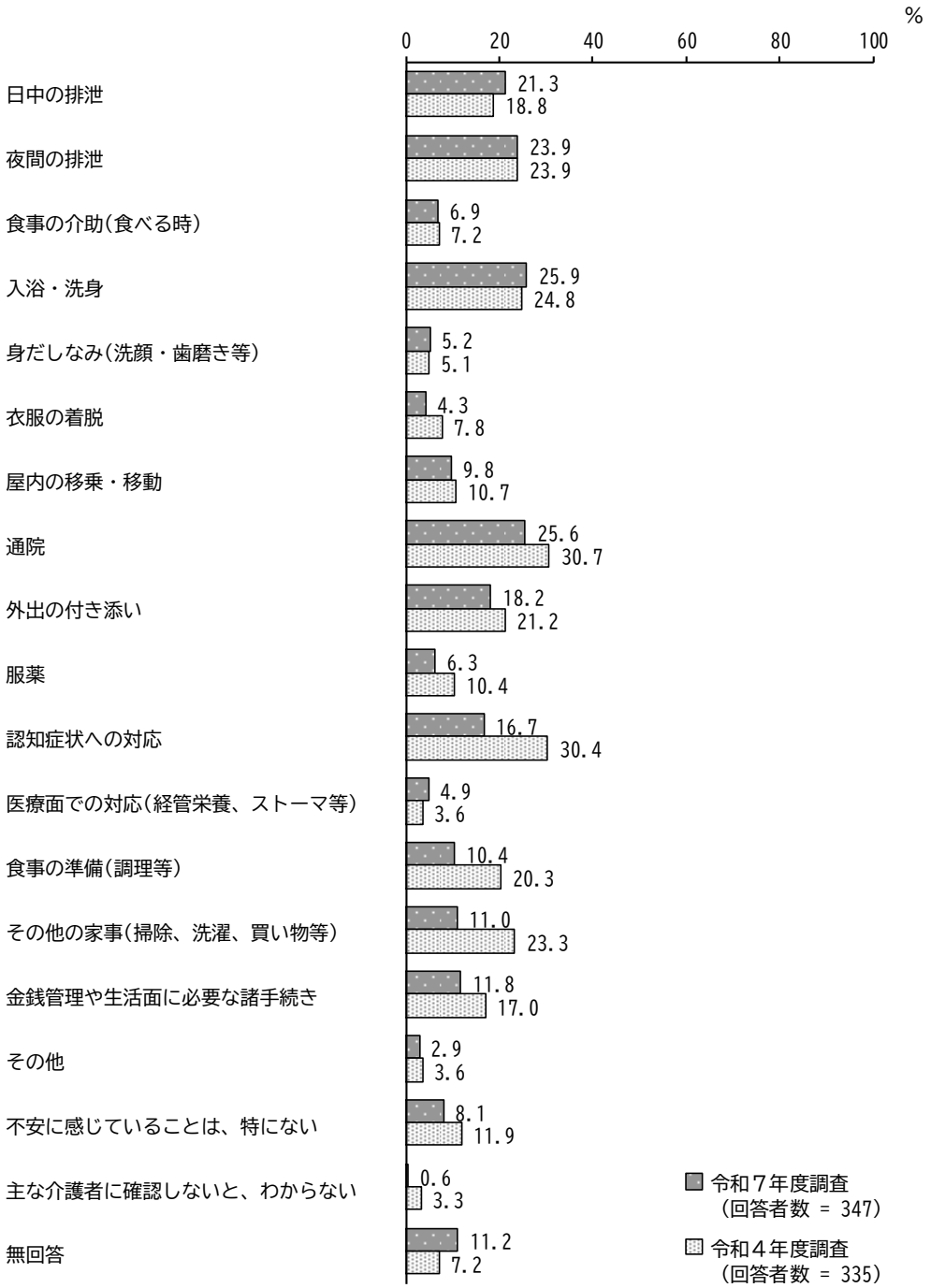
要介護度別にみると、要介護度が下がるほど“満足”の割合が高くなっています。また、要介護３以上で「満足」「やや満足」の割合が低くなっています。



問 10　現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（○印は３つまで）

「入浴・洗身」の割合が 25.9%と最も高く、次いで「通院」の割合が 25.6%、「夜間の排泄」の割合が 23.9%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「通院」「認知症状への対応」「食事の準備(調理等)」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が減少しています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	通院	外出の付き添い
全　体	347	21.3	23.9	6.9	25.9	5.2	4.3	9.8	25.6	18.2
東部圏域	72	18.1	16.7	2.8	26.4	4.2	9.7	9.7	29.2	15.3
北部圏域	85	29.4	30.6	7.1	32.9	4.7	4.7	12.9	25.9	14.1
中部圏域	98	23.5	24.5	8.2	23.5	5.1	1.0	9.2	24.5	23.5
西部圏域	82	14.6	22.0	8.5	20.7	7.3	3.7	8.5	24.4	19.5

区分	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全　体	6.3	16.7	4.9	10.4	11.0	11.8	2.9	8.1	0.6	11.2
東部圏域	5.6	15.3	1.4	11.1	11.1	12.5	2.8	11.1	0.0	11.1
北部圏域	7.1	16.5	3.5	7.1	11.8	8.2	1.2	8.2	1.2	9.4
中部圏域	5.1	18.4	6.1	13.3	9.2	14.3	3.1	6.1	0.0	10.2
西部圏域	8.5	17.1	8.5	11.0	13.4	9.8	4.9	8.5	1.2	11.0

【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助(食べる時)」の割合が高く、「通院」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が低くなっています。

単位：%

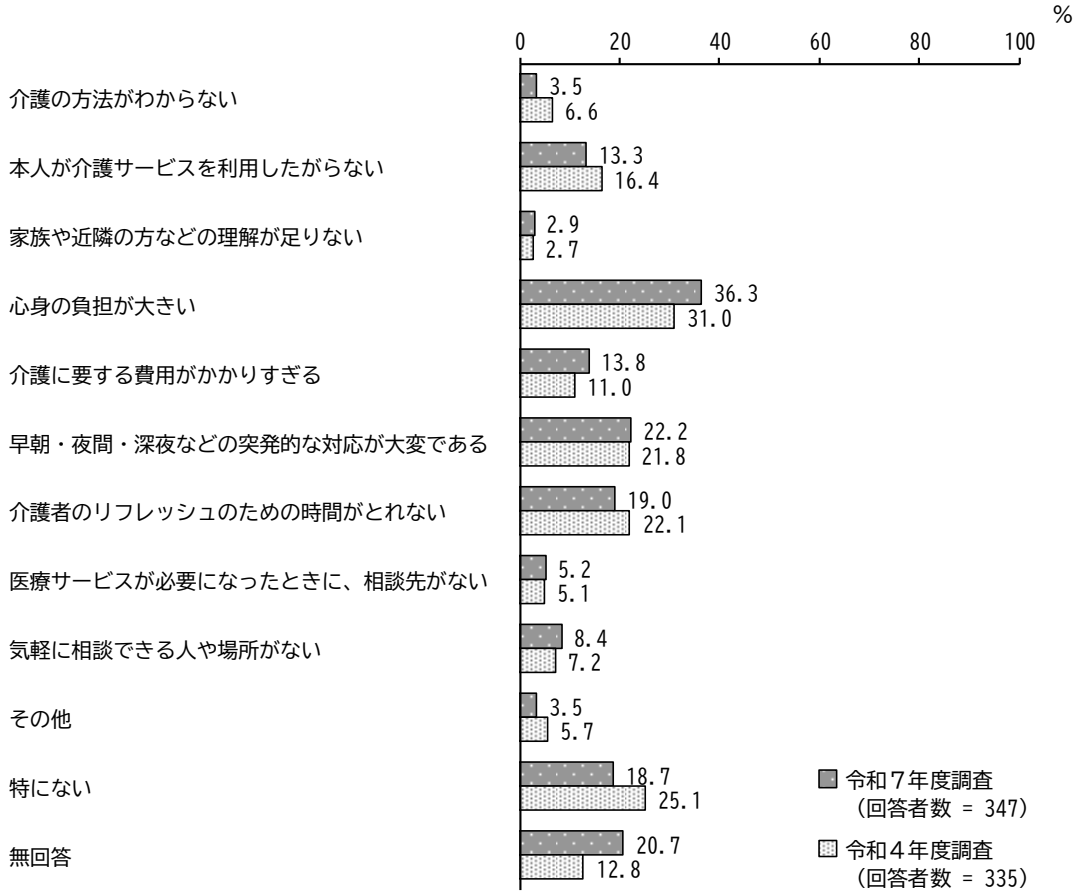
区分	回答者数（件）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	通院	外出の付き添い
全　体	347	21.3	23.9	6.9	25.9	5.2	4.3	9.8	25.6	18.2
要支援１・２	139	14.4	16.5	3.6	22.3	5.8	2.9	12.2	30.9	19.4
要介護１・２	143	25.9	26.6	7.7	30.8	4.9	5.6	7.0	24.5	21.0
要介護３以上	54	27.8	33.3	13.0	22.2	5.6	5.6	13.0	16.7	11.1

区分	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全　体	6.3	16.7	4.9	10.4	11.0	11.8	2.9	8.1	0.6	11.2
要支援１・２	7.2	15.8	5.0	10.1	15.1	15.8	2.2	8.6	0.7	10.1
要介護１・２	6.3	17.5	4.2	11.2	9.1	10.5	3.5	6.3	0.7	11.2
要介護３以上	5.6	18.5	7.4	9.3	5.6	5.6	3.7	13.0	0.0	7.4

問 11　介護を行う上で特に困っていることについて教えてください。（○印は３つまで）

「心身の負担が大きい」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である」の割合が 22.2%、「介護者のリフレッシュのための時間がとれない」の割合が 19.0%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「心身の負担が大きい」の割合が増加しています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	介護の方法がわからない	本人が介護サービスを利用したがらない	家族や近隣の方などの理解が足りない	心身の負担が大きい	介護に要する費用がかかりすぎる	早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である	介護者のリフレッシュのための時間がとれない	医療サービスが必要になったときに、相談先がない	気軽に相談できる人や場所がない	その他	特にない	無回答
全　体	347	3.5	13.3	2.9	36.3	13.8	22.2	19.0	5.2	8.4	3.5	18.7	20.7
東部圏域	72	5.6	11.1	4.2	29.2	15.3	15.3	15.3	1.4	5.6	1.4	26.4	23.6
北部圏域	85	2.4	17.6	0.0	35.3	11.8	18.8	17.6	7.1	11.8	4.7	16.5	20.0
中部圏域	98	2.0	6.1	4.1	37.8	14.3	28.6	26.5	8.2	8.2	7.1	18.4	15.3
西部圏域	82	4.9	19.5	2.4	43.9	15.9	25.6	17.1	3.7	7.3	0.0	17.1	20.7

【要介護度別】

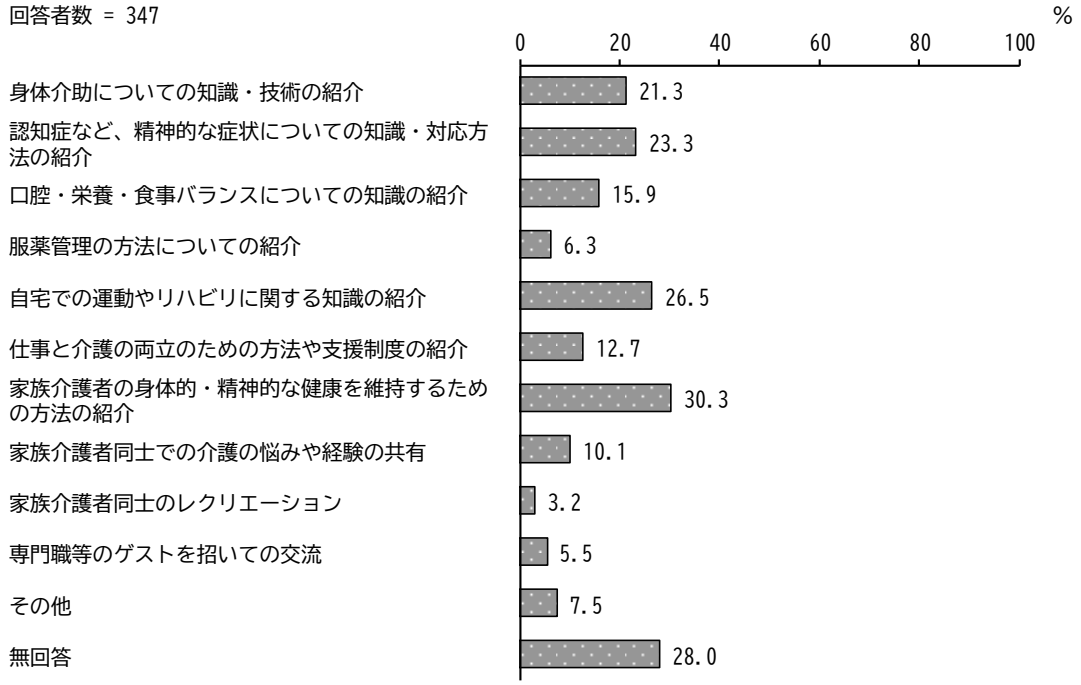
要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「心身の負担が大きい」「介護に要する費用がかかりすぎる」「早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	介護の方法がわからない	本人が介護サービスを利用したがらない	家族や近隣の方などの理解が足りない	心身の負担が大きい	介護に要する費用がかかりすぎる	早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である	介護者のリフレッシュのための時間がとれない	医療サービスが必要になったときに、相談先がない	気軽に相談できる人や場所がない	その他	特にない	無回答
全　体	347	3.5	13.3	2.9	36.3	13.8	22.2	19.0	5.2	8.4	3.5	18.7	20.7
要支援１・２	139	5.8	9.4	1.4	28.1	11.5	20.1	9.4	6.5	8.6	2.2	25.2	26.6
要介護１・２	143	2.1	18.2	5.6	44.1	14.7	21.7	27.3	4.9	9.8	4.2	14.0	14.7
要介護３以上	54	1.9	11.1	0.0	44.4	20.4	31.5	25.9	1.9	3.7	5.6	16.7	11.1

問 12　介護を行う上でどのような介護者教室・交流会(支援)があれば利用したいですか。(○印はいくつでも)

「家族介護者の身体的・精神的な健康を維持するための方法の紹介」の割合が 30.3%と最も高く、次いで「自宅での運動やリハビリに関する知識の紹介」の割合が 26.5%、「認知症など、精神的な症状についての知識・対応方法の紹介」の割合が 23.3%となっています。



【圏域別】

圏域別にみると、西部圏域で「身体介助についての知識・技術の紹介」「家族介護者の身体的・精神的な健康を維持するための方法の紹介」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	身体介助についての知識・技術の紹介	認知症など、精神的な症状についての知識・対応方法の紹介	口腔・栄養・食事バランスについての知識の紹介	服薬管理の方法についての紹介	自宅での運動やリハビリに関する知識の紹介	仕事と介護の両立のための方法や支援制度の紹介	家族介護者の身体的・精神的な健康を維持するための方法の紹介	家族介護者同士での介護の悩みや経験の共有	家族介護者同士のレクリエーション	専門職等のゲストを招いての交流	その他	無回答
全　体	347	21.3	23.3	15.9	6.3	26.5	12.7	30.3	10.1	3.2	5.5	7.5	28.0
東部圏域	72	15.3	20.8	18.1	8.3	23.6	8.3	22.2	6.9	5.6	8.3	9.7	29.2
北部圏域	85	20.0	20.0	14.1	4.7	23.5	14.1	32.9	14.1	1.2	4.7	8.2	27.1
中部圏域	98	21.4	22.4	15.3	7.1	28.6	18.4	29.6	10.2	5.1	3.1	6.1	26.5
西部圏域	82	29.3	30.5	15.9	6.1	30.5	9.8	35.4	9.8	1.2	7.3	7.3	26.8

【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「身体介助についての知識・技術の紹介」「家族介護者同士での介護の悩みや経験の共有」の割合が高く、「口腔・栄養・食事バランスについての知識の紹介」の割合が低くなっています。

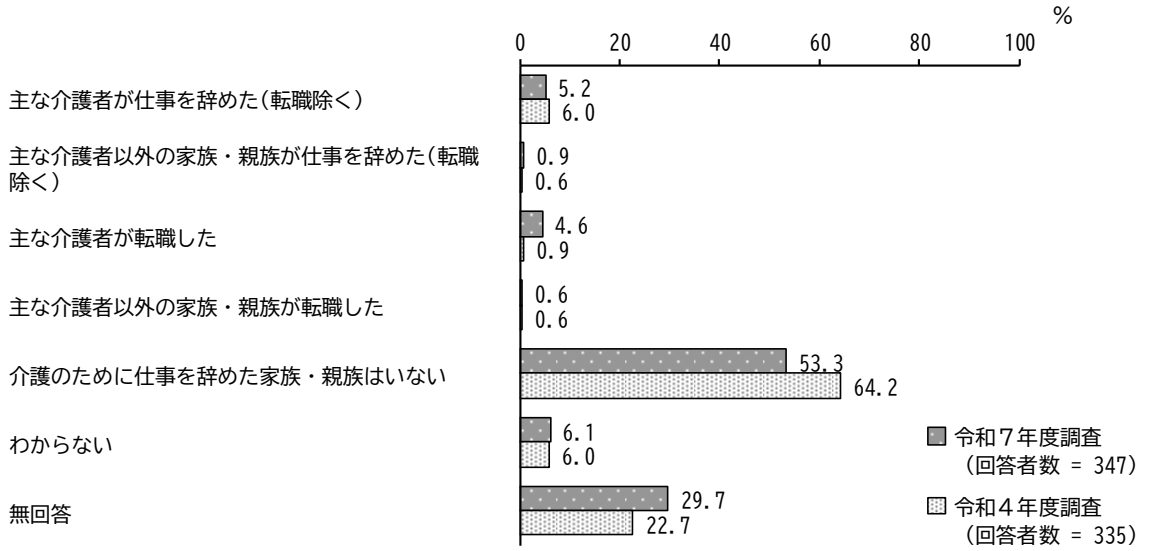
単位：%

区分	回答者数（件）	身体介助についての知識・技術の紹介	認知症など、精神的な症状についての知識・対応方法の紹介	口腔・栄養・食事バランスについての知識の紹介	服薬管理の方法についての紹介	自宅での運動やリハビリに関する知識の紹介	仕事と介護の両立のための方法や支援制度の紹介	家族介護者の身体的・精神的な健康を維持するための方法の紹介	家族介護者同士での介護の悩みや経験の共有	家族介護者同士のレクリエーション	専門職等のゲストを招いての交流	その他	無回答
全　体	347	21.3	23.3	15.9	6.3	26.5	12.7	30.3	10.1	3.2	5.5	7.5	28.0
要支援１・２	139	20.1	20.9	18.7	7.2	27.3	10.1	20.9	8.6	2.9	6.5	7.2	32.4
要介護１・２	143	21.7	28.0	16.1	7.7	28.0	16.8	38.5	10.5	4.2	5.6	4.9	24.5
要介護３以上	54	27.8	20.4	9.3	1.9	24.1	11.1	35.2	14.8	1.9	3.7	16.7	16.7

問 13　ご家族やご親族の中で、介護を主な理由として、過去１年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（○印はいくつでも）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が 53.3%と最も高くなっています。

令和４年度調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が減少しています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全　体	347	5.2	0.9	4.6	0.6	53.3	6.1	29.7
東部圏域	72	4.2	0.0	2.8	0.0	54.2	4.2	34.7
北部圏域	85	4.7	0.0	5.9	0.0	49.4	7.1	32.9
中部圏域	98	6.1	3.1	7.1	1.0	56.1	6.1	21.4
西部圏域	82	6.1	0.0	2.4	1.2	57.3	7.3	25.6

【要介護度別】

要介護度別にみると、大きな差はみられません。

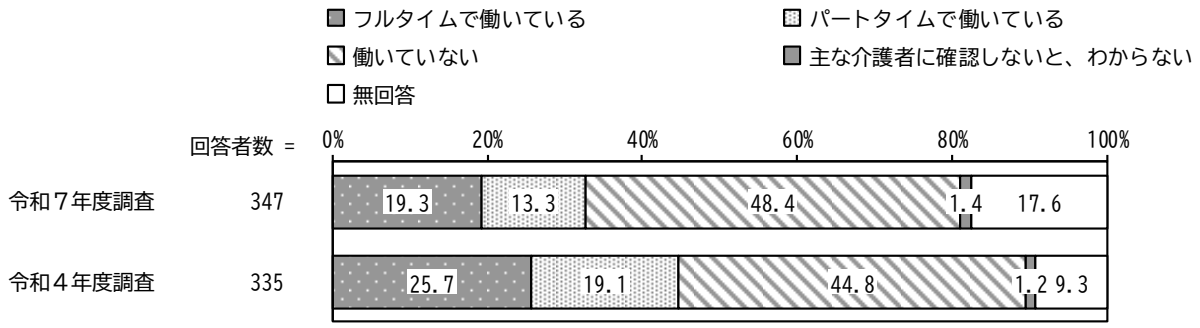
単位：%

区分	回答者数（件）	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全　体	347	5.2	0.9	4.6	0.6	53.3	6.1	29.7
要支援１・２	139	2.9	0.7	3.6	0.0	53.2	7.2	32.4
要介護１・２	143	7.7	0.7	5.6	0.7	55.2	3.5	27.3
要介護３以上	54	5.6	1.9	5.6	1.9	51.9	11.1	22.2

問 14　主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（〇印は１つ）

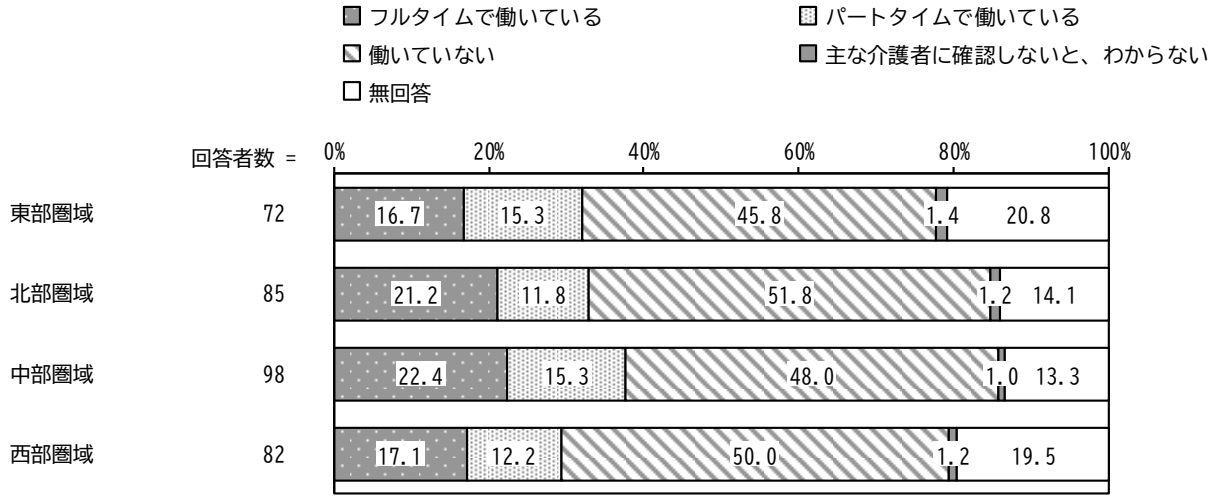
「フルタイムで働いている」の割合が 19.3%、「パートタイムで働いている」の割合が 13.3%、「働いていない」の割合が 48.4%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の割合が減少しています。



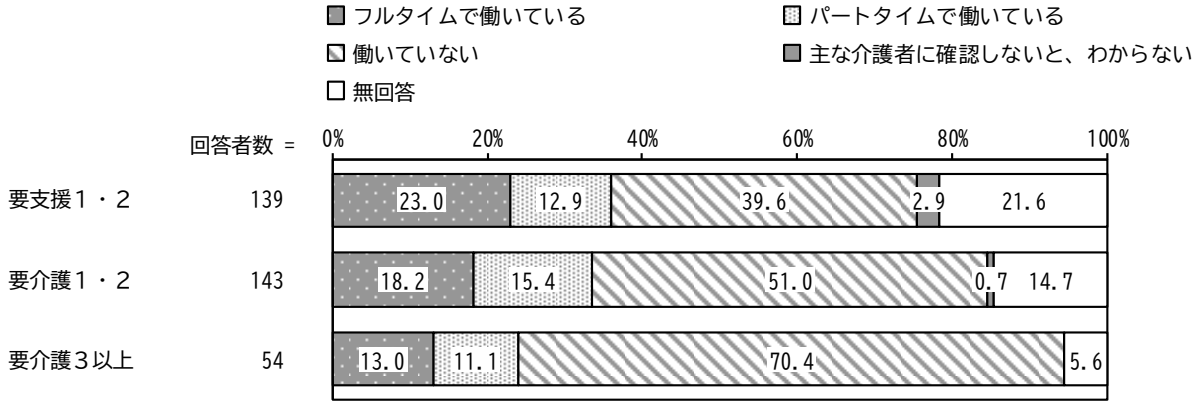
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【要介護度別】

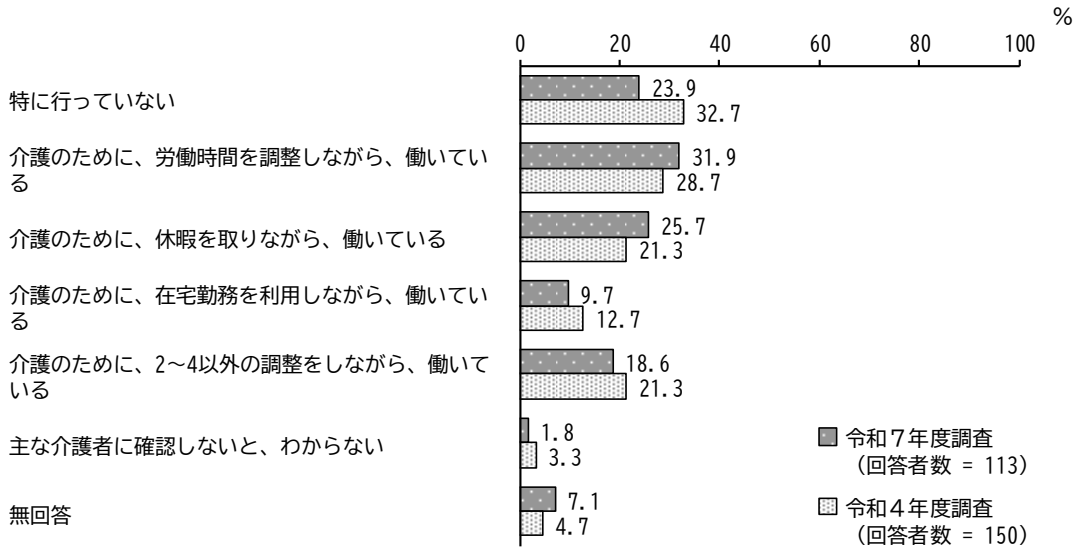
要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「働いていない」の割合が高く、「フルタイムで働いている」の割合が低くなっています。



問 15　主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（○印はいくつでも）

「介護のために、労働時間を調整しながら、働いている」の割合が 31.9%と最も高く、次いで「介護のために、休暇を取りながら、働いている」の割合が 25.7%、「介護のために、2～4 以外の調整をしながら、働いている」の割合が 18.6%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【圏域別】

圏域別にみると、中部圏域で「介護のために、労働時間を調整しながら、働いている」「介護のために、2～4 以外の調整をしながら、働いている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	特に行っていない	介護のために、労働時間を調整しながら、働いている	介護のために、休暇を取りながら、働いている	介護のために、在宅勤務を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全　体	113	23.9	31.9	25.7	9.7	18.6	1.8	7.1
東部圏域	23	26.1	30.4	30.4	13.0	8.7	4.3	4.3
北部圏域	28	32.1	25.0	28.6	7.1	14.3	3.6	7.1
中部圏域	37	13.5	43.2	21.6	10.8	21.6	0.0	8.1
西部圏域	24	29.2	25.0	20.8	8.3	29.2	0.0	8.3

【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「介護のために、労働時間を調整しながら、働いている」「介護のために、2～4 以外の調整をしながら、働いている」の割合が高く、要介護度が上がるほど「介護のために、労働時間を調整しながら、働いている」「介護のために、2～4 以外の調整をしながら、働いている」の割合が高くなっています。

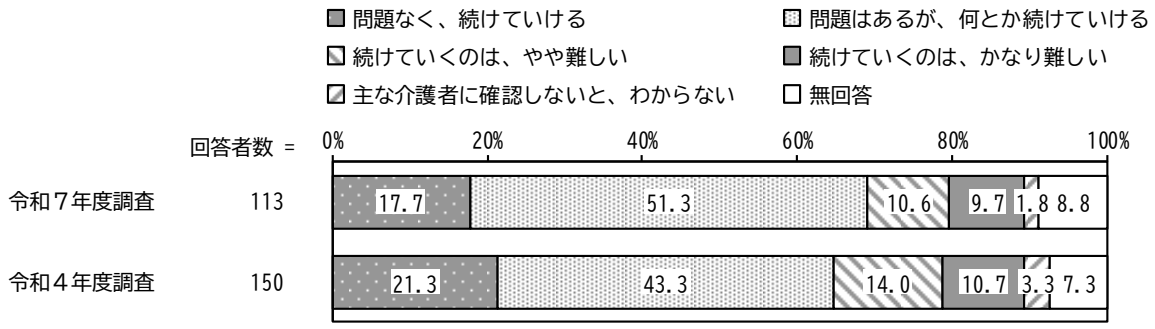
単位：%

区分	回答者数（件）	特に行っていない	介護のために、労働時間を調整しながら、働いている	介護のために、休暇を取りながら、働いている	介護のために、在宅勤務を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全　体	113	23.9	31.9	25.7	9.7	18.6	1.8	7.1
要支援１・２	50	38.0	14.0	22.0	14.0	16.0	2.0	10.0
要介護１・２	48	12.5	45.8	31.3	4.2	16.7	2.1	4.2
要介護３以上	13	15.4	53.8	15.4	15.4	38.5	0.0	0.0

問 16　主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（○印は１つ）

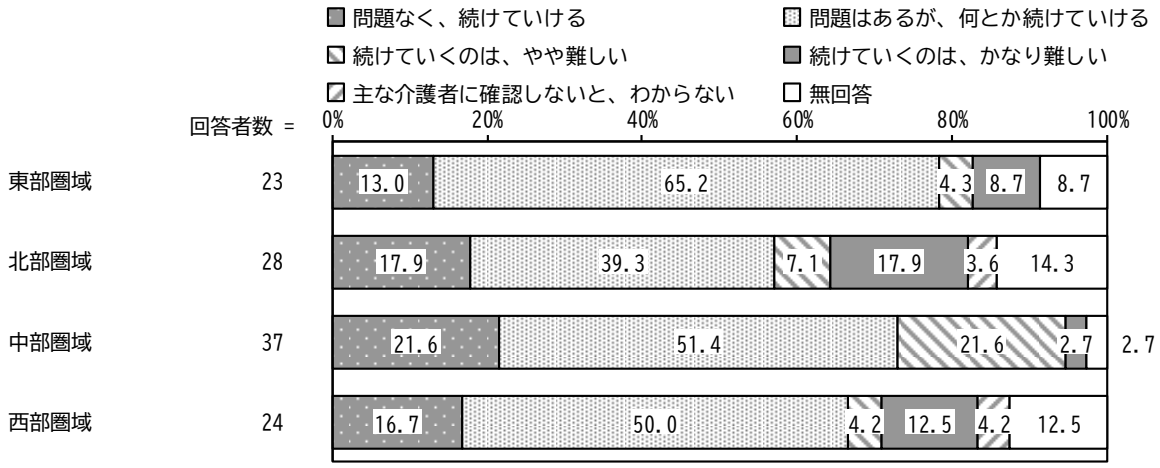
「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が 17.7%、「続けていくのは、やや難しい」の割合が 10.6%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が増加しています。



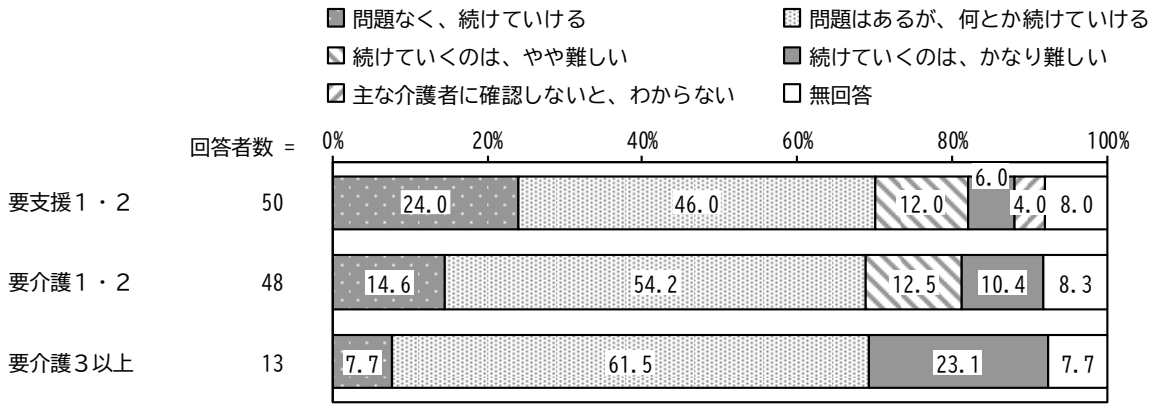
【圏域別】

圏域別にみると、東部圏域で「問題はあるが、何とか続けていける」、中部圏域で「続けていくのは、やや難しい」の割合が高くなっています。



【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「問題はあるが、何とか続けていける」「続けていくのは、かなり難しい」の割合が高く、「問題なく、続けていける」の割合が低くなっています。



令和７年度　東久留米市高齢者アンケート調査
（在宅介護実態調査）　調査票

はじめに

日頃から東久留米市介護保険事業にご理解とご協力をたまわり、厚くお礼申し上げます。

現在、市では令和９年度から令和11年度の３年間を計画期間とした、「第10期東久留米市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向けた作業を進めています。

この計画は、市が計画期間中に実施する高齢者に関する施策、介護保険事業の方向性を定める重要な計画です。

つきましては、本計画に要介護（要支援）認定を受けられている方やそのご家族のご意向を反映するために、本アンケート調査を実施いたします。

本調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますよう、宜しくお願いします。

令和７年１２月　東久留米市

ご記入の前に、お読みください

1．この調査は、本市に在住の 65 歳以上の方で、**要支援１・２または要介護１～５の認定を受けており、ご自宅で生活されていると思われる方**の中から 1,200 人を無作為に抽出し、皆様にご協力をお願いしております。

2．A票（２ページ～５ページ）は**封筒のあて名の方ご本人について**、B票（６ページ～８ページ）は**封筒のあて名の方のご家族等「主な介護者」の方について**、お答えください。また、A票→B票の順番でお答えください。

3．ご回答は、**あてはまる回答の番号を○で囲んでください**。回答数は、各設問文に（○印は １ つ）（○印はいくつでも）など指定してありますので、それに従ってご回答ください。また、（　　）がある回答は、記述でご回答ください。

4．ご記入いただいた調査票は、**令和７年 12 月 22 日（月）**までに、同封の返信用封筒に入れて、**切手を貼らずに無記名で**郵送してください。

5．インターネットによる回答の場合は、右の二次元コードを読み込むか、下記のＵＲＬにアクセスしてください。インターネットでご回答いただく場合は、調査票の返送は不要です。

https://questant.jp/q/W73HK862

6．本調査は、個人が識別されない形で行われます（皆様の個人情報との紐付(ひもづ)けは行いません）。

7．ご不明の点は、**最終ページに記載した介護福祉課の連絡先**までご連絡ください。

はじめに、お答えください

問１　封筒のあて名のご本人は、令和７年１１月現在、ご自宅で生活されていますか（病院等の医療機関に長期入院中の方、高齢者施設等に入居されている方を除く）。（○印は１つ）

１．はい　　２．いいえ

「１．はい」の方　⇒　引き続き、A票及びB票の順にご回答ください。
「２．いいえ」の方　⇒　A票及びB票は回答せず、このまま、調査票をご返送ください。

A票　封筒のあて名のご本人について、おたずねします

・以降の回答は、封筒のあて名の「ご本人」（以下「ご本人」という。）がご記入をお願いします。
・「ご本人」による記入が難しい場合は、「主な介護者」の方が代わってご記入をお願いします。

問１　この調査票にご記入されているのは、どなたですか。（○印は１つ）

１．封筒のあて名のご本人　　２．主な介護者となっている家族・親族
３．主な介護者以外の家族・親族　　４．その他

問２　ご家族（世帯類型）について、教えてください。（○印は１つ）

１．単身世帯　　２．夫婦のみ世帯　　３．その他

問３　ご本人の性別について、教えてください。（○印は１つ）

１．男性　　２．女性

問４　ご本人の令和７年１１月末時点の年齢について、教えてください。（○印は１つ）

１．65～69 歳　　２．70～74 歳　　３．75～79 歳　　４．80～84 歳
５．85～89 歳　　６．90～94 歳　　７．95 歳以上

問５　ご本人の居住地を教えてください。（○印は１つ）

１．上の原	２．神宝町	３．金山町	４．氷川台
５．大門町	６．東本町	７．新川町	８．浅間町
９．学園町	10．ひばりが丘団地	11．本町	12．小山
13．幸町	14．中央町	15．南沢	16．前沢 1～3 丁目
17．前沢４～５丁目	18．南町	19．滝山	20．下里１・７丁目
21．下里２～６丁目	22．柳窪	23．野火止	24．八幡町
25．弥生			

問６　ご本人の要介護度を、教えてください。（○印は１つ）

１．要支援１	２．要支援２	３．要介護１	４．要介護２
５．要介護３	６．要介護４	７．要介護５	８．わからない

問７　あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても幸せ」を１０点、「とても不幸」を０点として、ご記入ください）。（あてはまる点数を１つ、○印で囲む）

とても不幸 ⟷ とても幸せ

０点	１点	２点	３点	４点	５点	６点	７点	８点	９点	10点

問８　家族や友人と会う頻度はどれくらいですか。（○印は１つ）

１．毎日近くで会っている（同居またはほぼ毎日）	２．週に 1～3 回程度
３．月に 1～3 回程度	４．年に数回程度
５．ほとんど会わない、会うことがない	６．該当なし、わからない

問９　あなたは、家族や親族の中で以下のような役割を果たしていますか。（○印はいくつでも）

１．家事を担っている（食事作り・掃除・洗濯など）
２．小さな子どもの世話をしている（おむつ替え・送り迎え・遊び相手など）
３．家族・親族の相談相手になっている
４．家族の支え手（収入を支えている）である
５．家族や親族関係のまとめ役（話し合いの調整役など）をしている
６．病気や障害を持つ家族の世話をしている（介護など）
７．その他（　　）
８．特に役割はない

問１０　現時点での、施設等（※）への入所・入居の検討状況について、教えてください。（○印は１つ）

１．入所・入居は検討していない	２．入所・入居を検討している
３．すでに入所・入居の申し込みをしている	

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問１１　ご本人が現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

１．脳血管疾患（脳卒中）	２．心疾患（心臓病）
３．悪性新生物（がん）	４．呼吸器疾患
５．腎疾患（透析）	６．筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）
７．膠原病（関節リウマチ含む）	８．変形性関節疾患
９．認知症	10．パーキンソン病
11．難病（パーキンソン病を除く）	12．糖尿病
13．眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	14．口腔機能障害
15．その他（　　）	16．なし
17．わからない	

問１２　令和７年１１月の１か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（○印は１つ）

１．利用した	２．利用していない

※　問１２で「１．利用した」と回答した方のみ、お答えください。

問１３　以下の介護保険サービス等について、令和７年１１月の１か月間の利用状況をご回答ください。

対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「０回」または「１．利用していない」を選択してください。（○印はそれぞれに１つ）

	１週間あたりの利用回数					
①　訪問介護（ホームヘルプサービス）	０回	１回	２回	３回	４回	５回以上
②　訪問入浴介護	０回	１回	２回	３回	４回	５回以上
③　訪問看護	０回	１回	２回	３回	４回	５回以上
④　訪問リハビリテーション	０回	１回	２回	３回	４回	５回以上
⑤　通所介護（デイサービス）	０回	１回	２回	３回	４回	５回以上
⑥　通所リハビリテーション（デイケア）	０回	１回	２回	３回	４回	５回以上

	利用の有無	
⑦　定期巡回・随時対応型訪問介護看護	１．利用していない	２．利用した
⑧　小規模多機能型居宅介護	１．利用していない	２．利用した
⑨　看護小規模多機能型居宅介護	１．利用していない	２．利用した

	1か月あたりの利用日数				
⑩ ショートステイ	0回	1～7日	8～14日	15～21日	22日以上
⑪ 宿泊サービス（お泊りデイサービス）※	0回	1～7日	8～14日	15～21日	22日以上

※ 「宿泊サービス（お泊りデイサービス）」は、介護保険外サービスです。

	1か月あたりの利用回数				
⑫ 居宅療養管理指導	0回	1回	2回	3回	4回

※ 問１２で「２．利用していない」と回答した方のみ、お答えください。

問１４ 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（○印はいくつでも）

1．現状では、サービスを利用するほどの状態ではない　2．本人にサービス利用の希望がない
3．家族が介護をするため必要ない　4．以前、利用していたサービスに不満があった
5．利用したいサービスが利用できない、身近にない　6．住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
7．サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない　8．その他（　　）

※ ここから再び、すべての方がお答えください。

問１５ 現在、利用している、「介護保険サービス以外（自費）」の支援・サービスについて、ご回答ください。（○印はいくつでも）

1．配食　2．調理
3．掃除・洗濯　4．買い物（宅配は含まない）
5．ごみ出し　6．外出同行（通院、買い物など）
7．移送サービス（介護・福祉タクシー等）　8．見守り、声かけ
9．サロンなどの定期的な通いの場　10．その他（　　）
11．利用していない

問１６ 今後の在宅生活の継続に必要と感じる「介護保険サービス以外（自費）」の支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（○印は３つまで）

1．配食　2．調理
3．掃除・洗濯　4．買い物（宅配は含まない）
5．ごみ出し　6．外出同行（通院、買い物など）
7．移送サービス（介護・福祉タクシー等）　8．見守り、声かけ
9．サロンなどの定期的な通いの場　10．その他（　　）
11．特になし

問１７ ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。（○印は１つ）

1．利用している　2．利用していない

問１８ ご本人は、人生の最期（さいご）の時期をどこで迎えたいと思いますか。（○印は１つ）

1．自宅　2．病院　3．緩和ケア病棟（ホスピスなど）
4．介護施設　5．その他（　　）　6．わからない

問１９ 認知症に対して備えていることや取り組んでいることはありますか。（○印はいくつでも）

1．家族と話し合っている
2．生活習慣病や認知症などの予防に取り組んでいる
3．成年後見制度などの権利擁護の制度について検討している
4．専門の病院を受診している
5．TVや雑誌、インターネット等のメディアから情報を入手している
6．講演会や広報紙等、市の実施事業等から情報を入手している
7．その他（　　）
8．特にしていない

問２０ あなたは「認知症」に対してどのようなイメージを持っていますか。（○印はいくつでも）

1．地域や周囲の理解があれば暮らせる　2．認知症になってもやりたいことができる
3．認知症になっても何も変わらないと思う　4．早期に気づけば対応できる
5．怖い病気だと思う　6．誰でもなる可能性がある
7．本人の気持ちがわかりにくい　8．その他（　　）
9．よくわからない

問２１ あなたは、認知症のあるご本人やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に必要だと思うことは何ですか。（○印はいくつでも）

1．認知症について正しく理解できる機会（講座・広報など）の充実
2．認知症のある人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備
3．認知症のある人が地域の活動や仕事などに参加できる場の確保
4．認知症のある人の思いや希望を尊重しながら支援する体制づくり
5．医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備
6．認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実
7．認知症の予防に関する情報や取り組みの推進
8．その他（　　）

問２２　「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」または「人生会議」について、知っていますか。（○印は１つ）

１．知っている	２．言葉くらいは聞いたことがある
３．知らない	

問２３　「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」または「人生会議」とは、もしものときのために、高齢者本人が望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療関係者等と話し合い、共有することをいいます。このことについて、備えていることや取り組んでいることはありますか。（○印はいくつでも）

１．「わたしの覚え書きノート（東久留米市版）」やエンディングノートなどに取り組み、準備している
２．家族と話し合っている
３．医療・介護関係者（かかりつけ医師・ケアマネジャーなど）と話し合っている
４．TV や雑誌、インターネット等のメディアから情報を入手している
５．講演会や広報紙等、市の実施事業等から情報を入手している
６．その他（　　）
７．特にしていない

問２４　ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していないご家族やご親族の方からの介護を含む）。（○印は１つ）

１．ない	２．家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない
３．週に 1～2 日ある	４．週に 3～4 日ある
５．ほぼ毎日ある	

「１．ない」の方　⇒　アンケート調査は終了です。最終ページをご覧ください。

「2」～「5」の方　⇒　引き続き、B 票（８～１１ページ）にお進みください。

B 票　主な介護者の方について、おたずねします

・以降の回答は、ご家族・ご親族などの「主な介護者」の方がご記入をお願いします。
・「主な介護者」の方のご記入が難しい場合は、あて名「ご本人」またはその他のご家族・ご親族の方が「主な介護者」に代わって記入してもかまいません。

問１　主な介護者の方は、どなたですか。（○印は１つ）

１．配偶者	２．子	３．子の配偶者
４．孫	５．兄弟・姉妹	６．その他

問２　主な介護者の方の性別について、教えてください。（○印は１つ）

１．男性	２．女性

問３　主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（○印は１つ）

１．20 歳未満	２．20 代	３．30 代
４．40 代	５．50 代	６．60 代
７．70 代	８．80 歳以上	９．わからない

問４　主な介護者の方は同居していますか。別居の場合、どの程度の時間で駆け付けられますか。（○印は１つ）

１．同居している	２．別居（30 分以内）	３．別居（30 分以上）

問５　現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（○印はいくつでも）

１．日中の排泄（はいせつ）	２．夜間の排泄（はいせつ）	３．食事の介助（食べる時）
４．入浴・洗身	５．身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	６．衣服の着脱
７．屋内の移乗・移動	８．通院	９．外出の付き添い
10．服薬	11．認知症状への対応	
12．医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）	13．食事の準備（調理等）	
14．その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）	15．金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
16．その他	17．わからない	

問６　あなたは「認知症」に対してどのようなイメージを持っていますか。（○印はいくつでも）

１．地域や周囲の理解があれば暮らせる	２．認知症になってもやりたいことができる
３．認知症になっても何も変わらないと思う	４．早期に気づけば対応できる
５．怖い病気だと思う	６．誰でもなる可能性がある
７．本人の気持ちがわかりにくい	８．その他（　　）
９．よくわからない	

問７　あなたは、認知症のあるご本人やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に必要だと思うことは何ですか。（○印はいくつでも）

1．認知症について正しく理解できる機会（講座・広報など）の充実
2．認知症のある人が安心して移動・買い物・通院できる環境の整備
3．認知症のある人が地域の活動や仕事などに参加できる場の確保
4．認知症のある人の思いや希望を尊重しながら支援する体制づくり
5．医療・介護・福祉が連携した切れ目のない支援体制の整備
6．認知症に関する相談窓口や家族への支援体制の充実
7．認知症の予防に関する情報や取り組みの推進
8．その他（　　）

問８　ご家族・ご親族のことで、地域包括支援センター（包括）に相談をしたことがありますか。（○印は１つ）

1．ある　　2．なし

※　問８で「１．ある」と回答した方のみ、お答えください。

問９　地域包括支援センター（包括）に相談をした際の対応はいかがでしたか。（○印は１つ）

1．満足　　2．やや満足　　3．普通
4．やや不満　　5．不満　　6．わからない

※　ここから再び、すべての方がお答えください。

問１０　現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（○印は３つまで）

1．日中の排泄　　2．夜間の排泄　　3．食事の介助（食べる時）
4．入浴・洗身　　5．身だしなみ（洗顔・歯磨き等）　　6．衣服の着脱
7．屋内の移乗・移動　　8．通院　　9．外出の付き添い
10．服薬　　11．認知症状への対応
12．医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）　　13．食事の準備（調理等）
14．その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）　　15．金銭管理や生活面に必要な諸手続き
16．その他　　17．不安に感じていることは、特にない
18．主な介護者に確認しないと、わからない

問１１　介護を行う上で特に困っていることについて教えてください。（○印は３つまで）

1．介護の方法がわからない　　2．本人が介護サービスを利用したがらない
3．家族や近隣の方などの理解が足りない　　4．心身の負担が大きい
5．介護に要する費用がかかりすぎる　　6．早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である
7．介護者のリフレッシュのための時間がとれない　　8．医療サービスが必要になったときに、相談先がない
9．気軽に相談できる人や場所がない　　10．その他
11．特にない

問１２　介護を行う上でどのような介護者教室・交流会(支援)があれば利用したいですか。（○印はいくつでも）

1．身体介助についての知識・技術の紹介
2．認知症など、精神的な症状についての知識・対応方法の紹介
3．口腔・栄養・食事バランスについての知識の紹介
4．服薬管理の方法についての紹介
5．自宅での運動やリハビリに関する知識の紹介
6．仕事と介護の両立のための方法や支援制度の紹介
7．家族介護者の身体的・精神的な健康を維持するための方法の紹介
8．家族介護者同士での介護の悩みや経験の共有
9．家族介護者同士のレクリエーション
10．専門職等のゲストを招いての交流
11．その他(　　)

問１３　ご家族やご親族の中で、介護を主な理由として、過去１年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（○印はいくつでも）

1．主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2．主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3．主な介護者が転職した
4．主な介護者以外の家族・親族が転職した
5．介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6．わからない

問１４　主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（○印は１つ）

１．フルタイムで働いている	２．パートタイムで働いている
３．働いていない	４．主な介護者に確認しないと、わからない

「１」または「２」の方　⇒　**引き続き、問15にお進みください。**

「３」または「４」の方　⇒　**アンケート調査は終了です。最終ページをご覧ください。**

※　問１４で「１．フルタイム」または「２．パートタイム」と回答した方のみ、お答えください。

問１５　主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（○印はいくつでも）

１．特に行っていない
２．介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
３．介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
４．介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
５．介護のために、2～4 以外の調整をしながら、働いている
６．主な介護者に確認しないと、わからない

※　問１４で「１．フルタイム」または「２．パートタイム」と回答した方のみ、お答えください。

問１６　主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（○印は１つ）

１．問題なく、続けていける	２．問題はあるが、何とか続けていける
３．続けていくのは、やや難しい	４．続けていくのは、かなり難しい
５．主な介護者に確認しないと、わからない	

お疲れさまです。以上で、アンケート調査は終了です。

この度は調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

最後にもう一度、A 票（２～７ページ）は「あて名のご本人」について、B 票（８～１１ページ）は「主な介護者」について記載されているかをご確認ください。

※　「あて名のご本人」が、ご自宅で生活されていない場合は、A 票、B 票ともに記載は不要です。

※　「あて名のご本人」が、ご家族などからの介護を受けていない方は、B 票の記載は不要です。

確認後、ご記入済みの調査票は三つ折りにして同封の返信用封筒に入れ、
切手は貼らずに無記名で、

令和７年 12 月 22 日（月曜日）

までに、郵便ポストにご投函ください。

ご回答は、市の高齢者施策・介護保険事業に生かしてまいります。

調査に関するお問い合わせ等は、下記までご連絡ください。

東久留米市役所　福祉保健部　介護福祉課
☎　042-470-7777（内線 4910・4911）

東久留米市高齢者アンケート調査結果報告書
令和８年３月

発　行：東久留米市
編　集：東久留米市福祉保健部介護福祉課
所　在：〒203-8555　東京都東久留米市本町三丁目３番１号
電　話：042-470-7777（代）
E-mail:kaigofukushi@city.higashikurume.lg.jp